

子どもの権利に関するアンケート 調査結果報告書

令和6年2月

多治見市/多治見市子どもの権利委員会

目次

調査結果の要点	1
第1章 調査の概要	9
第2章 調査結果	11
回答者属性	11
1. 子ども自身の思いと、おとなが考える子どもの思いについて	12
2. 学校生活やいじめ等に関することについて	33
3. 体罰や児童虐待について	61
4. ヤングケアラーについて	83
5. おとなの悩みについて	87
6. 子どもの相談相手について	91
7. 子どもの意見表明・参加の機会について	99
8. 多治見市子どもの権利に関する条例について	125
第3章 自己肯定感別分析	157
第4章 参考資料	176
● 調査依頼状(子ども)	176
● 調査案内状(子ども)	178
● 調査票(子ども)	179
● 調査依頼状(おとな)	187
● 調査案内状(おとな)	189
● 調査票(おとな)	190

調査結果の要点

本市は、平成15年に「多治見市子どもの権利に関する条例」を制定し、子どもたちが多治見市で安心して自分らしくいきいきと生活できるように様々な取組を行っています。

令和5年8月、子どもの権利について意識と課題を把握し、市民の方々からご意見をいただくため、「子どもの権利に関するアンケート調査」を実施しました。今回は4年ぶり6回目の調査で、前回は令和元年度、前々回は平成27年度に実施しました。

今回のアンケート調査結果について過去の調査結果も交えながら、特徴的な点を以下に示します。

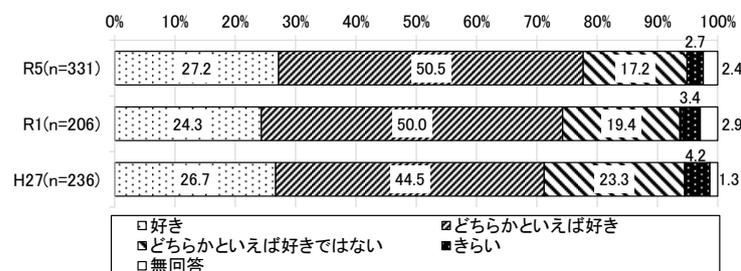
1. 子ども自身の思いと、おとなが考える子どもの思いについて

(1) 子どもの自己肯定感（自分自身を大切に思える気持ち）

「自分のことが好きか」という設問に対して、子どもは「好き」「どちらかといえば好き」と回答した割合が77.7%と、前回、前々回の調査と比べて上昇した。

性別にみると、「好き」「どちらかといえば好き」と回答した割合は、女性が74.3%、男性が82.4%と、男性のほうが高くなっている。また、学校種別に見ると、「好き」「どちらかといえば好き」と回答した割合は小学生で最も高く、年齢が上がるにつれてその割合が低下している。さらに、自己肯定感が高い子どもほど、親やまわりのおとなから大切にされていると「感じている」と回答した割合が高い傾向がみられる。

子ども：(問1)自分のことが好きか

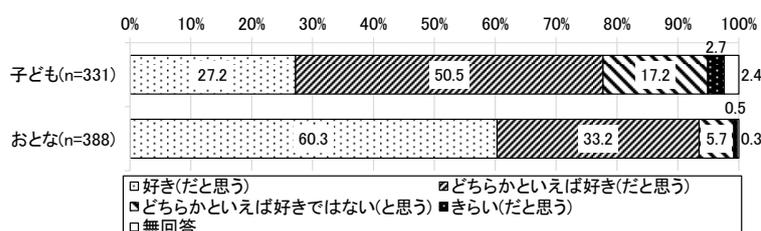


(2) 子どもとおとなの意識の違い

「子どもは、子ども自身のことを好きだと思うか」という設問に対して、おとなは「好きだと思う」「どちらかといえば好きだと思う」と回答した割合は93.5%と、子ども自身の自己肯定感と比べて差がみられる。

子ども：(問1)自分のことが好きか

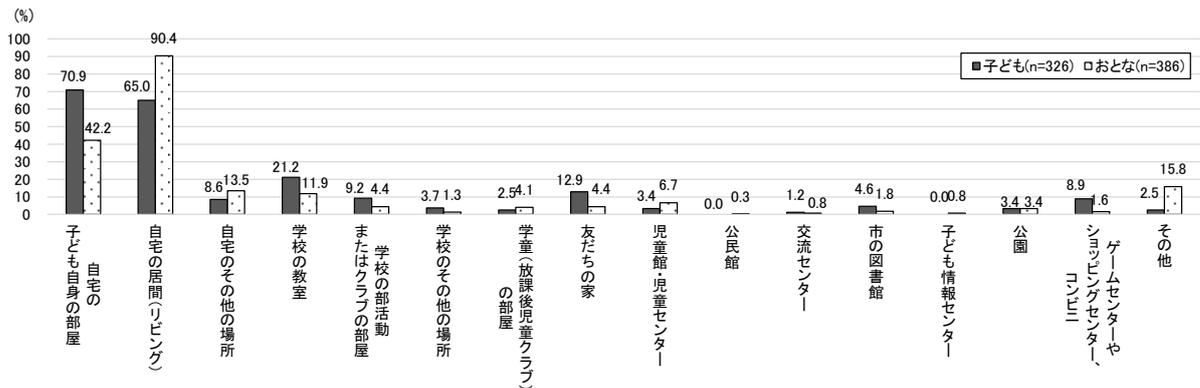
おとな：(問2)子どもは、子ども自身のことを好きだと思うか



子どもにとって安心できる場所については、いずれも「自宅の自分の部屋」や「自宅の居間(リビング)」が多くなっている。ただし、子どもは「自宅の自分の部屋」が70.9%、「自宅の居間(リビング)」が65.0%である一方で、おとなは「自宅の子ども自身の部屋」が42.2%、「自宅の居間(リビング)」が90.4%となっている。

子ども:(問5)安心できる場所はどこか

おとな:(問6-1)子どもにとって安心できる場所はどこだと思うか



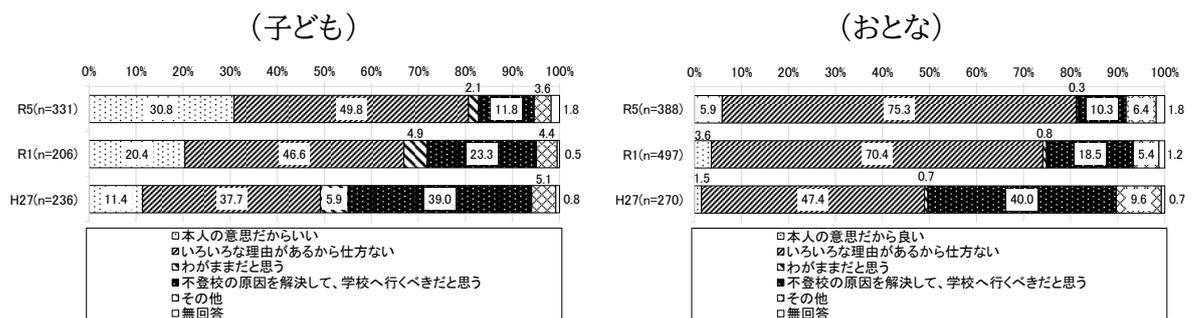
2. 学校生活やいじめ等に関することについて

(1) 不登校

不登校について、子どもは「いろいろな理由があるから仕方ない」や「本人の意思だからいい」が上昇傾向にある一方で、「不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う」は低下傾向にある。

また、おとなも子どもと同様に「いろいろな理由があるから仕方ない」が上昇傾向にある一方で、「不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う」は低下傾向にある。

子ども:(問6)・おとな:(問7)不登校についてどう思うか



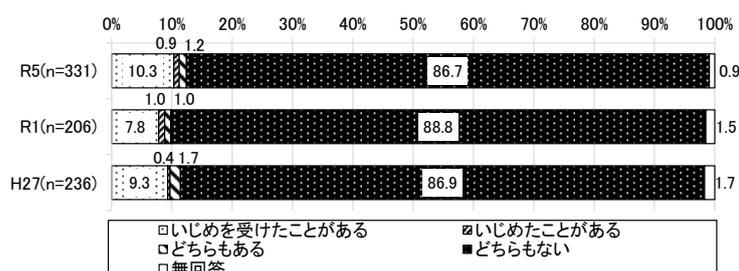
(2) いじめ

いじめについて、「いじめを受けたことがある」と回答した子どもの割合は 10.3%と、前回からやや上昇した。学校種別にみると、「いじめを受けたことがある」は中学生が 13.8%で最も高くなった。

いじめの苦しきについては、「学校や仕事に行くのがイヤになるくらいの苦しき」、「苦しいというほどではないが、『イヤだなあ』という気持ち」が比較的多くなっている。

また、いじめを受けた場合の子どもの対応については「人に相談した」「がまんした」が多く、相談相手については「母親」や「学校の先生」が多くなっている。

子ども：(問 10)いじめを受けた/いじめたことがあるか(直近 1 年間)



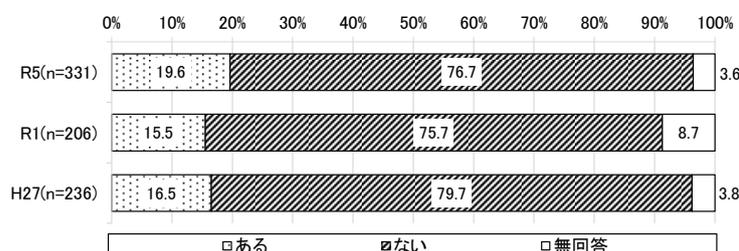
子ども：いじめを受けたことが「ある」(直近 1 年間)

	最高値	最低値
年齢別	中学生(13.8%)	高校生(5.6%)
性別・年齢別	女性：中学生(14.9%)	男性：高校生(3.9%)

3. 体罰や児童虐待について

おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことが「ある」と回答した子どもの割合は 19.6%と、前回からやや上昇した。学校種別にみると、高校生が 30.8%で最も高くなった。具体的な内容は、「心が傷つくようなことを言われた」が最も多く、言った相手としては「学校の先生」や「親(保護者)」が挙げられている。

子ども：(問 12)おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことがあるか



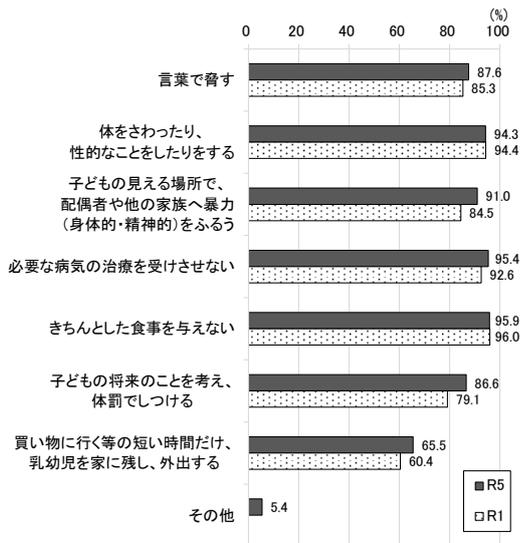
子ども：大変いやな思い、つらい思いをしたことが「ある」

	最高値	最低値
年齢別	高校生(30.8%)	小学生(9.5%)
性別・年齢別	男性：高校生(31.4%)	男性：小学生(5.7%)

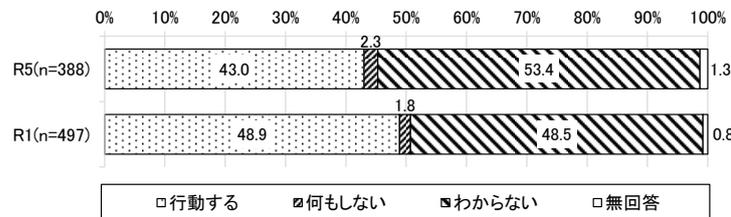
おとなが児童虐待と感じるものについては、「きちんとした食事を与えない」が 95.9%で最も高く、「買い物に行く等の短い時間だけ、乳幼児を家に残し、外出する」が 65.5%で最も低くなった。

児童虐待の疑いのある子どもをみたり、きいたりしたときに「行動する」と回答したおとなの割合は 43.0%で、前回から低下した。また、児童虐待のある子どもを発見した際の対応としては、「市(子ども支援課)に連絡する」が 53.9%で最も高くなった。

おとな:(問 11)児童虐待と感じる行為



おとな:(問 13)児童虐待の疑いのある子どもを発見した際の対応

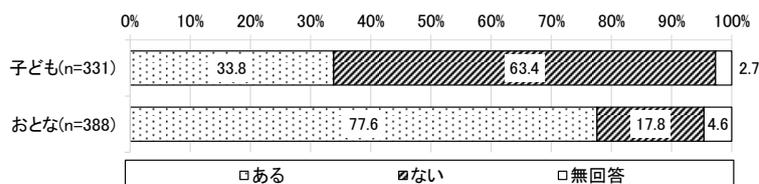


4. ヤングケアラーについて

ヤングケアラーという言葉を知ったことがある子どもは 33.8%、おとなは 77.6%となった。

ヤングケアラーにあてはまるかどうかについては、子どもは 85.8%が自身は「あてはまらない」と回答した。また、おとなは 95.1%が自分の家庭の子どもは「あてはまらない」と回答した。

子ども:(問 14)・おとな:(問 15)「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか

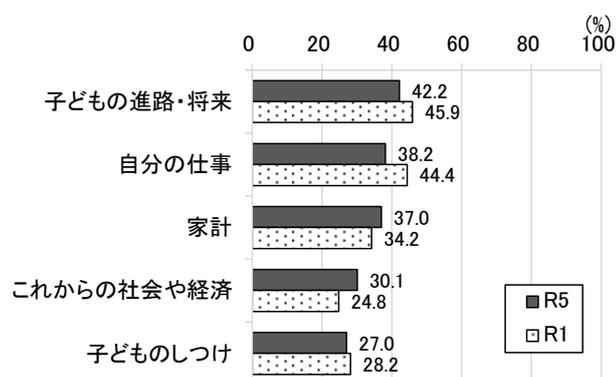


5. おとなの悩みについて

日ごろ疲れることや不安に思うことが「ある」と回答した割合は 83.0%と、前回から概ね横ばいとなった。

不安に思っている内容については、「子どもの進路・将来」が 42.2%で最も高く、ついで「自分の仕事」が 38.2%となっている。

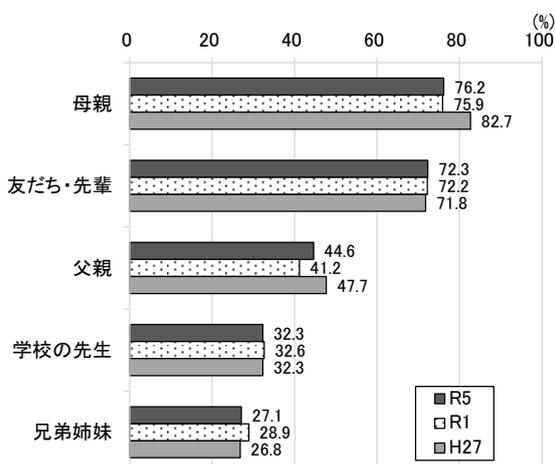
おとな：(問 16-1)具体的に不安に思っていること(主要項目)



6. 子どもの相談相手について

困ったことや悩みがあるときについて、相談したり話をきいてもらう人が「いる」と回答した子どもの割合は 91.5%と、前回から概ね横ばいとなった。相談相手としては「母親」が 76.2%で最も高く、ついで「友だち・先輩」が 72.3%となっている。

子ども：(問 15-1)困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人は誰か(主要項目)

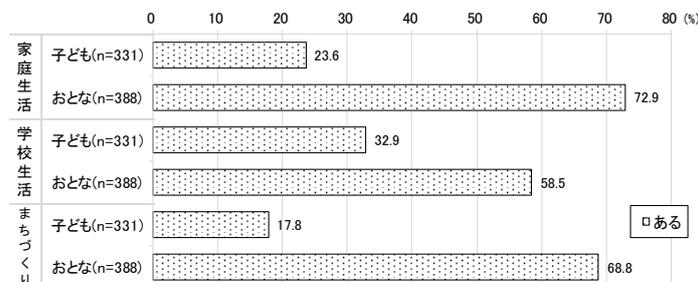


7. 子どもの意見表明・参加の機会について

もっと子どもの意見をきいてほしいと思うことが「ある」と回答した子どもの割合、およびもっと子どもの意見をきくようにした方が良いと思うことが「ある」と回答したおとなの割合は、それぞれ次のような結果となっている。

子ども：(問 17)(問 18)(問 19)もっと意見をきいてほしいと思うことはあるか

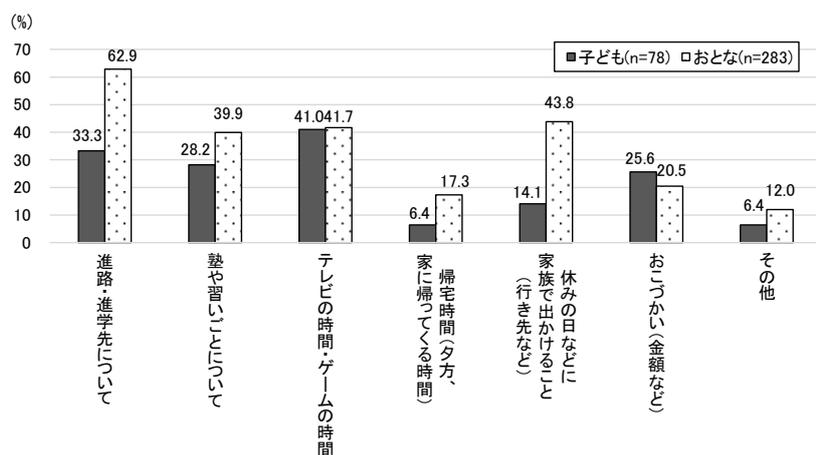
おとな：(問 19)(問 20)(問 21)もっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことはあるか



家庭生活について、子どもが意見をきいてほしいことは「テレビの時間・ゲームの時間」が最も高くなった一方、おとなが意見をきくようにした方が良いと思うことは「進路・進学先について」が最も高くなった。学校生活については、子どもは「校則(自分たちの学校のルール)の内容」が最も高くなった一方、おとなは「授業(内容・進め方)」が最も高くなった。まちづくりについては、子どもは「文化会館や市民プールのような大きな施設をつくる時」が最も高くなった一方、おとなは「公園や児童館のような子どもがよく使う施設をつくる時」が最も高くなった。

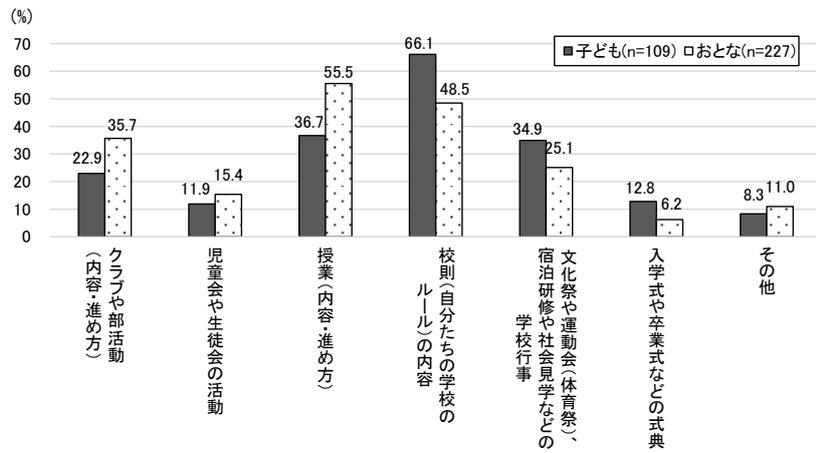
子ども：(問 17-1)家庭生活の中でもっと意見をきいてほしいことは何か

おとな：(問 19-1)家庭生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことは何か



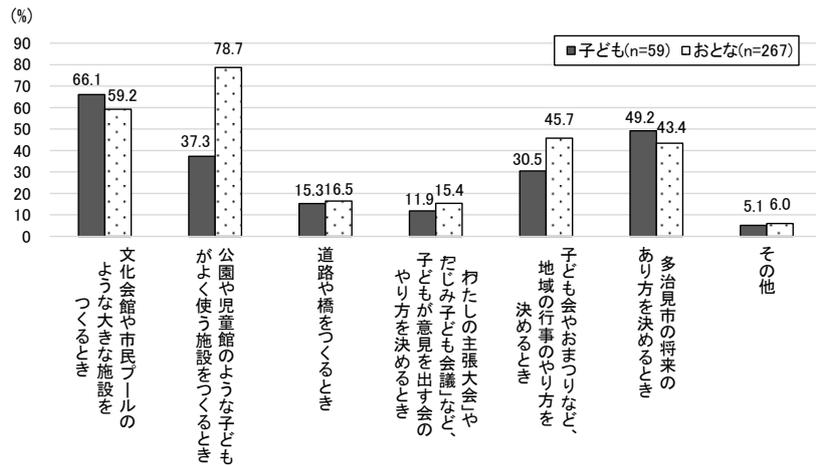
子ども：(問 18-1)学校生活の中でもっと意見をきいてほしいことは何か

おとな：(問 20-1)学校生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良くと思うことは何か



子ども：(問 19-1)まちづくりの中でもっと意見をきいてほしいことは何か

おとな：(問 21-1)まちづくりの中でもっと子どもの意見をきいた方が良くと思うことは何か

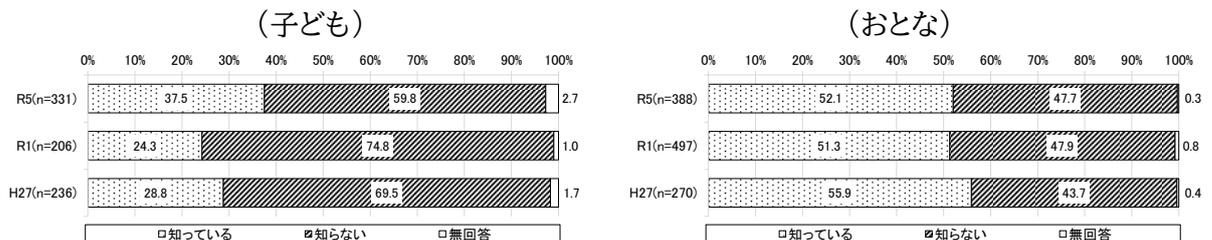


8. 多治見市子どもの権利に関する条例について

条例を知っている人の割合は、子どもは 37.5%で前回から上昇した。また、学校種別みると、年齢が上がるにつれて高くなっている。おとなは 52.1%で前回から概ね横ばいだった。

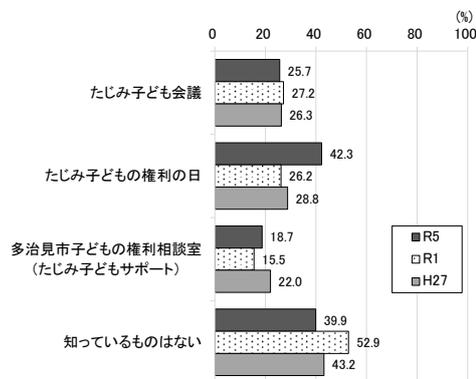
市が子どもの権利に関して行っている事業について、子どもの「たじみ子どもの権利の日」の認知度は 42.3%と、前回から上昇した。「知っているものはない」と回答した割合は前回から低下したものの、年齢が上がるにつれて高くなっている。

子ども：(問 21)・おとな：(問 22)子どもの権利に関する条例を知っているか

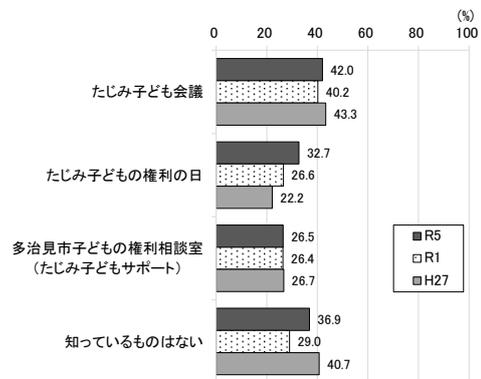


子ども:(問 22)・おとな:(問 23)市の事業の認知度

(子ども)



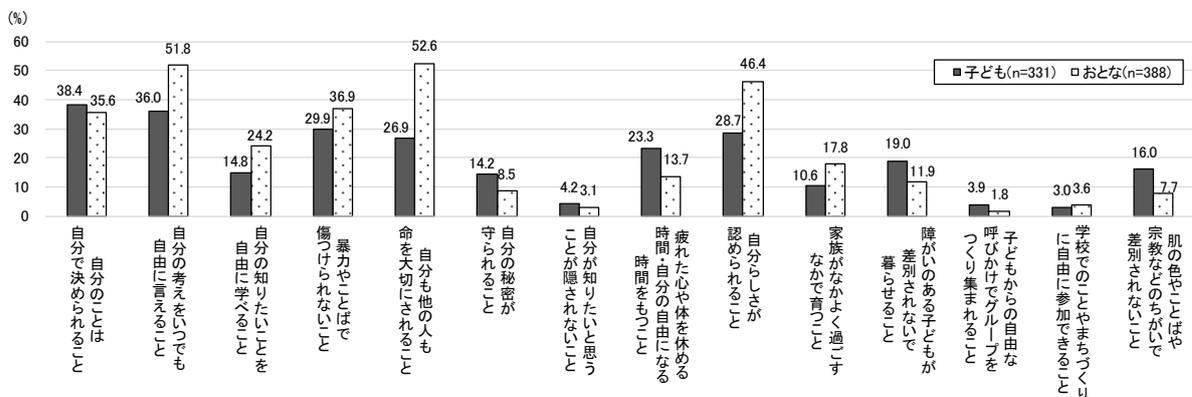
(おとな)



子どもが子どもの権利の中で特に大切だと思うことは、「自分のことは自分で決められること」が38.4%で最も高く、ついで「自分の考えをいつでも自由に言えること」が36.0%、「暴力やことばで傷つけられないこと」が29.9%となっている。

一方、おとなが子どもの権利の中で特に大切だと思うことは、「自分も他の人も命を大切にされること」が52.6%で最も高く、ついで「自分の考えをいつでも自由に言えること」が51.8%、「自分らしさが認められること」が46.4%となっている。

子ども:(問 24)・おとな:(問 24)子どもの権利の中で特に大切だと思うこと



9. 今後の課題

今回の調査結果では、子どもの自己肯定感が77.7%と、「第3次子どもの権利に関する推進計画後期計画」における令和6年度までの目標値78%に近づいた。子どもの自己肯定感は一貫して上昇傾向にある一方、性別や年齢によってばらつきがある。

また、子どもとおとなの回答を比較すると、子どもの自己肯定感、子どもにとって安心できる場所、意見を聞くべき内容、特に大切だと思う子どもの権利などにおいて、両者の認識が異なる。

このような実状をふまえ、第4次子どもの権利に関する推進計画を策定する必要がある。

第 1 章 調査の概要

1. 調査目的

多治見市の子どもの権利に関する意識と実態を把握し、「第 4 次子どもの権利に関する推進計画」の策定及び今後の子どもの権利保障に関する施策の検討資料とする。

2. 調査方法

(1) 調査期間

令和 5 年 8 月 2 日～8 月 22 日

(2) 調査対象

多治見市内に在住する次の要件の子どもとおとなで、住民基本台帳より無作為に抽出した 1,500 人。

ア 子ども:10～17 歳の子ども 750 人(小学 5 年生～高校 3 年生相当)

10～11 歳(小学生相当)・・・ 184 人

12～14 歳(中学生相当)・・・ 286 人

15～17 歳(高校生相当)・・・ 280 人

イ おとな:0～17 歳の子どもをもつ保護者 750 人

0 歳～2 歳の子どもの保護者・・・ 120 人

3 歳～5 歳の子どもの保護者・・・ 120 人

6 歳～8 歳の子どもの保護者・・・ 120 人

9 歳～11 歳の子どもの保護者・・・ 124 人

12 歳～14 歳の子どもの保護者・・・ 136 人

15 歳～17 歳の子どもの保護者・・・ 130 人

※令和元年度調査より、0～17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象となっている。

(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どもをもつ保護者が対象となっており、無作為抽出したおとな、子どもの各 500 人が調査対象)

(3) 調査実施機関

多治見市／多治見市子どもの権利委員会

(集計 (株)OKB 総研)

(4) 調査方法

郵送配布・郵送及び Web 回答回収

※礼状兼督促はがき 1 回配布

3. 回収結果

	子ども	おとな	合計
発送数	750	750	1,500
回収数	331	388	719
郵送	240	265	505
Web	91	123	214
回収率	44.1%	51.7%	47.9%

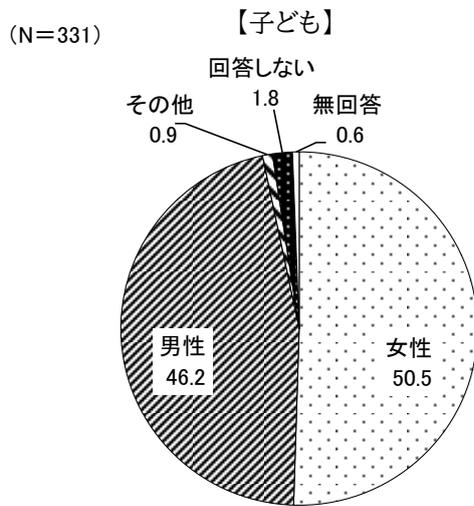
4. 調査結果の見方

- ①回答比率(%)は、原則としてその設問の回答者数(n)(無回答を含む)を基数として算出した。クロス集計の場合は、分類別の回答者数を基数として算出した。
- ②図中の n は、該当回答者数を表している。
- ③回答比率は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、単数回答であっても百分率の合計が 100%とならないことがある。
- ④クロス集計は、質問項目と対象者属性の掛け合わせを基本とし、本文中においても属性別結果について言及している。
- ⑤経年比較は、平成 27 年度、令和元年度の調査結果との比較を基本とし、本文中においては<経年比較>と表記した。ただし、調査項目や回答選択肢に変更があり、比較が困難なものについては、掲載がない。
- ⑥今回の調査から新たに追加した設問については、記載されているグラフの下にその旨を示している。
- ⑦自由記述については、寄せられた回答を項目ごとに整理し記載している。なお、回答の整理にあたっては、漢字表記や言葉遣い等は、原則として原文のままとしている。

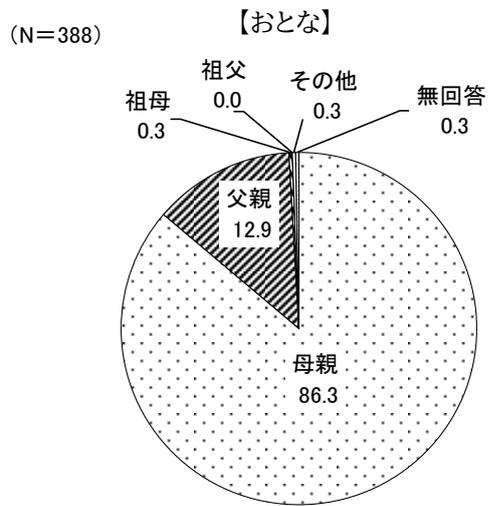
第 2 章 調査結果

回答者属性

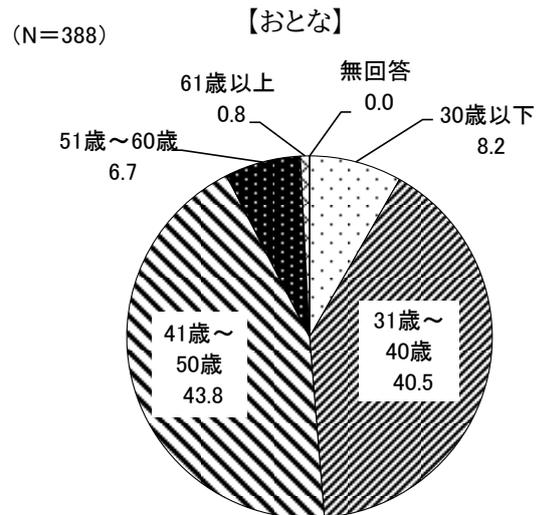
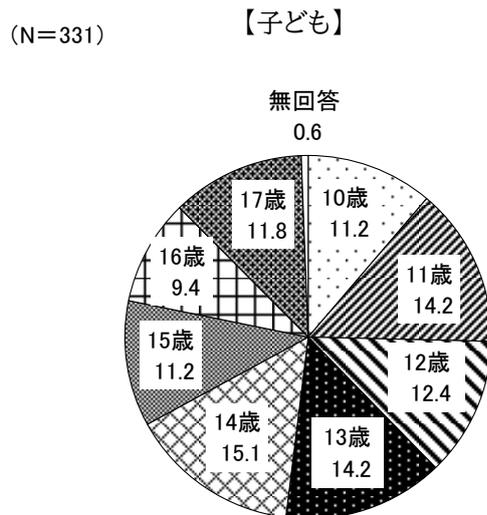
(1) 性別



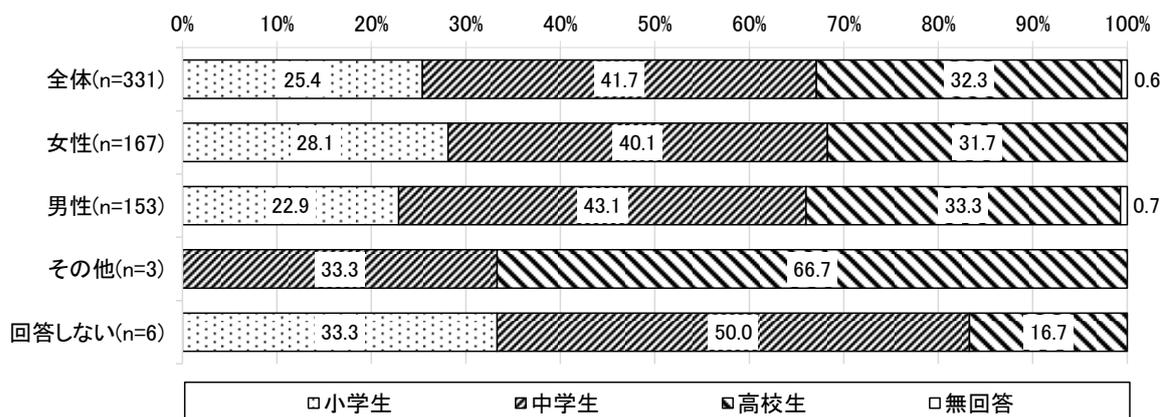
(2) 続柄



(3) 年齢



(4) 性別×学校種別



1. 子ども自身の思いと、おとなが考える子どもの思いについて

<子ども>
 問1 あなたは自分のことが好きですか。
 <おとな>
 問1 あなたは自分のことが好きですか。
 問2 子どもは自分自身のことを好きだと思いますか。

- ◆自分のことを「好き」「どちらかといえば好き」と答えた子どもは 77.7%
- ◆「子どもは自分自身のことを好きだと思う」おとなは 93.5%
- ◆おとな自身の自己肯定感は 78.9%

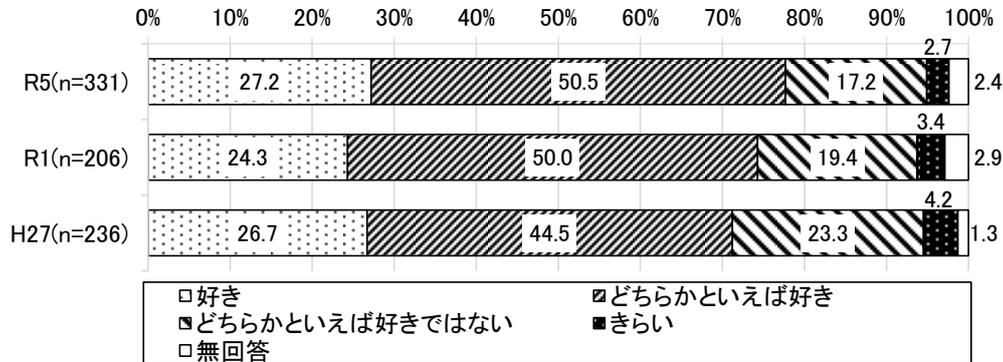
<分類別結果>

子ども：自分のことが「好き」

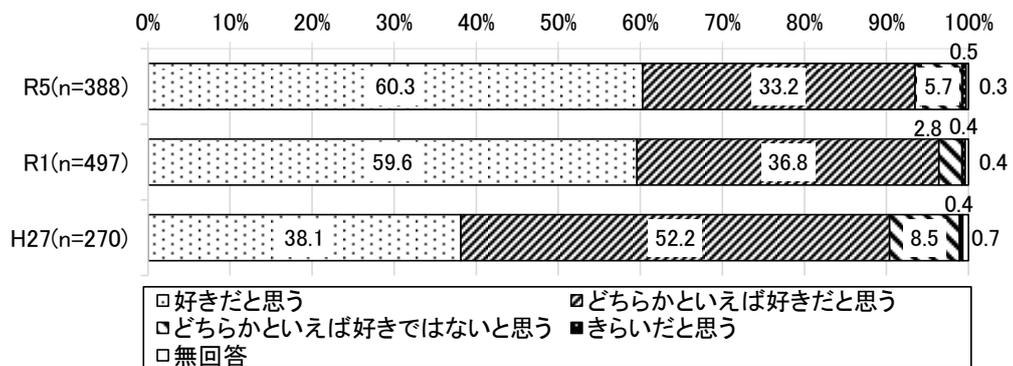
	最高値	最低値
年齢別	小学生(33.3%)	高校生(25.2%)
性別・年齢別	男性:小学生(42.9%)	女性:中学生(19.4%)

<経年比較>

子ども：(問1)自分のことが好きか



おとな：(問2)子どもは、子ども自身のことが好きだと思うか



※令和元年度調査より 0～17 歳の子どものもつ保護者が調査対象者となっている。
 (平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どものもつ保護者が対象)

「自分のことが好きか」という設問に対して、子どもは「好き」「どちらかといえば好き」と回答した割合が77.7%となっている。一方で「どちらかといえば好きではない」「きらい」と回答した割合が19.9%となっている。平成27年度、令和元年度の調査では「好き」「どちらかといえば好き」と回答した割合がそれぞれ71.2%、74.3%となっており、その割合は徐々に上昇している。

性別にみると、「好き」「どちらかといえば好き」と回答した割合は、女性が74.3%、男性が82.4%と、男性のほうが高くなっている。学校種別にみると、「好き」「どちらかといえば好き」と回答した割合は、小学生で最も高く、年齢が上がるにつれて、その割合が低下している。また、「どちらかといえば好きではない」「きらい」の割合は、年齢が上がるにつれ上昇している。

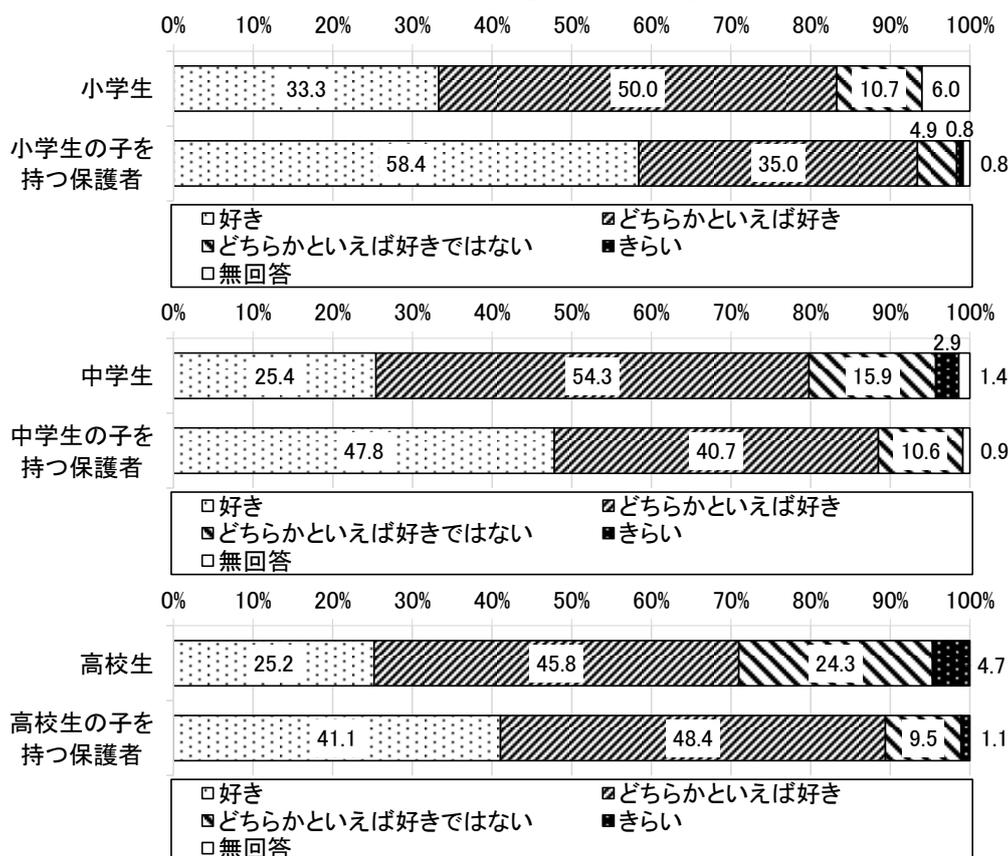
一方、「自分のことが好きか」という設問に対して、おとなは「好き」「どちらかといえば好き」と回答した割合が78.9%となっている。

おとなが考える子どもが、子ども自身のことを好きかどうかについては、「好きだと思う」「どちらかといえば好きだと思う」と回答した割合が93.5%と、子どもと比べて10ポイント以上の開きがある。

<年齢別集計結果>

子ども：(問1)自分のことが好きか<子どもの年齢とのクロス>

おとな：(問2)子どもは、子ども自身のことが好きだと思うか<子どもの年齢とのクロス>



<性別・年齢別集計結果>

子ども:(問1)自分のことが好きか

		合計	好き	どちらかといえ ば好き	どちらかといえ ば好きではない	きれい	無回答
全体		331	90	167	57	9	8
		100.0	27.2	50.5	17.2	2.7	2.4
性別	女性	167	37	87	31	8	4
		100.0	22.2	52.1	18.6	4.8	2.4
	男性	153	52	74	23	1	3
		100.0	34.0	48.4	15.0	0.7	2.0
	その他	3	-	3	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-
	回答しない	6	-	3	3	-	-
		100.0	-	50.0	50.0	-	-
学校種別	小学生	84	28	42	9	-	5
		100.0	33.3	50.0	10.7	-	6.0
	中学生	138	35	75	22	4	2
	100.0	25.4	54.3	15.9	2.9	1.4	
	高校生	107	27	49	26	5	-
		100.0	25.2	45.8	24.3	4.7	-
性別×学校種別	女性:小学生	47	13	26	4	-	4
		100.0	27.7	55.3	8.5	-	8.5
	女性:中学生	67	13	38	12	4	-
		100.0	19.4	56.7	17.9	6.0	-
	女性:高校生	53	11	23	15	4	-
		100.0	20.8	43.4	28.3	7.5	-
	男性:小学生	35	15	15	4	-	1
		100.0	42.9	42.9	11.4	-	2.9
	男性:中学生	66	21	35	8	-	2
		100.0	31.8	53.0	12.1	-	3.0
	男性:高校生	51	16	23	11	1	-
		100.0	31.4	45.1	21.6	2.0	-
		その他:小学生	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
	その他:中学生	1	-	1	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-
	その他:高校生	2	-	2	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-
	回答しない:小学生	2	-	1	1	-	-
		100.0	-	50.0	50.0	-	-
	回答しない:中学生	3	-	1	2	-	-
		100.0	-	33.3	66.7	-	-
	回答しない:高校生	1	-	1	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-

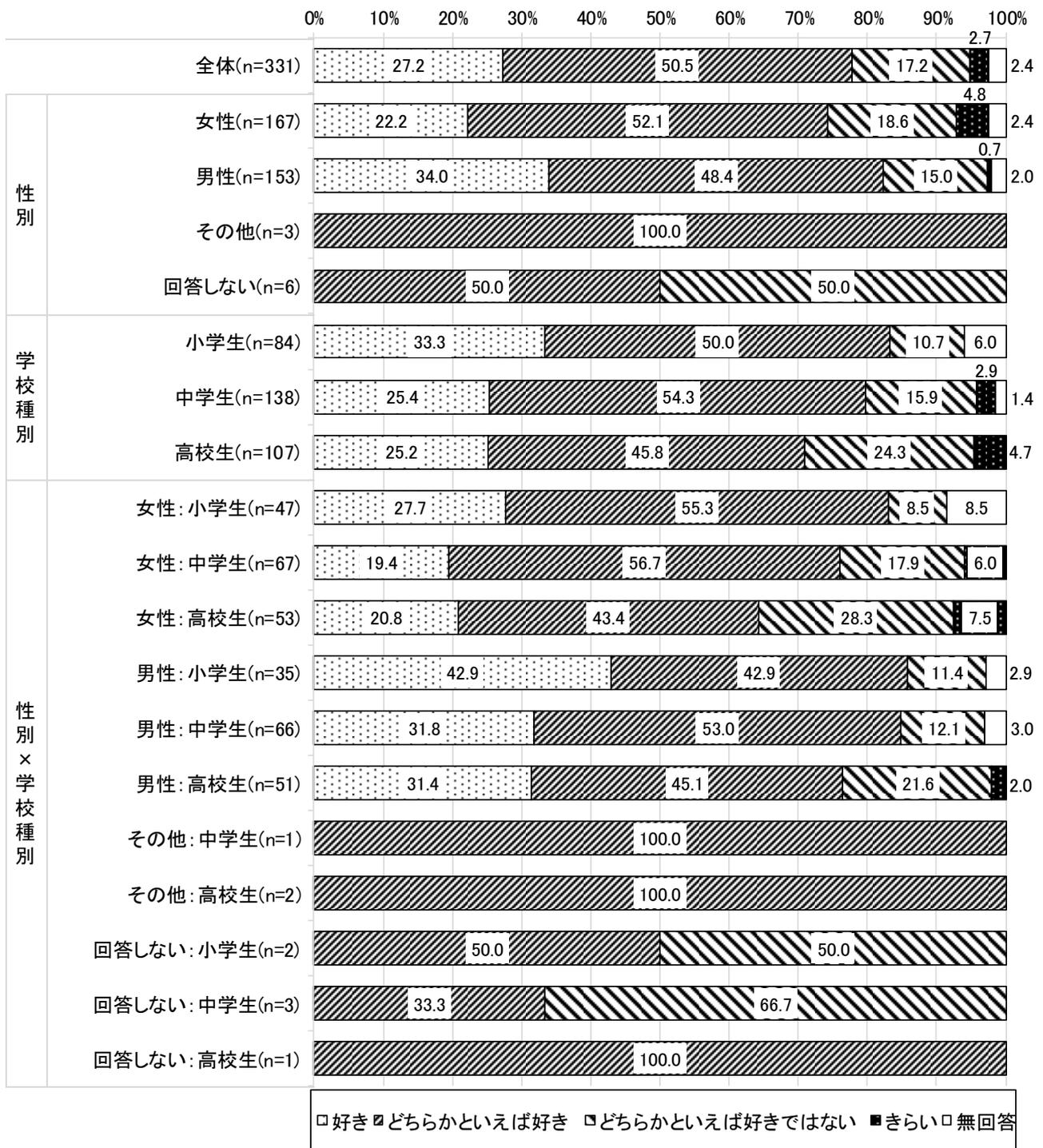
おとな:(問1)自分のことが好きか

		合計	好き	どちらかといえ ば好き	どちらかといえ ば好きではない	きらい	無回答
全体		388	78	228	73	5	4
		100.0	20.1	58.8	18.8	1.3	1.0
年齢別	30歳以下	32	6	22	3	-	1
		100.0	18.8	68.8	9.4	-	3.1
	31歳～40歳	157	33	94	27	1	2
		100.0	21.0	59.9	17.2	0.6	1.3
	41歳～50歳	170	33	96	37	3	1
		100.0	19.4	56.5	21.8	1.8	0.6
	51歳～60歳	26	6	14	6	-	-
		100.0	23.1	53.8	23.1	-	-
	61歳以上	3	-	2	-	1	-
		100.0	-	66.7	-	33.3	-

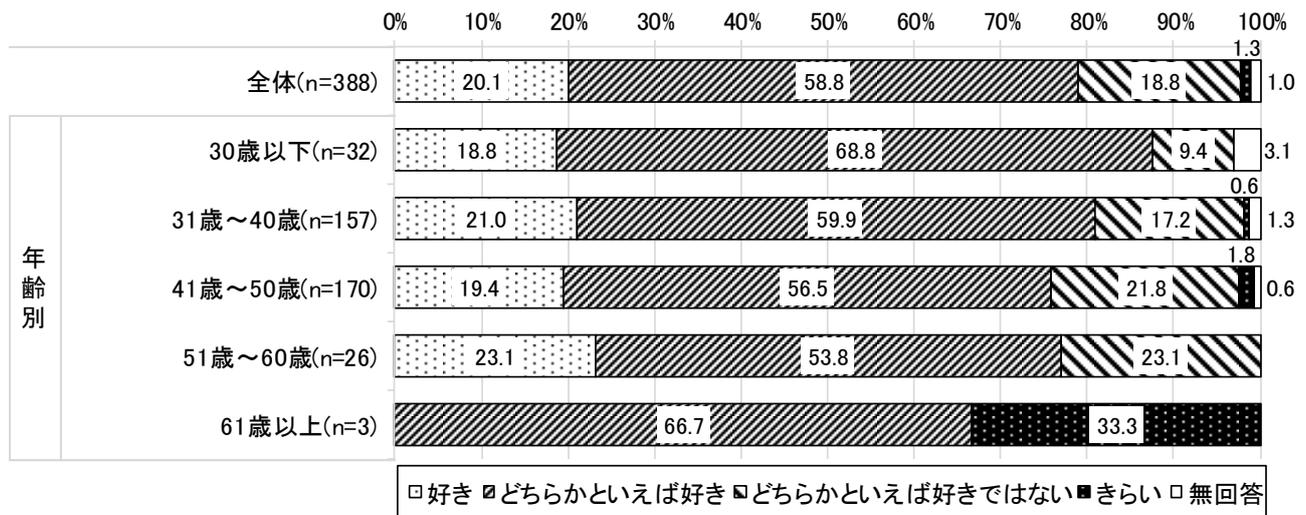
おとな:(問2)子どもは、子ども自身のことが好きだと思うか

		合計	好きだと思 う	どちらかといえ ば好きだと思 う	どちらかといえ ば好きでは ないと思 う	きらいだと思 う	無回答
全体		388	234	129	22	2	1
		100.0	60.3	33.2	5.7	0.5	0.3
年齢別	30歳以下	32	26	6	-	-	-
		100.0	81.3	18.8	-	-	-
	31歳～40歳	157	113	39	4	1	-
		100.0	72.0	24.8	2.5	0.6	-
	41歳～50歳	170	84	69	15	1	1
		100.0	49.4	40.6	8.8	0.6	0.6
	51歳～60歳	26	10	13	3	-	-
		100.0	38.5	50.0	11.5	-	-
	61歳以上	3	1	2	-	-	-
		100.0	33.3	66.7	-	-	-

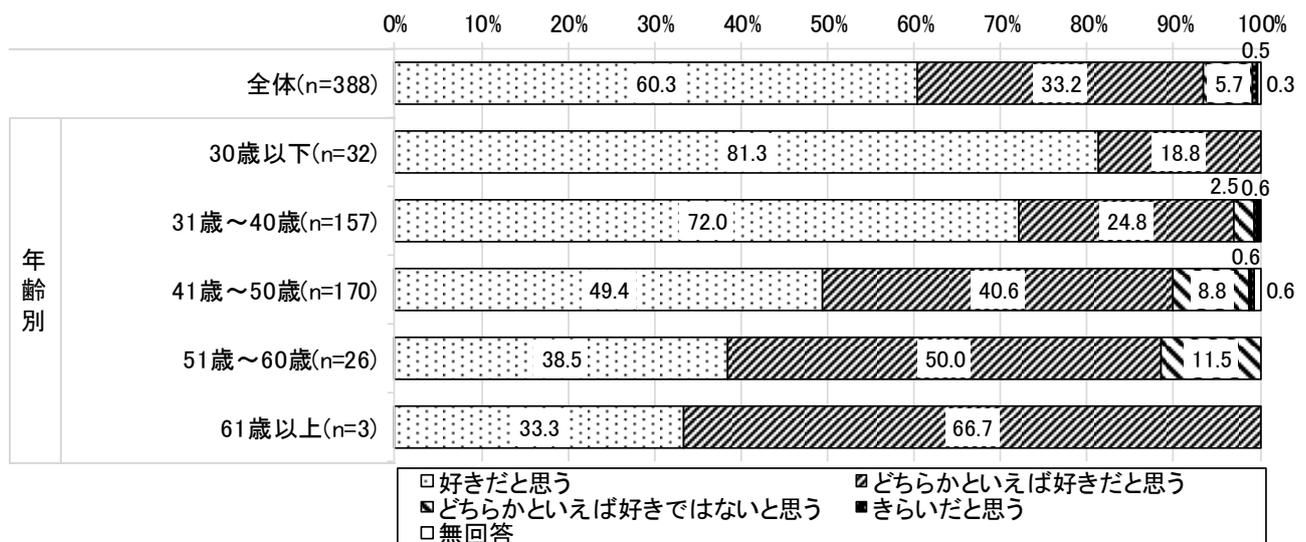
子ども:(問1)自分のことが好きか



おとな:(問 1)自分のことが好きか



おとな:(問 2)子どもは、子ども自身のことが好きだと思うか



<子ども>

問2 あなたは、親やまわりのおとなから「自分は大切にされている」と感じていますか。

<おとな>

問3 子どもは、親やまわりのおとなから「自分は大切にされている」と感じていると思いますか。

◆「大切にされている」と感じている子どもは 97.9%

◆「大切にされている」と子どもが感じていると考えるおとなは 96.7%

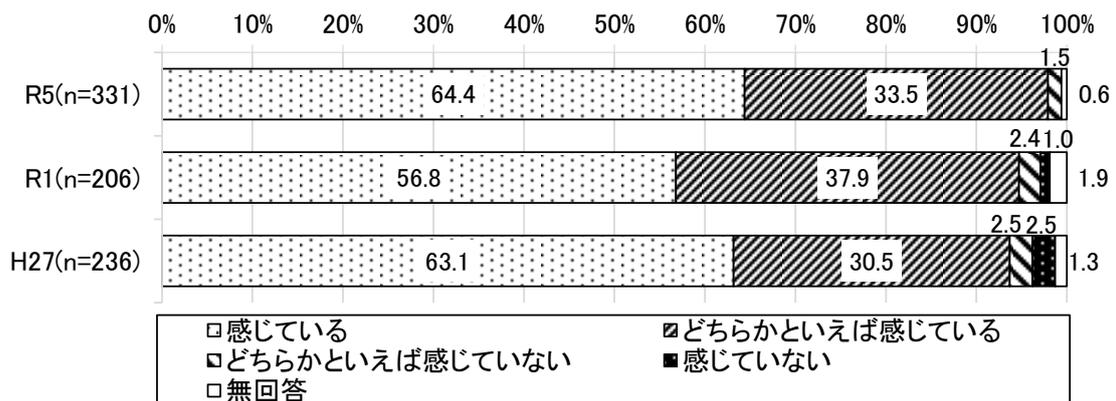
<分類別結果>

子ども：おとなから大切にされていると「感じている」

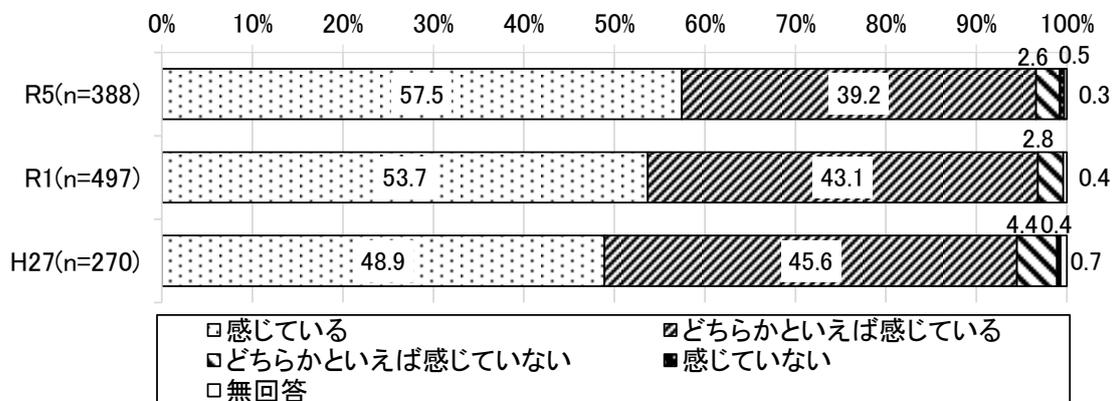
	最高値	最低値
年齢別	小学生(75.0%)	高校生(55.1%)
性別・年齢別	男性:小学生(85.7%)	女性:高校生(54.7%)

<経年比較>

子ども：(問2)おとなから大切にされていると感じているか



おとな：(問3)子どもは、おとなから大切にされていると感じていると思うか



※令和元年度調査より 0～17 歳の子どものもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どものもつ保護者が対象)

おとなから大切にされていると「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した割合は 97.9%となっている。平成 27 年度、令和元年度の調査では、「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した割合が、それぞれ 93.6%、94.7%となっており、その割合は徐々に上昇している。

性別にみると大きな男女差はなく、90%台となっている。また、学校種別にみると、いずれも 90%以上が「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答している。

おとなでは、「子どもはおとなから大切にされていると感じているか」という設問に対して、「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した割合が 96.7%となっている。また、「感じている」と回答した割合は平成 27 年度から徐々に上昇している。

<性別・年齢別集計結果>

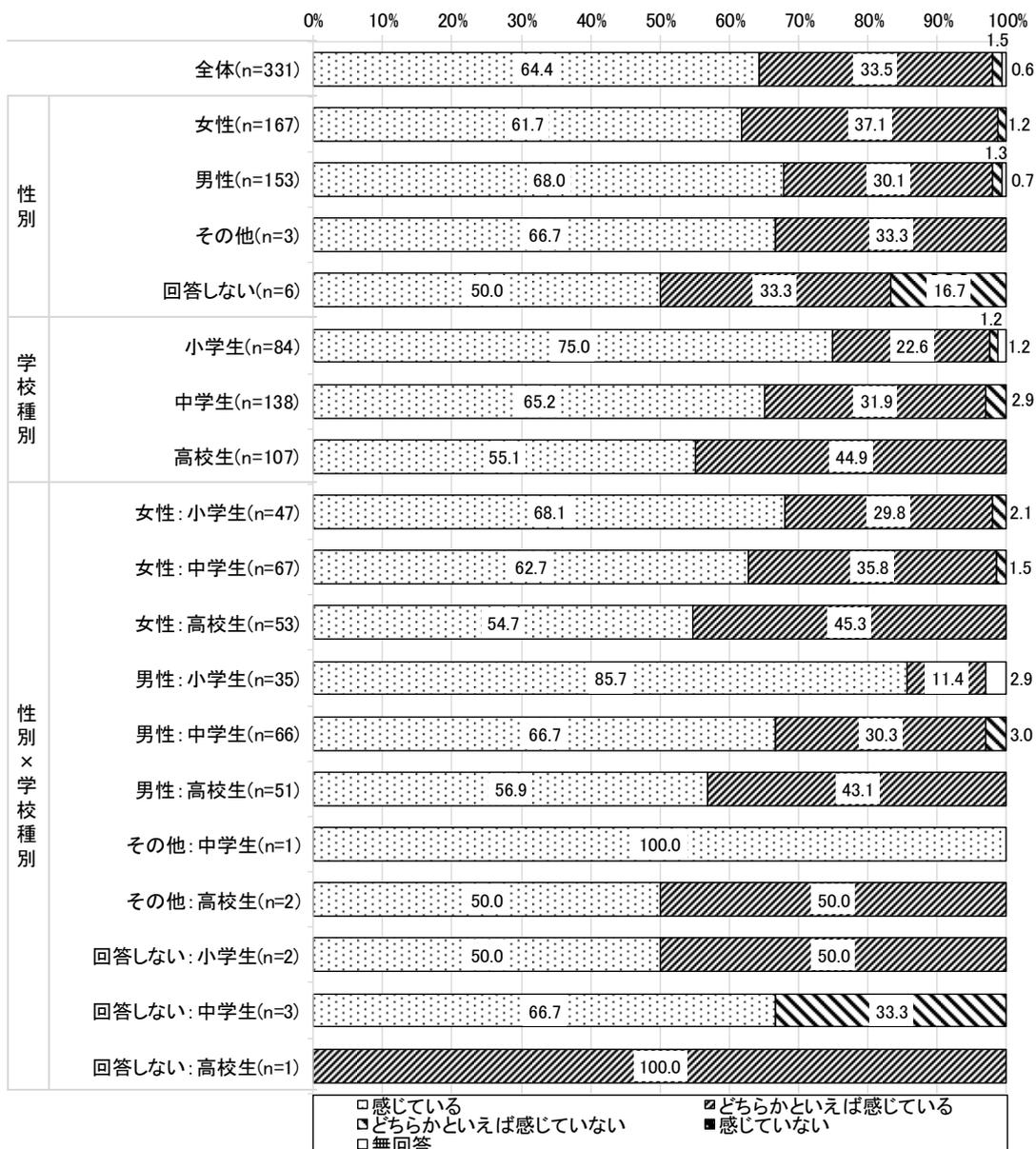
子ども：(問 2)おとなから大切にされていると感じているか

		合計	感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	無回答
全体		331	213	111	5	-	2
		100.0	64.4	33.5	1.5	-	0.6
性別	女性	167	103	62	2	-	-
		100.0	61.7	37.1	1.2	-	-
	男性	153	104	46	2	-	1
		100.0	68.0	30.1	1.3	-	0.7
	その他	3	2	1	-	-	-
		100.0	66.7	33.3	-	-	-
	回答しない	6	3	2	1	-	-
		100.0	50.0	33.3	16.7	-	-
学校種別	小学生	84	63	19	1	-	1
		100.0	75.0	22.6	1.2	-	1.2
	中学生	138	90	44	4	-	-
		100.0	65.2	31.9	2.9	-	-
	高校生	107	59	48	-	-	-
		100.0	55.1	44.9	-	-	-
性別×学校種別	女性：小学生	47	32	14	1	-	-
		100.0	68.1	29.8	2.1	-	-
	女性：中学生	67	42	24	1	-	-
		100.0	62.7	35.8	1.5	-	-
	女性：高校生	53	29	24	-	-	-
		100.0	54.7	45.3	-	-	-
	男性：小学生	35	30	4	-	-	1
		100.0	85.7	11.4	-	-	2.9
	男性：中学生	66	44	20	2	-	-
		100.0	66.7	30.3	3.0	-	-
	男性：高校生	51	29	22	-	-	-
		100.0	56.9	43.1	-	-	-
	その他：小学生	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	
その他：中学生	1	1	-	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	-	
その他：高校生	2	1	1	-	-	-	
	100.0	50.0	50.0	-	-	-	
回答しない：小学生	2	1	1	-	-	-	
	100.0	50.0	50.0	-	-	-	
回答しない：中学生	3	2	-	1	-	-	
	100.0	66.7	-	33.3	-	-	
回答しない：高校生	1	-	1	-	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	-	

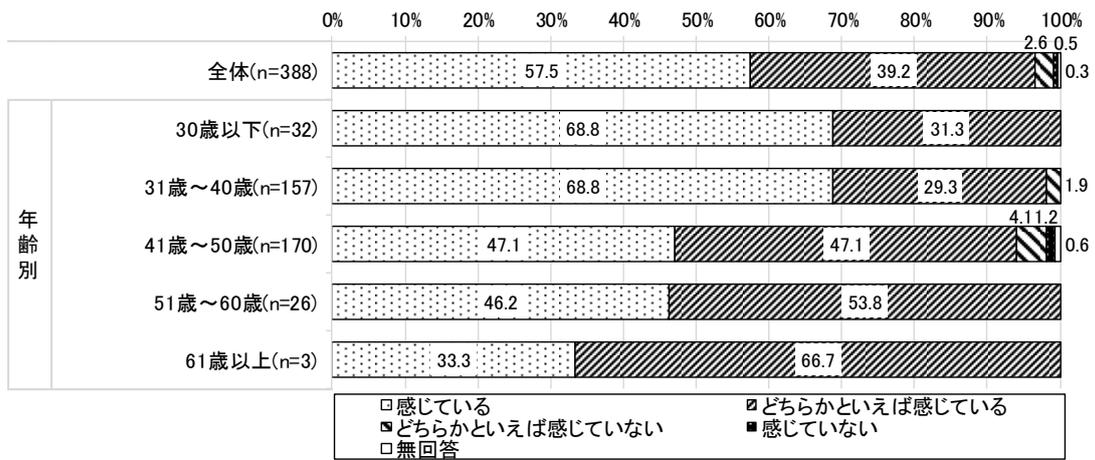
おとな:(問3)子どもは、おとなから大切にされていると感じていると思うか

		合計	感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	無回答
全体		388	223	152	10	2	1
		100.0	57.5	39.2	2.6	0.5	0.3
年齢別	30歳以下	32	22	10	-	-	-
		100.0	68.8	31.3	-	-	-
	31歳~40歳	157	108	46	3	-	-
		100.0	68.8	29.3	1.9	-	-
	41歳~50歳	170	80	80	7	2	1
		100.0	47.1	47.1	4.1	1.2	0.6
51歳~60歳	26	12	14	-	-	-	
	100.0	46.2	53.8	-	-	-	
61歳以上	3	1	2	-	-	-	
	100.0	33.3	66.7	-	-	-	

子ども:(問2)おとなから大切にされていると感じているか



おとな:(問3)子どもは、おとなから大切にされていると感じていると思うか



<子ども>

問3 将来の夢やなりたい職業はありますか。

<おとな>

問4 あなたには、子どもの話をきいたり、子どもと一緒に遊んだり、子どもとかかわる時間が十分にありますか。

◆将来の夢やなりたい職業がある子どもは 77.4%

<分類別結果>

子ども:将来の夢が「ある」

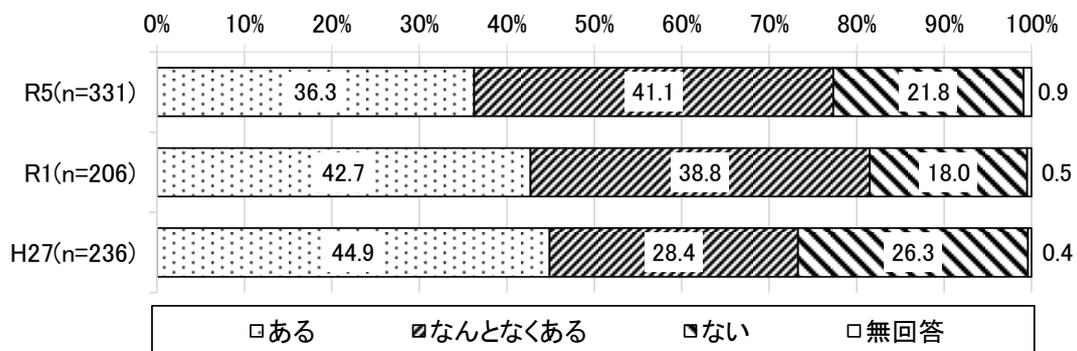
	最高値	最低値
年齢別	小学生(41.7%)	中学生(33.3%)
性別・年齢別	男性:小学生(42.9%)	男性:中学生(28.8%)

子ども:将来の夢が「ない」

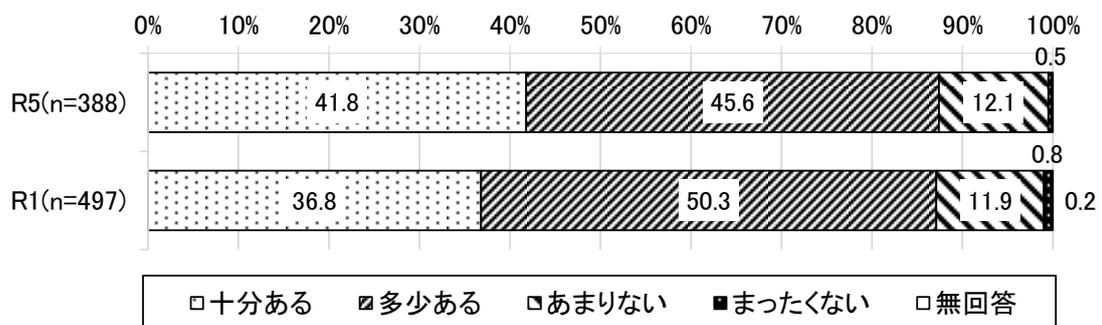
	最高値	最低値
年齢別	小学生(22.6%)	高校生(20.6%)
性別・年齢別	女性:小学生(27.7%)	男性:小学生(14.3%)

<経年比較>

子ども:(問3)将来の夢やなりたい職業はあるか



おとな:(問4)子どもとかかわる時間が十分にあるか



※本設問は、令和元年度調査より新規に追加された設問となっている。
 ※令和元年度調査の設問は「あなたには、子どもの話を十分にきく時間がありますか。」であった。

将来の夢やなりたい職業が「ある」「なんとなくある」と回答した割合は 77.4%と、令和元年度の調査の 81.5%から低下している。

性別にみると、「ある」「なんとなくある」と回答した割合は、女性が 79.0%、男性が 76.4%となっている。また、「ある」と回答した女性の割合は 40.1%と、男性の 33.3%よりも高くなっている。学校種別にみると、年齢が上がるにつれて「ある」「なんとなくある」と回答した割合が高くなっている。

また、おとなが子どもとかかわる時間をみると、「十分ある」「多少ある」と回答した割合が 87.4%と、令和元年度の調査の 87.1%から概ね横ばいとなっている。

<性別・年齢別集計結果>

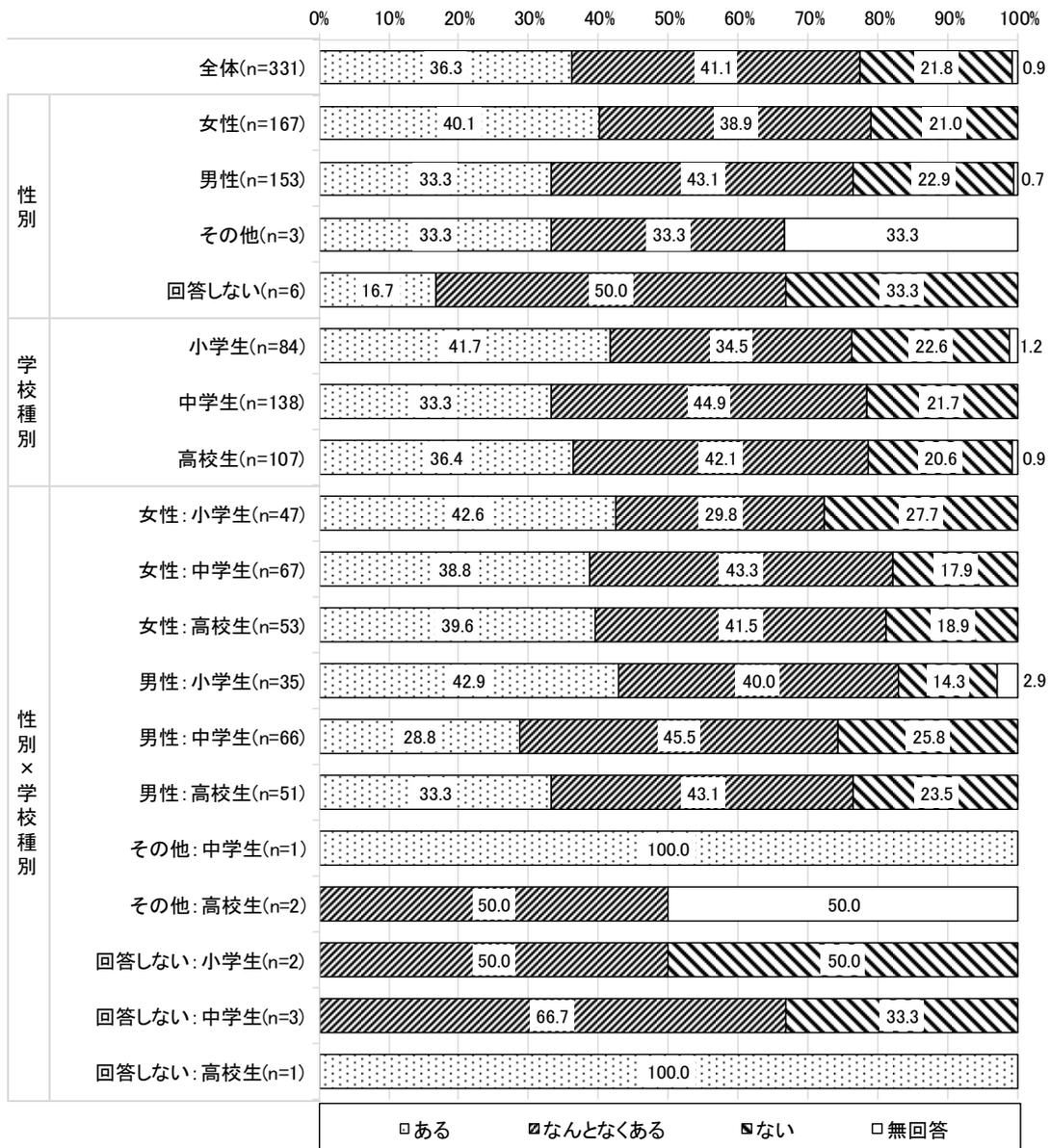
子ども：(問3)将来の夢やなりたい職業はあるか

		合計	ある	なんとなくある	ない	無回答
全体		331	120	136	72	3
		100.0	36.3	41.1	21.8	0.9
性別	女性	167	67	65	35	-
		100.0	40.1	38.9	21.0	-
	男性	153	51	66	35	1
		100.0	33.3	43.1	22.9	0.7
	その他	3	1	1	-	1
100.0	33.3	33.3	-	33.3		
	回答しない	6	1	3	2	-
	100.0	16.7	50.0	33.3	-	
学校種別	小学生	84	35	29	19	1
		100.0	41.7	34.5	22.6	1.2
	中学生	138	46	62	30	-
		100.0	33.3	44.9	21.7	-
	高校生	107	39	45	22	1
		100.0	36.4	42.1	20.6	0.9
性別×学校種別	女性：小学生	47	20	14	13	-
		100.0	42.6	29.8	27.7	-
	女性：中学生	67	26	29	12	-
		100.0	38.8	43.3	17.9	-
	女性：高校生	53	21	22	10	-
		100.0	39.6	41.5	18.9	-
	男性：小学生	35	15	14	5	1
		100.0	42.9	40.0	14.3	2.9
	男性：中学生	66	19	30	17	-
		100.0	28.8	45.5	25.8	-
	男性：高校生	51	17	22	12	-
		100.0	33.3	43.1	23.5	-
	その他：小学生	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
その他：中学生	1	1	-	-	-	
100.0	100.0	-	-	-		
その他：高校生	2	-	1	-	1	
100.0	-	50.0	-	50.0		
回答しない：小学生	2	-	1	1	-	
100.0	-	50.0	50.0	-		
回答しない：中学生	3	-	2	1	-	
100.0	-	66.7	33.3	-		
回答しない：高校生	1	1	-	-	-	
100.0	100.0	-	-	-		

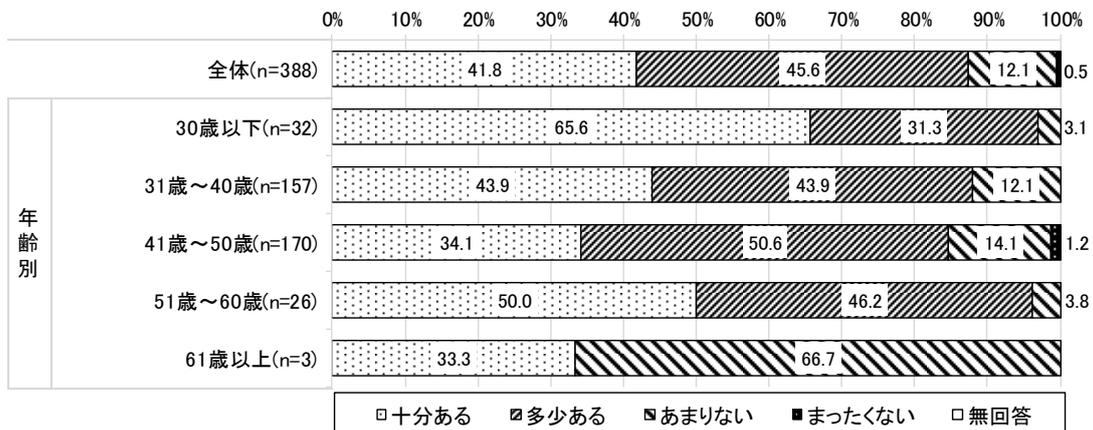
おとな：(問4)子どもとかかわる時間が十分にあるか

		合計	十分ある	多少ある	あまりない	まったくない	無回答
全体		388	162	177	47	2	-
		100.0	41.8	45.6	12.1	0.5	-
年齢別	30歳以下	32	21	10	1	-	-
		100.0	65.6	31.3	3.1	-	-
	31歳～40歳	157	69	69	19	-	-
		100.0	43.9	43.9	12.1	-	-
	41歳～50歳	170	58	86	24	2	-
		100.0	34.1	50.6	14.1	1.2	-
	51歳～60歳	26	13	12	1	-	-
		100.0	50.0	46.2	3.8	-	-
	61歳以上	3	1	-	2	-	-
		100.0	33.3	-	66.7	-	-

子ども：(問 3)将来の夢やなりたい職業はあるか



おとな：(問 4)子どもとかかわる時間が十分にあるか



<子ども>

問4 遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にありますか。

<おとな>

問5 子どもには、遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にあると思いますか。

◆遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が「ある」「どちらかといえばある」と答えた子どもは 92.8%

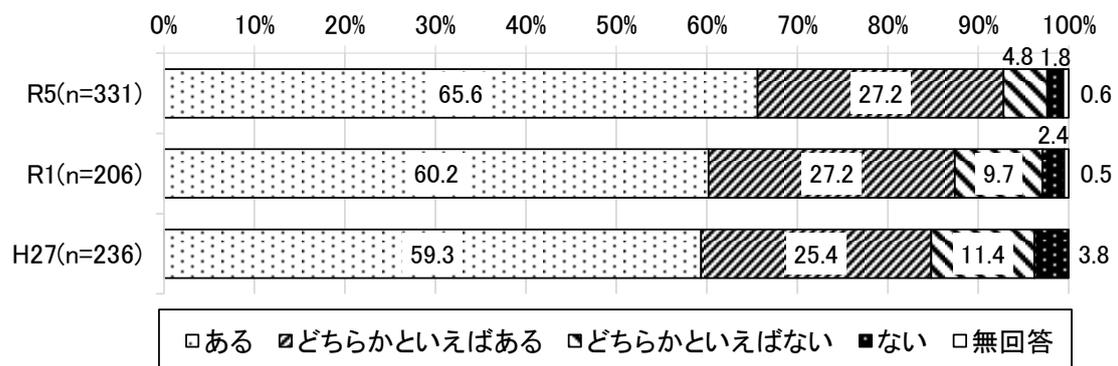
◆子どもは、遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が「あると思う」「どちらかといえばあると思う」と答えたおとなは 93.8%

<分類別結果>

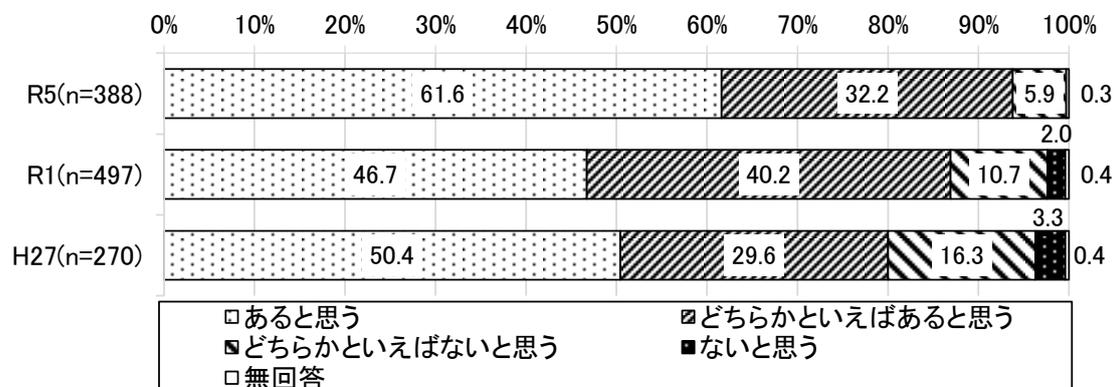
子ども：遊んだり、休んだり自分の好きなことをする時間が「ある」

	最高値	最低値
年齢別	小学生(72.6%)	高校生(58.9%)
性別・年齢別	女性:小学生(74.5%)	男性:高校生(58.8%)

子ども：(問4)遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にあるか



おとな：(問5)子どもには、遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にあると思うか



※令和元年度調査より 0～17 歳の子どものもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どものもつ保護者が対象)

遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が「ある」「どちらかといえばある」と答えた子どもは 92.8%となっている。平成 27 年度、令和元年度の調査では「ある」「どちらかといえばある」と回答した割合がそれぞれ 84.7%、87.4%となっており、上昇傾向にある。

性別にみると、「ある」「どちらかといえばある」と回答した割合は女性・男性ともに 90%台前半となっている。また、学校種別にみると、「ある」「どちらかといえばある」と回答した割合はいずれも 90%台前半となっている。一方、「ある」と回答した割合は、年齢が上がるにつれて徐々に上昇する傾向がみられる。

おとなでは、「子どもには、遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にあると思うか」という設問に対し、「あると思う」「どちらかといえばあると思う」と回答した割合は 93.8%と、平成 27 年度から上昇傾向にある。また、「あると思う」と回答した割合は 61.6%と、令和元年度の調査の 46.7%から上昇している。

<性別・年齢別集計結果>

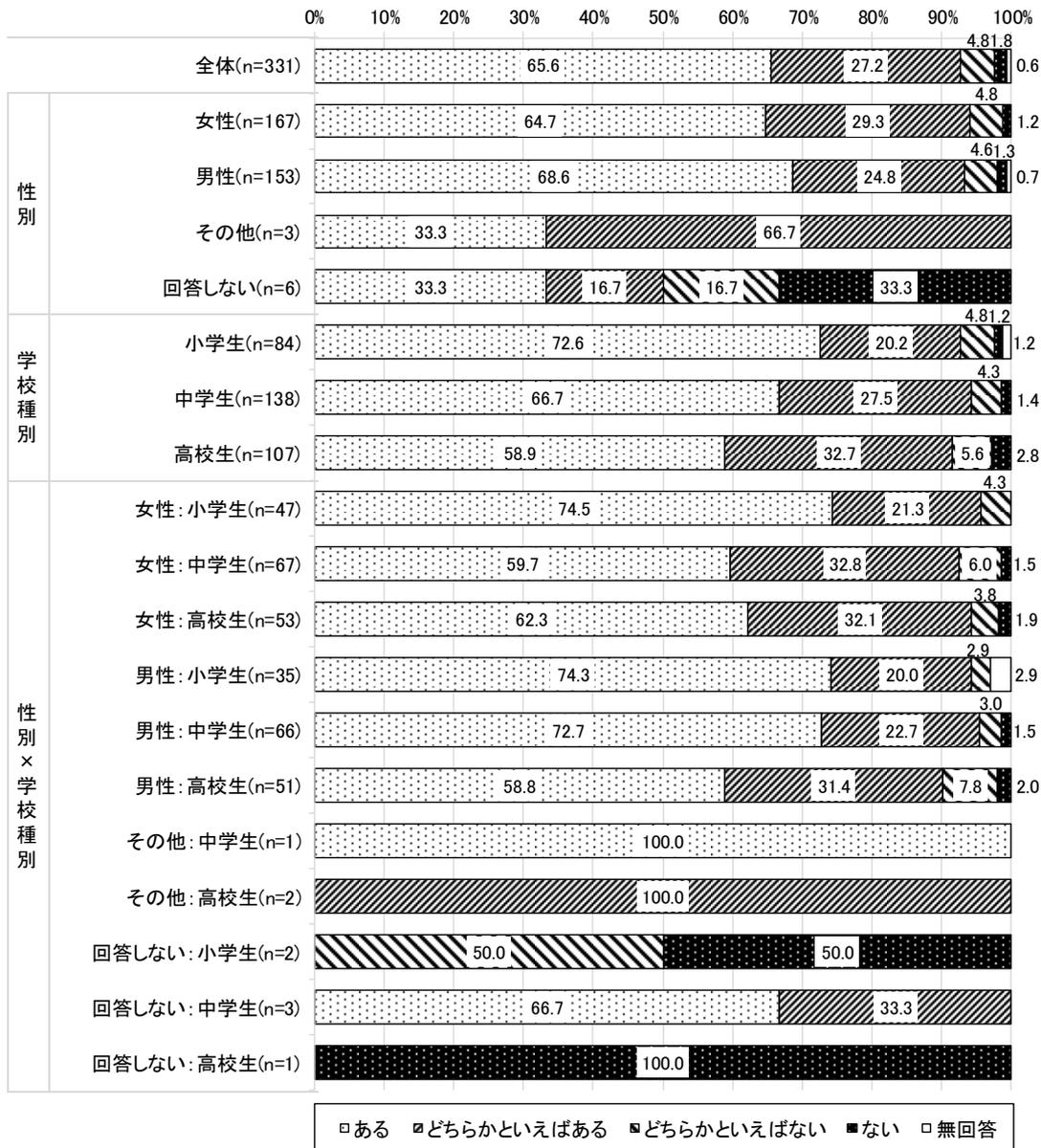
子ども:(問4)遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にあるか

		合計	ある	どちらかといえ ばある	どちらかといえ ばない	ない	無回答
全体		331	217	90	16	6	2
		100.0	65.6	27.2	4.8	1.8	0.6
性別	女性	167	108	49	8	2	-
		100.0	64.7	29.3	4.8	1.2	-
	男性	153	105	38	7	2	1
		100.0	68.6	24.8	4.6	1.3	0.7
その他		3	1	2	-	-	-
		100.0	33.3	66.7	-	-	-
回答しない		6	2	1	1	2	-
		100.0	33.3	16.7	16.7	33.3	-
学校種別	小学生	84	61	17	4	1	1
		100.0	72.6	20.2	4.8	1.2	1.2
	中学生	138	92	38	6	2	-
	100.0	66.7	27.5	4.3	1.4	-	
高校生		107	63	35	6	3	-
		100.0	58.9	32.7	5.6	2.8	-
性別×学校種別	女性:小学生	47	35	10	2	-	-
		100.0	74.5	21.3	4.3	-	-
	女性:中学生	67	40	22	4	1	-
		100.0	59.7	32.8	6.0	1.5	-
	女性:高校生	53	33	17	2	1	-
		100.0	62.3	32.1	3.8	1.9	-
	男性:小学生	35	26	7	1	-	1
		100.0	74.3	20.0	2.9	-	2.9
	男性:中学生	66	48	15	2	1	-
		100.0	72.7	22.7	3.0	1.5	-
	男性:高校生	51	30	16	4	1	-
		100.0	58.8	31.4	7.8	2.0	-
	その他:小学生	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
その他:中学生	1	1	-	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	-	
その他:高校生	2	-	2	-	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	-	
回答しない:小学生	2	-	-	1	1	-	
	100.0	-	-	50.0	50.0	-	
回答しない:中学生	3	2	1	-	-	-	
	100.0	66.7	33.3	-	-	-	
回答しない:高校生	1	-	-	-	1	-	
	100.0	-	-	-	100.0	-	

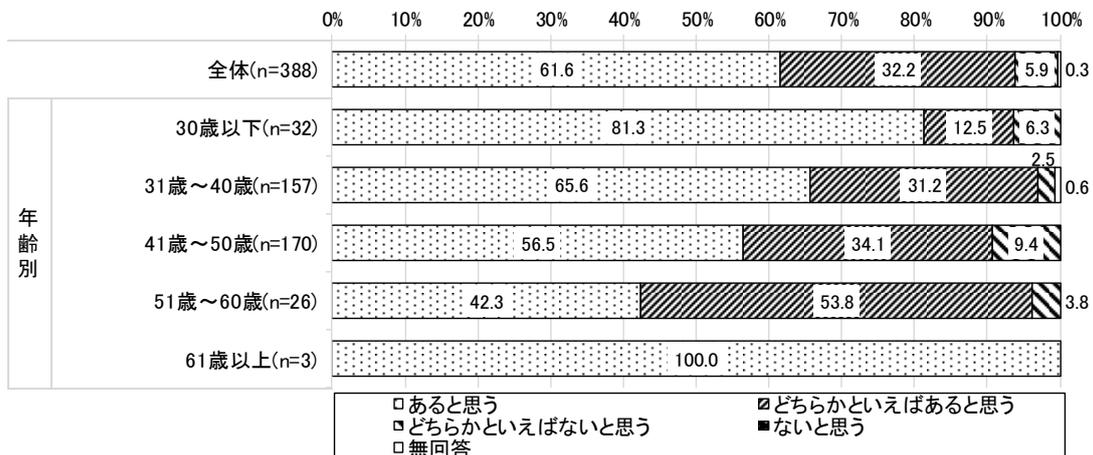
おとな:(問5)子どもには、遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にあると思うか

		合計	あると 思う	どちらかといえ ばあると 思う	どちらかといえ ばないと 思う	ないと 思う	無回答
全体		388	239	125	23	-	1
		100.0	61.6	32.2	5.9	-	0.3
年齢別	30歳以下	32	26	4	2	-	-
		100.0	81.3	12.5	6.3	-	-
	31歳~40歳	157	103	49	4	-	1
		100.0	65.6	31.2	2.5	-	0.6
	41歳~50歳	170	96	58	16	-	-
	100.0	56.5	34.1	9.4	-	-	
51歳~60歳		26	11	14	1	-	-
		100.0	42.3	53.8	3.8	-	-
61歳以上		3	3	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-

子ども：(問 4)遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にあるか



おとな：(問 5)子どもには、遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にあると思うか



<子ども>

問5 自分にとって、安心できる場所だと思うところがありますか。ある場合は当てはまる場所を3つまで選んでください。

<おとな>

問6 子どもにとって、安心できる場所だと思うところがありますか。

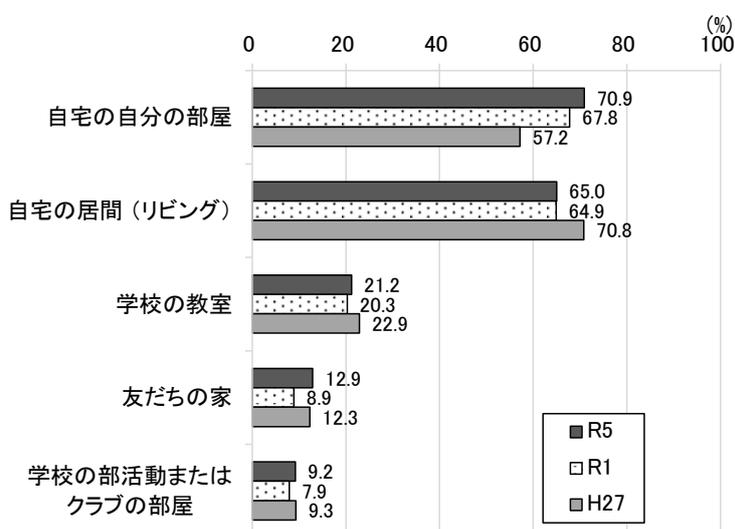
問6-1 問6で「①ある」と答えた人におたずねします。それは、どこですか。

◆子どもにとって安心できる場所は「自宅の自分の部屋」で70.9%

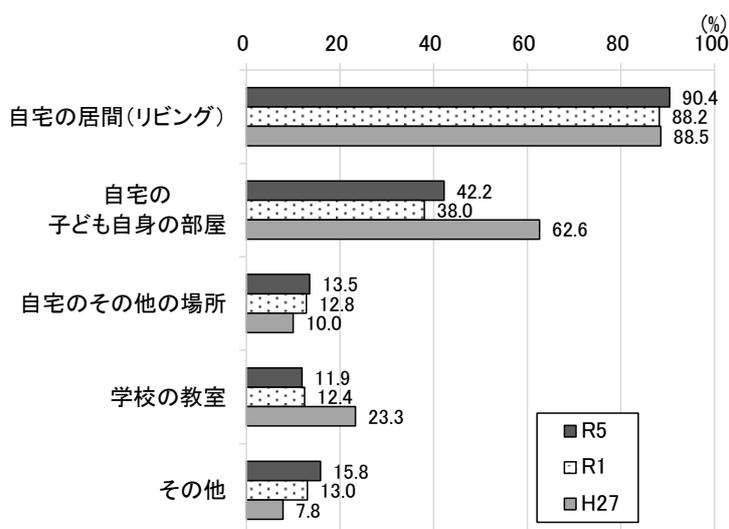
◆おとなが考える子どもにとって安心できる場所は「自宅の居間(リビング)」で90.4%

<経年比較>

子ども:(問5)安心できる場所はどこか(主要項目)



おとな:(問6-1)子どもにとって安心できる場所はどこだと思うか(主要項目)



※令和元年度調査より0~17歳の子どものもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成27年度調査以前は10~17歳の子どものもつ保護者が対象)

「安心できる場所はどこか」という設問に対して、子どもは「自宅の自分の部屋」が最も高く、70.9%となり、平成27年度から上昇傾向にある。

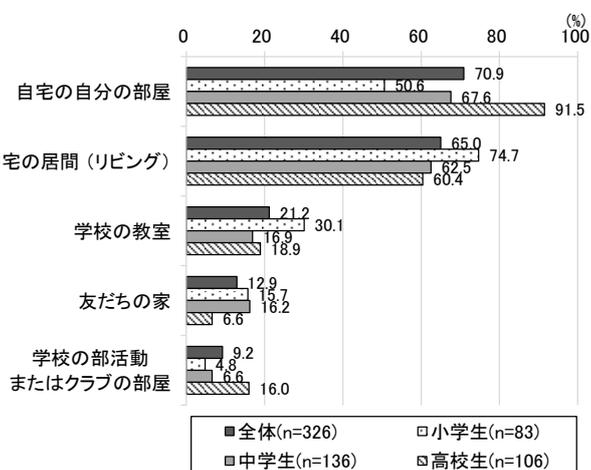
性別にみると、女性・男性ともに「自宅の自分の部屋」が70%台となっている。また、学校種別にみると、年齢が上がるにつれて「自宅の自分の部屋」が上昇する一方で、「自宅の居間(リビング)」は低下している。

「子どもにとって安心できる場所はどこだと思うか」という設問に対して、おとなは「自宅の居間(リビング)」が最も高く、90.4%となっている。一方、「自宅の自分の部屋」は42.2%と、おとなと子どもで大きな差がみられる。

子ども：(問5)安心できる場所はどこか

	合計	自宅の自分の部屋	自宅の居間(リビング)	自宅のその他の場所	学校の教室	学校の部活動またはクラブの部屋	学校のその他の場所	学童(放課後児童クラブ)の部屋	友だちの家	児童館・児童センター	公民館	交流センター	市の図書館	子ども情報センター	公園	ゲームセンターやジョypピンゲームセンター、コンビニ	その他	無回答	
全体	326 100.0	231 70.9	212 65.0	28 8.6	69 21.2	30 9.2	12 3.7	8 2.5	42 12.9	11 3.4	-	4 1.2	15 4.6	-	11 3.4	29 8.9	8 2.5	-	
性別	女性	165 100.0	119 72.1	105 63.6	11 6.7	31 18.8	14 8.5	8 4.8	21 12.7	9 5.5	-	1 0.6	9 5.5	-	4 2.4	11 6.7	3 1.8	-	
	男性	151 100.0	106 70.2	101 66.9	16 10.6	37 24.5	15 9.9	4 2.6	21 13.9	2 1.3	-	3 2.0	5 3.3	-	7 4.6	18 11.9	5 3.3	-	
	その他	3 100.0	2 66.7	3 100.0	-	-	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	回答しない	6 100.0	3 50.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	-	-	-	-	-	-	-	1 16.7	-	-	-	-	
学校種別	小学生	83 100.0	42 50.6	62 74.7	9 10.8	25 30.1	4 4.8	3 3.6	6 7.2	13 15.7	7 8.4	3 3.6	6 7.2	-	3 3.6	8 9.6	3 3.6	-	
	中学生	136 100.0	92 67.6	85 62.5	13 9.6	23 16.9	9 6.6	4 2.9	22 16.2	4 2.9	4 2.9	1 0.7	4 2.9	-	5 3.7	16 11.8	3 2.2	-	
	高校生	106 100.0	97 91.5	64 60.4	6 5.7	20 18.9	17 16.0	5 4.7	-	7 6.6	-	-	5 4.7	-	3 2.8	5 4.7	2 1.9	-	
性別×学校種別	女性：小学生	47 100.0	25 53.2	35 74.5	1 2.1	17 36.2	3 6.4	2 4.3	5 10.6	7 14.9	5 10.6	-	4 8.5	-	1 2.1	1 2.1	2 4.3	-	
	女性：中学生	65 100.0	45 69.2	37 56.9	8 12.3	9 13.8	7 10.8	2 3.1	13 20.0	4 6.2	4 6.2	1 1.5	2 3.1	-	2 3.1	9 13.8	-		
	女性：高校生	53 100.0	49 92.5	33 62.3	2 3.8	5 9.4	4 7.5	4 7.5	-	1 1.9	-	-	3 5.7	-	1 1.9	1 1.9	1 1.9	-	
	男性：小学生	34 100.0	16 47.1	27 79.4	7 20.6	8 23.5	1 2.9	1 2.9	1 2.9	6 17.6	2 5.9	-	3 8.8	1 2.9	-	2 5.9	7 20.6	1 2.9	
	男性：中学生	66 100.0	45 68.2	44 66.7	5 7.6	13 19.7	2 3.0	2 3.0	1 1.5	9 13.6	-	-	2 3.0	-	3 4.5	7 10.6	3 4.5	-	
	男性：高校生	50 100.0	45 90.0	29 58.0	4 8.0	15 30.0	12 24.0	1 2.0	-	6 12.0	-	-	2 4.0	-	2 4.0	4 8.0	1 2.0	-	
	その他：小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他：中学生	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他：高校生	2 100.0	2 100.0	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	回答しない：小学生	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	
	回答しない：中学生	3 100.0	1 33.3	3 100.0	-	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	回答しない：高校生	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

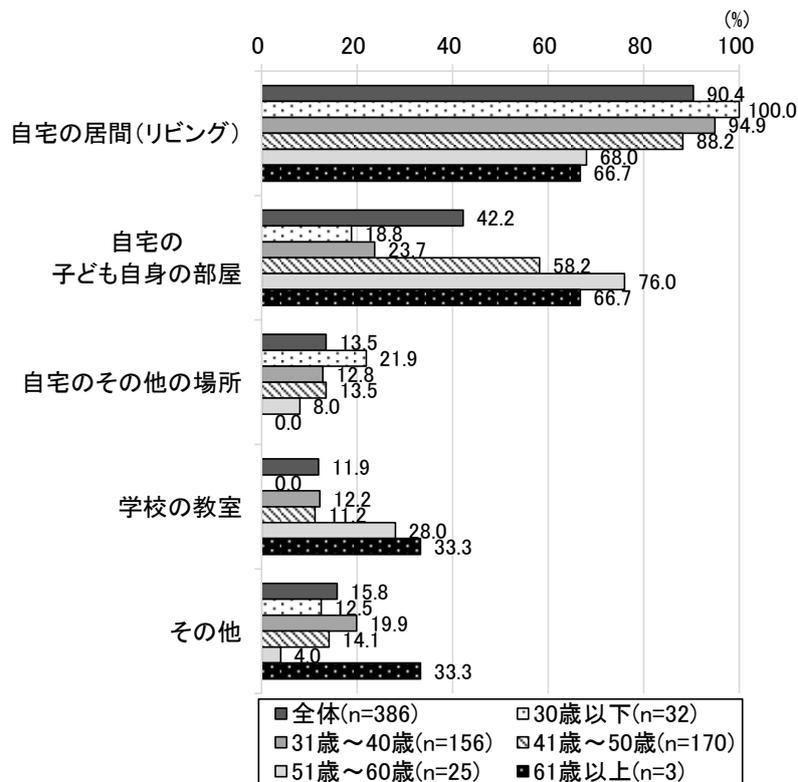
子ども：(問5)安心できる場所はどこか(主要項目)



おとな:(問6-1)子どもにとって安心できる場所はどこだと思うか

	合計	自宅の子ども自身の部屋	自宅の居間(リビング)	自宅のその他の場所	学校の教室	学校の部活動またはクラブの部屋	学校のその他の場所	学童(放課後児童クラブ)の部屋	友だちの家	児童館・児童センター	公民館	交流センター	市の図書館	子ども情報センター	公園	ゲームセンターやショッピングセンター、コンビニ	その他	無回答
全体	386	183	349	52	46	17	5	18	17	26	1	3	7	3	13	6	61	-
	100.0	42.2	90.4	13.5	11.9	4.4	1.3	4.1	4.4	6.7	0.3	0.8	1.9	0.8	3.4	1.6	15.8	-
年齢別	30歳以下	32	6	32	7	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	1	4
		100.0	18.8	100.0	21.9	-	-	3.1	-	12.5	-	-	-	-	-	-	3.1	12.5
	31歳~40歳	156	37	148	20	19	4	2	12	7	12	-	1	1	2	8	3	31
		100.0	23.7	94.9	12.8	12.2	2.6	1.3	7.7	4.5	7.7	-	0.6	0.6	1.3	5.1	1.9	19.9
	41歳~50歳	170	99	150	23	19	11	3	2	10	8	1	2	4	1	4	2	24
	100.0	58.2	88.2	13.5	11.2	6.5	1.8	1.2	5.9	4.7	0.6	1.2	2.4	0.6	2.4	1.2	14.1	
51歳~60歳	25	19	17	2	7	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	100.0	76.0	68.0	8.0	28.0	8.0	-	-	-	4.0	-	-	-	-	4.0	-	4.0	
61歳以上	3	2	2	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	100.0	66.7	66.7	-	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	

おとな:(問6-1)子どもにとって安心できる場所はどこだと思うか(主要項目)



2. 学校生活やいじめ等に関することについて

<子ども>

問6 不登校についてどう思いますか。

問7 小学生、中学生、高校生の人におたずねします。前の学年の4月から今までの1年あまりの間に、学校に行きたくないと思ったことがありますか。

問8 問7で、「①よくあった」、「②時々あった」、「④現在行っていない」と答えた人におたずねします。それは、どんなことが原因だと思いますか。考えられる主なものを2つまで選んでください。

<おとな>

問7 不登校についてどう思いますか。

問8 小学生、中学生、高校生の子供がいる家庭の人におたずねします。あなたの家庭の子供は、前の学年の4月から今までの1年余りの間に、学校に行きたくないと言ったことがありますか。

問8-1 問8で「①よくあった」、「②時々あった」、「④現在行っていない」と答えた人におたずねします。それは、どんなことが原因だと思いますか。

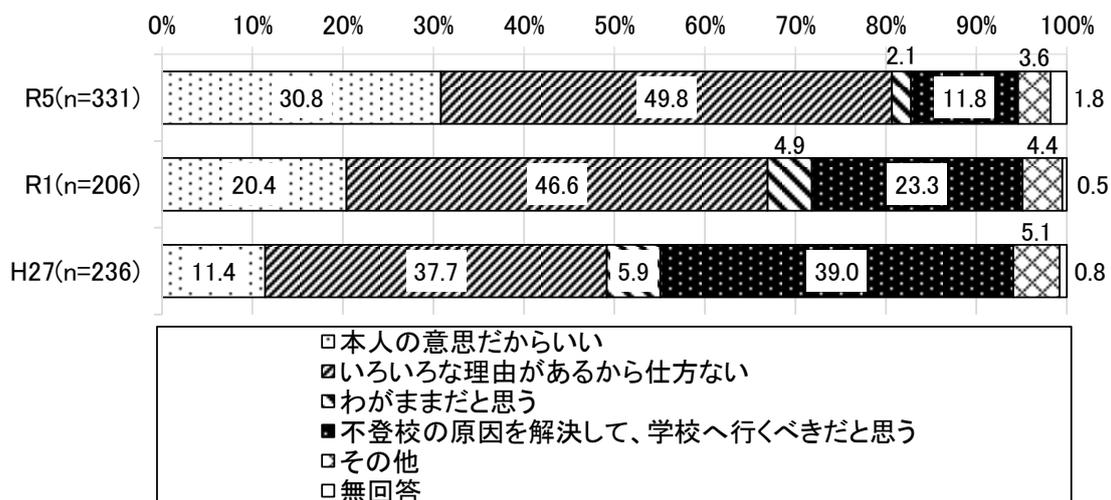
◆不登校についてどう思うかは「いろいろな理由があるから仕方ない」が49.8%

◆学校に行きたくないと思ったことのある子どもは49.9%

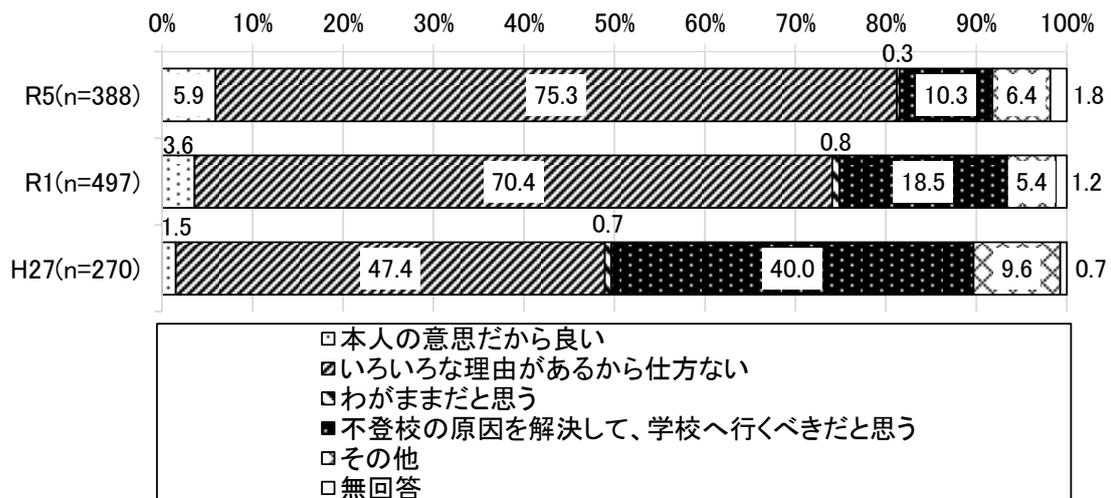
◆学校に行きたくないと思った原因で最も多いのは、「なんとなく行く気がしない」で63.3%

<経年比較>

子ども：(問6)不登校についてどう思うか

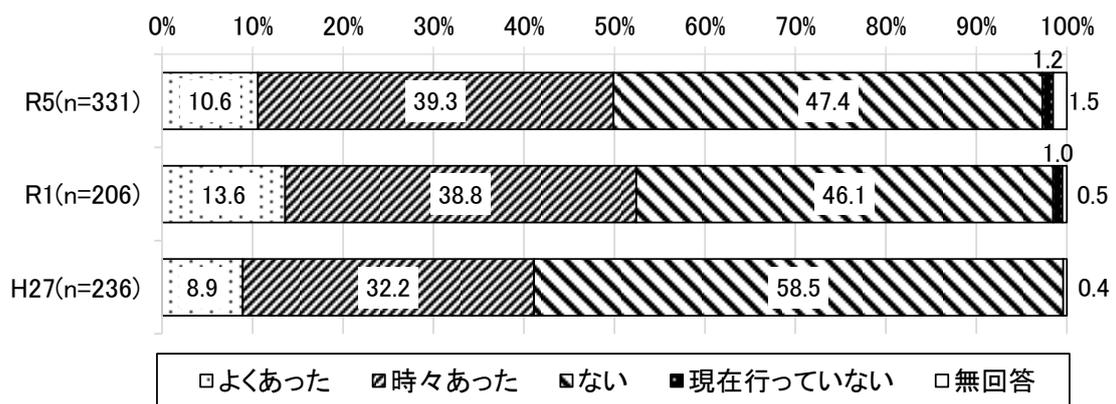


おとな：(問 7)不登校についてどう思うか

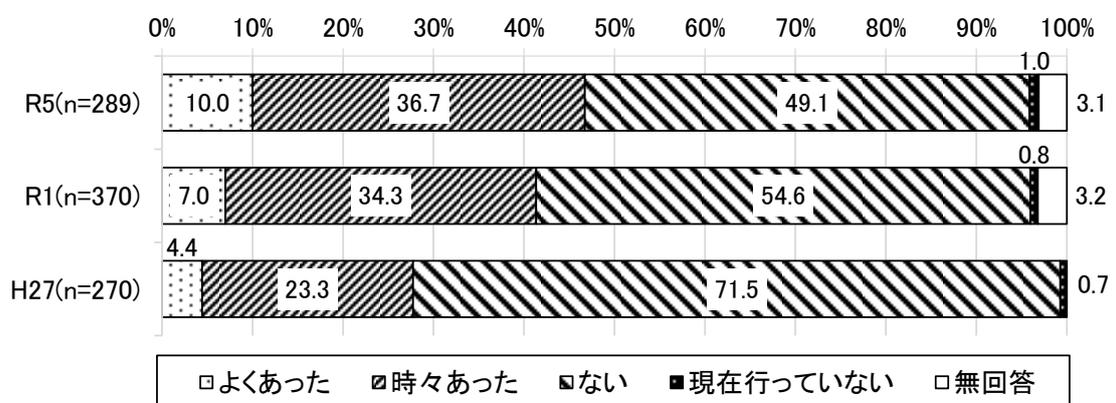


※令和元年度調査より 0～17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どもをもつ保護者が対象)

子ども：(問 7)学校に行きたくないと思ったことはあるか(直近 1 年間)



おとな：(問 8)子どもが学校に行きたくないと言ったことはあるか(直近 1 年間)



※令和元年度調査より 0～17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どもをもつ保護者が対象)

*不登校についてどう思うか

「不登校についてどう思うか」という設問に対して、子どもは「いろいろな理由があるから仕方ない」が最も高く 49.8%となっている。ついで「本人の意思だからいい」が 30.8%、「不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う」が 11.8%となっている。「いろいろな理由があるから仕方ない」や「本人の意思だからいい」が上昇傾向にある一方、「不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う」は低下傾向にある。

性別にみると、女性・男性ともに「いろいろな理由があるから仕方ない」が最も高く、ついで「本人の意思だからいい」、「不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う」となっている。また、学校種別にみると、「不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う」は、年齢が上がるにつれて低下する傾向がみられる。

おとなでは不登校に対して、「いろいろな理由があるから仕方ない」が最も高く 75.3%、ついで「不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う」が 10.3%となっている。おとなも子どもと同様に「いろいろな理由があるから仕方ない」が上昇傾向にある一方、「不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う」は低下傾向にある。

<その他:子ども>

- 何とも思わない。
- 理由によっては、しょうがないと思う。
- むりやりでも、その子にストレスを、くわえるだけなので。その子の心のじょうたいで、判断すべきだと、思いました。
- 相談してから、自分で決めるといいと思う。
- もったいないと思う、でも強制はしない。
- 何も知らない人がくびをつっこまない方が良い。
- かわいそう。
- 無りに行かなくていいと思う。
- その人の状況によるから一概には言えない。
- 本人の意思を尊重するべきだと思うが、学校だから学べることもあるので、友達などがサポートしてあげられると良いと思う。
- 学校に行くかどうかの選択権は本人にあると思うからその本人を尊重します。
- 学校に行くことよりも辛い思いをしてると思う。

<その他:おとな>

- いろいろな理由があると思うので原因に応じて対応できたらと思う。
- 行きたくない理由による。いじめとかが原因なら行かなくていいと思う。
- 理由による。行くべきではなく行けるように。
- 行きたい学校であれば子どもは行くと思う。
- 理由次第だと思うのでケースバイケースだと思う。
- いろいろな理由があるから仕方ないと思うが、登校できるような環境にする努力は必要と思う。

- 対象の学校や通信制等他の方法も考える。
- けどその理由は聞く、解決できるなら一緒にする。
- 学校のあり方が変わらないかぎりなくなる。
- もっとサポートできる場所が必要だと思う。
- たまたま公立校に合わないだけなので学校がいろんな子どもに合う場所になるよう、色々な選択肢が増えるとよいと思います。「不登校」をする子が問題なのではないと思います。不登校への理解広めるために、この設問について、「いじめ」や「ヤングケアラー」のように、啓蒙となるような記載があるとよかったです。
- 個々の事情に於いて、こちらの感想も単一でない。
- 本人の将来が心配。
- 原因を取り除いて行けるなら行けると良いが、学校が全てではないと思う。
- 理由を聞く。
- 理由が解決し、行けるようなら少しずつ行けると良い。
- 解決出来ればそれが一番良いですが、むずかしい様であれば逃げるのも大事。
- なるべくなら解決して行かせたいが内容による。
- 一元化できないと思われる。
- 「いろいろな理由があるから仕方ない」と「不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う」の意見が半々です。
- 本人にしかわからない理由があると思うから、なんとか心に寄り添って家は安心できる場所でありたいと思う。
- 身体的特徴や家庭環境など、改善しようがない部分を弄^{いじ}られることが原因だと思うので、原因の解決はできないが、教師、親、クラスメイト全員で、不登校児を理解して学校に迎え入れるべきだと思う。
- 個々の事情があるので、よくわからない。
- 改善できて行けるようになればいいと思う。無理なら無理に行かなくていいと思う。
- 理由による。

*学校に行きたくないと思った経験

「学校に行きたくないと思ったことはあるか」という設問に対して、「よくあった」「時々あった」と回答した割合は49.9%と、令和元年度の調査の52.4%からやや低下した。

性別にみると、「よくあった」「時々あった」と回答した割合は女性が53.9%、男性が43.1%となっており、女性の方が高くなっている。また、学校種別にみると、「よくあった」「時々あった」と回答した割合は中学生で最も高く54.4%となっているが、小学生では4割、高校生ではおよそ半数が「よくあった」「時々あった」と回答している。

「子どもが学校に行きたくないと言ったことはあるか」という設問に対して、おとなは「よくあった」「時々あった」が46.7%と、平成27年度から上昇傾向にある。

*学校に行きたくないと思った原因

学校に行きたくないと思った原因をみると、「なんとなく行く気がしない」が63.3%で最も高く、ついで「友だちとのこと」が27.8%となっている。

性別にみると、「なんとなく行く気がしない」は男性が65.2%と、女性の60.4%に比べ高くなっている。一方、「友だちとのこと」は女性が33.0%と、男性の18.8%に比べ高くなっている。

おとなが考える子どもが学校に行きたくないと思った原因をみると、「なんとなく行く気がしない」が57.2%で最も高く、ついで「友だちとのこと」が31.2%となっている。

<その他:子ども>

- クラスの雰囲気自分が合っていなかった。
- 毎日勉強で疲れたから。
- 人間関係。
- そういうしょうがい。
- せいかくだから。
- グループの近くの人がかからってくる。
- 体育祭、合唱祭が嫌だったから。
- 心身の疲れ。
- つまらん。
- 人が怖い。
- 寝たい。
- べんきょう・しゅくだい。
- 友達。
- けがで、そうぐなどをつけていた時に、人目につくのがいやだった(2回、こっせつしたから)。
- きんちょうするから(大会や行事)。
- 自分の悩み。
- 病気で。
- 勉強したくない。
- 学校に行こうとすると体調不良になる。
- 勉強が面倒くさい。
- クラス内のいじめ。
- 部活のこと。
- 授業が長くてやりたくない。
- 勉強にやる気が出ない。
- 登下校がめんどい。
- クラスの対人関係のこと。

<その他:おとな>

- 家にいたい。母親と一緒にいたい。
- 歩くのが、イヤだ。
- 学校までの登校距離。
- 体育で苦手な種目があったから。
- なんとなく不安で緊張状態が長い。
- 宿題を忘れて。
- 土日の習い事で疲れた時。
- 不安症。
- 習い事で疲れたから。
- 暑い。
- めんどろ(暑い、寒いなど)。
- 体調、疲れ、いやな活動があるなど。
- 学校が遠い。
- 体調が悪い。
- なんとなく体調不良と感じると言っていた。
- 体調不良。
- 発表で自分の意見をうまく言えない。コミュニケーションが苦手であることからそう考える。
- 同調圧力。先生の人数が足りないのでみんな一緒。効率を求めるのもムリはない。
- 1年生で新しい環境であったため不安があった。
- 休み明けだと、友だちや授業についていけるか不安になるため。
- 決まったことを、決まった通りに、決まったスピードで皆と合わせるという仕組みになじめなかった。
- コロナの規制で精神・身体的に息苦しさがあったと思います。
- 気をつかいすぎてつかれる。
- 勉強が嫌い。家が好き。登下校が大変。
- 疲れ。
- 人間関係。
- 歩きたくない。
- 提出課題が終わっていない。
- 体調不良で休んだあと。
- 勉強についていくのが大変だから。
- 学校が遠い。
- 通学が面倒だと本人は言っています。
- 身体の疲れが取れない。
- 宿題等の提出物が出せていない。
- 家で好きな事をしている方が楽だから。
- 起きれない(眠たい)から。
- ただ面倒。
- 家にいることが好き。学校での楽しみがない。

<性別・年齢別集計結果>

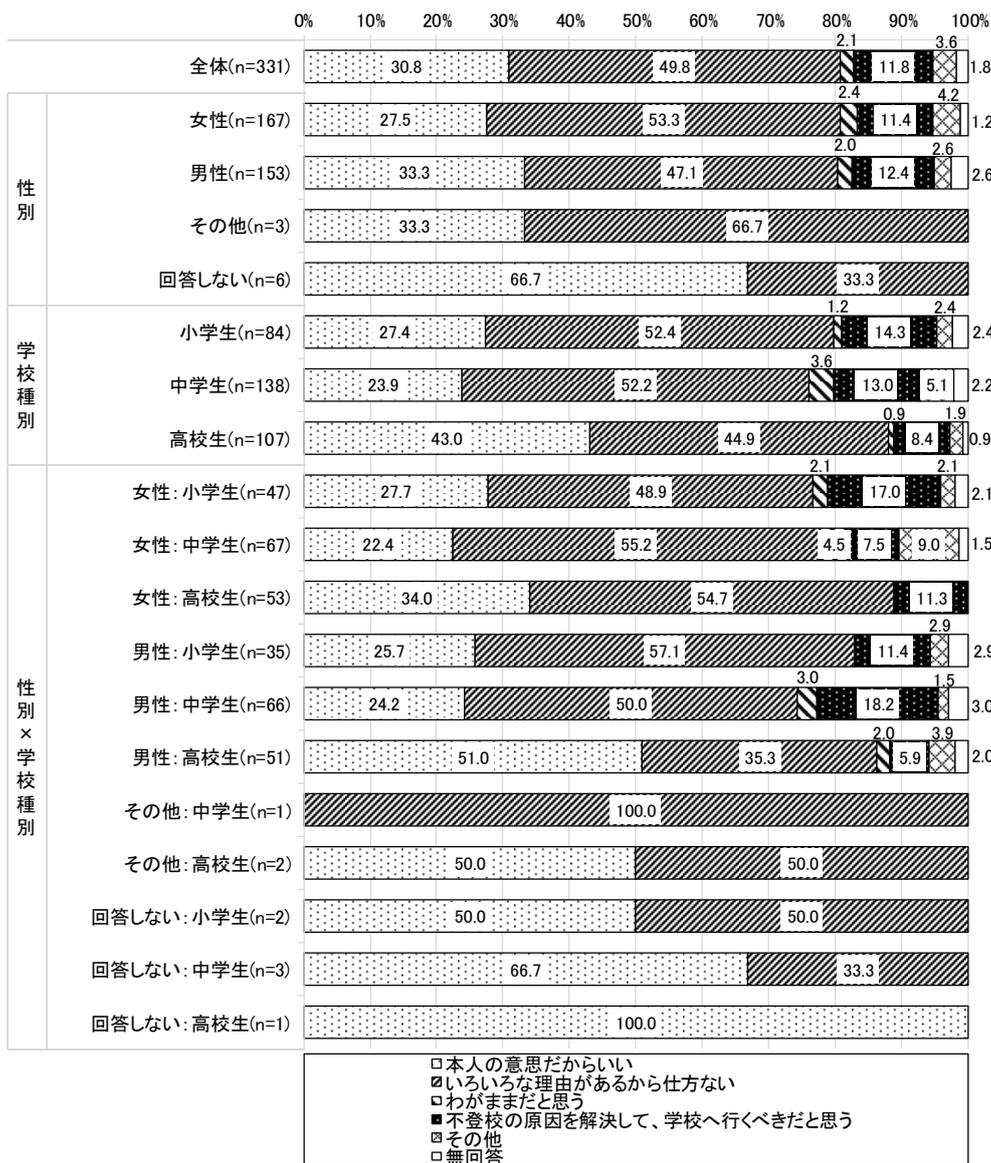
子ども:(問6)不登校についてどう思うか

		合計	本人の意思だからいい	いろいろな理由があるから仕方ない	わがままだと思う	不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う	その他	無回答
全体		331 100.0	102 30.8	165 49.8	7 2.1	39 11.8	12 3.6	6 1.8
性別	女性	167 100.0	46 27.5	89 53.3	4 2.4	19 11.4	7 4.2	2 1.2
	男性	153 100.0	51 33.3	72 47.1	3 2.0	19 12.4	4 2.6	4 2.6
	その他	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-	-	-
	回答しない	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-	-
学校種別	小学生	84 100.0	23 27.4	44 52.4	1 1.2	12 14.3	2 2.4	2 2.4
	中学生	138 100.0	33 23.9	72 52.2	5 3.6	18 13.0	7 5.1	3 2.2
	高校生	107 100.0	46 43.0	48 44.9	1 0.9	9 8.4	2 1.9	1 0.9
性別×学校種別	女性:小学生	47 100.0	13 27.7	23 48.9	1 2.1	8 17.0	1 2.1	1 2.1
	女性:中学生	67 100.0	15 22.4	37 55.2	3 4.5	5 7.5	6 9.0	1 1.5
	女性:高校生	53 100.0	18 34.0	29 54.7	-	6 11.3	-	-
	男性:小学生	35 100.0	9 25.7	20 57.1	-	4 11.4	1 2.9	1 2.9
	男性:中学生	66 100.0	16 24.2	33 50.0	2 3.0	12 18.2	1 1.5	2 3.0
	男性:高校生	51 100.0	26 51.0	18 35.3	1 2.0	3 5.9	2 3.9	1 2.0
	その他:小学生	-	-	-	-	-	-	-
	その他:中学生	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-
	その他:高校生	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-
	回答しない:小学生	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-
	回答しない:中学生	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-
	回答しない:高校生	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-

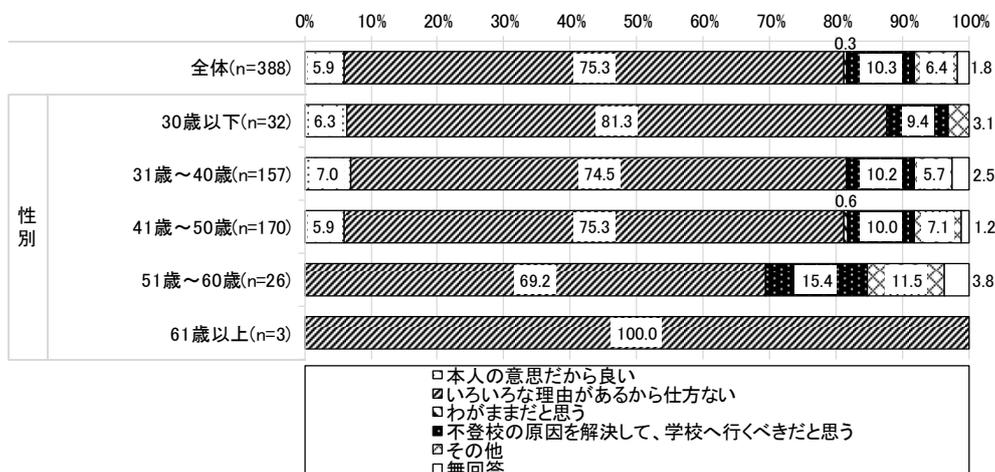
おとな:(問7)不登校についてどう思うか

		合計	本人の意思だから良い	いろいろな理由があるから仕方ない	わがままだと思う	不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う	その他	無回答
全体		388 100.0	23 5.9	292 75.3	1 0.3	40 10.3	25 6.4	7 1.8
年齢別	30歳以下	32 100.0	2 6.3	26 81.3	-	3 9.4	1 3.1	-
	31歳～40歳	157 100.0	11 7.0	117 74.5	-	16 10.2	9 5.7	4 2.5
	41歳～50歳	170 100.0	10 5.9	128 75.3	1 0.6	17 10.0	12 7.1	2 1.2
	51歳～60歳	26 100.0	-	18 69.2	-	4 15.4	3 11.5	1 3.8
	61歳以上	3 100.0	-	3 100.0	-	-	-	-

子ども:(問 6)不登校についてどう思うか



おとな:(問 7)不登校についてどう思うか



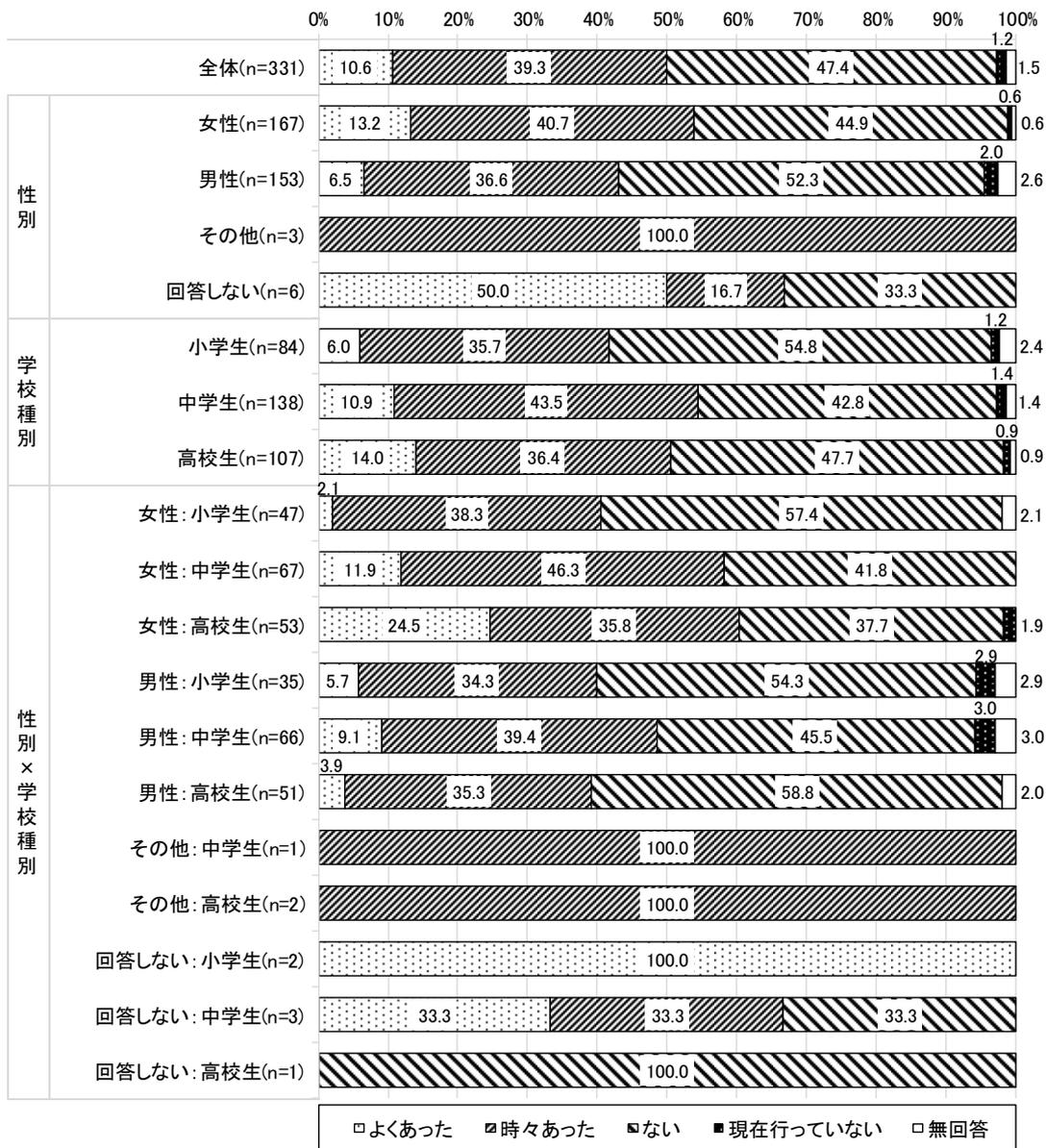
子ども:(問7)学校に行きたくないと思ったことはあるか(直近1年間)

		合計	よくあった	時々あった	ない	現在行っていない	無回答	
全体		331	35	130	157	4	5	
		100.0	10.6	39.3	47.4	1.2	1.5	
性別	女性	167	22	68	75	1	1	
		100.0	13.2	40.7	44.9	0.6	0.6	
	男性	153	10	56	80	3	4	
		100.0	6.5	36.6	52.3	2.0	2.6	
	その他	3	-	3	-	-	-	
		100.0	-	100.0	-	-	-	
	回答しない	6	3	1	2	-	-	
		100.0	50.0	16.7	33.3	-	-	
学校種別	小学生	84	5	30	46	1	2	
		100.0	6.0	35.7	54.8	1.2	2.4	
	中学生	138	15	60	59	2	2	
	100.0	10.9	43.5	42.8	1.4	1.4		
	高校生	107	15	39	51	1	1	
		100.0	14.0	36.4	47.7	0.9	0.9	
性別×学校種別	女性:小学生	47	1	18	27	-	1	
		100.0	2.1	38.3	57.4	-	2.1	
	女性:中学生	67	8	31	28	-	-	
		100.0	11.9	46.3	41.8	-	-	
	女性:高校生	53	13	19	20	1	-	
		100.0	24.5	35.8	37.7	1.9	-	
	男性:小学生	35	2	12	19	1	1	
		100.0	5.7	34.3	54.3	2.9	2.9	
	男性:中学生	66	6	26	30	2	2	
		100.0	9.1	39.4	45.5	3.0	3.0	
	男性:高校生	51	2	18	30	-	1	
		100.0	3.9	35.3	58.8	-	2.0	
		その他:小学生	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-
	その他:中学生	1	-	1	-	-	-	
		100.0	-	100.0	-	-	-	
	その他:高校生	2	-	2	-	-	-	
		100.0	-	100.0	-	-	-	
	回答しない:小学生	2	2	-	-	-	-	
		100.0	100.0	-	-	-	-	
	回答しない:中学生	3	1	1	1	-	-	
		100.0	33.3	33.3	33.3	-	-	
	回答しない:高校生	1	-	-	1	-	-	
		100.0	-	-	100.0	-	-	

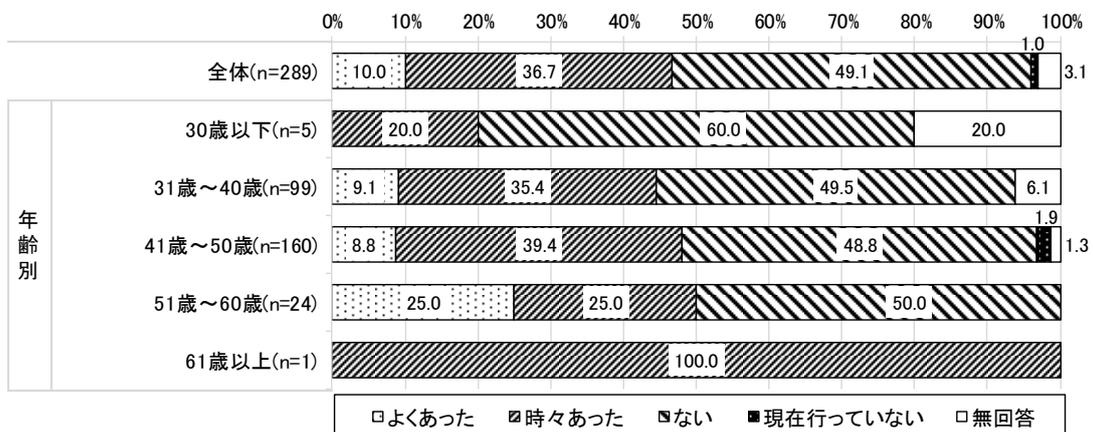
おとな:(問8)子どもが学校に行きたくないと言ったことはあるか(直近1年間)

		合計	よくあった	時々あった	ない	現在行っていない	無回答
全体		289	29	106	142	3	9
		100.0	10.0	36.7	49.1	1.0	3.1
年齢別	30歳以下	5	-	1	3	-	1
		100.0	-	20.0	60.0	-	20.0
	31歳~40歳	99	9	35	49	-	6
		100.0	9.1	35.4	49.5	-	6.1
	41歳~50歳	160	14	63	78	3	2
		100.0	8.8	39.4	48.8	1.9	1.3
	51歳~60歳	24	6	6	12	-	-
		100.0	25.0	25.0	50.0	-	-
	61歳以上	1	-	1	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-

子ども:(問 7)学校に行きたくないと思ったことはあるか(直近 1 年間)



おとな:(問 8)子どもが学校に行きたくないと言ったことはあるか(直近 1 年間)



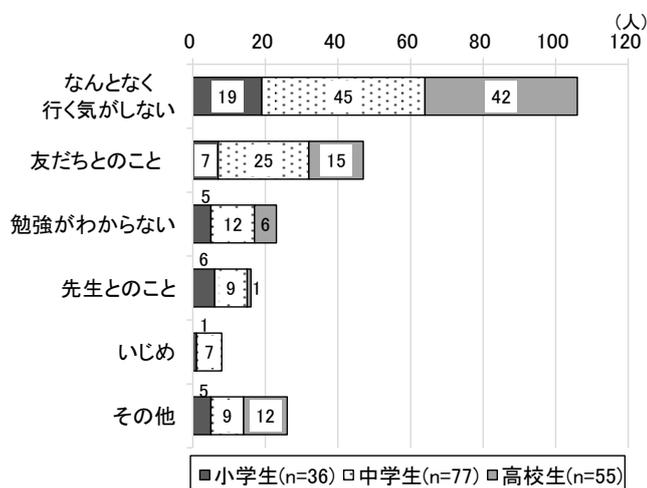
子ども:(問8)学校に行きたくない主な原因は何か

		合計	いじめ	友だちとのこと	先生とのこと	家庭のこと	勉強がわからない	なんとなく行く気がしない	その他	無回答
全体		169	8	47	16	3	23	107	26	2
		100.0	4.7	27.8	9.5	1.8	13.6	63.3	15.4	1.2
性別	女性	91	3	30	9	2	11	55	14	2
		100.0	3.3	33.0	9.9	2.2	12.1	60.4	15.4	2.2
	男性	69	5	13	7	1	10	45	11	-
		100.0	7.2	18.8	10.1	1.4	14.5	65.2	15.9	-
	その他	3	-	2	-	-	1	3	-	-
100.0	-	66.7	-	-	-	33.3	100.0	-	-	
回答しない	4	-	2	-	-	-	-	2	1	-
	100.0	-	50.0	-	-	-	-	50.0	25.0	-
学校種別	小学生	36	1	7	6	-	5	19	5	1
		100.0	2.8	19.4	16.7	-	13.9	52.8	13.9	2.8
	中学生	77	7	25	9	2	12	45	9	1
100.0		9.1	32.5	11.7	2.6	15.6	58.4	11.7	1.3	
高校生	55	-	15	1	1	6	42	12	-	
	100.0	-	27.3	1.8	1.8	10.9	76.4	21.8	-	
性別×学校種別	女性:小学生	18	-	4	4	-	3	10	2	-
		100.0	-	22.2	22.2	-	16.7	55.6	11.1	-
	女性:中学生	38	3	15	4	1	4	23	4	-
		100.0	7.9	39.5	10.5	2.6	10.5	60.5	10.5	-
	女性:高校生	33	-	11	1	1	4	22	8	-
		100.0	-	33.3	3.0	3.0	12.1	66.7	24.2	-
	男性:小学生	15	1	1	2	-	2	8	3	-
		100.0	6.7	6.7	13.3	-	13.3	53.3	20.0	-
	男性:中学生	34	4	10	5	1	6	19	4	-
		100.0	11.8	29.4	14.7	2.9	17.6	55.9	11.8	-
	男性:高校生	20	-	2	-	-	2	18	4	-
		100.0	-	10.0	-	-	10.0	90.0	20.0	-
	その他:小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他:中学生	1	-	-	-	-	1	1	-	-	
100.0	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	
その他:高校生	2	-	2	-	-	-	2	-	-	
100.0	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	
回答しない:小学生	2	-	2	-	-	-	1	-	-	
100.0	-	100.0	-	-	-	-	50.0	-	-	
回答しない:中学生	2	-	-	-	-	-	1	1	-	
100.0	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	
回答しない:高校生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

おとな：(問 8-1)子どもが学校に行きたくない主な原因は何だと思うか

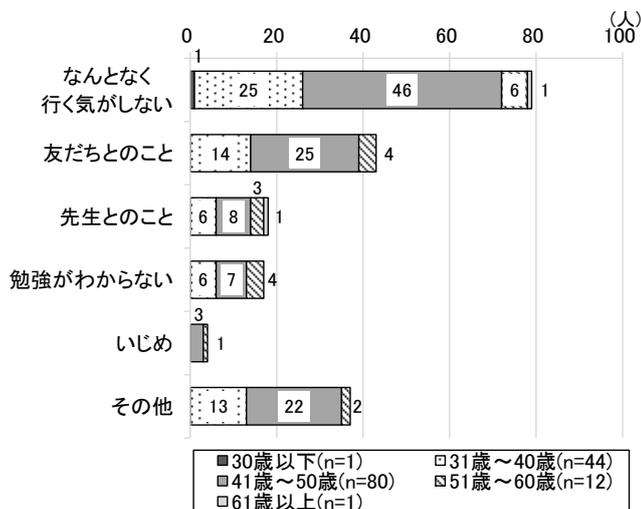
	合計	いじめ	友だちとのこと	先生とのこと	家庭のこと	勉強がわからない	なんとなく行く気がしない	その他	無回答
全体	138	4	43	18	2	17	79	37	1
	100.0	2.9	31.2	13.0	1.4	12.3	57.2	26.8	0.7
年齢別	30歳以下	1	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
	31歳～40歳	44	-	14	6	2	6	25	13
		100.0	-	31.8	13.6	4.5	13.6	56.8	29.5
	41歳～50歳	80	3	25	8	-	7	46	22
	100.0	3.8	31.3	10.0	-	8.8	57.5	27.5	
51歳～60歳	12	1	4	3	-	4	6	2	
	100.0	8.3	33.3	25.0	-	33.3	50.0	16.7	
61歳以上	1	-	-	1	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-

子ども：(問 8)学校に行きたくない主な原因は何か(主要項目)



※回答者数が少数のため割合ではなく、実数で表示した。

おとな：(問 8-1)子どもが学校に行きたくない主な原因は何だと思うか(主要項目)



※回答者数が少数のため割合ではなく、実数で表示した。

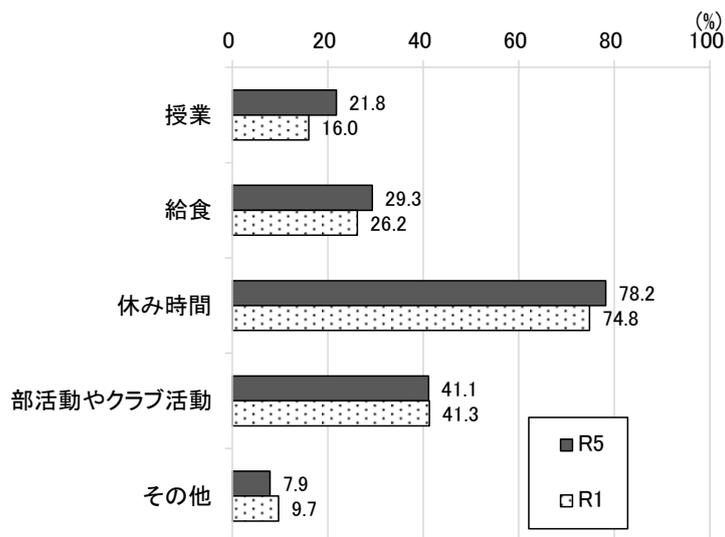
<子ども>

問9 小学生、中学生、高校生の人におたずねします。学校生活の中で、楽しい時間はいつですか。

◆学校生活の中で楽しい時間は「休み時間」が最も多く、78.2%

<経年比較>

子ども:(問9)学校生活の中で楽しい時間



※本設問は、令和元年度調査より新規に追加された設問となっている。

「学校生活の中で楽しい時間はいつか」という設問に対して、「休み時間」が最も高く 78.2%、ついで「部活動やクラブ活動」が41.1%、「給食」が29.3%となっている。

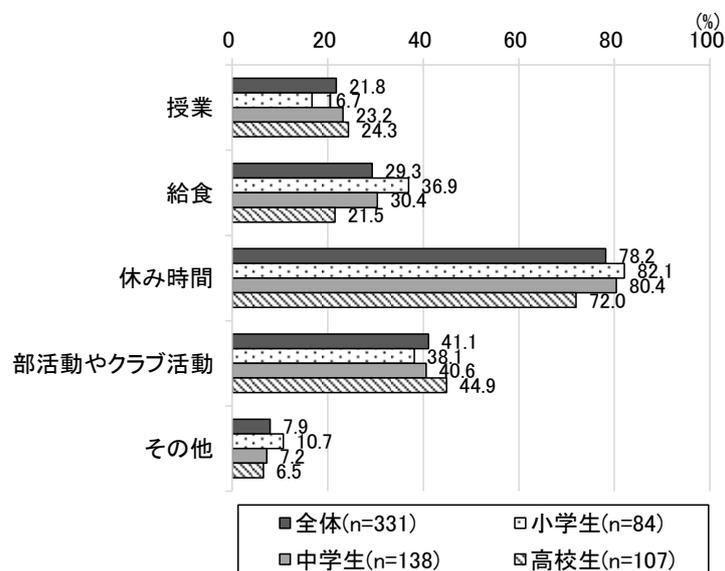
性別にみると、男性は「給食」が34.6%となっており、女性の25.1%よりも高くなっている。また、学校種別にみると、「授業」と「部活動やクラブ活動」は年齢が上がるにつれ高くなっている。

<性別・年齢別集計結果>

子ども：(問 9)学校生活の中で楽しい時間

		合計	授業	給食	休み時間	部活動やクラブ活動	その他	無回答	
全体		331	72	97	259	136	26	10	
		100.0	21.8	29.3	78.2	41.1	7.9	3.0	
性別	女性	167	36	42	130	71	19	1	
		100.0	21.6	25.1	77.8	42.5	11.4	0.6	
	男性	153	36	53	120	62	6	9	
		100.0	23.5	34.6	78.4	40.5	3.9	5.9	
	その他	3	-	-	3	2	1	-	
		100.0	-	-	100.0	66.7	33.3	-	
	回答しない	6	-	2	5	-	-	-	
		100.0	-	33.3	83.3	-	-	-	
学校種別	小学生	84	14	31	69	32	9	1	
		100.0	16.7	36.9	82.1	38.1	10.7	1.2	
	中学生	138	32	42	111	56	10	5	
	100.0	23.2	30.4	80.4	40.6	7.2	3.6		
	高校生	107	26	23	77	48	7	4	
		100.0	24.3	21.5	72.0	44.9	6.5	3.7	
性別×学校種別	女性：小学生	47	10	13	39	20	6	-	
		100.0	21.3	27.7	83.0	42.6	12.8	-	
	女性：中学生	67	15	16	51	29	7	-	
		100.0	22.4	23.9	76.1	43.3	10.4	-	
	女性：高校生	53	11	13	40	22	6	1	
		100.0	20.8	24.5	75.5	41.5	11.3	1.9	
	男性：小学生	35	4	17	29	12	3	1	
		100.0	11.4	48.6	82.9	34.3	8.6	2.9	
	男性：中学生	66	17	25	56	25	2	5	
		100.0	25.8	37.9	84.8	37.9	3.0	7.6	
	男性：高校生	51	15	10	34	25	1	3	
		100.0	29.4	19.6	66.7	49.0	2.0	5.9	
		その他：小学生	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-
	その他：中学生	1	-	-	1	1	1	-	
		100.0	-	-	100.0	100.0	100.0	-	
	その他：高校生	2	-	-	2	1	-	-	
		100.0	-	-	100.0	50.0	-	-	
	回答しない：小学生	2	-	1	1	-	-	-	
		100.0	-	50.0	50.0	-	-	-	
	回答しない：中学生	3	-	1	3	-	-	-	
		100.0	-	33.3	100.0	-	-	-	
	回答しない：高校生	1	-	-	1	-	-	-	
		100.0	-	-	100.0	-	-	-	

子ども：(問 9)学校生活の中で楽しい時間



<子ども>

問 10 前の学年の4月から今までの1年あまりの間に、あなたはいじめを受けたことがありますか。または、誰かをいじめたことがありますか。

問 10-1 問 10 で「①いじめを受けたことがある」、「③どちらもある」と答えた人におたずねします。いじめを受けたとき、どうしましたか。

問 10-2 問 10-1 で「⑤人に相談した」と答えた人におたずねします。誰に相談しましたか。

問 10-3 問 10 で「①いじめを受けたことがある」と答えた人におたずねします。そのいじめの苦しさは、次のどれに最も近いですか。

問 11 いじめを受けている人を見たことがある人におたずねします。いじめを受けている人を見て、あなたはどうしましたか。

問 11-1 問 11 で「④人に相談した」と答えた人におたずねします。誰に相談しましたか。

問 11-2 問 11 で「⑤何もしなかった」と答えた人におたずねします。それはなぜですか。

<おとな>

問 9 小学生、中学生、高校生の子どもがいる家庭の人におたずねします。あなたの家庭の子どもは、前の学年の4月から今までの1年余りの間に、いじめを受けたことがありますか。または、いじめたことがありますか。

問 9-1 問 9 で「①いじめを受けたことがある」または「③どちらもある」と答えた人におたずねします。子どもがいじめを受けたとき、あなたはどうしましたか。

問 9-2 問 9 で「②いじめたことがある」または「③どちらもある」と答えた人におたずねします。子どもがいじめたことがわかったとき、あなたはどうしましたか。

◆いじめを受けたことがある子どもは10.3%

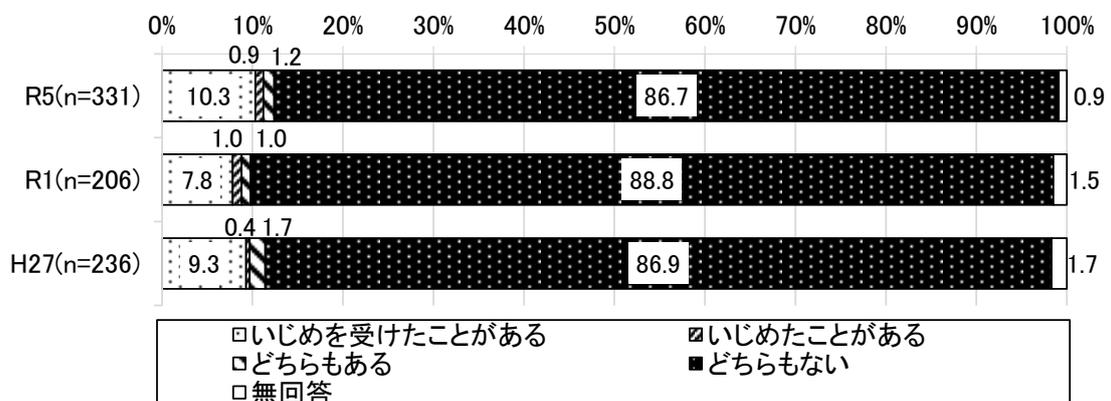
<分類別結果>

子ども：いじめを受けたことが「ある」(直近1年間)

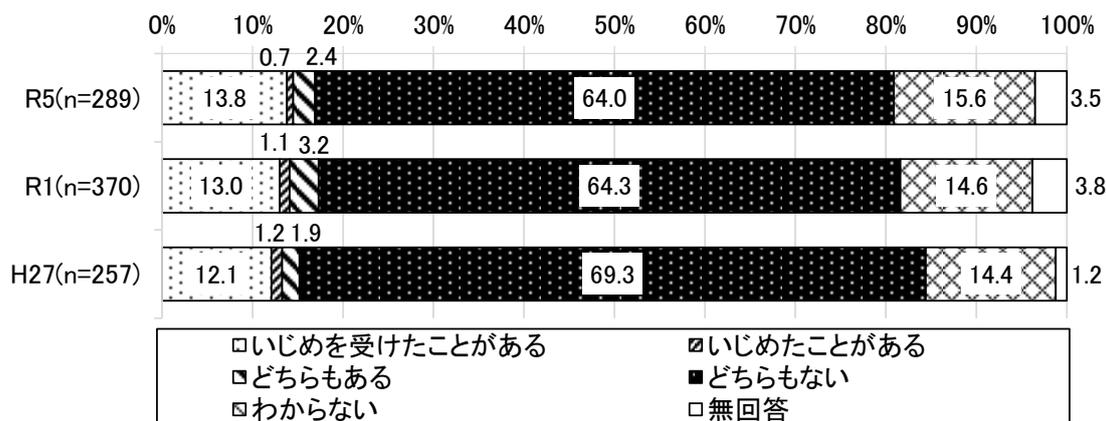
	最高値	最低値
年齢別	中学生(13.8%)	高校生(5.6%)
性別・年齢別	女性：中学生(14.9%)	男性：高校生(3.9%)

<経年比較>

子ども：(問 10)いじめを受けた/いじめたことがあるか(直近1年間)

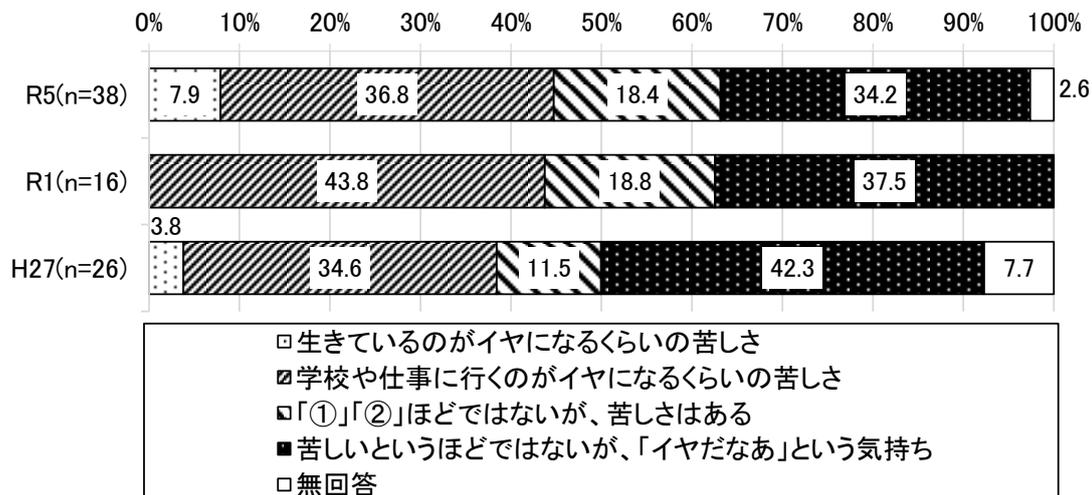


おとな：(問 9)子どもがいじめを受けた/いじめたことがあるか(直近 1 年間)



※令和元年度調査より 0～17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どもをもつ保護者が対象)

子ども：(問 10-3)いじめを受けたときの苦しさはどの程度か



直近 1 年間でいじめを受けたことがある子どもは 10.3%と、令和元年度の調査の 7.8%からやや上昇した。また、「いじめたことがある」、「どちらもある」はやや低下した。

学校種別にみると、「いじめを受けたことがある」は中学生で最も高く 13.8%となっている。

*いじめの対処方法

いじめを受けたときの対処方法について、「人に相談した」や「がまんした」といった方法を取った子どもが多い。

一方、いじめを見つけたときの対処方法については、「何もしなかった」や「いじめられていた人の話をきいたり、相談にのったりした」といった方法を取った子どもが多い。

また、子どもがいじめを受けたことが分かったときのおとなの対処方法では、「子どもと話し合った」が最も多く、ついで「学校の先生に相談した」となっている。一方で、子どもが他の子どもをいじめたことが分かった時は「子どもと話し合った」や「家族と相談した」といった対応を取っている。

「いじめを受けていて、特に何もしなかった理由」

<その他:子ども>

- いいかえせなかったから。こんなことで相談するのはおかしいかなと思ったから。
- 大事にしたくなかった。めんどくさかった。
- 人との接し方に意識したから。
- 色んな人と関わっているから。
- 大事になったりまたいじめられるかもしんないから秘密にしたり特に何もしない。

<その他:おとな>

- 本人で解決可能な内容と判断したため。
- (最初は)親が何かアクションを起こすと良い方向に進まないと思ってるから。あと、子供^{ども}から辛いとうったえてきた事は無いので、本人は私ほど気にしていないかなと思ったため。
- 他にもいると知らなかった。
- 子ども自身に考えがあったので、見守った。

「いじめを受けている人を見て、何もしなかった理由」

<その他:子ども>

- その子本人が気にしているのか分からなかったから。
- 喋ったことの無い人だったから。
- いじめかおふざけか、どちらでもあるように感じたから。
- 本当にいじめなのかわかんなかった。

*相談相手

いじめを受けた場合の相談相手は「母親」や「学校の先生」が多くなっている。いじめを受けている人を見た場合についても、相談相手は「母親」や「学校の先生」が多くなっている。

*いじめの苦しさ

いじめの苦しさについては、「学校や仕事に行くのがイヤになるくらいの苦しさ」、「苦しいというほどではないが、『イヤだなあ』という気持ち」が比較的多くなっている。

<性別・年齢別集計結果>

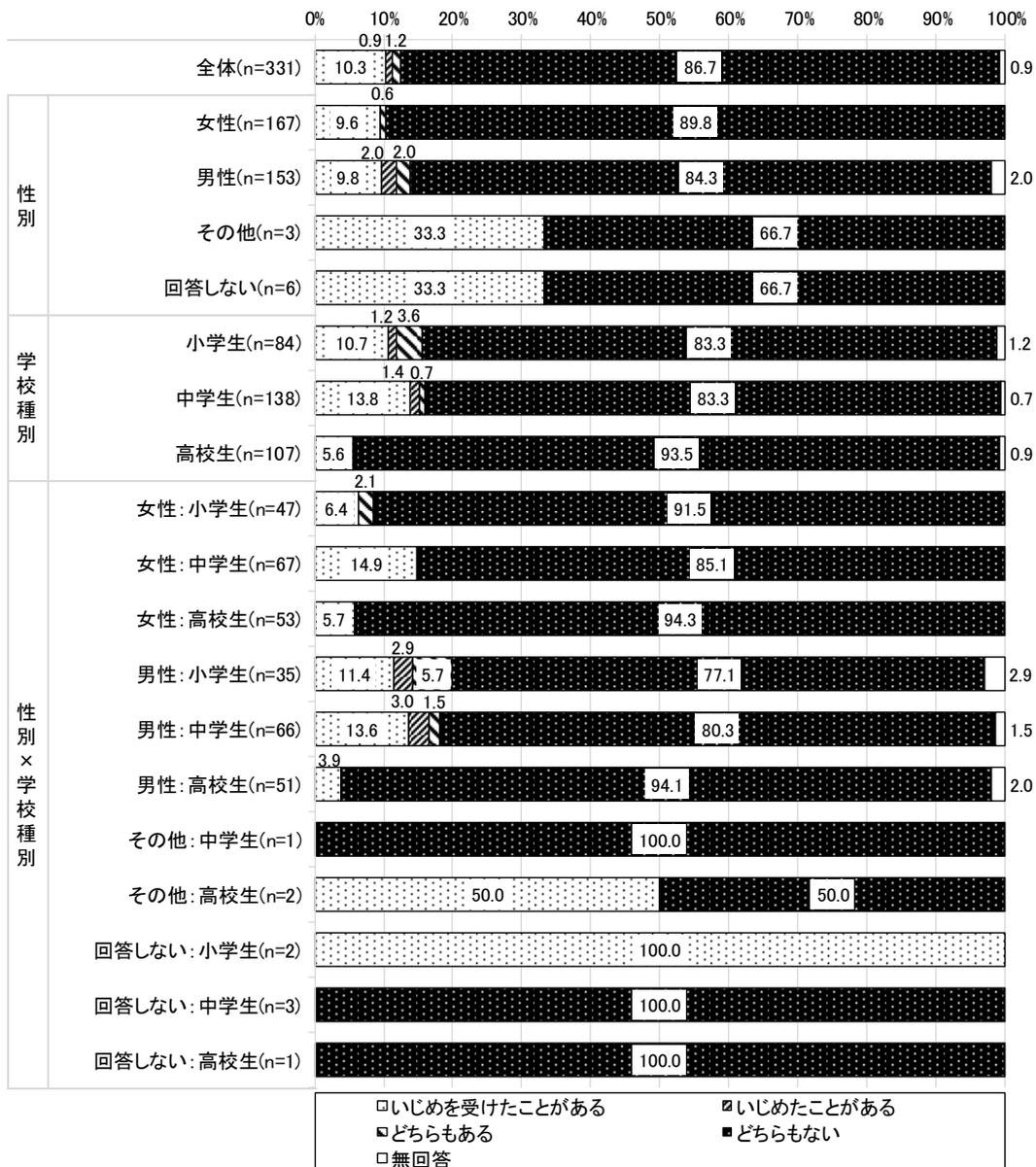
子ども:(問10)いじめを受けた/いじめたことがあるか(直近1年間)

		合計	いじめを受けたことがある	いじめたことがある	どちらもある	どちらもない	無回答
全体		331	34	3	4	287	3
		100.0	10.3	0.9	1.2	86.7	0.9
性別	女性	167	16	-	1	150	-
		100.0	9.6	-	0.6	89.8	-
	男性	153	15	3	3	129	3
		100.0	9.8	2.0	2.0	84.3	2.0
	その他	3	1	-	-	2	-
		100.0	33.3	-	-	66.7	-
	回答しない	6	2	-	-	4	-
		100.0	33.3	-	-	66.7	-
学校種別	小学生	84	9	1	3	70	1
		100.0	10.7	1.2	3.6	83.3	1.2
	中学生	138	19	2	1	115	1
	100.0	13.8	1.4	0.7	83.3	0.7	
	高校生	107	6	-	-	100	1
		100.0	5.6	-	-	93.5	0.9
性別×学校種別	女性:小学生	47	3	-	1	43	-
		100.0	6.4	-	2.1	91.5	-
	女性:中学生	67	10	-	-	57	-
		100.0	14.9	-	-	85.1	-
	女性:高校生	53	3	-	-	50	-
		100.0	5.7	-	-	94.3	-
	男性:小学生	35	4	1	2	27	1
		100.0	11.4	2.9	5.7	77.1	2.9
	男性:中学生	66	9	2	1	53	1
		100.0	13.6	3.0	1.5	80.3	1.5
	男性:高校生	51	2	-	-	48	1
		100.0	3.9	-	-	94.1	2.0
		その他:小学生	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
	その他:中学生	1	-	-	-	1	-
		100.0	-	-	-	100.0	-
	その他:高校生	2	1	-	-	1	-
		100.0	50.0	-	-	50.0	-
	回答しない:小学生	2	2	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-
	回答しない:中学生	3	-	-	-	3	-
		100.0	-	-	-	100.0	-
	回答しない:高校生	1	-	-	-	1	-
		100.0	-	-	-	100.0	-

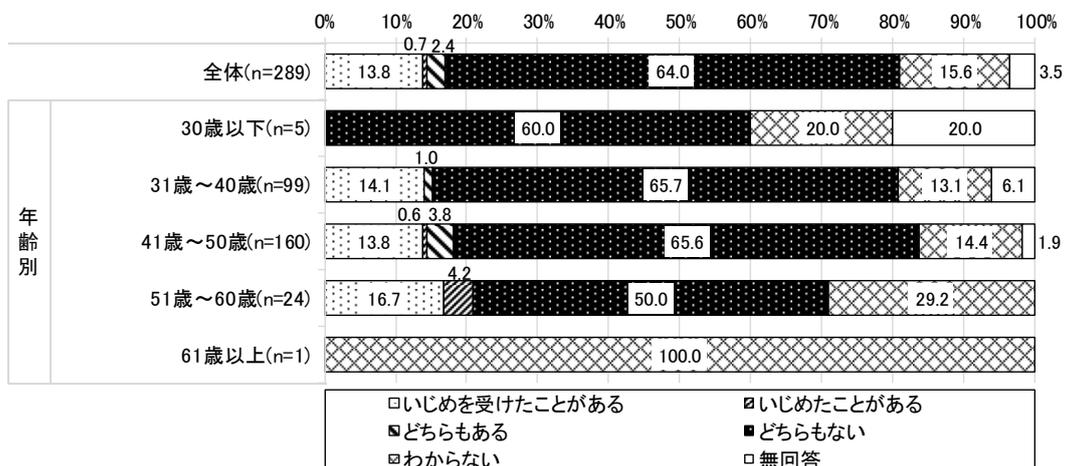
おとな:(問9)子どもがいじめを受けた/いじめたことがあるか(直近1年間)

		合計	いじめを受けたことがある	いじめたことがある	どちらもある	どちらもない	わからない	無回答
全体		289	40	2	7	185	45	10
		100.0	13.8	0.7	2.4	64.0	15.6	3.5
年齢別	30歳以下	5	-	-	-	3	1	1
		100.0	-	-	-	60.0	20.0	20.0
	31歳~40歳	99	14	-	1	65	13	6
		100.0	14.1	-	1.0	65.7	13.1	6.1
	41歳~50歳	160	22	1	6	105	23	3
	100.0	13.8	0.6	3.8	65.6	14.4	1.9	
	51歳~60歳	24	4	1	-	12	7	-
		100.0	16.7	4.2	-	50.0	29.2	-
	61歳以上	1	-	-	-	-	1	-
		100.0	-	-	-	-	100.0	-

子ども:(問 10)いじめを受けた/いじめたことがあるか(直近 1 年間)



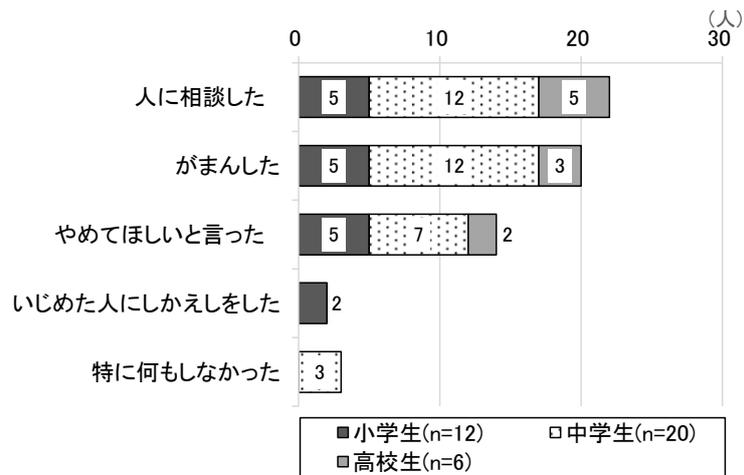
おとな:(問 9)子どもがいじめを受けた/いじめたことがあるか(直近 1 年間)



子ども:(問10-1)いじめを受けたときどうしたか

		合計	やめてほしいと言った	いじめた人にしかえしをした	イライラして他の人をいじめた	がまんした	人に相談した	特に何もしなかった	無回答
全体		38	14	2	1	20	22	3	1
		100.0	36.8	5.3	2.6	52.6	57.9	7.9	2.6
性別	女性	17	4	-	-	6	13	2	1
		100.0	23.5	-	-	35.3	76.5	11.8	5.9
	男性	18	8	2	1	12	8	1	-
		100.0	44.4	11.1	5.6	66.7	44.4	5.6	-
	その他	1	1	-	-	1	1	-	-
		100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-
	回答しない	2	1	-	-	1	-	-	-
		100.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-
学校種別	小学生	12	5	2	1	5	5	-	1
		100.0	41.7	16.7	8.3	41.7	41.7	-	8.3
	中学生	20	7	-	-	12	12	3	-
		100.0	35.0	-	-	60.0	60.0	15.0	-
	高校生	6	2	-	-	3	5	-	-
		100.0	33.3	-	-	50.0	83.3	-	-
性別×学校種別	女性:小学生	3	1	-	-	1	2	-	-
		100.0	33.3	-	-	33.3	66.7	-	-
	女性:中学生	10	3	-	-	4	8	2	-
		100.0	30.0	-	-	40.0	80.0	20.0	-
	女性:高校生	3	-	-	-	1	3	-	-
		100.0	-	-	-	33.3	100.0	-	-
	男性:小学生	6	3	2	1	3	3	-	-
		100.0	50.0	33.3	16.7	50.0	50.0	-	-
	男性:中学生	10	4	-	-	8	4	1	-
		100.0	40.0	-	-	80.0	40.0	10.0	-
	男性:高校生	2	1	-	-	1	1	-	-
		100.0	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-
その他:小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他:中学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他:高校生	1	1	-	-	1	1	-	-	
	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	
回答しない:小学生	2	1	-	-	1	-	-	-	
	100.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	
回答しない:中学生	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	
回答しない:高校生	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	

子ども:(問10-1)いじめを受けたときどうしたか(主要項目)

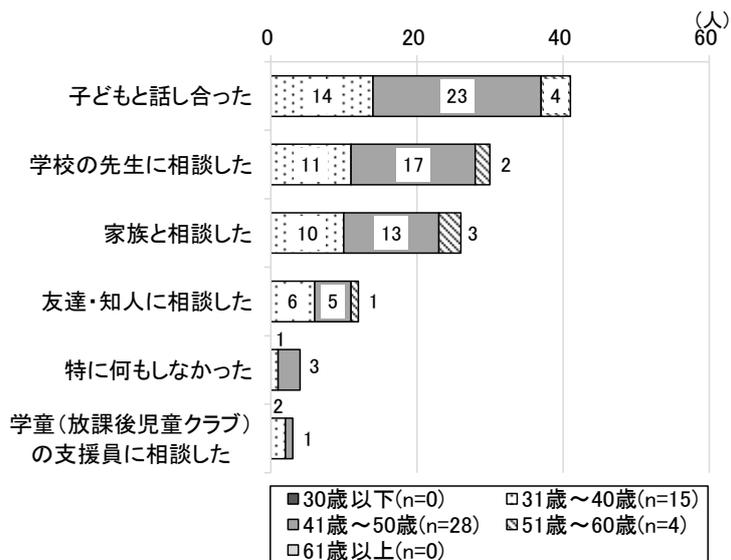


※回答者数が少数のため割合ではなく、実数で表示した。

おとな:(問9-1)子どもがいじめを受けたときどうしたか

		合計	子どもと話し合った	家族と相談した	友達・知人に相談した	学校の先生に相談した	学童(放課後児童クラブ)の支援員に相談した	塾や習いごとの先生に相談した	相談機関を利用した	特に何もなかった	無回答
全体		47	41	26	12	30	3	-	2	4	-
		100.0	87.2	55.3	25.5	63.8	6.4	-	4.3	8.5	-
年齢別	30歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	31歳~40歳	15	14	10	6	11	2	-	1	1	-
		100.0	93.3	66.7	40.0	73.3	13.3	-	6.7	6.7	-
	41歳~50歳	28	23	13	5	17	1	-	-	3	-
		100.0	82.1	46.4	17.9	60.7	3.6	-	-	10.7	-
51歳~60歳	4	4	3	1	2	-	-	1	-	-	
	100.0	100.0	75.0	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-	
61歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

おとな:(問9-1)子どもがいじめを受けたときどうしたか(主要項目)



※回答者数が少数のため割合ではなく、実数で表示した。

おとな:(問9-2)子どもがいじめをしたときどうしたか

		合計	子どもと話し合った	家族と相談した	友達・知人に相談した	学校の先生に相談した	学童(放課後児童クラブ)の支援員に相談した	塾や習いごとの先生に相談した	相談機関を利用した	特に何もしなかった	無回答
全体		9	9	7	1	4	-	-	1	1	-
		100.0	100.0	77.8	11.1	44.4	-	-	11.1	11.1	-
年齢別	30歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	31歳~40歳	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	41歳~50歳	7	7	6	1	3	-	-	-	1	-
		100.0	100.0	85.7	14.3	42.9	-	-	-	14.3	-
51歳~60歳	1	1	-	-	1	-	-	1	-	-	
	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	
61歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

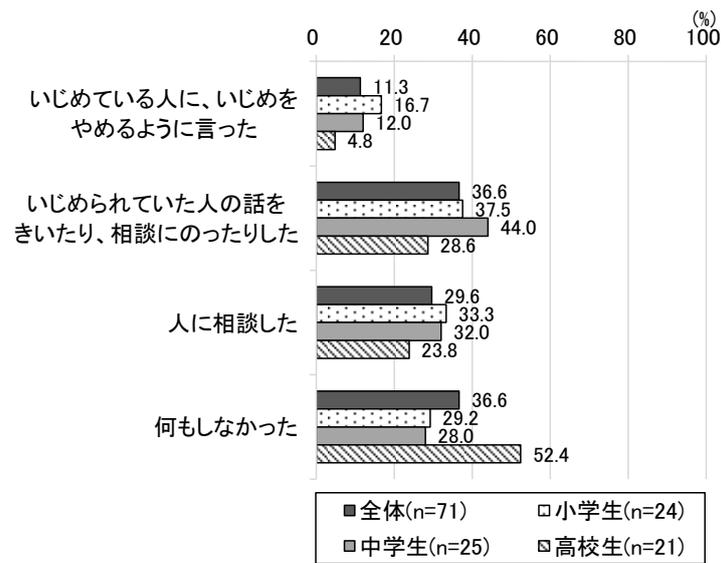
子ども:(問10-2)いじめを受けたときの相談相手

	合計	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	友だち・先輩	知りあいの人	学校の先生	学校の相談員	学童(放課後児童クラブ)の先生	多治見市子どもの権利相談室(たじみ子どもサポート)	クラブのコーチ	塾や習いごとの先生	人権擁護委員(子ども人権SOSミレター)	インターネット上の人	その他	無回答
全体	22 100.0	16 72.7	6 27.3	3 13.6	-	10 45.5	1 4.5	12 54.5	1 4.5	-	-	-	1 4.5	1 4.5	2 9.1	-	-
性別	女性	13 100.0	10 76.9	3 23.1	3 23.1	-	7 53.8	1 7.7	7 53.8	1 7.7	-	-	-	1 7.7	2 15.4	-	-
	男性	8 100.0	6 75.0	3 37.5	-	-	2 25.0	-	5 62.5	-	-	-	1 12.5	-	-	-	-
	その他	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回答しない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校種別	小学生	5 100.0	5 100.0	2 40.0	1 20.0	-	3 60.0	-	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	中学生	12 100.0	8 66.7	4 33.3	2 16.7	-	4 33.3	-	9 75.0	1 8.3	-	-	1 8.3	1 8.3	2 16.7	-	-
	高校生	5 100.0	3 60.0	-	-	-	3 60.0	1 20.0	2 40.0	-	-	-	-	-	-	-	-
性別×学校種別	女性:小学生	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性:中学生	8 100.0	6 75.0	2 25.0	2 25.0	-	4 50.0	-	6 75.0	1 12.5	-	-	-	1 12.5	2 25.0	-	-
	女性:高校生	3 100.0	2 66.7	-	-	-	2 66.7	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性:小学生	3 100.0	3 100.0	1 33.3	-	-	2 66.7	-	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性:中学生	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	-	-	-	3 75.0	-	-	-	1 25.0	-	-	-	-
	男性:高校生	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他:小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他:中学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他:高校生	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回答しない:小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
回答しない:中学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
回答しない:高校生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

子ども:(問 11)いじめを受けている人を見てどうしたか

		合計	いじめて いる人に、 いじめをや めるように 言った	いじめられ ていた人 の話をき いたり、相 談にのっ たりした	いじめて いた人をし かえしとし て逆にい じめた	人に相談 した	何もしな かった	無回答
全体		71	8	26	1	21	26	-
		100.0	11.3	36.6	1.4	29.6	36.6	-
性別	女性	35	5	19	-	8	12	-
		100.0	14.3	54.3	-	22.9	34.3	-
	男性	33	3	7	1	11	13	-
		100.0	9.1	21.2	3.0	33.3	39.4	-
	その他	1	-	-	-	1	-	-
		100.0	-	-	-	100.0	-	-
	回答しない	1	-	-	-	1	-	-
		100.0	-	-	-	100.0	-	-
学校種別	小学生	24	4	9	1	8	7	-
		100.0	16.7	37.5	4.2	33.3	29.2	-
	中学生	25	3	11	-	8	7	-
	100.0	12.0	44.0	-	32.0	28.0	-	
	高校生	21	1	6	-	5	11	-
		100.0	4.8	28.6	-	23.8	52.4	-
性別×学校種別	女性:小学生	12	1	7	-	4	4	-
		100.0	8.3	58.3	-	33.3	33.3	-
	女性:中学生	14	3	8	-	2	4	-
		100.0	21.4	57.1	-	14.3	28.6	-
	女性:高校生	9	1	4	-	2	4	-
		100.0	11.1	44.4	-	22.2	44.4	-
	男性:小学生	11	3	2	1	3	3	-
		100.0	27.3	18.2	9.1	27.3	27.3	-
	男性:中学生	11	-	3	-	6	3	-
		100.0	-	27.3	-	54.5	27.3	-
	男性:高校生	11	-	2	-	2	7	-
		100.0	-	18.2	-	18.2	63.6	-
	その他:小学生	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	
その他:中学生	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
その他:高校生	1	-	-	-	1	-	-	
	100.0	-	-	-	100.0	-	-	
回答しない:小学生	1	-	-	-	1	-	-	
	100.0	-	-	-	100.0	-	-	
回答しない:中学生	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
回答しない:高校生	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	

子ども:(問 11)いじめを受けている人を見てどうしたか(主要項目)



子ども:(問 11-1)いじめを受けている人を見て誰に相談したか

	合計	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	友だち・先輩	知りあいの人	学校の先生	学校の相談員	学童(放課後児童クラブ)の先生	多治見市子どもの権利相談室(たじみ子どもサポート)	クラブのコーチ	塾や習いごとの先生	人権擁護委員(子ども人権SOSミレター)	インターネット上の人	その他	無回答	
全体	21	7	1	1	1	5	-	16	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	33.3	4.8	4.8	4.8	23.8	-	76.2	9.5	-	-	-	-	-	-	-	-	
性別																		
女性	8	3	1	1	1	4	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	37.5	12.5	12.5	12.5	50.0	-	62.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	
男性	11	2	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	18.2	-	-	-	9.1	-	90.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
回答しない	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
学校種別																		
小学生	8	3	-	-	-	1	-	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	37.5	-	-	-	12.5	-	87.5	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
中学生	8	1	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	12.5	-	-	-	25.0	-	87.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高校生	5	3	1	1	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	60.0	20.0	20.0	20.0	40.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
性別×学校種別																		
女性:小学生	4	1	-	-	-	1	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	25.0	-	-	-	25.0	-	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
女性:中学生	2	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	-	-	-	-	50.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
女性:高校生	2	2	1	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男性:小学生	3	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	33.3	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男性:中学生	6	1	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	16.7	-	-	-	16.7	-	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
男性:高校生	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他:小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他:中学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他:高校生	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
回答しない:小学生	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
回答しない:中学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
回答しない:高校生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

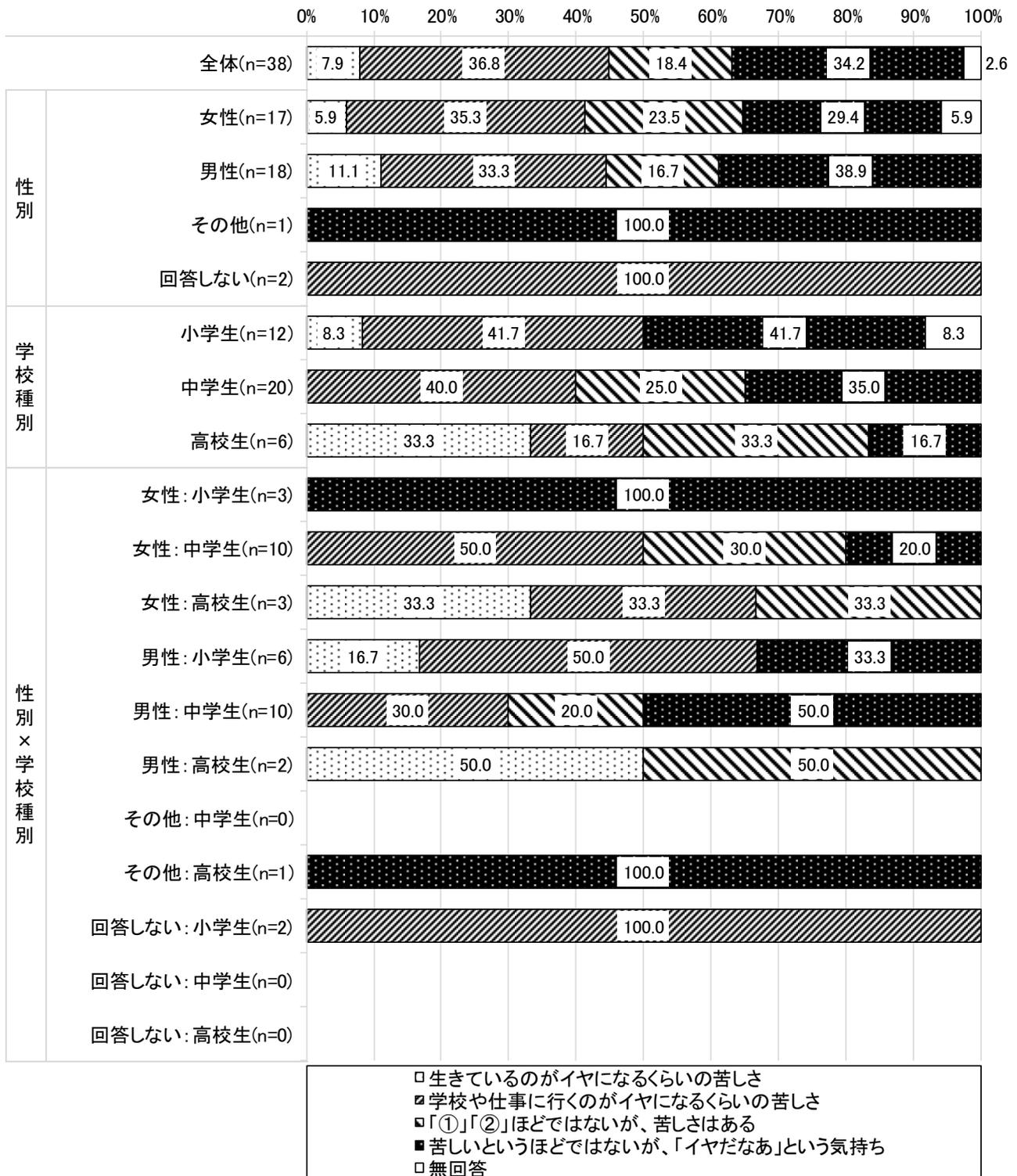
子ども：(問 11-2)いじめを受けている人を見て、何もしなかったのはなぜか

		合計	自分がいじめられるのがこわかったから	どうしているのか、わからなかったから	自分には関係のないことだから	その他	無回答
全体		26	2	17	3	4	-
		100.0	7.7	65.4	11.5	15.4	-
性別	女性	12	1	7	1	3	-
		100.0	8.3	58.3	8.3	25.0	-
	男性	13	1	9	2	1	-
		100.0	7.7	69.2	15.4	7.7	-
その他	-	-	-	-	-	-	
回答しない	-	-	-	-	-	-	
学校種別	小学生	7	1	5	1	-	-
		100.0	14.3	71.4	14.3	-	-
	中学生	7	-	4	1	2	-
100.0		-	57.1	14.3	28.6	-	
高校生	11	1	7	1	2	-	
	100.0	9.1	63.6	9.1	18.2	-	
性別×学校種別	女性：小学生	4	-	3	1	-	-
		100.0	-	75.0	25.0	-	-
	女性：中学生	4	-	2	-	2	-
		100.0	-	50.0	-	50.0	-
	女性：高校生	4	1	2	-	1	-
		100.0	25.0	50.0	-	25.0	-
	男性：小学生	3	1	2	-	-	-
		100.0	33.3	66.7	-	-	-
	男性：中学生	3	-	2	1	-	-
		100.0	-	66.7	33.3	-	-
	男性：高校生	7	-	5	1	1	-
		100.0	-	71.4	14.3	14.3	-
その他：小学生	-	-	-	-	-	-	
その他：中学生	-	-	-	-	-	-	
その他：高校生	-	-	-	-	-	-	
回答しない：小学生	-	-	-	-	-	-	
回答しない：中学生	-	-	-	-	-	-	
回答しない：高校生	-	-	-	-	-	-	

子ども:(問10-3)いじめを受けたときの苦しさはどの程度か

		合計	生きているのがイヤになるくらいの苦しさ	学校や仕事に行くのがイヤになるくらいの苦しさ	「①」「②」ほどではないが、苦しさはある	苦しいというほどではないが、「イヤだなあ」という気持ち	無回答
全体		38 100.0	3 7.9	14 36.8	7 18.4	13 34.2	1 2.6
性別	女性	17 100.0	1 5.9	6 35.3	4 23.5	5 29.4	1 5.9
	男性	18 100.0	2 11.1	6 33.3	3 16.7	7 38.9	-
	その他	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-
	回答しない	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-
学校種別	小学生	12 100.0	1 8.3	5 41.7	-	5 41.7	1 8.3
	中学生	20 100.0	-	8 40.0	5 25.0	7 35.0	-
	高校生	6 100.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	-
性別×学校種別	女性:小学生	3 100.0	-	-	-	3 100.0	-
	女性:中学生	10 100.0	-	5 50.0	3 30.0	2 20.0	-
	女性:高校生	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-
	男性:小学生	6 100.0	1 16.7	3 50.0	-	2 33.3	-
	男性:中学生	10 100.0	-	3 30.0	2 20.0	5 50.0	-
	男性:高校生	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-
	その他:小学生	-	-	-	-	-	-
	その他:中学生	-	-	-	-	-	-
	その他:高校生	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-
	回答しない:小学生	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-
	回答しない:中学生	-	-	-	-	-	-
	回答しない:高校生	-	-	-	-	-	-

子ども：(問10-3)いじめを受けたときの苦しさはどの程度か



3. 体罰や児童虐待について

<子ども>

問12 おとなのすることや言うことで、大変いやな思い、苦しい思いをしたことがありますか。

問12-1 問12で「①ある」と答えた人におたずねします。どんなことを誰からされましたか。

問13 自分以外の人がおとなにされたり言われたりしているのを見たり、きいたりして、自分が大変いやな思い、苦しい思いをしたことがありますか。

問13-1 問13で「①ある」と答えた人におたずねします。その人がどんなことを誰からされましたか。

<おとな>

問10 あなたの家庭の子どもはおとなから、【問10-1】に挙げられているようなことをされて「いやな思い」をしたことがありますか。

問10-1 問10で「①ある」と答えた人におたずねします。それは、どんなことですか。

◆おとなの言動で大変いやな思い、苦しい思いをしたことがある子どもは19.6%

◆おとなから子どもに、大変いやな思いをさせたことがあると思うおとなは23.7%

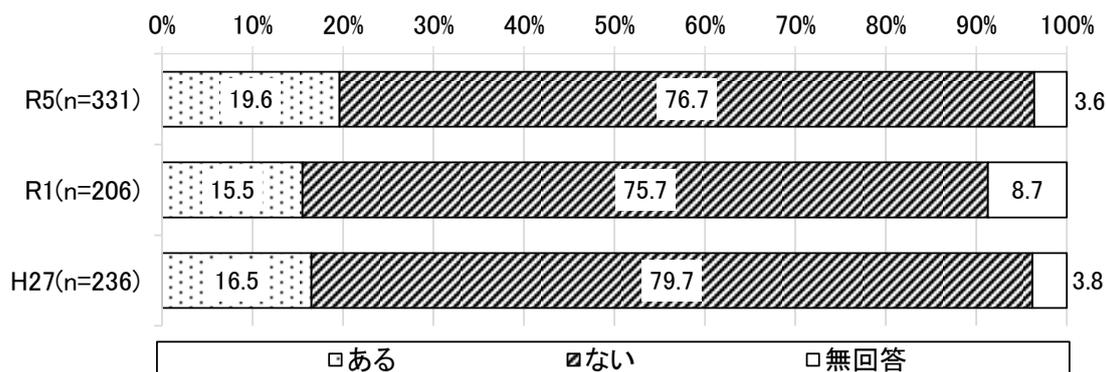
<分類別結果>

子ども：大変いやな思い、つらい思いをしたことが「ある」

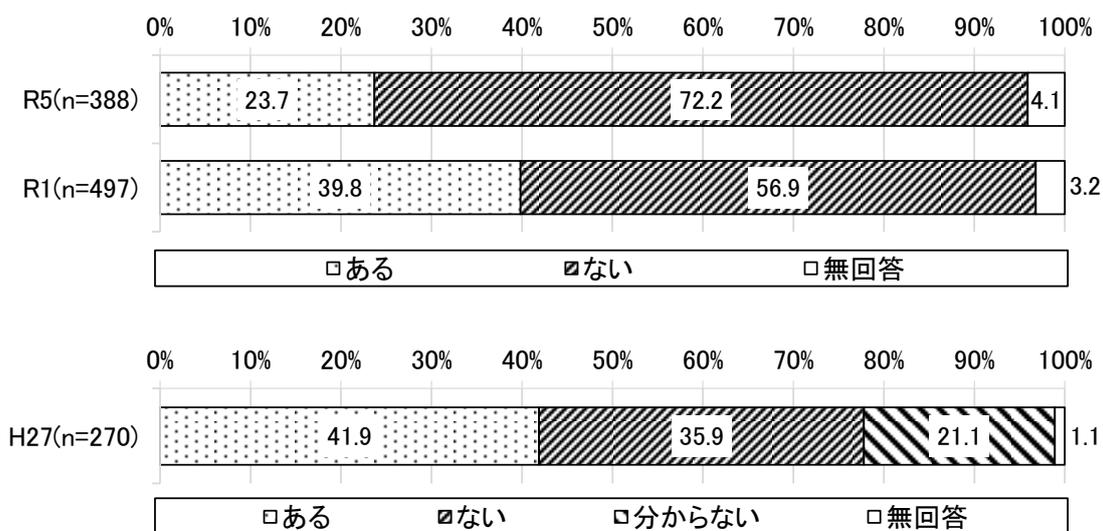
	最高値	最低値
年齢別	高校生(30.8%)	小学生(9.5%)
性別・年齢別	男性：高校生(31.4%)	男性：小学生(5.7%)

<経年比較>

子ども：(問12)おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことがあるか



おとな:(問 10)おとなから子どもに、大変いやな思いをさせたことがあると思うか



おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことが「ある」と回答した割合は 19.6%と、令和元年度の調査の 15.5%からやや上昇した。

性別にみると、「ある」は女性で 18.0%、男性で 19.6%となっている。また、学校種別にみると、「ある」は高校生で 30.8%と、小学生や中学生に比べて高くなっている。

おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことが「ある」場合の具体的な内容をみると、「心が傷つくようなことを言われた」が最も多くなっている。また、言った相手としては、「学校の先生」や「親(保護者)」が挙げられている。

一方、おとなからみて、子どもに大変いやな思いをさせたことが「ある」と回答した割合は 23.7%と、令和元年度の調査の 39.8%から低下した。

<性別・年齢別集計結果>

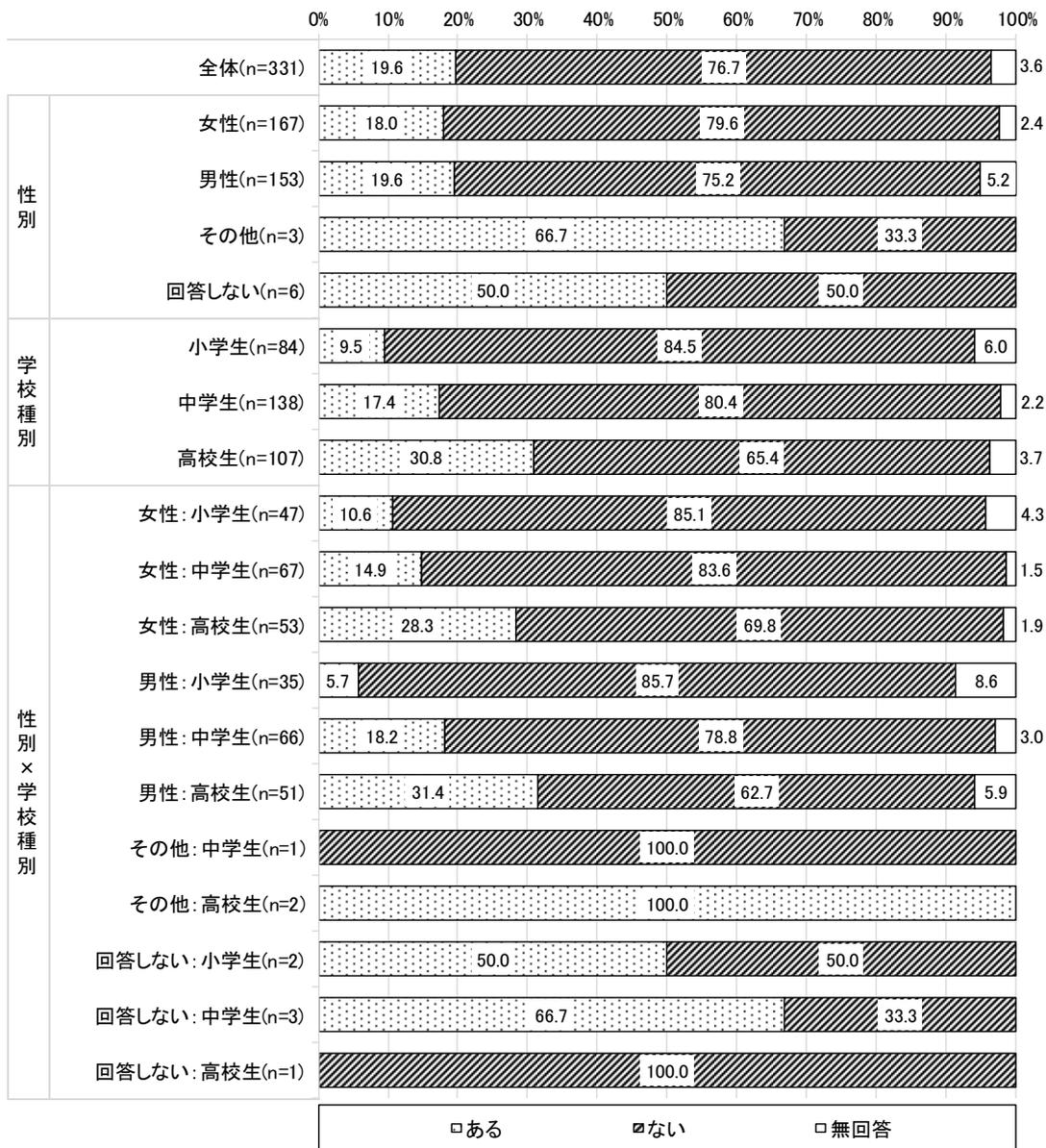
子ども:(問 12)おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことがあるか

		合計	ある	ない	無回答
全体		331	65	254	12
		100.0	19.6	76.7	3.6
性別	女性	167	30	133	4
		100.0	18.0	79.6	2.4
	男性	153	30	115	8
		100.0	19.6	75.2	5.2
	その他	3	2	1	-
		100.0	66.7	33.3	-
	回答しない	6	3	3	-
		100.0	50.0	50.0	-
学校種別	小学生	84	8	71	5
		100.0	9.5	84.5	6.0
	中学生	138	24	111	3
		100.0	17.4	80.4	2.2
	高校生	107	33	70	4
		100.0	30.8	65.4	3.7
性別×学校種別	女性:小学生	47	5	40	2
		100.0	10.6	85.1	4.3
	女性:中学生	67	10	56	1
		100.0	14.9	83.6	1.5
	女性:高校生	53	15	37	1
		100.0	28.3	69.8	1.9
	男性:小学生	35	2	30	3
		100.0	5.7	85.7	8.6
	男性:中学生	66	12	52	2
		100.0	18.2	78.8	3.0
	男性:高校生	51	16	32	3
		100.0	31.4	62.7	5.9
	その他:小学生	-	-	-	-
	-	-	-	-	
その他:中学生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	
その他:高校生	2	2	-	-	
	100.0	100.0	-	-	
回答しない:小学生	2	1	1	-	
	100.0	50.0	50.0	-	
回答しない:中学生	3	2	1	-	
	100.0	66.7	33.3	-	
回答しない:高校生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	

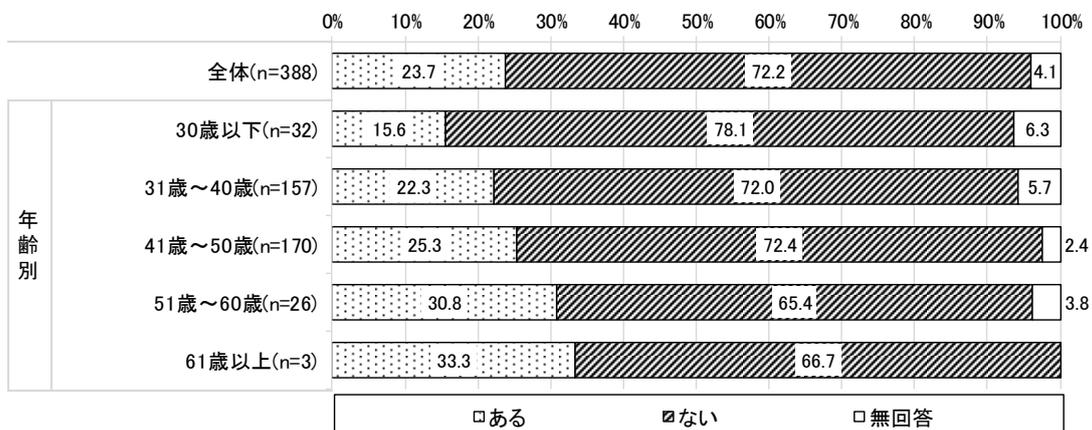
おとな:(問 10)おとなから子どもに、大変いやな思いをさせたことがあると思うか

		合計	ある	ない	無回答
全体		388	92	280	16
		100.0	23.7	72.2	4.1
年齢別	30歳以下	32	5	25	2
		100.0	15.6	78.1	6.3
	31歳～40歳	157	35	113	9
		100.0	22.3	72.0	5.7
	41歳～50歳	170	43	123	4
		100.0	25.3	72.4	2.4
	51歳～60歳	26	8	17	1
		100.0	30.8	65.4	3.8
	61歳以上	3	1	2	-
		100.0	33.3	66.7	-

子ども：(問 12)おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことがあるか



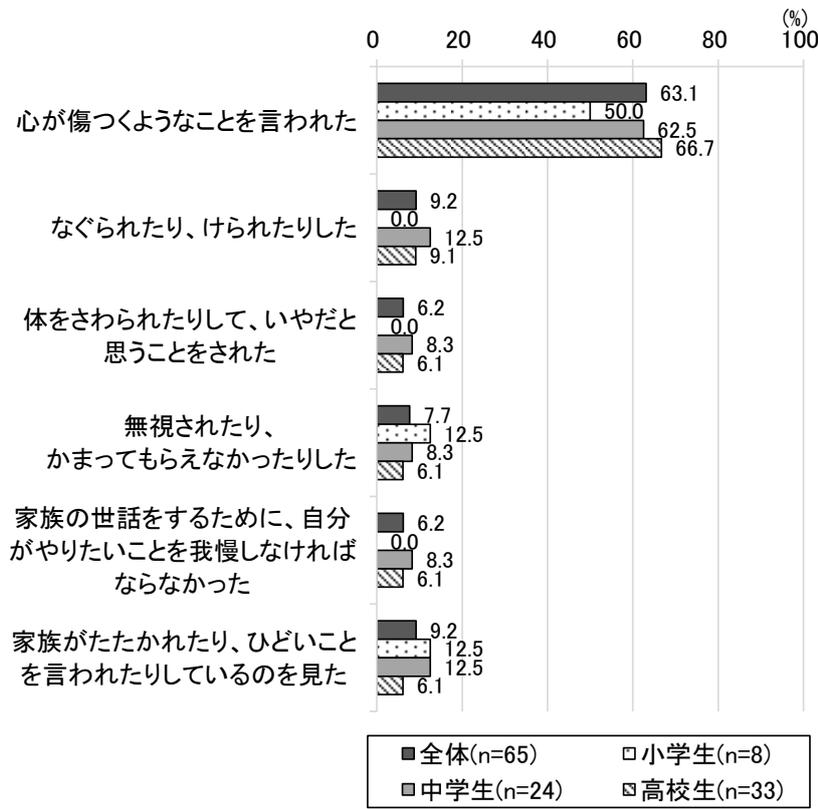
おとな：(問 10)おとなから子どもに、大変いやな思いをさせたことがあると思うか



子ども:(問12-1)おとなのことばや行為で大変いやな思い、つらい思いをしたのはどんなことが

		合計	心が傷つくようなことを言われた	なぐられたり、けられたりした	体をさわられたりして、いやだと思ふことをされた	無視されたり、かまってもらえなかったりした	家族の世話をするために、自分がやりたいことを我慢しなければならなかった	家族がたたかれたり、ひどいことを言われたりしているのを見た	無回答
全体		65 100.0	41 63.1	6 9.2	4 6.2	5 7.7	4 6.2	6 9.2	19 29.2
性別	女性	30 100.0	18 60.0	2 6.7	2 6.7	2 6.7	2 6.7	3 10.0	9 30.0
	男性	30 100.0	20 66.7	3 10.0	- -	2 6.7	2 6.7	3 10.0	9 30.0
	その他	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -
	回答しない	3 100.0	1 33.3	- -	- -	1 33.3	- -	- -	1 33.3
学校種別	小学生	8 100.0	4 50.0	- -	- -	1 12.5	- -	1 12.5	2 25.0
	中学生	24 100.0	15 62.5	3 12.5	2 8.3	2 8.3	2 8.3	3 12.5	7 29.2
	高校生	33 100.0	22 66.7	3 9.1	2 6.1	2 6.1	2 6.1	2 6.1	10 30.3
性別×学校種別	女性:小学生	4 100.0	3 75.0	- -	- -	- -	- -	1 25.0	- -
	女性:中学生	8 100.0	6 75.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	- -
	女性:高校生	9 100.0	9 100.0	1 11.1	- -	- -	- -	1 11.1	- -
	男性:小学生	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	男性:中学生	8 100.0	8 100.0	2 25.0	- -	- -	- -	2 25.0	- -
	男性:高校生	12 100.0	11 91.7	1 8.3	- -	2 16.7	2 16.7	1 8.3	- -
	その他:小学生	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	その他:中学生	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	その他:高校生	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -
	回答しない:小学生	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -
	回答しない:中学生	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	回答しない:高校生	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

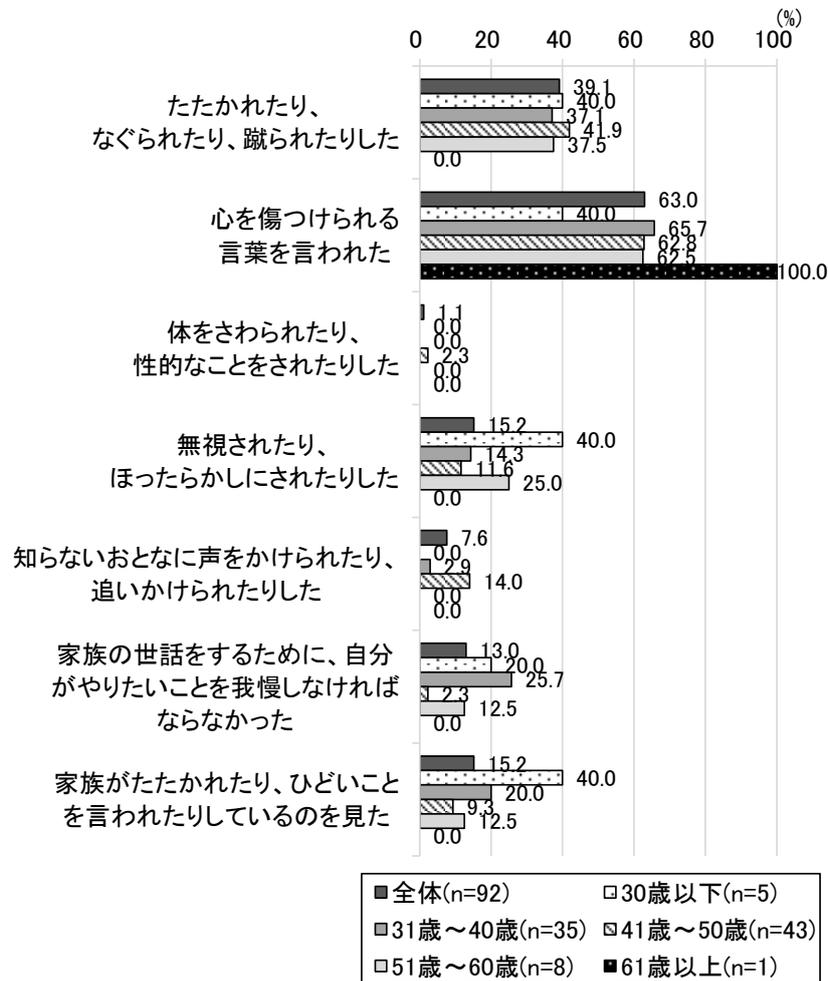
子ども:(問 12-1)おとなのことばや行為で大変いやな思い、つらい思いをしたのはどんなことか



おとな:(問 10-1)子どもが大変いやな思い、つらい思いをするようなことを言ったり、行ったりしたのはどんなことか

		合計	たたかれたり、なぐられたり、蹴られたりした	心を傷つけられる言葉を言われた	体をさわられたり、性的なことをされたりした	無視されたり、ほったらかしにされたりした	知らないおとなに声をかけられたり、追いかけられたりした	家族の世話をするために、自分がやりたいことを我慢しなければならなかった	家族がたたかれたり、ひどいことを言われたりしているのを見た	その他	無回答
全体		92 100.0	36 39.1	58 63.0	1 1.1	14 15.2	7 7.6	12 13.0	14 15.2	5 5.4	-
年齢別	30歳以下	5 100.0	2 40.0	2 40.0	-	2 40.0	-	1 20.0	2 40.0	1 20.0	-
	31歳~40歳	35 100.0	13 37.1	23 65.7	-	5 14.3	1 2.9	9 25.7	7 20.0	1 2.9	-
	41歳~50歳	43 100.0	18 41.9	27 62.8	1 2.3	5 11.6	6 14.0	1 2.3	4 9.3	2 4.7	-
	51歳~60歳	8 100.0	3 37.5	5 62.5	-	2 25.0	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-
	61歳以上	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-

おとな:(問 10-1)子どもが大変いやな思い、つらい思いをするようなことを言ったり、行ったりしたのは
 どんなことか



子ども:(問12-1)おとなのことばや行為で大変いやな思い、つらい思いをしたのは誰からされていたか

① 心が傷つくようなことを言われた

	合計	親 (保護者)	一緒に 住んで いる人 (親以外)	学校の 先生	学童(放 課後児童 クラブ)の 先生	塾や習い ごとの 先生	クラブの コーチ	近所の人	知らない 人	その他
全体	41 100.0	20 48.8	2 4.9	21 51.2	- -	1 2.4	4 9.8	3 7.3	2 4.9	5 12.2

② なぐられたり、けられたりした

	合計	親 (保護者)	一緒に 住んで いる人 (親以外)	学校の 先生	学童(放 課後児童 クラブ)の 先生	塾や習い ごとの 先生	クラブの コーチ	近所の人	知らない 人	その他
全体	6 100.0	4 66.7	1 16.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 16.7

③ 体をさわられたりして、いやだと思ふことをされた

	合計	親 (保護者)	一緒に 住んで いる人 (親以外)	学校の 先生	学童(放 課後児童 クラブ)の 先生	塾や習い ごとの 先生	クラブの コーチ	近所の人	知らない 人	その他
全体	4 100.0	3 75.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 25.0

④ 無視されたり、かまってもらえなかったりした

	合計	親 (保護者)	一緒に 住んで いる人 (親以外)	学校の 先生	学童(放 課後児童 クラブ)の 先生	塾や習い ごとの 先生	クラブの コーチ	近所の人	知らない 人	その他
全体	5 100.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

⑤ 家族の世話をするために、自分がやりたいことを我慢しなければならなかった

	合計	親 (保護者)	一緒に 住んで いる人 (親以外)	学校の 先生	学童(放 課後児童 クラブ)の 先生	塾や習い ごとの 先生	クラブの コーチ	近所の人	知らない 人	その他
全体	4 100.0	4 100.0	2 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

⑥ 家族がたたかれたり、ひどいことを言われたりしているのを見た

	合計	親 (保護者)	一緒に 住んで いる人 (親以外)	学校の 先生	学童(放 課後児童 クラブ)の 先生	塾や習い ごとの 先生	クラブの コーチ	近所の人	知らない 人	その他
全体	6 100.0	6 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

自分以外の人がおとなにされたり言われたりしていることを見たり、きいたりして、自分が大変いやな思い、苦しい思いをしたことが「ある」子どもは5.7%と、令和元年度の調査の7.3%からやや低下した。

性別にみると、大きな差はみられず、学校種別でも同様に大きな差はない。

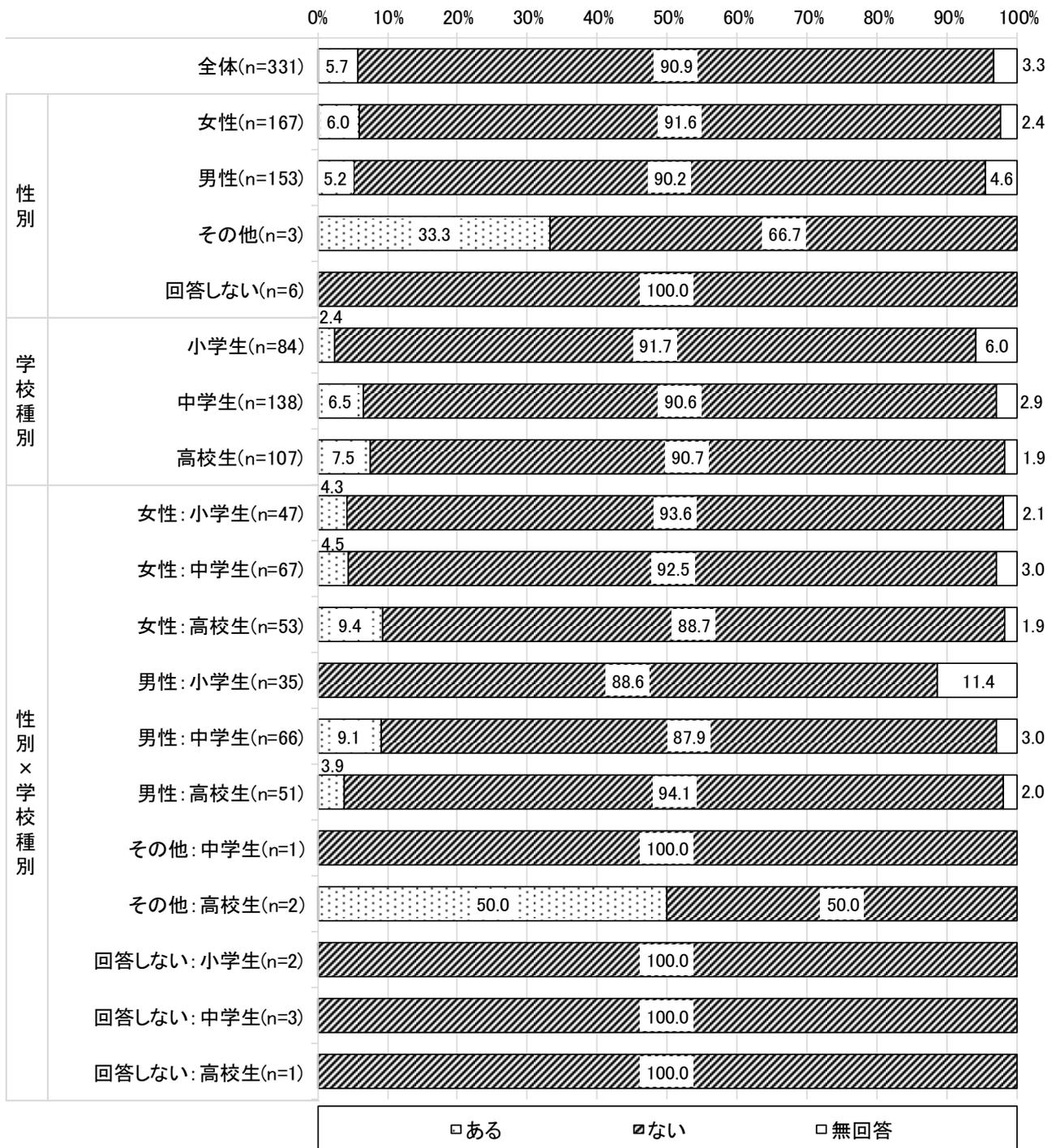
自分以外の人がおとなにされたり言われたりしていることを見たり、きいたりして、自分が大変いやな思い、苦しい思いをしたことがある場合の内容としては、「心が傷つくようなことを言われた」が最も多く、言われた相手としては「学校の先生」や「その人の親(保護者)」が挙げられている。

<性別・年齢別集計結果>

子ども：(問 13)自分以外の人へのおとなのことばや行為で自分が大変いやな思い、つらい思いをしたことがあるか

		合計	ある	ない	無回答
全体		331	19	301	11
		100.0	5.7	90.9	3.3
性別	女性	167	10	153	4
		100.0	6.0	91.6	2.4
	男性	153	8	138	7
		100.0	5.2	90.2	4.6
	その他	3	1	2	-
		100.0	33.3	66.7	-
	回答しない	6	-	6	-
		100.0	-	100.0	-
学校種別	小学生	84	2	77	5
		100.0	2.4	91.7	6.0
	中学生	138	9	125	4
		100.0	6.5	90.6	2.9
	高校生	107	8	97	2
		100.0	7.5	90.7	1.9
性別×学校種別	女性：小学生	47	2	44	1
		100.0	4.3	93.6	2.1
	女性：中学生	67	3	62	2
		100.0	4.5	92.5	3.0
	女性：高校生	53	5	47	1
		100.0	9.4	88.7	1.9
	男性：小学生	35	-	31	4
		100.0	-	88.6	11.4
	男性：中学生	66	6	58	2
		100.0	9.1	87.9	3.0
	男性：高校生	51	2	48	1
		100.0	3.9	94.1	2.0
		その他：小学生	-	-	-
		-	-	-	-
	その他：中学生	1	-	1	-
		100.0	-	100.0	-
	その他：高校生	2	1	1	-
		100.0	50.0	50.0	-
	回答しない：小学生	2	-	2	-
		100.0	-	100.0	-
	回答しない：中学生	3	-	3	-
		100.0	-	100.0	-
	回答しない：高校生	1	-	1	-
		100.0	-	100.0	-

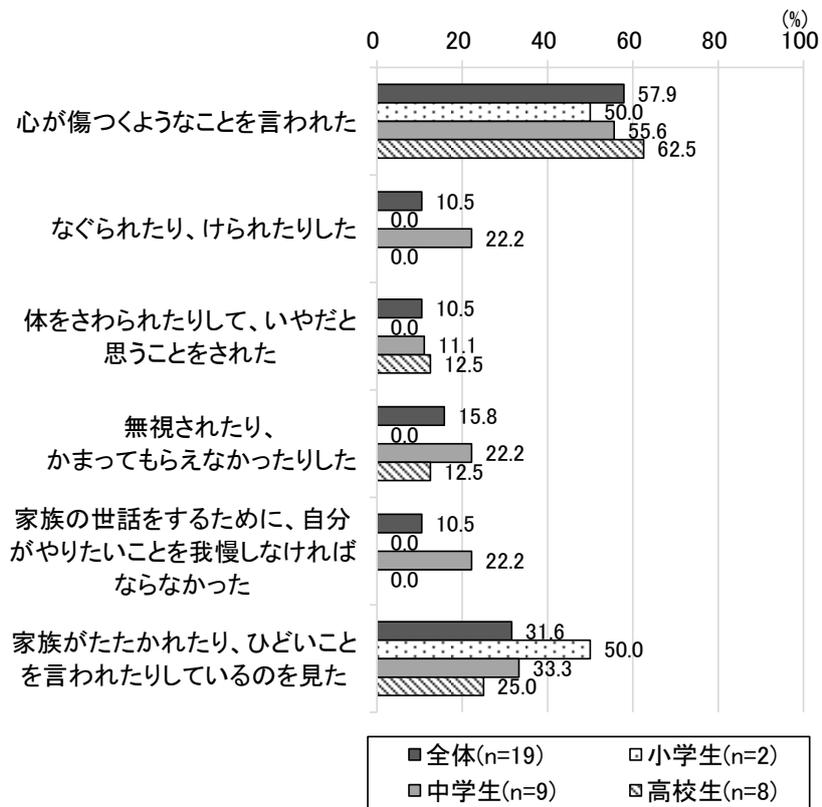
子ども：(問 13)自分以外の人へのおとなのことばや行為で自分が大変いやな思い、つらい思いしたこと
があるか



子ども:(問 13-1)自分以外の人へのおとなのことばや行為で大変いやな思い、つらい思いをしたのはどんなことか

		合計	心が傷つくようなことを言われた	なぐられたり、けられたりした	体をさわられたりして、いやだと思ふことをされた	無視されたり、かまってもらえなかったりした	家族の世話をするために、自分がやりたいことを我慢しなければならなかった	家族がたたかれたり、ひどいことを言われたりしているのを見た	無回答
全体		19 100.0	11 57.9	2 10.5	2 10.5	3 15.8	2 10.5	6 31.6	3 15.8
性別	女性	10 100.0	6 60.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	4 40.0	1 10.0
	男性	8 100.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	2 25.0	2 25.0
	その他	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	回答しない	-	-	-	-	-	-	-	-
学校種別	小学生	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-
	中学生	9 100.0	5 55.6	2 22.2	1 11.1	2 22.2	2 22.2	3 33.3	1 11.1
	高校生	8 100.0	5 62.5	-	1 12.5	1 12.5	-	2 25.0	2 25.0
性別×学校種別	女性:小学生	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-
	女性:中学生	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	1 33.3	2 66.7	1 33.3	-
	女性:高校生	4 100.0	3 75.0	-	1 25.0	1 25.0	-	2 50.0	-
	男性:小学生	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性:中学生	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0	-
	男性:高校生	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	その他:小学生	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他:中学生	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他:高校生	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	回答しない:小学生	-	-	-	-	-	-	-	-
	回答しない:中学生	-	-	-	-	-	-	-	-
	回答しない:高校生	-	-	-	-	-	-	-	-

子ども:(問 13-1)自分以外の人へのおとなのことばや行為で大変いやな思い、つらい思いをしたのはどんなことか



子ども：(問13-1)自分以外の人へのおとなのことばや行為で大変いやな思い、つらい思いをしたのは誰からされていたか

① 心が傷つくようなことを言われた

	合計	その人の親 (保護者)	その人と一緒に 住んでいる人 (親以外)	学校の先生	学童(放課後児童 クラブ)の先生	塾や習いごとの先生	クラブのコーチ	近所の人	知らない人	その他
全体	11 100.0	5 45.5	- -	4 36.4	- -	- -	2 18.2	- -	1 9.1	1 9.1

② なぐられたり、けられたりした

	合計	その人の親 (保護者)	その人と一緒に 住んでいる人 (親以外)	学校の先生	学童(放課後児童 クラブ)の先生	塾や習いごとの先生	クラブのコーチ	近所の人	知らない人	その他
全体	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0

③ 体をさわられたりして、いやだと思ふことをされた

	合計	その人の親 (保護者)	その人と一緒に 住んでいる人 (親以外)	学校の先生	学童(放課後児童 クラブ)の先生	塾や習いごとの先生	クラブのコーチ	近所の人	知らない人	その他
全体	2 100.0	- -	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

④ 無視されたり、かまってもらえなかったりした

	合計	その人の親 (保護者)	その人と一緒に 住んでいる人 (親以外)	学校の先生	学童(放課後児童 クラブ)の先生	塾や習いごとの先生	クラブのコーチ	近所の人	知らない人	その他
全体	3 100.0	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

⑤ 家族の世話をするために、自分がやりたいことを我慢しなければならなかった

	合計	その人の親 (保護者)	その人と一緒に 住んでいる人 (親以外)	学校の先生	学童(放課後児童 クラブ)の先生	塾や習いごとの先生	クラブのコーチ	近所の人	知らない人	その他
全体	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0

⑥ 家族がたたかれたり、ひどいことを言われたりしているのを見た

	合計	その人の親 (保護者)	その人と一緒に 住んでいる人 (親以外)	学校の先生	学童(放課後児童 クラブ)の先生	塾や習いごとの先生	クラブのコーチ	近所の人	知らない人	その他
全体	6 100.0	5 83.3	1 16.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

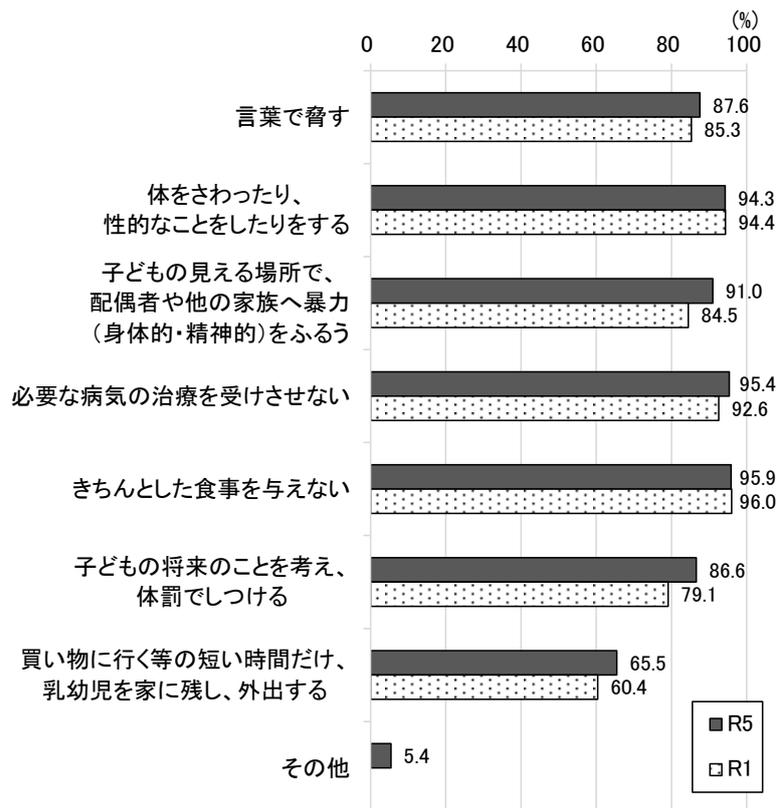
<おとな>

問 11 あなたが児童虐待と感じるものをすべて選んでください。

- ◆「買い物に行く等の短い時間だけ、乳幼児を家に残し、外出する」ことを児童虐待であると感じているおとなは 65.5%
- ◆「子どもの将来のことを考え、体罰でしつける」ことを児童虐待であると感じているおとなは 86.6%

<経年比較>

おとな:(問 11)児童虐待と感じる行為



※本設問は、令和元年度調査より新規に追加された設問となっている。

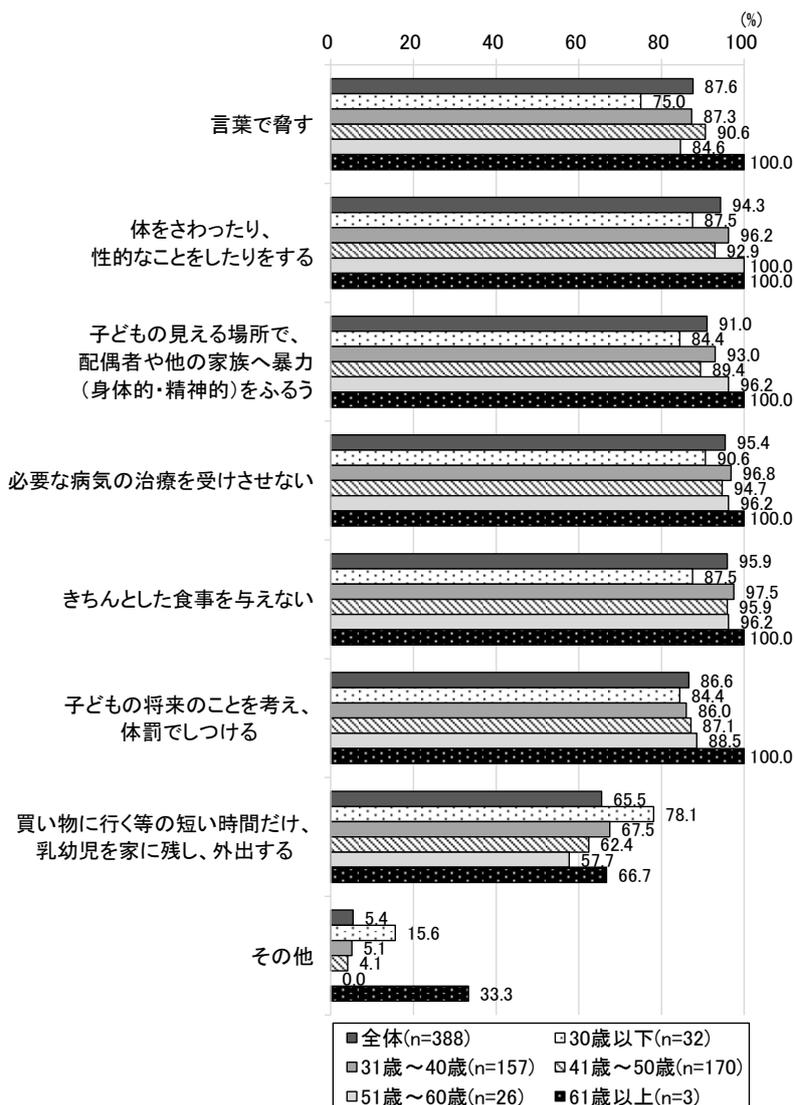
児童虐待と感じるものについて、「きちんとした食事を与えない」が95.9%と最も高い一方で、「買い物に行く等の短い時間だけ、乳幼児を家に残し、外出する」が65.5%と最も低い。

<性別・年齢別集計結果>

おとな:(問 11)児童虐待と感ずる行為

	合計	言葉で脅す	体をさわったり、性的なことをしたりをする	子どもの見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力(身体的・精神的)をふるう	必要な病気の治療を受けさせない	きちんとした食事を与えない	子どもの将来のことを考え、体罰でしつける	買い物に行く等の短い時間だけ、乳幼児を家に残し、外出する	その他	無回答	
全体	388 100.0	340 87.6	366 94.3	353 91.0	370 95.4	372 95.9	336 86.6	254 65.5	21 5.4	8 2.1	
年齢別	30歳以下	32 100.0	24 75.0	28 87.5	27 84.4	29 90.6	28 87.5	27 84.4	25 78.1	5 15.6	3 9.4
	31歳～40歳	157 100.0	137 87.3	151 96.2	146 93.0	152 96.8	153 97.5	135 86.0	106 67.5	8 5.1	2 1.3
	41歳～50歳	170 100.0	154 90.6	158 92.9	152 89.4	161 94.7	163 95.9	148 87.1	106 62.4	7 4.1	3 1.8
	51歳～60歳	26 100.0	22 84.6	26 100.0	25 96.2	25 96.2	25 96.2	23 88.5	15 57.7	-	-
	61歳以上	3 100.0	3 100.0	3 100.0	3 100.0	3 100.0	3 100.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-

おとな:(問 11)児童虐待と感ずる行為

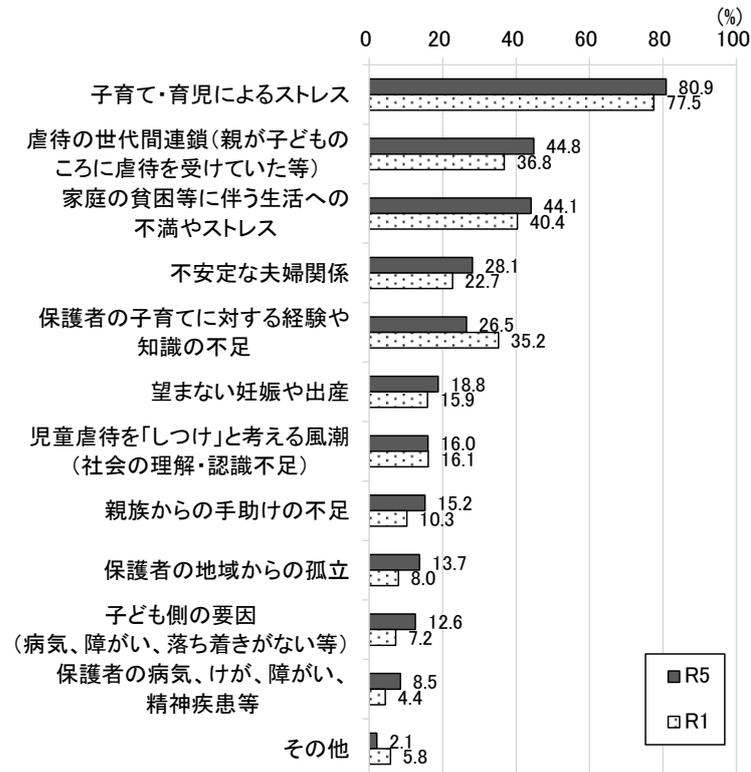


<おとな>

問 12 あなたは、なぜ児童虐待が起こると思いますか。あなたの考えに近いものを選んでください。

◆子育て・育児によるストレスが児童虐待の原因となっていると考えているおとなは 80.9%

<経年比較>



※本設問は、令和元年度調査より新規に追加された設問となっている。

児童虐待が起こる原因について、「子育て・育児によるストレス」が 80.9%で最も高く、ついで「虐待の世代間連鎖(親が子どものころに虐待を受けていた等)」が 44.8%、「家庭の貧困等に伴う生活への不満やストレス」が 44.1%となっている。

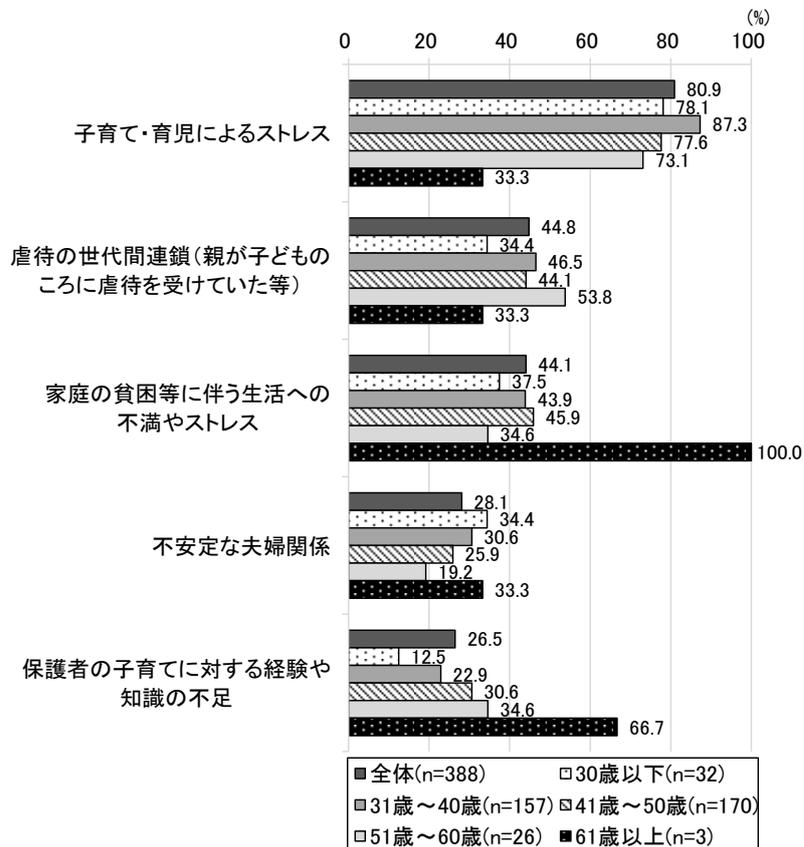
年齢別にみると、「子育て・育児によるストレス」では 31~40 歳が 87.3%と、他の年齢に比べて最も高くなっている。

<性別・年齢別集計結果>

おとな:(問12)児童虐待の原因と思うもの

		合計	保護者の子育てに対する経験や知識の不足	子育て・育児によるストレス	家庭の貧困等に伴う生活への不満やストレス	虐待の世代間連鎖(親が子どものころに虐待を受けていた等)	子ども側の要因(病氣、障がい、落ちつきがない等)	児童虐待を「しつけ」と考える風潮(社会の理解・認識不足)	保護者の病氣、けが、障がい、精神疾患等	望まない妊娠や出産	保護者の地域からの孤立	親族からの手助けの不足	不安定な夫婦関係	その他	無回答
全体		388 100.0	103 26.5	314 80.9	171 44.1	174 44.8	49 12.6	62 16.0	33 8.5	73 18.8	53 13.7	59 15.2	109 28.1	8 2.1	7 1.8
年齢別	30歳以下	32 100.0	4 12.5	25 78.1	12 37.5	11 34.4	4 12.5	5 15.6	1 3.1	10 31.3	4 12.5	8 25.0	11 34.4	-	2 6.3
	31歳~40歳	157 100.0	36 22.9	137 87.3	69 43.9	73 46.5	20 12.7	22 14.0	10 6.4	27 17.2	20 12.7	24 15.3	48 30.6	5 3.2	2 1.3
	41歳~50歳	170 100.0	52 30.6	132 77.6	78 45.9	75 44.1	21 12.4	28 16.5	18 10.6	29 17.1	22 12.9	22 12.9	44 25.9	3 1.8	2 1.2
	51歳~60歳	26 100.0	9 34.6	19 73.1	9 34.6	14 53.8	3 11.5	6 23.1	2 7.7	6 23.1	5 19.2	4 15.4	5 19.2	-	1 3.8
	61歳以上	3 100.0	2 66.7	1 33.3	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	2 66.7	1 33.3	-	-

おとな:(問12)児童虐待の原因と思うもの(主要項目)



<おとな>

問 13 児童虐待の疑いがある子どもを見たり、きいたりしたとき、あなたはどうしますか。

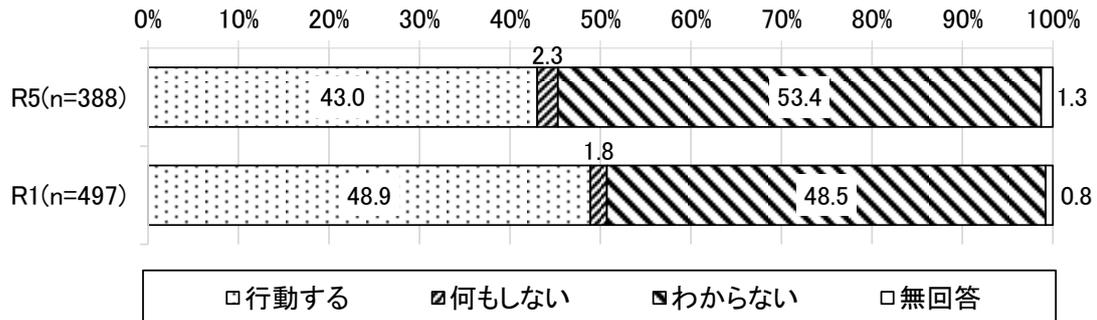
問 13-1 問 13 で「①行動する」と答えた人におたずねします。具体的にどのような行動をしますか。

◆児童虐待の疑いのある子どもを見たり、きいたりしたときに行動するおとなは 43.0%

◆具体的な行動として市に連絡するおとなは 53.9%

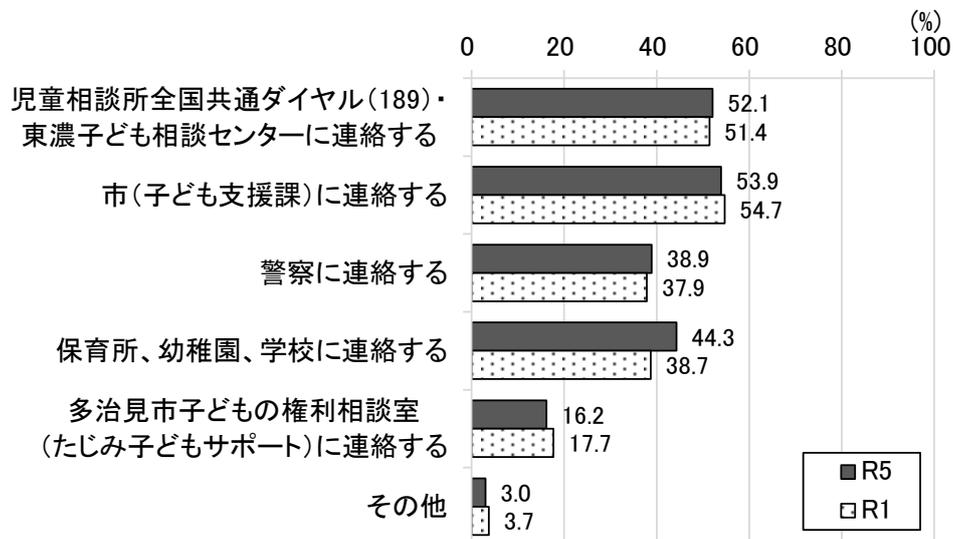
<経年比較>

おとな：(問 13)児童虐待の疑いのある子どもを発見した際の対応



※本設問は、令和元年度調査より新規に追加された設問となっている。

おとな：(問 13-1)児童虐待の疑いのある子どもを発見した際の具体的な行動



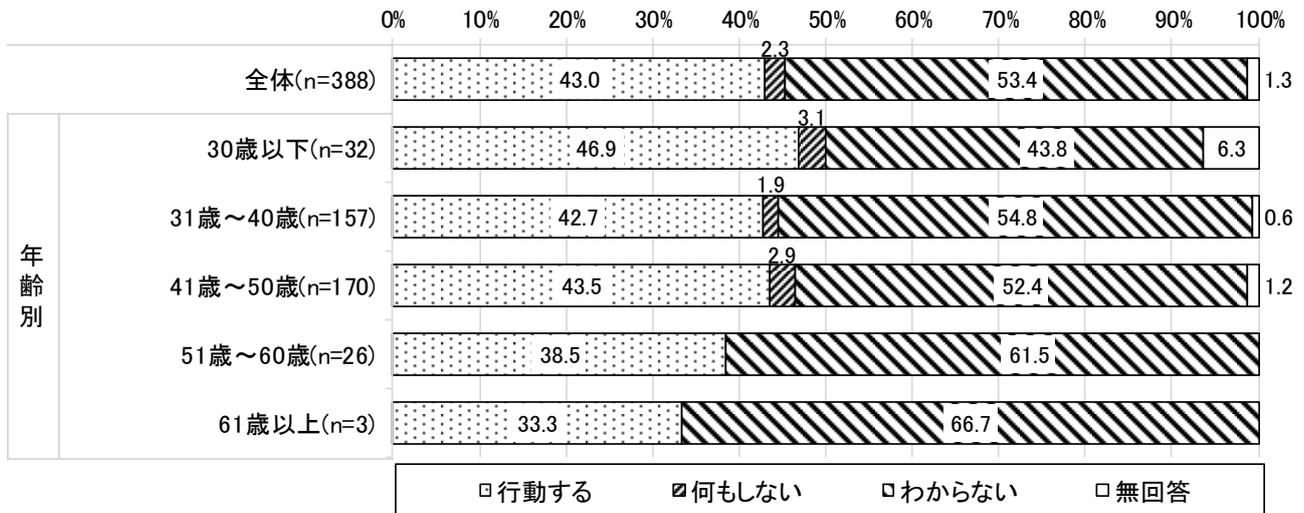
※本設問は、令和元年度調査より新規に追加された設問となっている。

児童虐待の疑いのある子どもを見たり、きいたりしたときに行動する人は 43.0%と、令和元年度の調査の 48.9%から低下している。

児童虐待の疑いのある子どもを発見した際の対応としては、「市(子ども支援課)に連絡する」が 53.9%で最も高く、ついで「児童相談所全国共通ダイヤル(189)・東濃子ども相談センターに連絡する」が 52.1%、「保育所、幼稚園、学校に連絡する」が 44.3%となっている。

<年齢別集計結果>

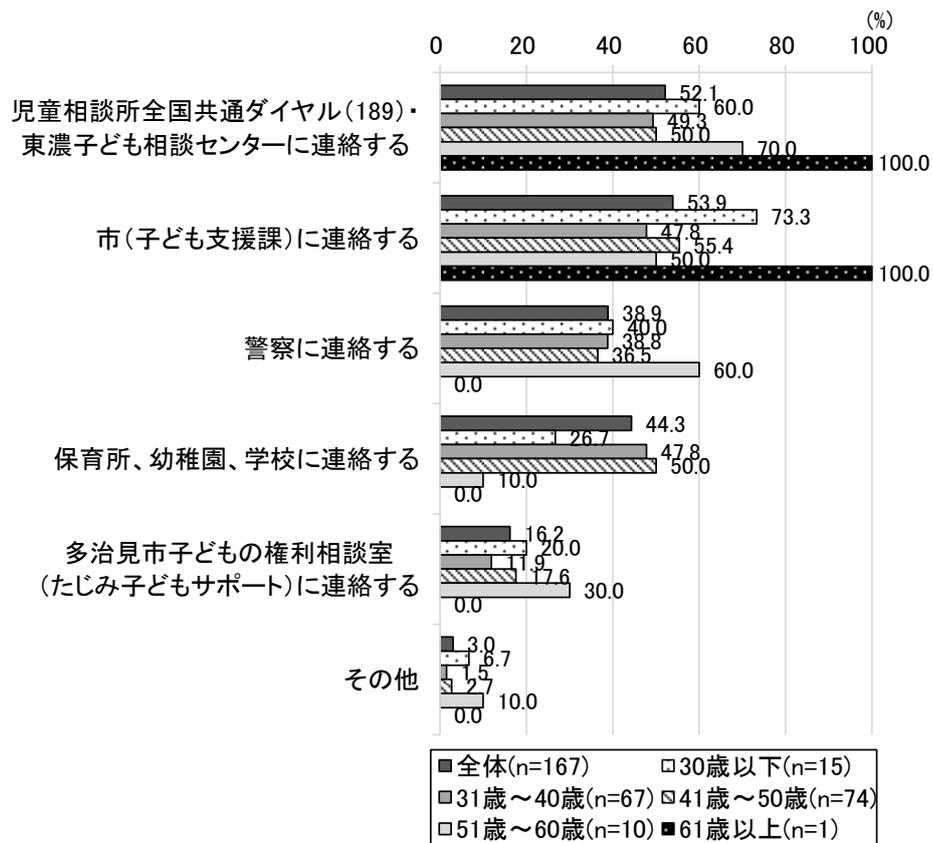
おとな:(問 13)児童虐待の疑いのある子どもを発見した際の対応



おとな:(問 13-1)児童虐待の疑いのある子どもを発見した際の具体的な行動

		合計	児童相談所全国共通ダイヤル(189)・東濃子ども相談センターに連絡する	市(子ども支援課)に連絡する	警察に連絡する	保育所、幼稚園、学校に連絡する	多治見市子どもの権利相談室(たじみ子どもサポート)に連絡する	その他	無回答
全体		167	87	90	65	74	27	5	-
		100.0	52.1	53.9	38.9	44.3	16.2	3.0	-
年齢別	30歳以下	15	9	11	6	4	3	1	-
		100.0	60.0	73.3	40.0	26.7	20.0	6.7	-
	31歳~40歳	67	33	32	26	32	8	1	-
		100.0	49.3	47.8	38.8	47.8	11.9	1.5	-
	41歳~50歳	74	37	41	27	37	13	2	-
		100.0	50.0	55.4	36.5	50.0	17.6	2.7	-
51歳~60歳	10	7	5	6	1	3	1	-	
	100.0	70.0	50.0	60.0	10.0	30.0	10.0	-	
61歳以上	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-

おとな:(問 13-1)児童虐待の疑いのある子どもを発見した際の具体的な行動



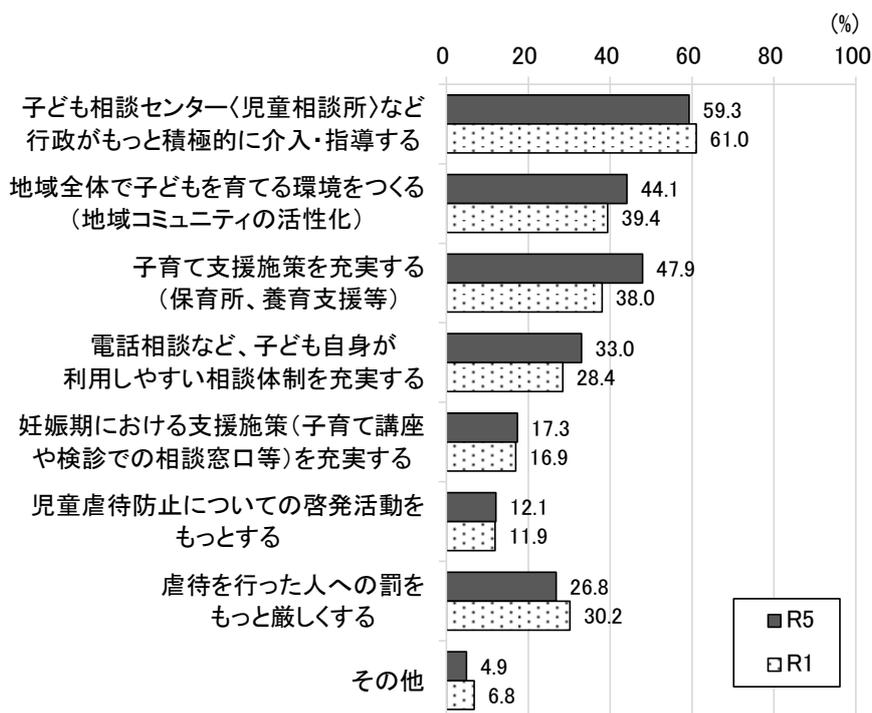
<おとな>

問 14 児童虐待を防止するため、どのようなことが特に必要だと考えますか。

◆児童虐待の防止のために、子ども相談センターなど行政がもっと積極的に介入・指導する必要があると考えるおとなは59.3%

<経年比較>

おとな：(問 14)児童虐待の防止のために必要だと思うこと



※本設問は、令和元年度調査より新規に追加された設問となっている。

児童虐待の防止のために必要なこととして、「子ども相談センター(児童相談所)など行政がもっと積極的に介入・指導する」が59.3%で最も高く、ついで「子育て支援施策を充実する(保育所、養育支援等)」が47.9%、「地域全体で子どもを育てる環境をつくる(地域コミュニティの活性化)」が44.1%となっている。

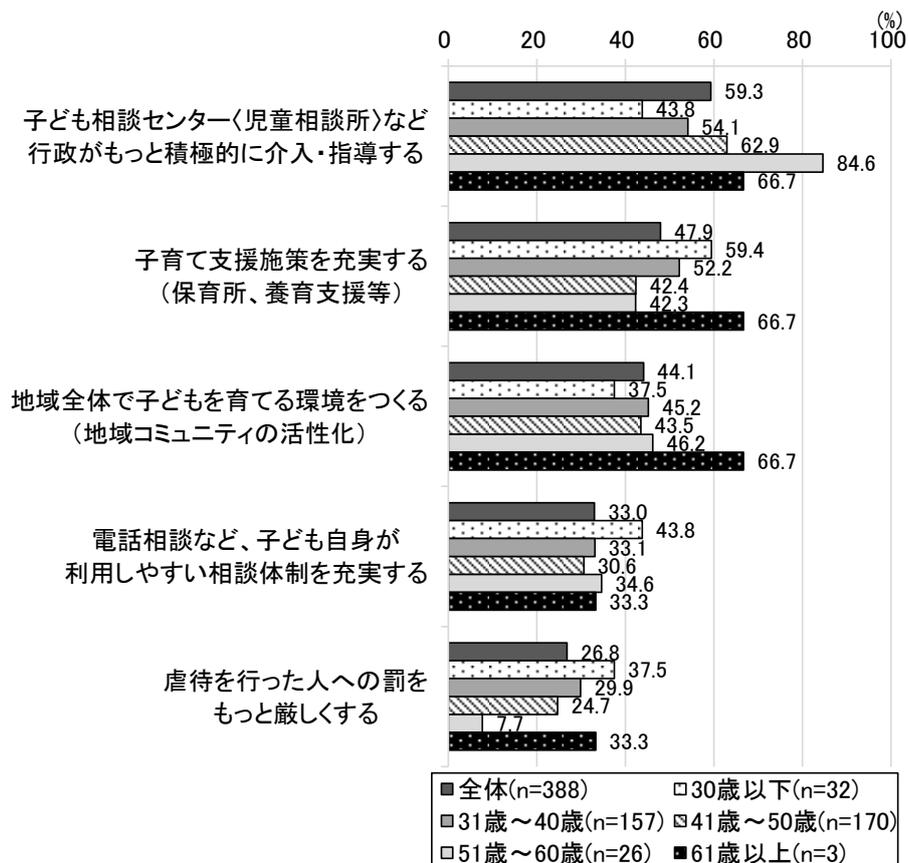
年齢別にみると、41～50歳では、31～40歳に比べ「子ども相談センター〈児童相談所〉など行政がもっと積極的に介入・指導する」の割合が高くなっている。

<性別・年齢別集計結果>

おとな:(問 14)児童虐待の防止のために必要だと思うこと

		合計	子ども相談センター(児童相談所)など行政がもっと積極的に介入・指導する	地域全体で子どもを育てる環境をつくる(地域コミュニティの活性化)	子育て支援施策を充実する(保育所、養育支援等)	電話相談など、子ども自身が利用しやすい相談体制を充実する	妊娠期における支援施策(子育て講座や検診での相談窓口等)を充実する	児童虐待防止についての啓発活動をもっとする	虐待を行った人への罰をもっと厳しくする	その他	無回答
全体		388	230	171	186	128	67	47	104	19	16
		100.0	59.3	44.1	47.9	33.0	17.3	12.1	26.8	4.9	4.1
年齢別	30歳以下	32	14	12	19	14	4	3	12	1	2
		100.0	43.8	37.5	59.4	43.8	12.5	9.4	37.5	3.1	6.3
	31歳～40歳	157	85	71	82	52	24	21	47	9	7
		100.0	54.1	45.2	52.2	33.1	15.3	13.4	29.9	5.7	4.5
	41歳～50歳	170	107	74	72	52	34	21	42	8	6
		100.0	62.9	43.5	42.4	30.6	20.0	12.4	24.7	4.7	3.5
51歳～60歳	26	22	12	11	9	5	1	2	1	1	
	100.0	84.6	46.2	42.3	34.6	19.2	3.8	7.7	3.8	3.8	
61歳以上	3	2	2	2	1	-	-	1	1	-	
	100.0	66.7	66.7	66.7	33.3	-	-	33.3	33.3	-	

おとな:(問 14)児童虐待の防止のために必要だと思うこと(主要項目)



4. ヤングケアラーについて

<子ども>

問 14 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。

問 14-1 【問 14】の「ヤングケアラー」の説明を読んで、あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。

<おとな>

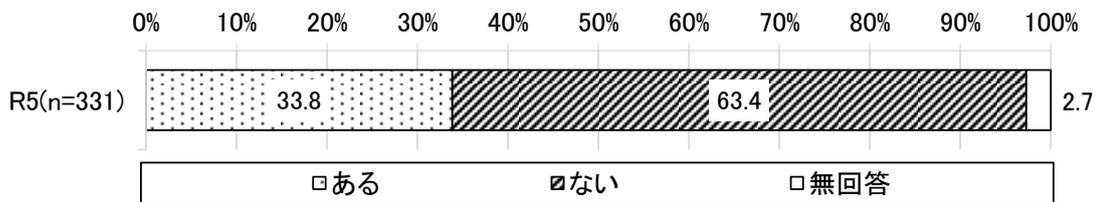
問 15 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。

問 15-1 【問 15】の「ヤングケアラー」の説明を読んで、あなたの家庭の子どもは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。

◆ヤングケアラーという言葉を知ったことがある子どもは 33.8%

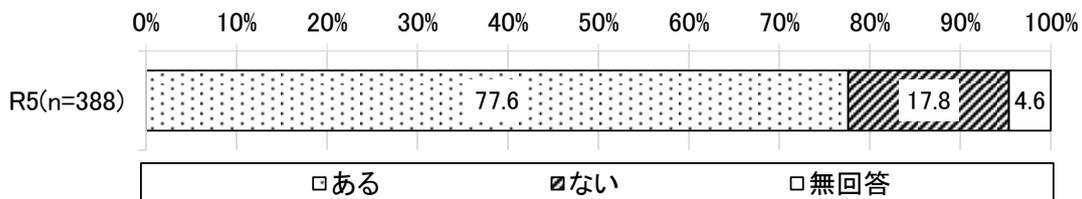
◆ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるおとなは 77.6%

子ども：(問 14)「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか



※本設問は、令和 5 年度調査より新規に追加された設問となっている。

おとな：(問 15)「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか



※本設問は、令和 5 年度調査より新規に追加された設問となっている。

ヤングケアラーという言葉を知ったことがある子どもの割合は 33.8%となっている。

性別にみると、女性の認知度が 38.3%であるのに対して、男性は 28.1%と低くなっている。また、学校種別にみると、年齢が上がるにつれて高くなっており、特に高校生はおよそ半数がヤングケアラーという言葉を知ったことがあると回答している。

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるおとなの割合は 77.6%と、子どもに比べ高くなっている。

ヤングケアラーにあてはまるかどうかについては、子どもは 85.8%が自身は「あてはまらない」と回答した。おとなは 95.1%が自分の家庭の子どもは「あてはまらない」と回答した。

<性別・年齢別集計結果>

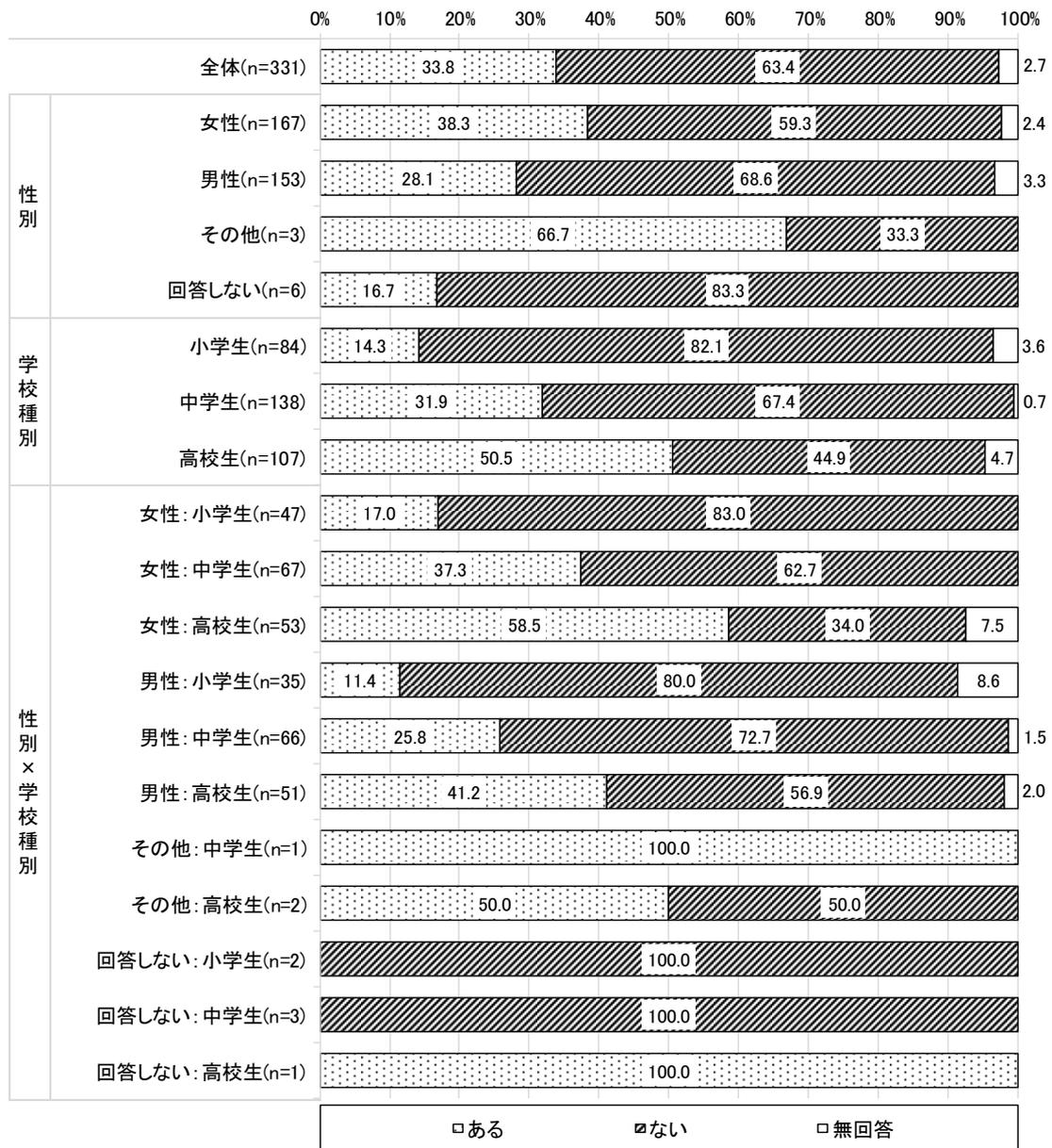
子ども:(問 14)「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか

		合計	ある	ない	無回答
全体		331	112	210	9
		100.0	33.8	63.4	2.7
性別	女性	167	64	99	4
		100.0	38.3	59.3	2.4
	男性	153	43	105	5
		100.0	28.1	68.6	3.3
	その他	3	2	1	-
		100.0	66.7	33.3	-
	回答しない	6	1	5	-
		100.0	16.7	83.3	-
学校種別	小学生	84	12	69	3
		100.0	14.3	82.1	3.6
	中学生	138	44	93	1
		100.0	31.9	67.4	0.7
	高校生	107	54	48	5
		100.0	50.5	44.9	4.7
性別×学校種別	女性:小学生	47	8	39	-
		100.0	17.0	83.0	-
	女性:中学生	67	25	42	-
		100.0	37.3	62.7	-
	女性:高校生	53	31	18	4
		100.0	58.5	34.0	7.5
	男性:小学生	35	4	28	3
		100.0	11.4	80.0	8.6
	男性:中学生	66	17	48	1
		100.0	25.8	72.7	1.5
	男性:高校生	51	21	29	1
		100.0	41.2	56.9	2.0
	その他:小学生	-	-	-	-
	-	-	-	-	
その他:中学生	1	1	-	-	
	100.0	100.0	-	-	
その他:高校生	2	1	1	-	
	100.0	50.0	50.0	-	
回答しない:小学生	2	-	2	-	
	100.0	-	100.0	-	
回答しない:中学生	3	-	3	-	
	100.0	-	100.0	-	
回答しない:高校生	1	1	-	-	
	100.0	100.0	-	-	

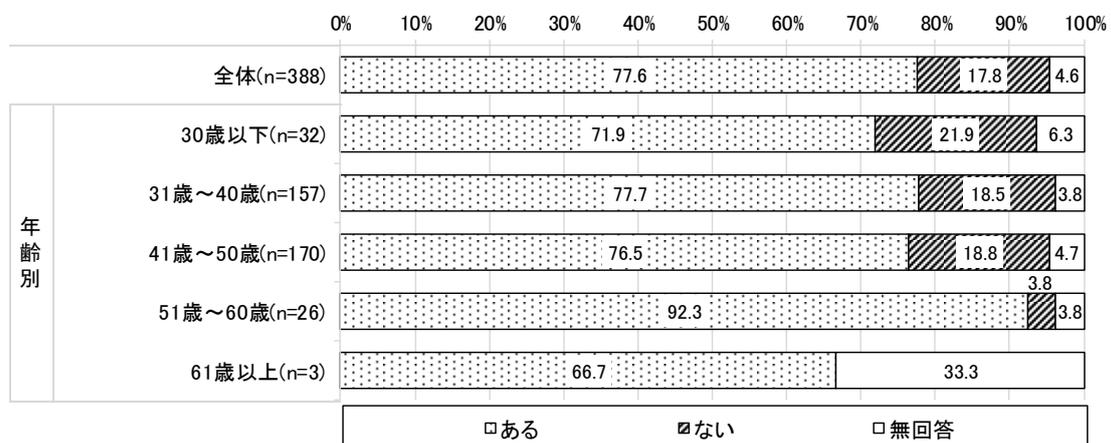
おとな:(問 15)「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか

		合計	ある	ない	無回答
全体		388	301	69	18
		100.0	77.6	17.8	4.6
年齢別	30歳以下	32	23	7	2
		100.0	71.9	21.9	6.3
	31歳～40歳	157	122	29	6
		100.0	77.7	18.5	3.8
	41歳～50歳	170	130	32	8
		100.0	76.5	18.8	4.7
	51歳～60歳	26	24	1	1
		100.0	92.3	3.8	3.8
	61歳以上	3	2	-	1
		100.0	66.7	-	33.3

子ども:(問 14)「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか



おとな:(問 15)「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか



子ども:(問 14-1)自身は「ヤングケアラー」にあてはまるか

		合計	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答	
全体		331	3	284	37	7	
		100.0	0.9	85.8	11.2	2.1	
性別	女性	167	1	147	18	1	
		100.0	0.6	88.0	10.8	0.6	
	男性	153	2	129	16	6	
		100.0	1.3	84.3	10.5	3.9	
	その他	3	-	3	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-		
回答しない		6	-	3	3	-	
		100.0	-	50.0	50.0	-	
	学校種別	小学生	84	1	71	9	3
			100.0	1.2	84.5	10.7	3.6
中学生		138	2	116	17	3	
	100.0	1.4	84.1	12.3	2.2		
	高校生	107	-	95	11	1	
	100.0	-	88.8	10.3	0.9		
性別×学校種別	女性:小学生	47	-	41	6	-	
		100.0	-	87.2	12.8	-	
	女性:中学生	67	1	58	7	1	
		100.0	1.5	86.6	10.4	1.5	
	女性:高校生	53	-	48	5	-	
		100.0	-	90.6	9.4	-	
	男性:小学生	35	1	29	2	3	
		100.0	2.9	82.9	5.7	8.6	
	男性:中学生	66	1	55	8	2	
		100.0	1.5	83.3	12.1	3.0	
	男性:高校生	51	-	44	6	1	
		100.0	-	86.3	11.8	2.0	
	その他:小学生	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
その他:中学生	1	-	1	-	-		
	100.0	-	100.0	-	-		
その他:高校生	2	-	2	-	-		
	100.0	-	100.0	-	-		
回答しない:小学生	2	-	1	1	-		
	100.0	-	50.0	50.0	-		
回答しない:中学生	3	-	1	2	-		
	100.0	-	33.3	66.7	-		
回答しない:高校生	1	-	1	-	-		
	100.0	-	100.0	-	-		

おとな:(問 15-1)あなたの家庭の子どもは「ヤングケアラー」にあてはまるか

		合計	あてはまる	あてはまらない	わからない	無回答
全体		388	-	369	12	7
		100.0	-	95.1	3.1	1.8
年齢別	30歳以下	32	-	29	1	2
		100.0	-	90.6	3.1	6.3
	31歳～40歳	157	-	150	5	2
		100.0	-	95.5	3.2	1.3
	41歳～50歳	170	-	162	5	3
		100.0	-	95.3	2.9	1.8
51歳～60歳	26	-	26	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	
61歳以上	3	-	2	1	-	
	100.0	-	66.7	33.3	-	

5. おとなの悩みについて

<おとな>

問 16 あなたが日ごろ疲れることや不安に思うことはありますか。

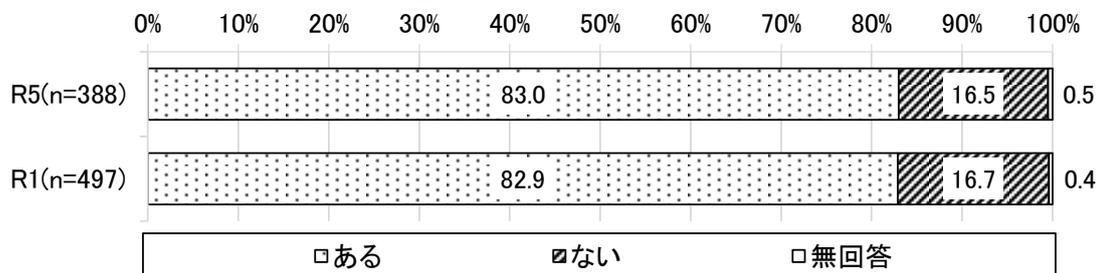
問 16-1 問 16 で「①ある」と答えた人におたずねします。それは、どんなことですか。

問 17 あなたには、困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいますか。

- ◆日ごろ疲れることや不安に思うことがあるおとなは 83.0%
- ◆子どもの進路や将来について不安に思っているおとなは 42.2%
- ◆困ったことや悩みがあるとき、相談したり話をきいてもらう人がいるおとなは 91.8%

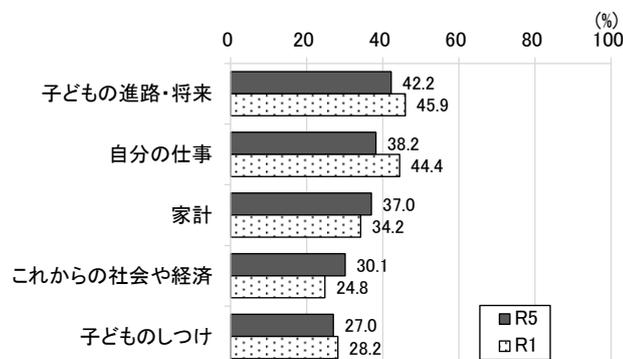
<経年比較>

おとな:(問 16)日ごろ疲れることや不安に思うことはあるか



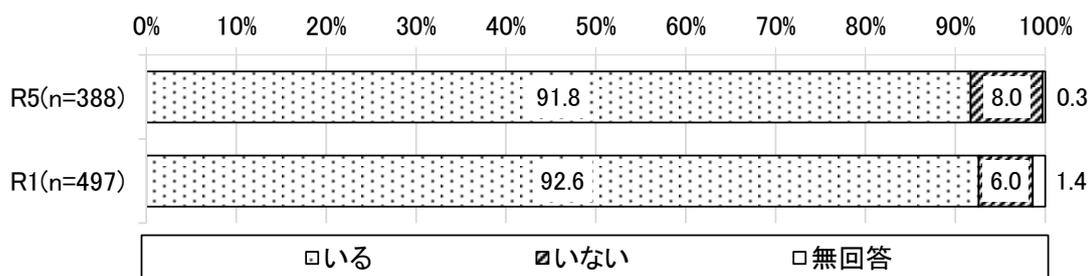
※本設問は、令和元年度調査より新規に追加された設問となっている。

おとな:(問 16-1)具体的に不安に思っていること(主要項目)



※本設問は、令和元年度調査より新規に追加された設問となっている。

おとな:(問 17) 困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいるか



※本設問は、令和元年度調査より新規に追加された設問となっている。

日ごろ疲れることや不安に思うことが「ある」と回答した割合は 83.0%と、令和元年度の調査の 82.9%から概ね横ばいとなっている。

具体的に不安に思っていることをみると、「子どもの進路・将来」が 42.2%で最も高く、ついで「自分の仕事」が 38.2%、「家計」が 37.0%となっている。

具体的に不安に思っていることを年齢別にみると、31 歳～40 歳は「自分の仕事」が 38.9%で最も高く、ついで「家計」が 37.3%、「子どものしつけ」が 34.1%となっている。一方、41 歳～50 歳は「子どもの進路・将来」が 56.8%で最も高く、ついで「自分の仕事」が 40.5%、「家計」が 37.2%となっている。

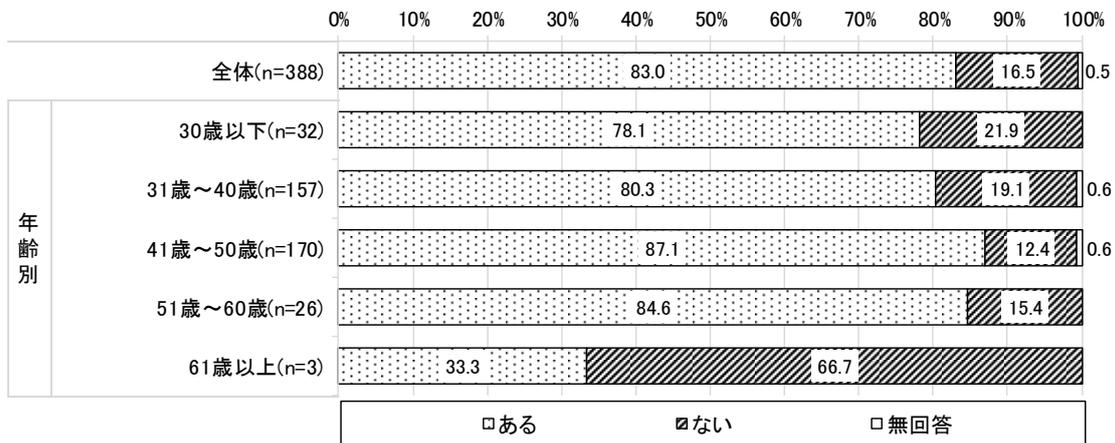
困ったことや悩みがあるとき、相談したり話をきいてもらう人が「いる」と回答した割合は 91.8%と、令和元年度の調査の 92.6%から概ね横ばいとなっている。

<年齢別集計結果>

おとな:(問16)日ごろ疲れることや不安に思うことはあるか

		合計	ある	ない	無回答
全体		388	322	64	2
		100.0	83.0	16.5	0.5
年齢別	30歳以下	32	25	7	-
		100.0	78.1	21.9	-
	31歳~40歳	157	126	30	1
		100.0	80.3	19.1	0.6
	41歳~50歳	170	148	21	1
	100.0	87.1	12.4	0.6	
	51歳~60歳	26	22	4	-
	100.0	84.6	15.4	-	
	61歳以上	3	1	2	-
	100.0	33.3	66.7	-	

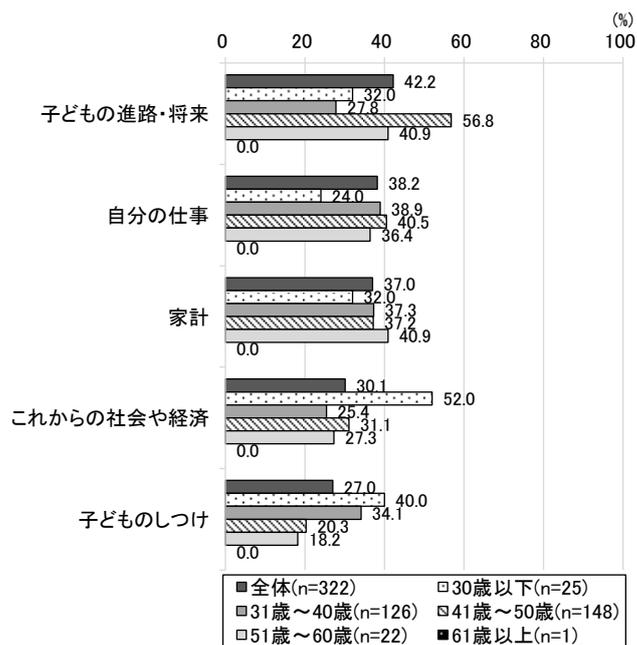
おとな:(問16)日ごろ疲れることや不安に思うことはあるか



おとな:(問16-1)具体的に不安に思っていること

	合計	子どものコミュニケーション	子どものしつけ	子どもの進路・将来	子どもの友人関係	子どものいじめ	家事	家計	介護	配偶者との関係	家族との関係(配偶者以外)	近所づきあい	自分の仕事	自分の体調	これからの社会や経済	その他	無回答	
全体	322	61	87	136	46	15	83	119	26	44	27	19	123	81	97	17	3	
	100.0	18.9	27.0	42.2	14.3	4.7	25.8	37.0	8.1	13.7	8.4	5.9	38.2	25.2	30.1	5.3	0.9	
年齢別	30歳以下	25	3	10	8	1	5	8	-	2	1	1	6	6	13	-	-	
		100.0	12.0	40.0	32.0	4.0	-	20.0	32.0	-	8.0	4.0	4.0	24.0	24.0	52.0	-	-
	31歳~40歳	126	30	43	35	15	11	41	47	2	21	13	9	49	30	32	10	1
		100.0	23.8	34.1	27.8	11.9	8.7	32.5	37.3	1.6	16.7	10.3	7.1	38.9	23.8	25.4	7.9	0.8
	41歳~50歳	148	24	30	84	27	2	35	55	20	16	11	9	60	40	46	7	1
	100.0	16.2	20.3	56.8	18.2	1.4	23.6	37.2	13.5	10.8	7.4	6.1	40.5	27.0	31.1	4.7	0.7	
	22	3	4	9	3	2	2	9	4	4	2	-	8	4	6	-	1	
	100.0	13.6	18.2	40.9	13.6	9.1	9.1	40.9	18.2	18.2	9.1	-	36.4	18.2	27.3	-	4.5	
	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	

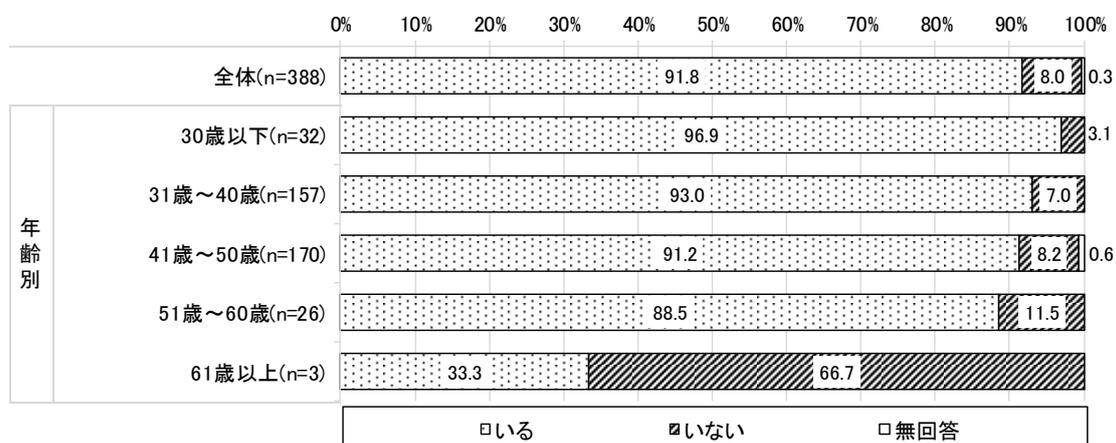
おとな：(問 16-1)具体的に不安に思っていること(主要項目)



おとな：(問 17)困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいるか

		合計	いる	いない	無回答
全体		388	356	31	1
		100.0	91.8	8.0	0.3
年齢別	30歳以下	32	31	1	-
		100.0	96.9	3.1	-
	31歳~40歳	157	146	11	-
		100.0	93.0	7.0	-
	41歳~50歳	170	155	14	1
	100.0	91.2	8.2	0.6	
	51歳~60歳	26	23	3	-
	100.0	88.5	11.5	-	
	61歳以上	3	1	2	-
	100.0	33.3	66.7	-	

おとな：(問 17)困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいるか



6. 子どもの相談相手について

<子ども>

問 15 困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいますか。

問 15-1 問 15 で「①いる」と答えた人におたずねします。それは誰ですか。

問 16 友達や学校、お家のことなどで悩んだり、困ったりしたときに相談できる場所として「多治見市子どもの権利相談室（たじみ子どもサポート）」や「教育相談室」、「人権 110 番」、「子どもの人権 SOS ミニレター」など相談できる窓口があることを知っていますか。

問 16-1 問 16 で「①知っている」と答えた人におたずねします。相談窓口（相談員に直接相談すること）や電話相談を利用したことがありますか。

<おとな>

問 18 あなたの家庭の子どもは、困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいると思いますか。

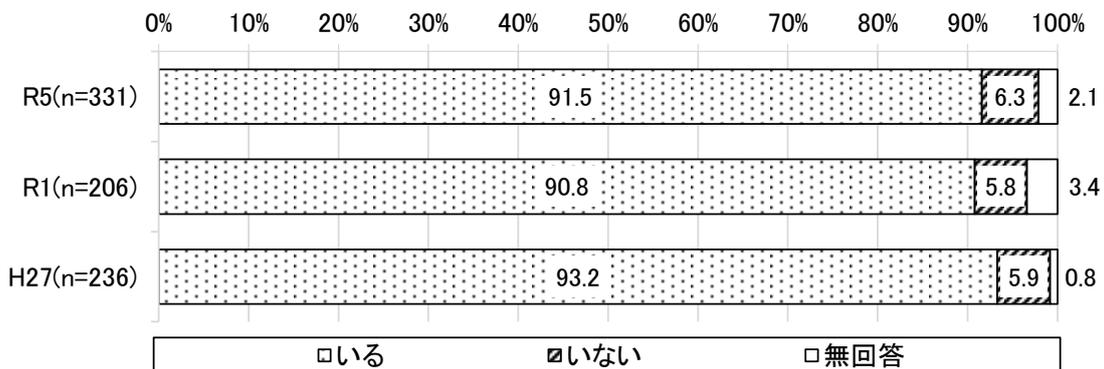
◆困ったことや悩みがあるときに相談したり、話をきいてもらう人がいる子どもは 91.5%

◆相談相手としては母親で 76.2%

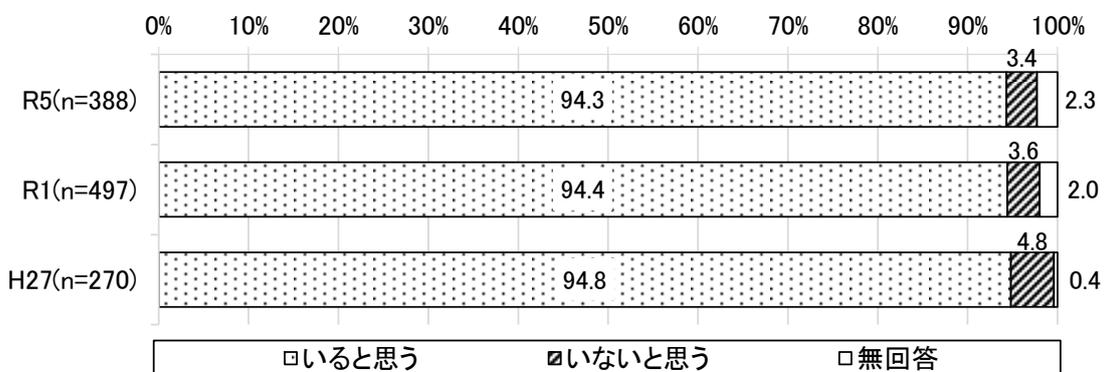
◆子どもには、困ったときに話をきいてもらう人がいると思っているおとなは 94.3%

<経年比較>

子ども：(問 15) 困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいるか

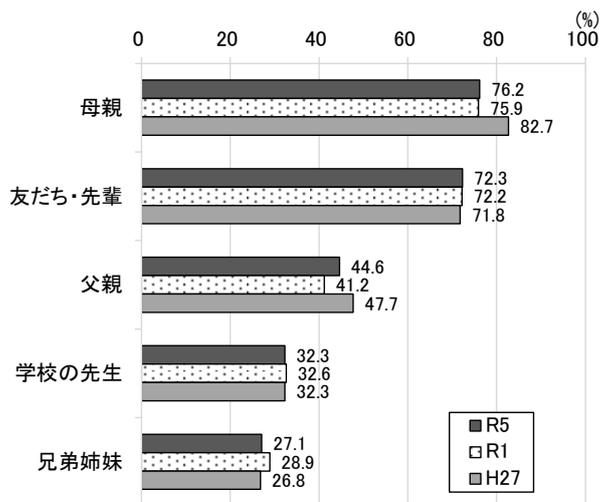


おとな：(問 18) 子どもは、困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいると思うか

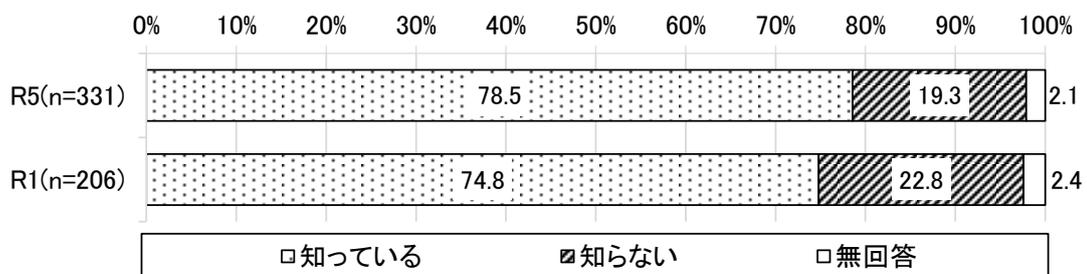


※令和元年度調査より 0～17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どもをもつ保護者が対象)

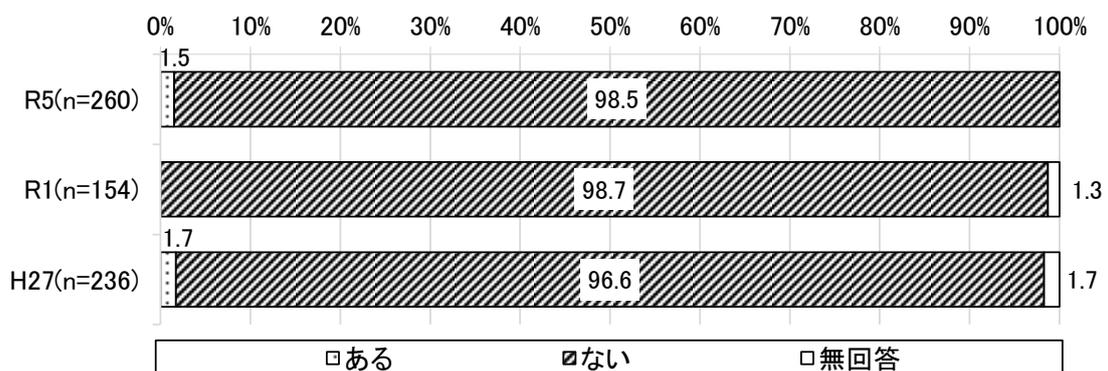
子ども：(問 15-1) 困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人は誰か(主要項目)



子ども：(問 16) 悩んだり、困ったりしたときに、相談できる窓口があることを知っているか



子ども：(問 16-1) 相談窓口や電話相談を利用したことがあるか



困ったことや悩みがあるとき、相談したり話をきいてもらう人が「いる」と回答した子どもの割合が 91.5%と、概ね横ばいで推移している。

一方で、子どもには困ったことや悩みがあるとき、相談したり話をきいてもらう人が「いると思う」と回答したおとなの割合は 94.3%と、子どもと同じく概ね横ばいで推移している。

性別にみると、女性では「いる」が 92.8%、男性では 89.5%となっており、男性よりも女性の方が困ったことや悩みがあるとき、相談したり話をきいてもらう人がいる割合が高くなっている。また、学校種別にもみると、小学生では「いる」が 95.2%、中学生では 92.0%、高校生では 87.9%となっている。

***相談相手は誰か**

子どもの相談相手としては「母親」が76.2%で最も高くなっており、ついで「友だち・先輩」が72.3%、「父親」が44.6%となっている。

性別にみると、女性は「友だち・先輩」が74.8%で最も高く、男性は「母親」が80.3%で最も高くなっている。また、「父親」では男性が54.0%であるのに対して、女性は36.8%と低くなっている。また、学校種別にみると、小学生では「母親」が82.5%と最も高く、その割合は年齢が上がるにつれて低くなっている。一方、高校生では「友だち・先輩」が79.8%と最も高く、その割合は年齢が上がるにつれ高くなっている。

***相談窓口や電話相談の認知度と利用状況**

相談窓口や電話相談の認知度は78.5%と、令和元年度の調査の74.8%からやや上昇している。また、相談窓口や電話相談を知っている人の中で実際に利用したことがある人は1.5%となっている。

<性別・年齢別集計結果>

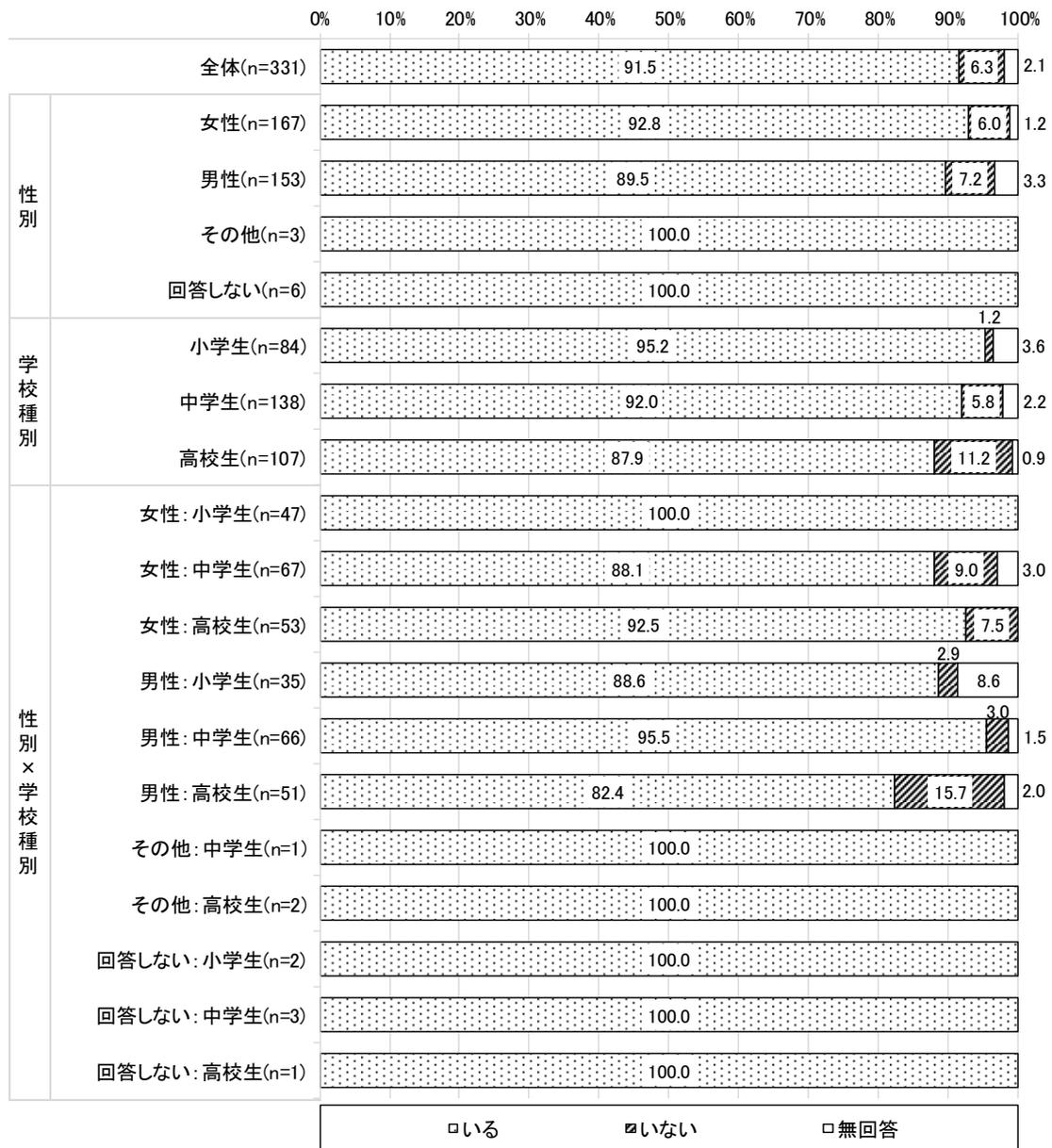
子ども:(問 15)困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいるか

		合計	いる	いない	無回答
全体		331	303	21	7
		100.0	91.5	6.3	2.1
性別	女性	167	155	10	2
		100.0	92.8	6.0	1.2
	男性	153	137	11	5
		100.0	89.5	7.2	3.3
	その他	3	3	-	-
		100.0	100.0	-	-
	回答しない	6	6	-	-
		100.0	100.0	-	-
学校種別	小学生	84	80	1	3
		100.0	95.2	1.2	3.6
	中学生	138	127	8	3
		100.0	92.0	5.8	2.2
	高校生	107	94	12	1
		100.0	87.9	11.2	0.9
性別×学校種別	女性:小学生	47	47	-	-
		100.0	100.0	-	-
	女性:中学生	67	59	6	2
		100.0	88.1	9.0	3.0
	女性:高校生	53	49	4	-
		100.0	92.5	7.5	-
	男性:小学生	35	31	1	3
		100.0	88.6	2.9	8.6
	男性:中学生	66	63	2	1
		100.0	95.5	3.0	1.5
	男性:高校生	51	42	8	1
		100.0	82.4	15.7	2.0
	その他:小学生	-	-	-	-
	-	-	-	-	
その他:中学生	1	1	-	-	
	100.0	100.0	-	-	
その他:高校生	2	2	-	-	
	100.0	100.0	-	-	
回答しない:小学生	2	2	-	-	
	100.0	100.0	-	-	
回答しない:中学生	3	3	-	-	
	100.0	100.0	-	-	
回答しない:高校生	1	1	-	-	
	100.0	100.0	-	-	

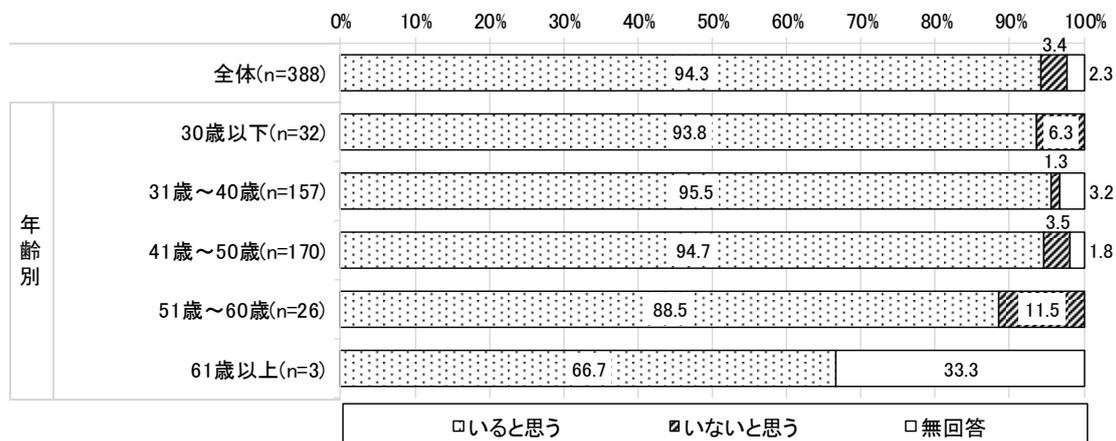
おとな:(問 18)子どもは、困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいると思うか

		合計	いると思う	いないと思う	無回答
全体		388	366	13	9
		100.0	94.3	3.4	2.3
年齢別	30歳以下	32	30	2	-
		100.0	93.8	6.3	-
	31歳~40歳	157	150	2	5
		100.0	95.5	1.3	3.2
	41歳~50歳	170	161	6	3
		100.0	94.7	3.5	1.8
	51歳~60歳	26	23	3	-
		100.0	88.5	11.5	-
	61歳以上	3	2	-	1
		100.0	66.7	-	33.3

子ども:(問 15)困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいるか



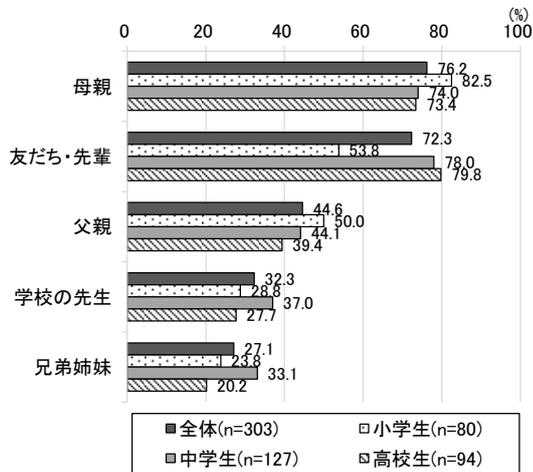
おとな:(問 18)子どもは、困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいると思うか



子ども:(問 15-1) 困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人は誰か

	合計	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	友だち・先輩	知りあいの人	学校の先生	学校の相談員	学童(放課後児童クラブ)の先生	多治見市子どもの権利相談室(たじみ子どもサポート)	クラブのコーチ	塾や習いごとの先生	人権擁護委員(子どもの人権SOSニレター)	インターネット上の人	その他	無回答	
全体	303 100.0	231 76.2	135 44.6	82 27.1	62 20.5	219 72.3	18 5.9	98 32.3	33 10.9	1 0.3	5 1.7	5 1.7	15 5.0	2 0.7	17 5.6	4 1.3	2 0.7	
性別	女性	155 100.0	112 72.3	57 36.8	43 27.7	28 18.1	116 74.8	5 3.2	41 26.5	17 11.0	1 0.6	2 1.3	6 3.9	-	11 7.1	2 1.3	1 0.6	
	男性	137 100.0	110 80.3	74 54.0	38 27.7	30 21.9	97 70.8	10 7.3	53 38.7	14 10.2	-	4 2.9	3 2.2	7 5.1	2 1.5	5 3.6	2 1.5	
	その他	3 100.0	3 100.0	1 33.3	-	-	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-	-
	回答しない	6 100.0	4 66.7	1 16.7	-	2 33.3	2 33.3	1 16.7	2 33.3	2 33.3	-	1 16.7	-	1 16.7	-	1 16.7	-	1 16.7
	学校種別	80 100.0	66 82.5	40 50.0	19 23.8	22 27.5	43 53.8	6 7.5	23 28.8	13 16.3	1 1.3	2 2.5	-	1 1.3	-	2 2.5	-	1 1.3
中学生	127 100.0	94 74.0	56 44.1	42 33.1	23 18.1	99 78.0	7 5.5	47 37.0	13 10.2	3 2.4	3 2.4	4 3.1	10 7.9	2 1.6	11 8.7	3 2.4	1 0.8	
高校生	94 100.0	69 73.4	37 39.4	19 20.2	16 17.0	75 79.8	4 4.3	26 27.7	6 6.4	-	-	1 1.1	4 4.3	-	4 4.3	1 1.1	-	
性別×学校種別	女性:小学生	46 100.0	35 76.1	18 39.1	7 15.2	11 23.9	28 60.9	2 4.3	12 26.1	6 13.0	1 2.2	-	-	-	-	2 4.3	-	-
	女性:中学生	59 100.0	40 67.8	23 39.0	22 37.3	10 16.9	46 78.0	3 5.1	19 32.2	8 13.6	-	1 1.7	4 6.8	-	7 11.9	2 3.4	-	-
	女性:高校生	49 100.0	37 75.5	16 32.7	14 28.6	7 14.3	42 85.7	-	10 20.4	3 6.1	-	1 2.0	2 4.1	-	2 4.1	-	-	-
	男性:小学生	31 100.0	30 96.8	22 71.0	12 38.7	10 32.3	15 48.4	3 9.7	10 32.3	6 19.4	-	1 3.2	-	-	-	-	-	-
	男性:中学生	63 100.0	50 79.4	31 49.2	20 31.7	11 17.5	50 79.4	4 6.3	28 44.4	4 6.3	-	3 4.8	5 7.9	2 3.2	3 4.8	1 1.6	-	-
	男性:高校生	42 100.0	29 69.0	20 47.6	5 11.9	9 21.4	31 73.8	3 7.1	14 33.3	3 7.1	-	-	2 4.8	-	2 4.8	1 2.4	-	-
	その他:小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他:中学生	1 100.0	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-
	その他:高校生	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	-	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回答しない:小学生	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-
	回答しない:中学生	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	2 100.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-
	回答しない:高校生	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

子ども:(問 15-1) 困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人は誰か(主要項目)



子ども:(問 16)相談窓口や電話相談があることを知っているか

		合計	知っている	知らない	無回答
全体		331	260	64	7
		100.0	78.5	19.3	2.1
性別	女性	167	150	17	-
		100.0	89.8	10.2	-
	男性	153	102	44	7
		100.0	66.7	28.8	4.6
	その他	3	2	1	-
100.0		66.7	33.3	-	
回答しない	6	4	2	-	
	100.0	66.7	33.3	-	
学校種別	小学生	84	61	20	3
		100.0	72.6	23.8	3.6
	中学生	138	113	24	1
		100.0	81.9	17.4	0.7
	高校生	107	84	20	3
		100.0	78.5	18.7	2.8
性別×学校種別	女性:小学生	47	42	5	-
		100.0	89.4	10.6	-
	女性:中学生	67	57	10	-
		100.0	85.1	14.9	-
	女性:高校生	53	51	2	-
		100.0	96.2	3.8	-
	男性:小学生	35	18	14	3
		100.0	51.4	40.0	8.6
	男性:中学生	66	52	13	1
		100.0	78.8	19.7	1.5
	男性:高校生	51	31	17	3
		100.0	60.8	33.3	5.9
	その他:小学生	-	-	-	-
		-	-	-	-
その他:中学生	1	1	-	-	
	100.0	100.0	-	-	
その他:高校生	2	1	1	-	
	100.0	50.0	50.0	-	
回答しない:小学生	2	1	1	-	
	100.0	50.0	50.0	-	
回答しない:中学生	3	2	1	-	
	100.0	66.7	33.3	-	
回答しない:高校生	1	1	-	-	
	100.0	100.0	-	-	

子ども:(問 16-1)相談窓口や電話相談を利用したことがあるか

		合計	ある	ない	無回答
全体		260	4	256	-
		100.0	1.5	98.5	-
性別	女性	150	2	148	-
		100.0	1.3	98.7	-
	男性	102	1	101	-
		100.0	1.0	99.0	-
	その他	2	-	2	-
		100.0	-	100.0	-
	回答しない	4	1	3	-
		100.0	25.0	75.0	-
学校種別	小学生	61	1	60	-
		100.0	1.6	98.4	-
	中学生	113	2	111	-
		100.0	1.8	98.2	-
	高校生	84	1	83	-
		100.0	1.2	98.8	-
性別×学校種別	女性:小学生	42	-	42	-
		100.0	-	100.0	-
	女性:中学生	57	1	56	-
		100.0	1.8	98.2	-
	女性:高校生	51	1	50	-
		100.0	2.0	98.0	-
	男性:小学生	18	-	18	-
		100.0	-	100.0	-
	男性:中学生	52	1	51	-
		100.0	1.9	98.1	-
	男性:高校生	31	-	31	-
		100.0	-	100.0	-
	その他:小学生	-	-	-	-
		-	-	-	-
その他:中学生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	
その他:高校生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	
回答しない:小学生	1	1	-	-	
	100.0	100.0	-	-	
回答しない:中学生	2	-	2	-	
	100.0	-	100.0	-	
回答しない:高校生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	

7. 子どもの意見表明・参加の機会について

<子ども>

問 17 家庭生活の中で、親や家族の人にもっとあなたの意見をきいてほしいと思うことはありますか。

問 17-1 問 17 で「①ある」と答えた人におたずねします。意見をきいてほしいことはどんなことですか。

<おとな>

問 19 家庭生活の中で、親や家族の人が、もっと子どもの意見をきくようにした方が良いと思うことはありますか。

問 19-1 問 19 で「①ある」と答えた人におたずねします。意見をきくようにした方が良いと思うことはどんなことですか。

- ◆家庭生活の中で意見をきいてほしいと思うことがある子どもは 23.6%
- ◆子どもがきいてほしいと思う内容で最も多いのは「テレビの時間・ゲームの時間」で 41.0%
- ◆家庭生活の中でもっと子どもの意見をきくようにした方が良いと思うおとなは 72.9%

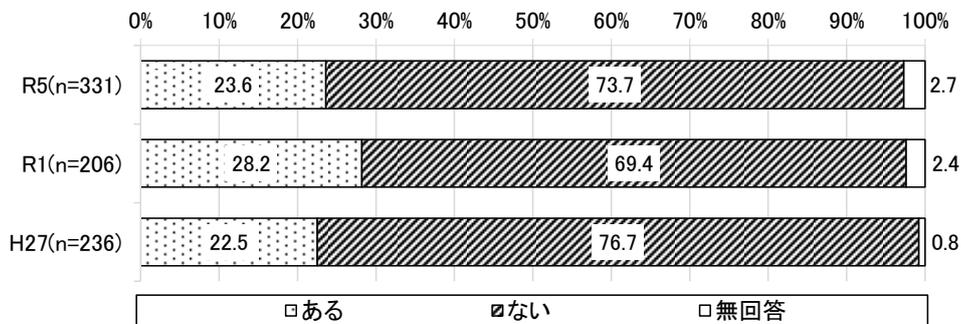
<分類別結果>

子ども：家庭生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことが「ある」

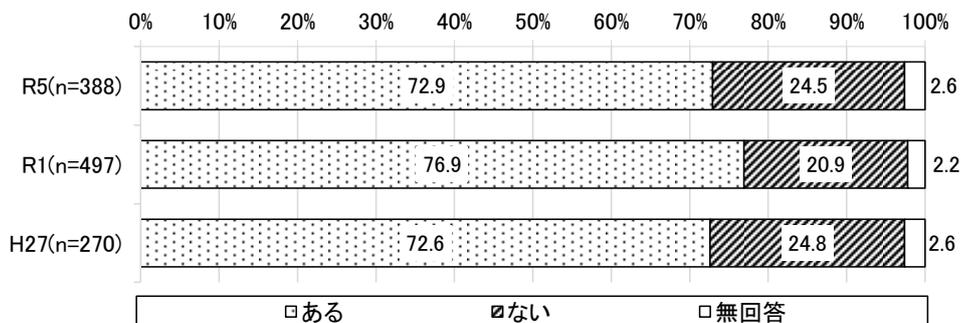
	最高値	最低値
年齢別	中学生(27.5%)	高校生(19.6%)
性別・年齢別	女性：中学生(29.9%)	男性：高校生(15.7%)

<経年比較>

子ども：(問 17)家庭生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことはあるか

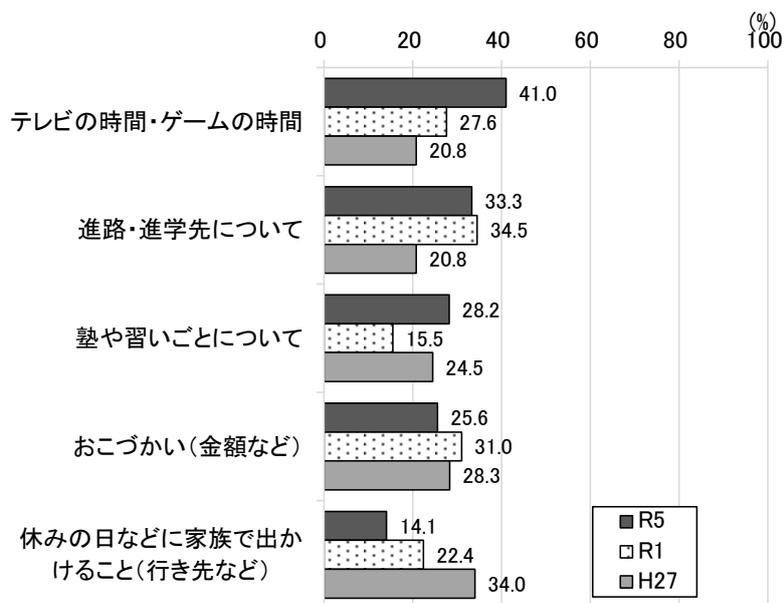


おとな：(問 19)家庭生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことはあるか

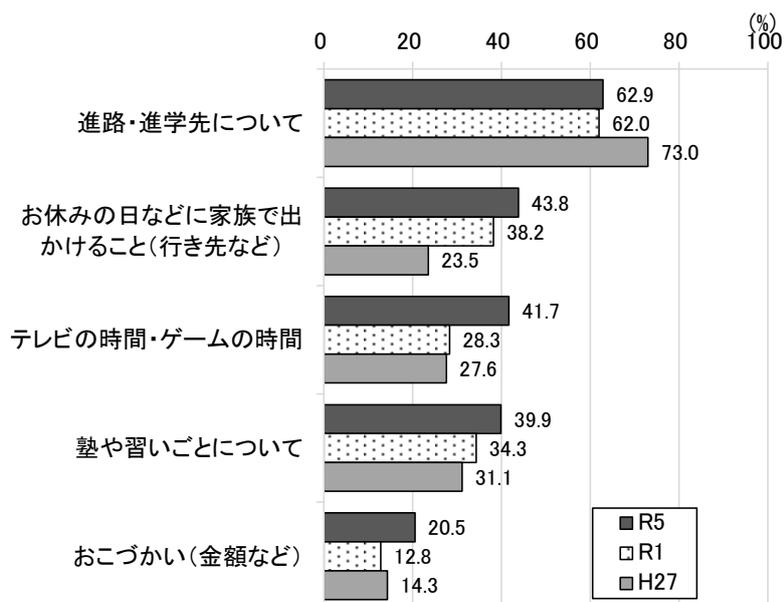


※令和元年度調査より 0～17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どもをもつ保護者が対象)

子ども：(問 17-1)家庭生活の中でもっと意見をきいてほしいことは何か(主要項目)



おとな：(問 19-1)家庭生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良くと思うことは何か(主要項目)



※令和元年度調査より 0～17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どもをもつ保護者が対象)

家庭生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことが「ある」と回答した子どもの割合は 23.6%と、令和元年度の調査の 28.2%から低下した。

性別にみると、「ある」と回答した子どもの割合は、女性が 25.1%、男性が 20.3%と、女性の方がやや高くなっている。また、学校種別にみると、中学生では「ある」が 27.5%と、小学生や高校生に比べ高くなっている。

***意見をきいてほしいこと**

子どもが家庭生活の中でもっと意見をきいてほしいと思う内容は、「テレビの時間・ゲームの時間」が41.0%で最も高く、ついで「進路・進学先について」が33.3%、「塾や習いごとについて」が28.2%となっている。

性別にみると、女性では「進路・進学先について」や「塾や習いごとについて」が男性の割合を上回っている。一方で男性では「テレビの時間・ゲームの時間」や「おこづかい(金額など)」が女性の割合を上回っている。

***意見をきいた方が良くと思うこと**

おとながもっと子どもの意見をきいた方が良くと思うことでは、「進路・進学先について」が62.9%で最も高く、ついで「お休みの日などに家族で出かけること(行き先など)」が43.8%、「テレビの時間・ゲームの時間」が41.7%となっている。

<その他:子ども>

- 学校生活。
- 性別について。
- 休む事について。
- 部活。
- 身だしなみ(マスクを外せ！など)。

<性別・年齢別集計結果>

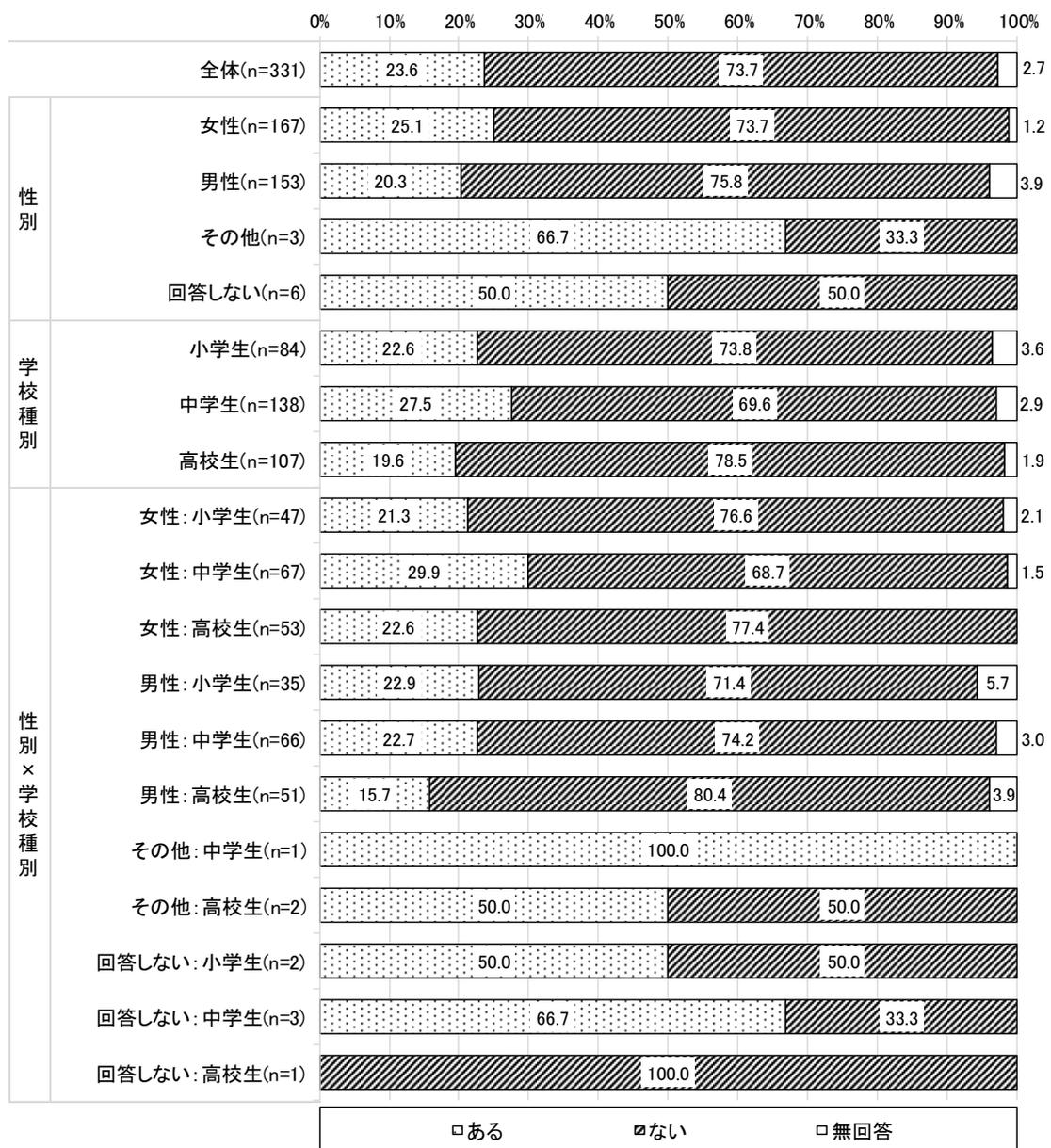
子ども:(問 17)家庭生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことはあるか

		合計	ある	ない	無回答
全体		331	78	244	9
		100.0	23.6	73.7	2.7
性別	女性	167	42	123	2
		100.0	25.1	73.7	1.2
	男性	153	31	116	6
		100.0	20.3	75.8	3.9
	その他	3	2	1	-
100.0	66.7	33.3	-		
学校種別	小学生	84	19	62	3
		100.0	22.6	73.8	3.6
	中学生	138	38	96	4
		100.0	27.5	69.6	2.9
高校生	107	21	84	2	
	100.0	19.6	78.5	1.9	
性別×学校種別	女性:小学生	47	10	36	1
		100.0	21.3	76.6	2.1
	女性:中学生	67	20	46	1
		100.0	29.9	68.7	1.5
	女性:高校生	53	12	41	-
		100.0	22.6	77.4	-
	男性:小学生	35	8	25	2
		100.0	22.9	71.4	5.7
	男性:中学生	66	15	49	2
		100.0	22.7	74.2	3.0
	男性:高校生	51	8	41	2
		100.0	15.7	80.4	3.9
	その他:小学生	-	-	-	-
		-	-	-	-
その他:中学生	1	1	-	-	
	100.0	100.0	-	-	
その他:高校生	2	1	1	-	
	100.0	50.0	50.0	-	
回答しない:小学生	2	1	1	-	
	100.0	50.0	50.0	-	
回答しない:中学生	3	2	1	-	
	100.0	66.7	33.3	-	
回答しない:高校生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	

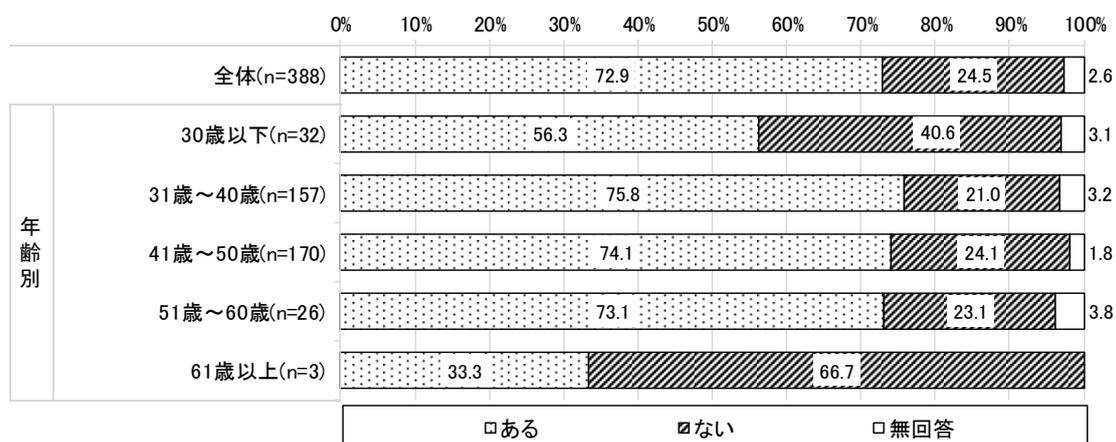
おとな:(問 19)家庭生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことはあるか

		合計	ある	ない	無回答
全体		388	283	95	10
		100.0	72.9	24.5	2.6
年齢別	30歳以下	32	18	13	1
		100.0	56.3	40.6	3.1
	31歳～40歳	157	119	33	5
		100.0	75.8	21.0	3.2
	41歳～50歳	170	126	41	3
		100.0	74.1	24.1	1.8
51歳～60歳	26	19	6	1	
	100.0	73.1	23.1	3.8	
61歳以上	3	1	2	-	
	100.0	33.3	66.7	-	

子ども：(問 17)家庭生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことはあるか



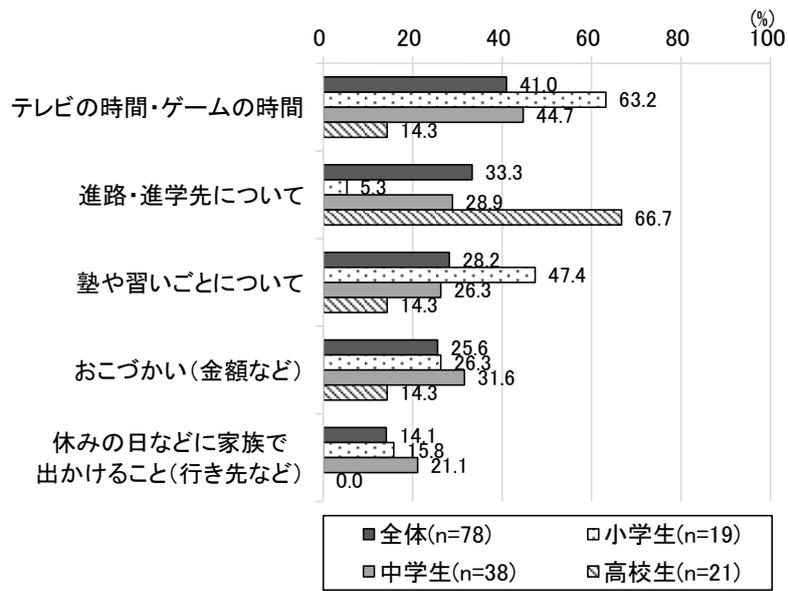
おとな：(問 19)家庭生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことはあるか



子ども:(問17-1)家庭生活の中でもっと意見をきいてほしいことは何か

		合計	進路・進学先について	塾や習いごとについて	テレビの時間・ゲームの時間	帰宅時間(夕方、家に帰ってくる時間)	休みの日などに家族で出かけること(行き先など)	おこづかい(金額など)	その他	無回答
全体		78	26	22	32	5	11	20	5	2
		100.0	33.3	28.2	41.0	6.4	14.1	25.6	6.4	2.6
性別	女性	42	16	16	12	3	4	7	3	2
		100.0	38.1	38.1	28.6	7.1	9.5	16.7	7.1	4.8
	男性	31	8	5	18	2	6	12	1	-
		100.0	25.8	16.1	58.1	6.5	19.4	38.7	3.2	-
	その他	2	1	-	-	-	-	-	1	-
	100.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	
	回答しない	3	1	1	2	-	1	1	-	-
		100.0	33.3	33.3	66.7	-	33.3	33.3	-	-
学校種別	小学生	19	1	9	12	1	3	5	-	-
		100.0	5.3	47.4	63.2	5.3	15.8	26.3	-	-
	中学生	38	11	10	17	2	8	12	4	1
	100.0	28.9	26.3	44.7	5.3	21.1	31.6	10.5	2.6	
	高校生	21	14	3	3	2	-	3	1	1
		100.0	66.7	14.3	14.3	9.5	-	14.3	4.8	4.8
性別×学校種別	女性:小学生	10	1	7	4	-	-	3	-	-
		100.0	10.0	70.0	40.0	-	-	30.0	-	-
	女性:中学生	19	7	7	7	1	4	4	2	-
		100.0	36.8	36.8	36.8	5.3	21.1	21.1	10.5	-
	女性:高校生	11	8	2	1	2	-	-	1	-
		100.0	72.7	18.2	9.1	18.2	-	-	9.1	-
	男性:小学生	8	-	1	7	1	2	2	-	-
		100.0	-	12.5	87.5	12.5	25.0	25.0	-	-
	男性:中学生	15	3	3	9	1	4	7	1	-
		100.0	20.0	20.0	60.0	6.7	26.7	46.7	6.7	-
	男性:高校生	8	5	1	2	-	-	3	-	-
		100.0	62.5	12.5	25.0	-	-	37.5	-	-
	その他:小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他:中学生	1	-	-	-	-	-	-	1	-	
	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	
その他:高校生	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
回答しない:小学生	1	-	1	1	-	1	-	-	-	
	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	
回答しない:中学生	2	1	-	1	-	-	1	-	-	
	100.0	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	
回答しない:高校生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

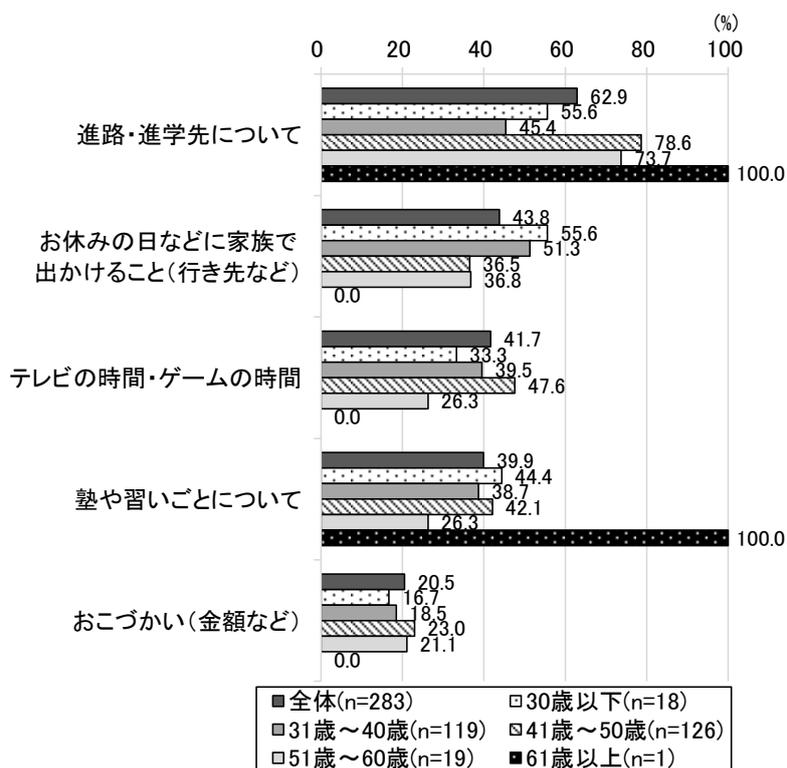
子ども：(問 17-1)家庭生活の中でもっと意見をきいてほしいことは何か(主要項目)



おとな：(問 19-1)家庭生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことは何か

		合計	進路・進学先について	塾や習いごとについて	テレビの時間・ゲームの時間	帰宅時間(夕方、家に帰ってくる時間)	お休みの日などに家族で出かけること(行き先など)	おこづかい(金額など)	その他	無回答
全体		283	178	113	118	49	124	58	34	6
		100.0	62.9	39.9	41.7	17.3	43.8	20.5	12.0	2.1
年齢別	30歳以下	18	10	8	6	2	10	3	2	2
		100.0	55.6	44.4	33.3	11.1	55.6	16.7	11.1	11.1
	31歳～40歳	119	54	46	47	19	61	22	13	4
		100.0	45.4	38.7	39.5	16.0	51.3	18.5	10.9	3.4
	41歳～50歳	126	99	53	60	24	46	29	13	-
		100.0	78.6	42.1	47.6	19.0	36.5	23.0	10.3	-
	51歳～60歳	19	14	5	5	3	7	4	6	-
		100.0	73.7	26.3	26.3	15.8	36.8	21.1	31.6	-
	61歳以上	1	1	1	-	1	-	-	-	-
		100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-

おとな：(問 19-1)家庭生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことは何か(主要項目)



<子ども>

問 18 学校に行っている人におたずねします。学校生活のなかで、もっと子どもの意見をきいてほしいと思うことはありますか。

問 18-1 問 18 で「①ある」と答えた人におたずねします。意見をきいてほしいことはどんなことですか。

<おとな>

問 20 学校生活のなかで、教員や指導者等が、もっと子どもの意見をきくようにした方が良いと思うことはありますか。

問 20-1 問 20 で「①ある」と答えた人におたずねします。意見をきくようにした方が良いと思うことはどんなことですか。

- ◆学校生活の中で意見をきいてほしいと思うことがある子どもは 32.9%
- ◆子どもがきいてほしいと思う内容で、最も多いのは「校則(自分たちの学校のルール)の内容」で 66.1%
- ◆学校生活の中でもっと子どもの意見をきくようにした方が良いと思うおとなは 58.5%

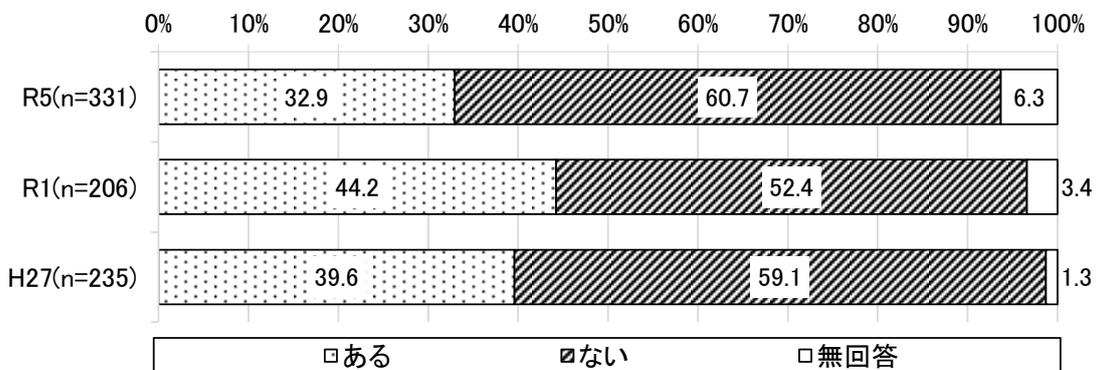
<分類別結果>

子ども:学校生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことが「ある」

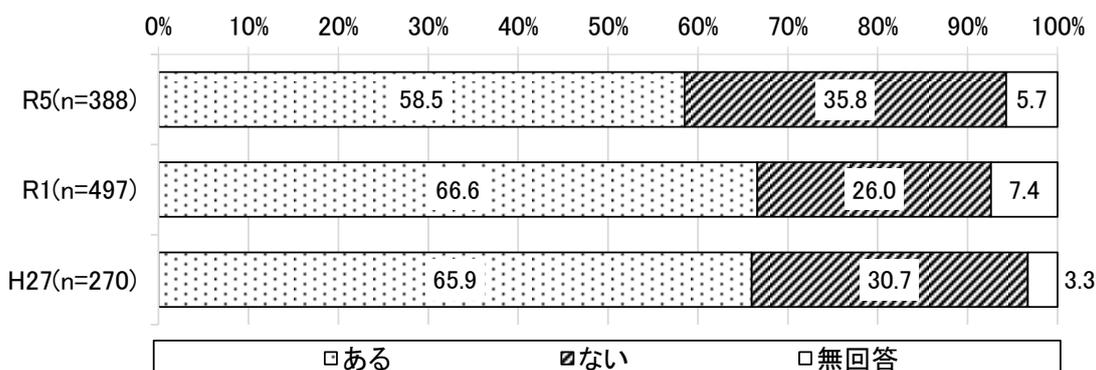
	最高値	最低値
年齢別	高校生(49.5%)	小学生(15.5%)
性別・年齢別	女性:高校生(52.8%)	女性:小学生(10.6%)

<経年比較>

子ども:(問 18)学校生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことはあるか

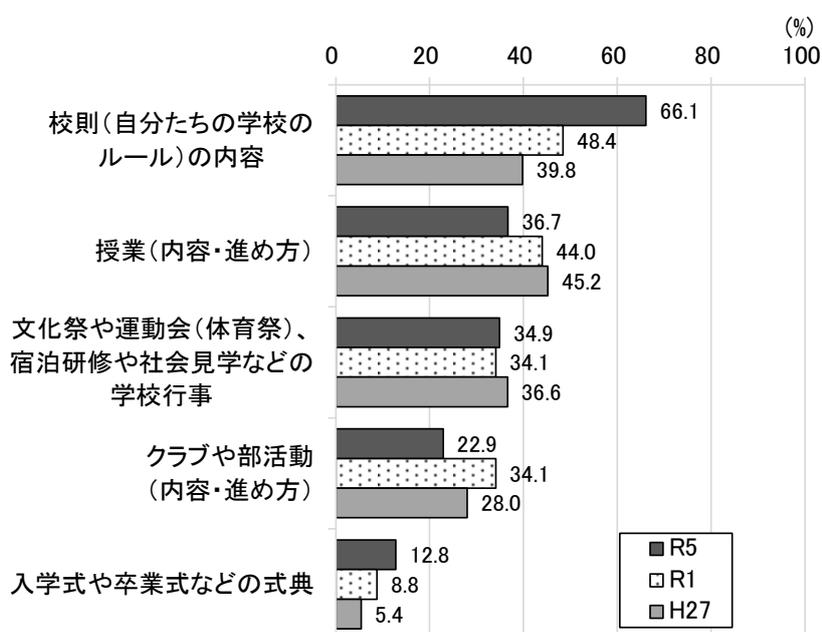


おとな:(問 20)学校生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことはあるか

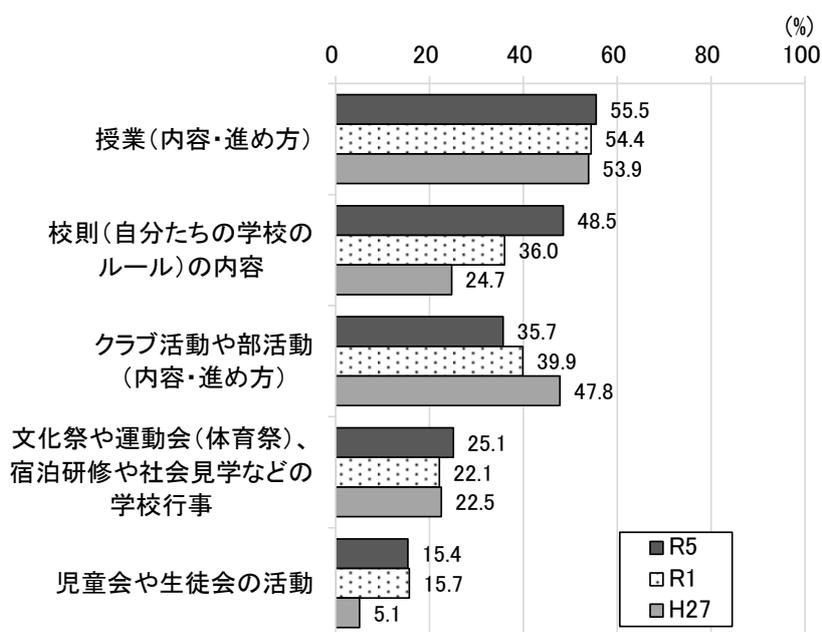


※令和元年度調査より 0~17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10~17 歳の子どもをもつ保護者が対象)

子ども：(問 18-1)学校生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことは何か(主要項目)



おとな：(問 20-1)学校生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことは何か(主要項目)



※令和元年度調査より 0～17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どもをもつ保護者が対象)

学校生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことが「ある」と回答した子どもの割合は 32.9%と、令和元年度の調査の 44.2%から低下している。

性別による大きな差はみられないが、学校種別にみると、「ある」は年齢が上がるにつれて高くなっており、特に高校生は 49.5%で最も高くなっている。

また、学校生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うおとなの割合は 58.5%と、令和元年度の調査の 66.6%から低下している。

***意見をきいてほしいこと**

子どもが学校生活の中でもっと意見をきいてほしいと思う内容は、「校則(自分たちの学校のルール)の内容」が 66.1%と最も高くなっており、ついで「授業(内容・進め方)」が 36.7%、「文化祭や運動会(体育祭)、宿泊研修や社会見学などの学校行事」が 34.9%となっている。また、「校則(自分たちの学校のルール)の内容」は平成 27 年度から上昇傾向にある。

***意見をきいた方が良くと思うこと**

おとながもっと子どもの意見をきいた方が良くと思うことでは、「授業(内容・進め方)」が 55.5%で最も高く、ついで「校則(自分たちの学校のルール)の内容」が 48.5%、「クラブ活動や部活動(内容・進め方)」が 35.7%となっている。

<その他:子ども>

- 先生におこられているときやっていないといっているのに聞いてくれない時。
- 朝が早い。
- 教室のクーラーがあまり効かず、暑いこと。
- 学校の半そで。
- 学校の設備。
- 遊び・ゲーム。
- 不登校や相談室にいる子の対応。
- 先生の指示の仕方。

<性別・年齢別集計結果>

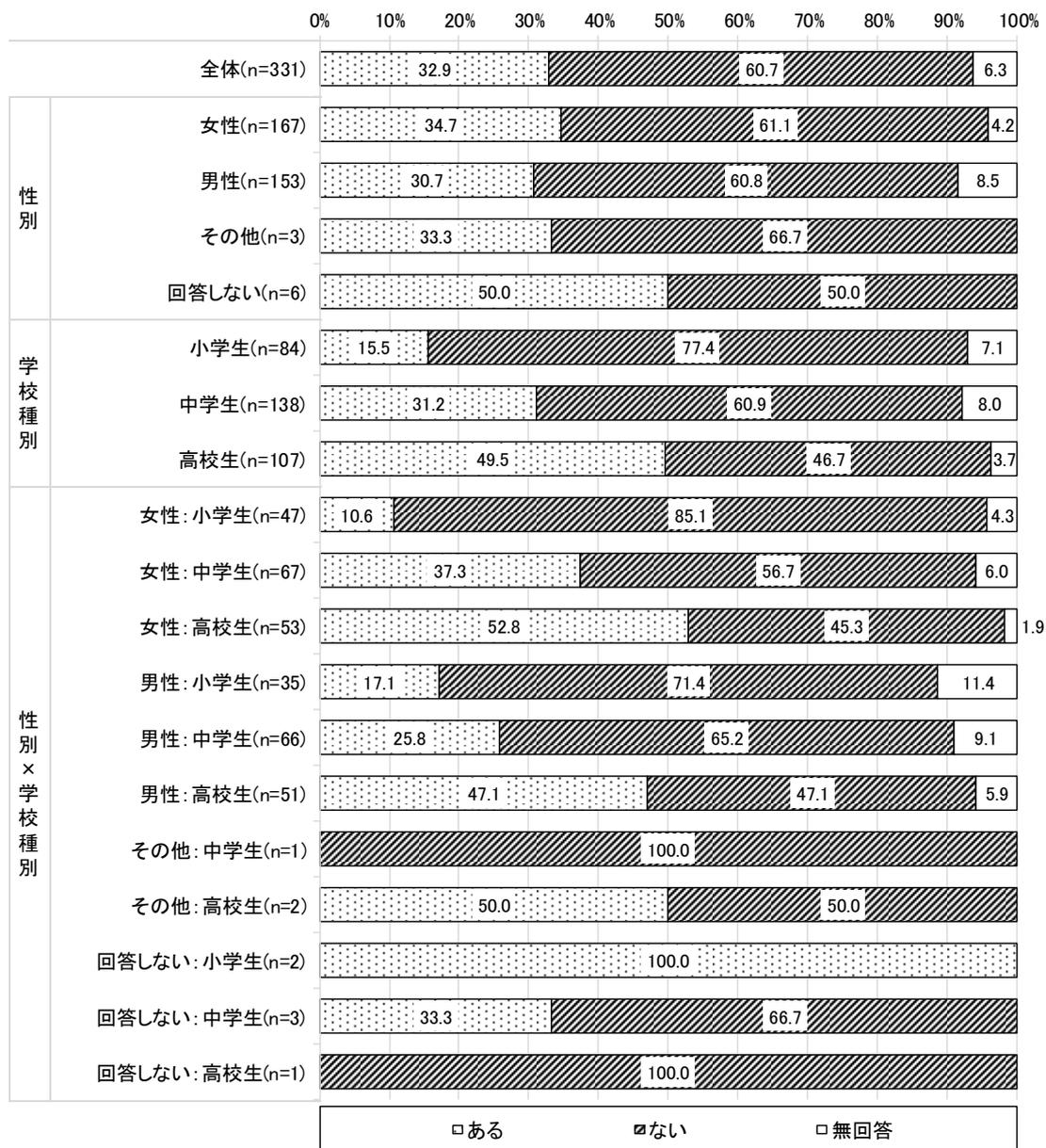
子ども：(問 18)学校生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことはあるか

		合計	ある	ない	無回答
全体		331	109	201	21
		100.0	32.9	60.7	6.3
性別	女性	167	58	102	7
		100.0	34.7	61.1	4.2
	男性	153	47	93	13
		100.0	30.7	60.8	8.5
	その他	3	1	2	-
		100.0	33.3	66.7	-
	回答しない	6	3	3	-
		100.0	50.0	50.0	-
学校種別	小学生	84	13	65	6
		100.0	15.5	77.4	7.1
	中学生	138	43	84	11
		100.0	31.2	60.9	8.0
	高校生	107	53	50	4
		100.0	49.5	46.7	3.7
性別×学校種別	女性：小学生	47	5	40	2
		100.0	10.6	85.1	4.3
	女性：中学生	67	25	38	4
		100.0	37.3	56.7	6.0
	女性：高校生	53	28	24	1
		100.0	52.8	45.3	1.9
	男性：小学生	35	6	25	4
		100.0	17.1	71.4	11.4
	男性：中学生	66	17	43	6
		100.0	25.8	65.2	9.1
	男性：高校生	51	24	24	3
		100.0	47.1	47.1	5.9
	その他：小学生	-	-	-	-
		-	-	-	-
その他：中学生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	
その他：高校生	2	1	1	-	
	100.0	50.0	50.0	-	
回答しない：小学生	2	2	-	-	
	100.0	100.0	-	-	
回答しない：中学生	3	1	2	-	
	100.0	33.3	66.7	-	
回答しない：高校生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	

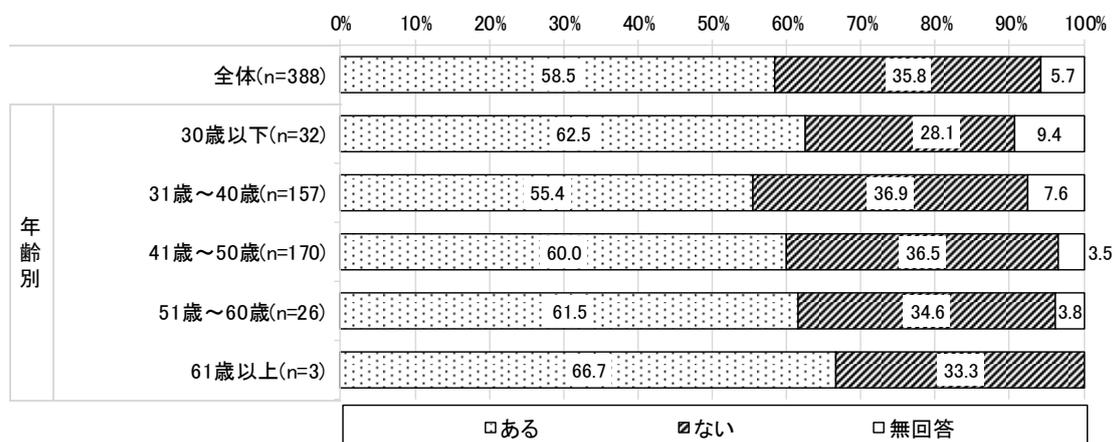
おとな：(問 20)学校生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことはあるか

		合計	ある	ない	無回答
全体		388	227	139	22
		100.0	58.5	35.8	5.7
年齢別	30歳以下	32	20	9	3
		100.0	62.5	28.1	9.4
	31歳～40歳	157	87	58	12
		100.0	55.4	36.9	7.6
	41歳～50歳	170	102	62	6
		100.0	60.0	36.5	3.5
	51歳～60歳	26	16	9	1
		100.0	61.5	34.6	3.8
	61歳以上	3	2	1	-
		100.0	66.7	33.3	-

子ども：(問 18)学校生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことはあるか



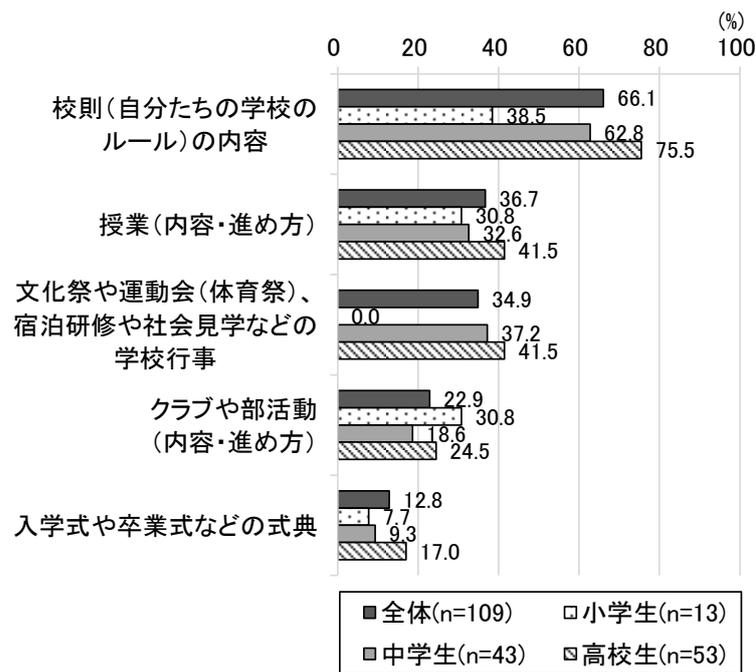
おとな：(問 20)学校生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことはあるか



子ども：(問 18-1)学校生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことは何か

		合計	クラブや部活動(内容・進め方)	児童会や生徒会の活動	授業(内容・進め方)	校則(自分たちの学校のルール)の内容	文化祭や運動会(体育祭)、宿泊研修や社会見学などの学校行事	入学式や卒業式などの式典	その他	無回答
全体		109 100.0	25 22.9	13 11.9	40 36.7	72 66.1	38 34.9	14 12.8	9 8.3	1 0.9
性別	女性	58 100.0	8 13.8	6 10.3	24 41.4	41 70.7	24 41.4	4 6.9	3 5.2	-
	男性	47 100.0	14 29.8	5 10.6	15 31.9	30 63.8	14 29.8	9 19.1	5 10.6	1 2.1
	その他	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	回答しない	3 100.0	2 66.7	2 66.7	-	-	-	1 33.3	1 33.3	-
学校種別	小学生	13 100.0	4 30.8	2 15.4	4 30.8	5 38.5	-	1 7.7	2 15.4	-
	中学生	43 100.0	8 18.6	4 9.3	14 32.6	27 62.8	16 37.2	4 9.3	5 11.6	1 2.3
	高校生	53 100.0	13 24.5	7 13.2	22 41.5	40 75.5	22 41.5	9 17.0	2 3.8	-
性別×学校種別	女性：小学生	5 100.0	-	-	3 60.0	3 60.0	-	-	-	-
	女性：中学生	25 100.0	3 12.0	3 12.0	10 40.0	17 68.0	12 48.0	3 12.0	2 8.0	-
	女性：高校生	28 100.0	5 17.9	3 10.7	11 39.3	21 75.0	12 42.9	1 3.6	1 3.6	-
	男性：小学生	6 100.0	2 33.3	-	1 16.7	2 33.3	-	-	2 33.3	-
	男性：中学生	16 100.0	5 31.3	1 6.3	4 25.0	10 62.5	4 25.0	1 6.3	2 12.5	-
	男性：高校生	24 100.0	7 29.2	4 16.7	10 41.7	18 75.0	10 41.7	8 33.3	1 4.2	-
	その他：小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他：中学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他：高校生	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	回答しない：小学生	2 100.0	2 100.0	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	-
	回答しない：中学生	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-
	回答しない：高校生	-	-	-	-	-	-	-	-	-

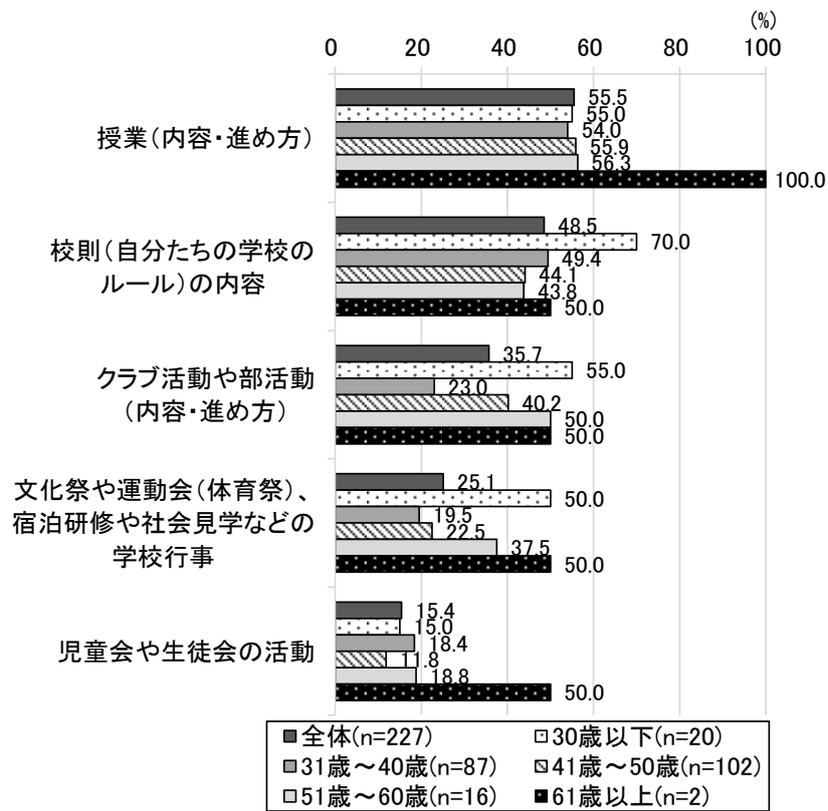
子ども：(問 18-1)学校生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことは何か(主要項目)



おとな：(問 20-1)学校生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良くと思うことは何か

	合計	クラブ活動や部活動(内容・進め方)	児童会や生徒会の活動	授業(内容・進め方)	校則(自分たちの学校のルール)の内容	文化祭や運動会(体育祭)、宿泊研修や社会見学などの学校行事	入学式や卒業式などの式典	その他	無回答	
										全体
全体	227	81	35	126	110	57	14	25	9	
	100.0	35.7	15.4	55.5	48.5	25.1	6.2	11.0	4.0	
年齢別	30歳以下	20	11	3	11	14	10	3	2	1
		100.0	55.0	15.0	55.0	70.0	50.0	15.0	10.0	5.0
	31歳～40歳	87	20	16	47	43	17	4	11	3
		100.0	23.0	18.4	54.0	49.4	19.5	4.6	12.6	3.4
	41歳～50歳	102	41	12	57	45	23	6	9	4
	100.0	40.2	11.8	55.9	44.1	22.5	5.9	8.8	3.9	
51歳～60歳	16	8	3	9	7	6	1	3	1	
	100.0	50.0	18.8	56.3	43.8	37.5	6.3	18.8	6.3	
61歳以上	2	1	1	2	1	1	-	-	-	
	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	

おとな:(問 20-1)学校生活の中でもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことは何か(主要項目)



<子ども>

問 19 多治見のまちづくりに関することで、もっと子どもの意見をきいてほしいと思うことはありますか。

問 19-1 問 19 で「①ある」と答えた人におたずねします。意見をきいてほしいと思うときはどんなときですか。

<おとな>

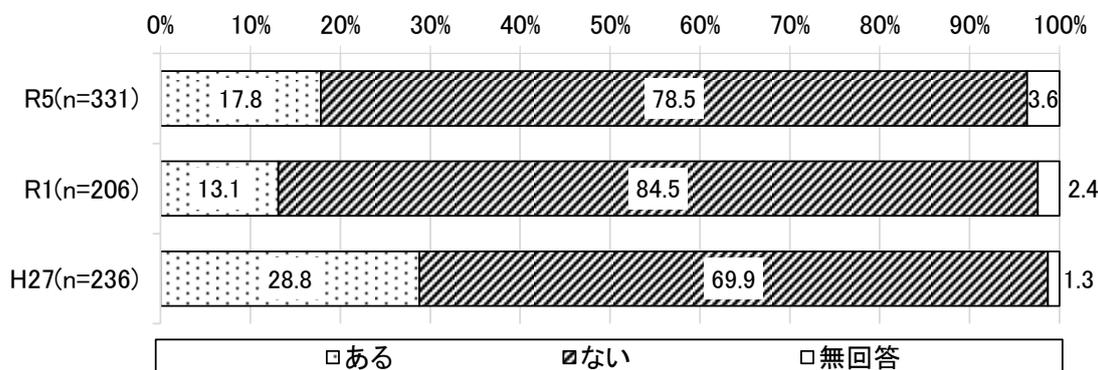
問 21 多治見のまちづくりに関することで、市や運営団体等が、もっと子どもの意見をきくようにした方が良いと思うことはありますか。

問 21-1 問 21 で「①ある」と答えた人におたずねします。意見をきくようにした方が良いと思うことはどんなことですか。

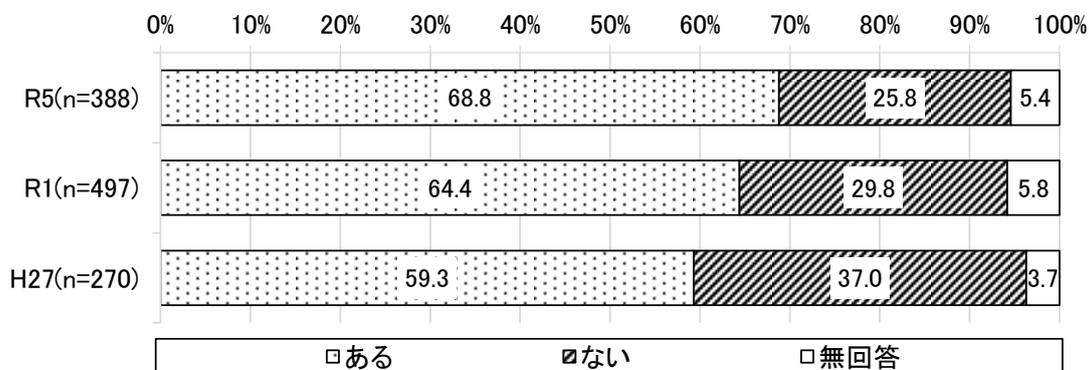
- ◆まちづくりに関することで意見をきいてほしいと思うことがある子どもは 17.8%
- ◆子どもがきいてほしいと思う内容で、最も多いのは「文化会館や市民プールのような大きな施設をつくる時」で 66.1%
- ◆まちづくりに関することでもっと子どもの意見をきくようにした方が良いと思うおとなは 68.8%

<経年比較>

子ども：(問 19)まちづくりに関することでもっと意見をきいてほしいと思うことはあるか

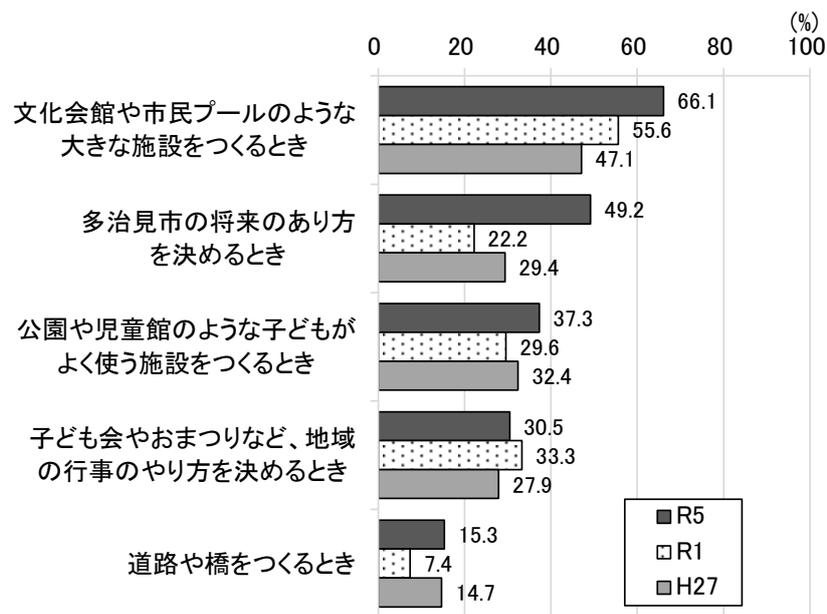


おとな：(問 21)まちづくりに関することでもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことはあるか

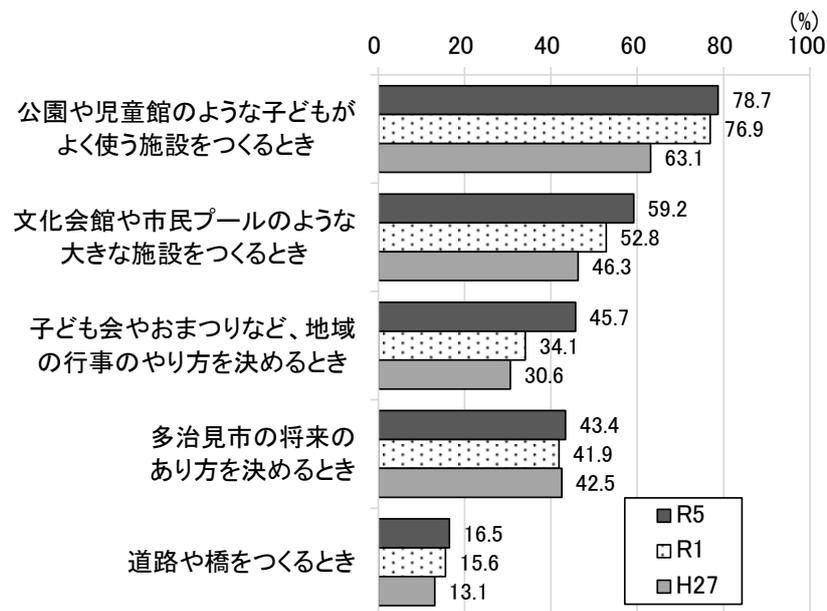


※令和元年度調査より 0～17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どもをもつ保護者が対象)

子ども：(問 19-1)まちづくりに関することでもっと意見をきいてほしいと思うことは何か(主要項目)



おとな：(問 21-1)まちづくりに関することでもっと子どもの意見をきいた方が良くと思うことは何か(主要項目)



※令和元年度調査より 0～17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どもをもつ保護者が対象)

まちづくりに関することでもっと意見をきいてほしいと思うことが「ある」と回答した子どもの割合は 17.8%と、令和元年度の調査の 13.1%からやや上昇している。

また、まちづくりに関することでもっと子どもの意見をきいた方が良くと思うおとなの割合は 68.8%と、平成 27 年度から上昇傾向にある。

***意見をきいてほしいこと**

子どもがまちづくりに関することで、もっと意見をきいてほしいと思う内容は、「文化会館や市民プールのような大きな施設をつくる時」が66.1%で最も高く、ついで「多治見市の将来のあり方を決める時」が49.2%、「公園や児童館のような子どもがよく使う施設をつくる時」が37.3%となっている。

***意見をきいた方が良く思うこと**

おとながもっと子どもの意見をきいた方が良く思うことでは、「公園や児童館のような子どもがよく使う施設をつくる時」が78.7%で最も高く、ついで「文化会館や市民プールのような大きな施設をつくる時」が59.2%、「子ども会やおまつりなど、地域の行事のやり方を決める時」が45.7%となっている。

<その他:子ども>

- 公式大会のできるサッカー場を作ってほしい。
- ゲームセンターやサイゼリアがなくなったとき。
- 大型商業施設等を建設する際、映画館を作って欲しい等の子供^{ども}の意見を取り入れて欲しい。

<性別・年齢別集計結果>

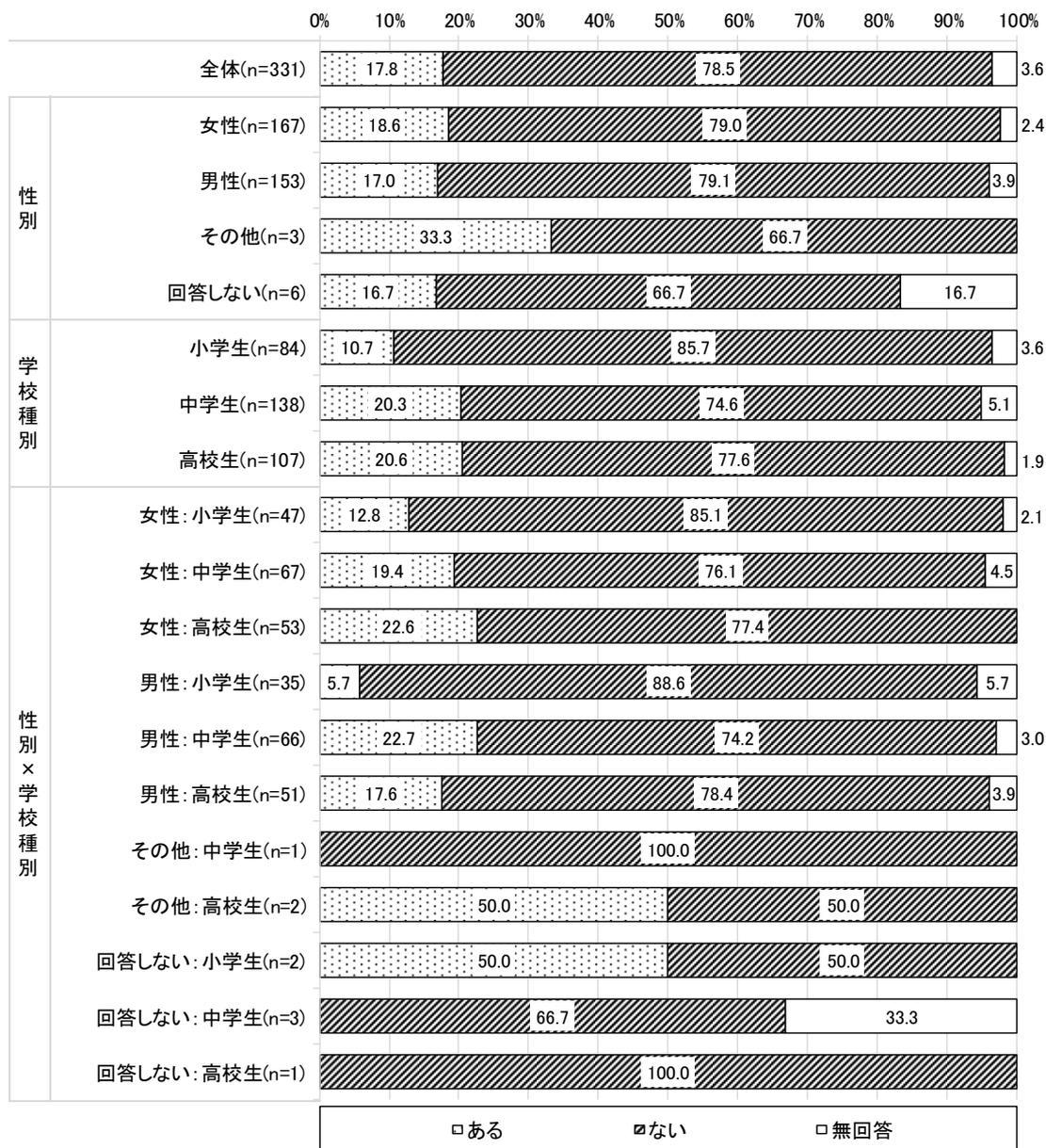
子ども:(問 19)まちづくりに関することでもっと意見をきいてほしいと思うことはあるか

		合計	ある	ない	無回答
全体		331	59	260	12
		100.0	17.8	78.5	3.6
性別	女性	167	31	132	4
		100.0	18.6	79.0	2.4
	男性	153	26	121	6
		100.0	17.0	79.1	3.9
	その他	3	1	2	-
		100.0	33.3	66.7	-
	回答しない	6	1	4	1
		100.0	16.7	66.7	16.7
学校種別	小学生	84	9	72	3
		100.0	10.7	85.7	3.6
	中学生	138	28	103	7
		100.0	20.3	74.6	5.1
	高校生	107	22	83	2
		100.0	20.6	77.6	1.9
性別×学校種別	女性:小学生	47	6	40	1
		100.0	12.8	85.1	2.1
	女性:中学生	67	13	51	3
		100.0	19.4	76.1	4.5
	女性:高校生	53	12	41	-
		100.0	22.6	77.4	-
	男性:小学生	35	2	31	2
		100.0	5.7	88.6	5.7
	男性:中学生	66	15	49	2
		100.0	22.7	74.2	3.0
	男性:高校生	51	9	40	2
		100.0	17.6	78.4	3.9
	その他:小学生	-	-	-	-
		-	-	-	-
その他:中学生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	
その他:高校生	2	1	1	-	
	100.0	50.0	50.0	-	
回答しない:小学生	2	1	1	-	
	100.0	50.0	50.0	-	
回答しない:中学生	3	-	2	1	
	100.0	-	66.7	33.3	
回答しない:高校生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	

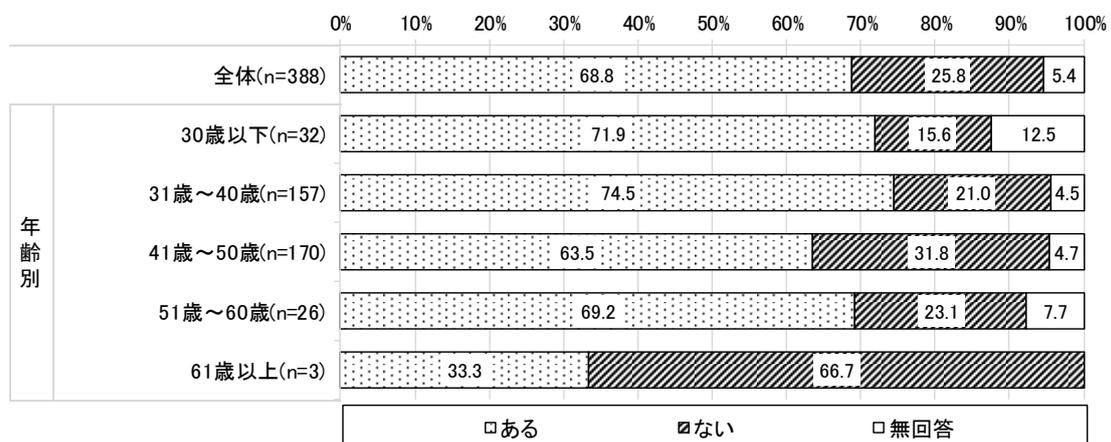
おとな:(問 21)まちづくりに関することでもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことはあるか

		合計	ある	ない	無回答
全体		388	267	100	21
		100.0	68.8	25.8	5.4
年齢別	30歳以下	32	23	5	4
		100.0	71.9	15.6	12.5
	31歳~40歳	157	117	33	7
		100.0	74.5	21.0	4.5
	41歳~50歳	170	108	54	8
		100.0	63.5	31.8	4.7
	51歳~60歳	26	18	6	2
		100.0	69.2	23.1	7.7
	61歳以上	3	1	2	-
		100.0	33.3	66.7	-

子ども：(問 19)まちづくりに関することでもっと意見をきいてほしいと思うことはあるか



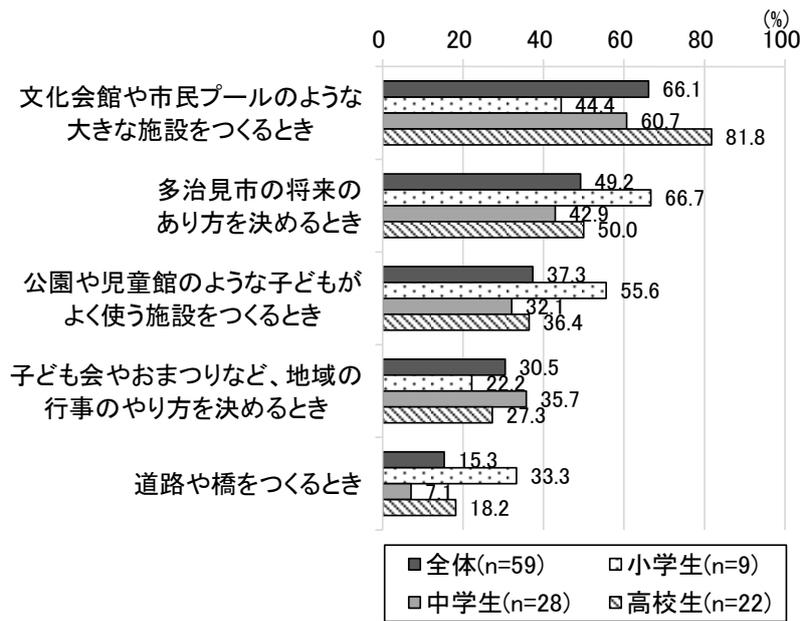
おとな：(問 21)まちづくりに関することでもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことはあるか



子ども：(問 19-1)まちづくりに関することでもっと意見をきいてほしいと思うことは何か

		合計	文化会館 や市民 プールの ような大き な施設を つくるとき	公園や児 童館のよ うな子ども がよく使う 施設をつく るとき	道路や橋 をつくる とき	「わたしの 主張大 会」や「た じみ子ども 会議」な ど、子ども が意見を 出す会の やり方を 決めるとき	子ども会 やおまつ りなど、地 域の行事 のやり方 を決める とき	多治見市 の将来の あり方を 決めるとき	その他	無回答
全体		59 100.0	39 66.1	22 37.3	9 15.3	7 11.9	18 30.5	29 49.2	3 5.1	-
性別	女性	31 100.0	21 67.7	13 41.9	5 16.1	3 9.7	11 35.5	14 45.2	1 3.2	-
	男性	26 100.0	17 65.4	9 34.6	3 11.5	4 15.4	7 26.9	13 50.0	2 7.7	-
	その他	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-
	回答しない	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
学校種別	小学生	9 100.0	4 44.4	5 55.6	3 33.3	1 11.1	2 22.2	6 66.7	-	-
	中学生	28 100.0	17 60.7	9 32.1	2 7.1	4 14.3	10 35.7	12 42.9	2 7.1	-
	高校生	22 100.0	18 81.8	8 36.4	4 18.2	2 9.1	6 27.3	11 50.0	1 4.5	-
性別×学校種別	女性：小学生	6 100.0	4 66.7	5 83.3	3 50.0	1 16.7	2 33.3	3 50.0	-	-
	女性：中学生	13 100.0	8 61.5	4 30.8	1 7.7	2 15.4	6 46.2	6 46.2	-	-
	女性：高校生	12 100.0	9 75.0	4 33.3	1 8.3	-	3 25.0	5 41.7	1 8.3	-
	男性：小学生	2 100.0	-	-	-	-	-	2 100.0	-	-
	男性：中学生	15 100.0	9 60.0	5 33.3	1 6.7	2 13.3	4 26.7	6 40.0	2 13.3	-
	男性：高校生	9 100.0	8 88.9	4 44.4	2 22.2	2 22.2	3 33.3	5 55.6	-	-
	その他：小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他：中学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他：高校生	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-
	回答しない：小学生	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
	回答しない：中学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回答しない：高校生	-	-	-	-	-	-	-	-	-

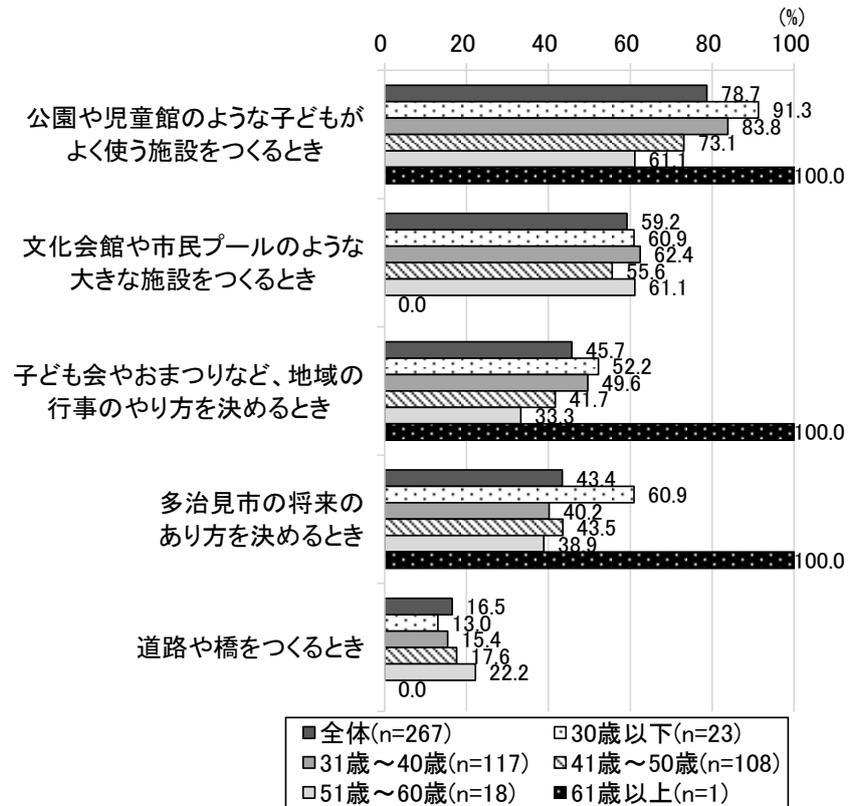
子ども：(問 19-1)まちづくりに関することでもっと意見をきいてほしいと思うことは何か(主要項目)



おとな：(問 21-1)まちづくりに関することでもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことは何か

		合計	文化会館や市民プールのような大きな施設をつくる時	公園や児童館のような子どもがよく使う施設をつくる時	道路や橋をつくる時	「わたしの主張大会」や「たじみ子ども会議」など、子どもが意見を出す会のやり方を決めるとき	子ども会やおまつりなど、地域の行事のやり方を決めるとき	多治見市の将来のあり方を決めるとき	その他	無回答
全体		267	158	210	44	41	122	116	16	1
		100.0	59.2	78.7	16.5	15.4	45.7	43.4	6.0	0.4
年齢別	30歳以下	23	14	21	3	7	12	14	1	-
		100.0	60.9	91.3	13.0	30.4	52.2	60.9	4.3	-
	31歳～40歳	117	73	98	18	15	58	47	3	-
		100.0	62.4	83.8	15.4	12.8	49.6	40.2	2.6	-
	41歳～50歳	108	60	79	19	15	45	47	9	1
	100.0	55.6	73.1	17.6	13.9	41.7	43.5	8.3	0.9	
51歳～60歳	18	11	11	4	3	6	7	3	-	
	100.0	61.1	61.1	22.2	16.7	33.3	38.9	16.7	-	
61歳以上	1	-	1	-	1	1	1	-	-	
	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	-	

おとな:(問 21-1)まちづくりに関することでもっと子どもの意見をきいた方が良いと思うことは何か
(主要項目)



<子ども>

問 20 次の多治見市の施設のうち、あなたが一番よく利用している施設はどこですか。

- ◆一番よく利用している施設は「ヤマカまなびパーク(学習館)」
- ◆よく利用している施設が「特にない」と回答した子どもは 45.9%

多治見市の施設のうち、一番よく利用している施設について、「ヤマカまなびパーク(学習館)」が 14.8%、ついで「児童館・児童センター」が 12.4%となっている。一方、「特にない」と回答した子どもは 45.9%となっている。

性別にみると、女性は「ヤマカまなびパーク(学習館)」が 15.6%で最も高く、男性は「児童館・児童センター」が 15.7%で最も高い。一方で、女性は「特にない」と回答した割合が 49.7%であり、男性の 41.2%よりも高くなっている。また、学校種別にみると、中学生以上で「特にない」が高くなっている。

<その他:子ども>

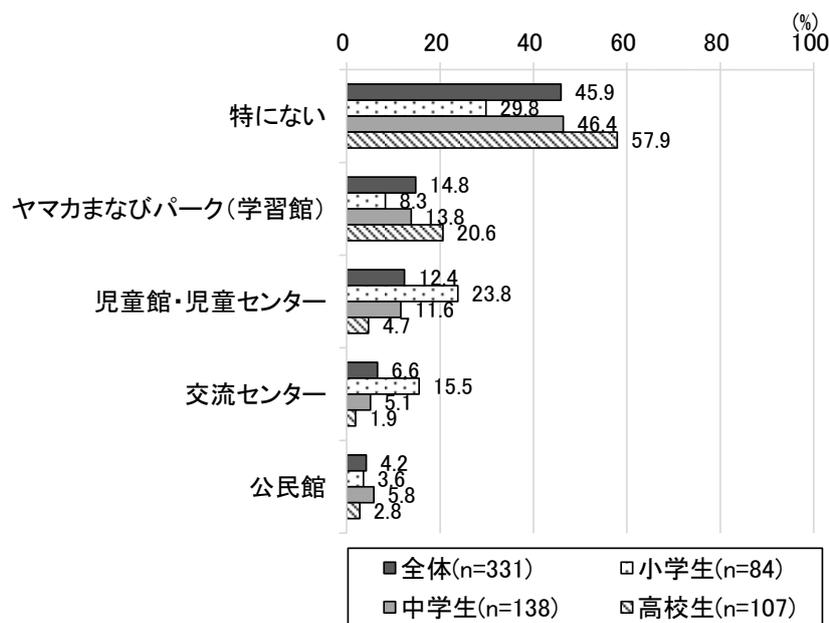
- 図書館
- TYK体育館
- 公園
- 星が台

<性別・年齢別集計結果>

子ども:(問 20)一番よく利用している施設はどこか

	合計	児童館・児童センター	公民館	交流センター	ヤマカまなびパーク(学習館)	子ども情報センター	パロー文化ホール(多治見市文化会館)	産業文化センター	土岐川観察館	三の倉市民の里「地球村」	その他	特にない	無回答	
全体	331 100.0	41 12.4	14 4.2	22 6.6	49 14.8	3 0.9	11 3.3	-	1 0.3	4 1.2	7 2.1	152 45.9	27 8.2	
性別	女性	167 100.0	17 10.2	5 3.0	14 8.4	26 15.6	2 1.2	4 2.4	-	1 0.6	4 2.4	83 49.7	11 6.6	
	男性	153 100.0	24 15.7	9 5.9	8 5.2	21 13.7	1 0.7	6 3.9	-	1 2.0	3 2.0	63 41.2	14 9.2	
	その他	3 100.0	-	-	-	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-	-	-	1 33.3
	回答しない	6 100.0	-	-	-	1 16.7	-	-	-	-	-	-	5 83.3	-
	小学生	84 100.0	20 23.8	3 3.6	13 15.5	7 8.3	-	2 2.4	-	-	2 2.4	1 1.2	25 29.8	11 13.1
中学生	138 100.0	16 11.6	8 5.8	7 5.1	19 13.8	2 1.4	5 3.6	-	-	2 1.4	6 4.3	64 46.4	9 6.5	
高校生	107 100.0	5 4.7	3 2.8	2 1.9	22 20.6	1 0.9	4 3.7	-	1 0.9	-	-	62 57.9	7 6.5	
性別×学校種別	女性:小学生	47 100.0	9 19.1	1 2.1	6 12.8	5 10.6	-	-	-	1 2.1	1 2.1	19 40.4	5 10.6	
	女性:中学生	67 100.0	6 9.0	2 3.0	6 9.0	9 13.4	1 1.5	2 3.0	-	-	-	3 4.5	35 52.2	3 4.5
	女性:高校生	53 100.0	2 3.8	2 3.8	2 3.8	12 22.6	1 1.9	2 3.8	-	-	-	-	29 54.7	3 5.7
	男性:小学生	35 100.0	11 31.4	2 5.7	7 20.0	1 2.9	-	2 5.7	-	-	1 2.9	-	5 14.3	6 17.1
	男性:中学生	66 100.0	10 15.2	6 9.1	1 1.5	10 15.2	1 1.5	3 4.5	-	-	2 3.0	3 4.5	26 39.4	4 6.1
	男性:高校生	51 100.0	3 5.9	1 2.0	-	9 17.6	-	1 2.0	-	1 2.0	-	-	32 62.7	4 7.8
	その他:小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他:中学生	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
	その他:高校生	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-
	回答しない:小学生	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-
	回答しない:中学生	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 100.0	-
	回答しない:高校生	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-

子ども:(問 20)一番よく利用している施設はどこか



8. 多治見市子どもの権利に関する条例について

<子ども>

問 21 あなたは「多治見市子どもの権利に関する条例」があることを知っていますか。

問 21-1 問 21 で「①知っている」と答えた人におたずねします。どのようにして知りましたか。

<おとな>

問 22 あなたは多治見市に、「子どもの権利に関する条例」があることを知っていますか。

問 22-1 問 22 で「①知っている」と答えた人におたずねします。どのようにして知りましたか。

◆条例の認知度は子どもが 37.5%、おとなが 52.1%

◆条例を知った媒体で最も多いのは、子どもが「学校の授業・先生の話・おたより」で 90.3%、おとなが「広報たじみ」で 54.5%

<分類別結果>

子ども:条例を「知っている」

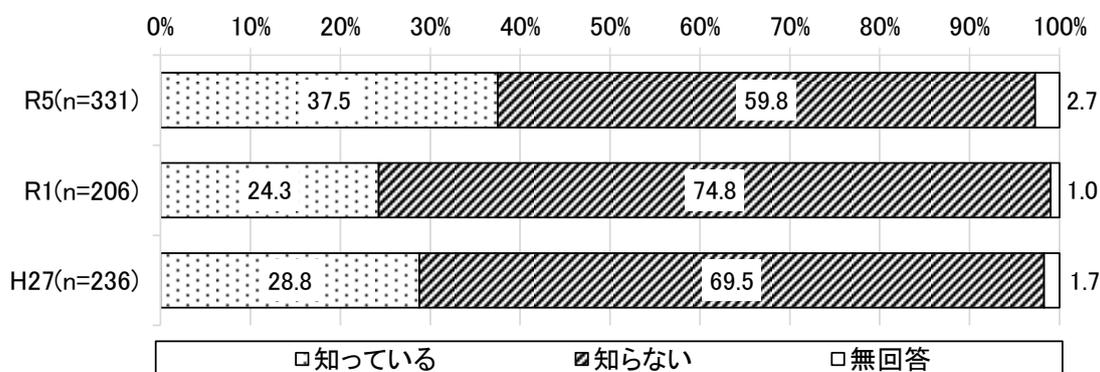
	最高値	最低値
年齢別	高校生(45.8%)	小学生(22.6%)
性別・年齢別	女性:高校生(50.9%)	男性:小学生(17.1%)

おとな:条例を「知っている」

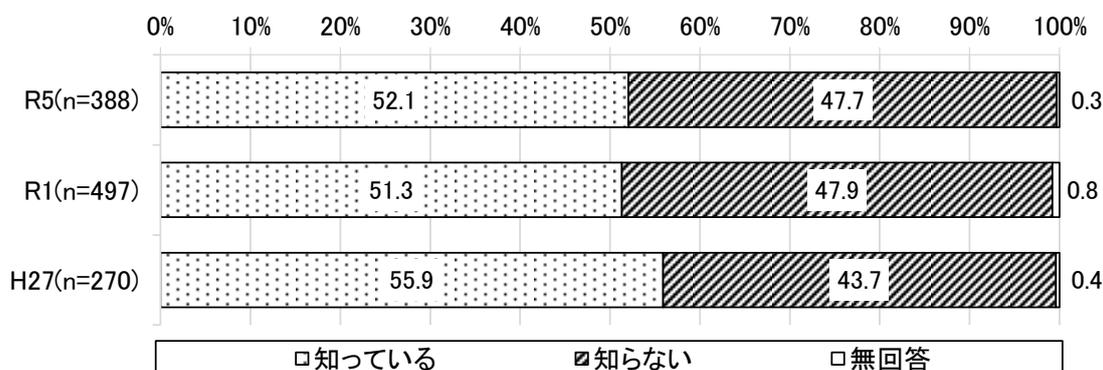
	最高値	最低値
年齢別	51~60歳(80.8%)	30歳以下(31.3%)

<経年比較>

子ども:(問 21)子どもの権利に関する条例を知っているか

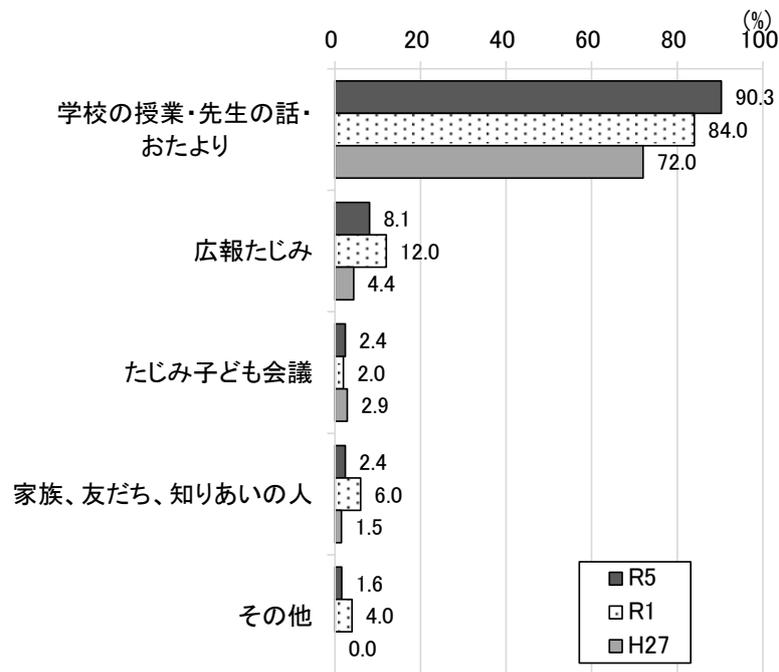


おとな:(問 22)子どもの権利に関する条例を知っているか

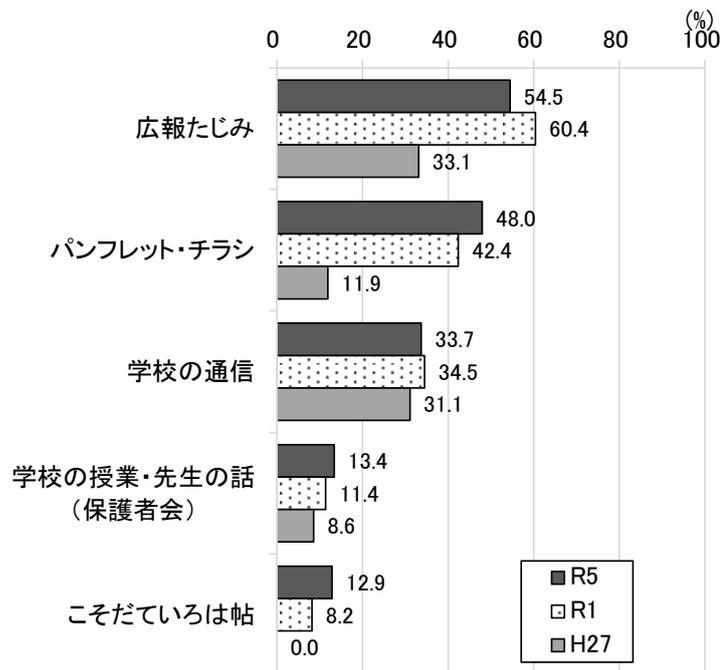


※令和元年度調査より 0~17 歳の子どものもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10~17 歳の子どものもつ保護者が対象)

子ども：(問 21-1)子どもの権利に関する条例を知った媒体は何か(主要項目)



おとな：(問 22-1)子どもの権利に関する条例を知った媒体は何か(主要項目)



※令和元年度調査より0～17歳の子どもをもつ保護者が調査対象となっている。
(平成27年度調査以前は10～17歳の子どもをもつ保護者が対象)

子どもの権利に関する条例を知っている子どもの割合は37.5%と、令和元年度の調査の24.3%から上昇している。

性別にみると、女性の認知度が40.7%であるのに対して、男性は35.3%と低くなっている。また、学校種別にみると、年齢が上がるにつれて高くなっている。

子どもの権利に関する条例を知っているおとなの割合は52.1%と、令和元年度の調査の51.3%から概ね横ばいとなっている。

子どもの権利に関する条例を知った媒体をみると、子どもでは「学校の授業・先生の話・おたより」が90.3%と最も高くなっている。一方で、おとなでは「広報たじみ」が54.5%と最も高く、ついで「パンフレット・チラシ」が48.0%となっている。

<性別・年齢別集計結果>

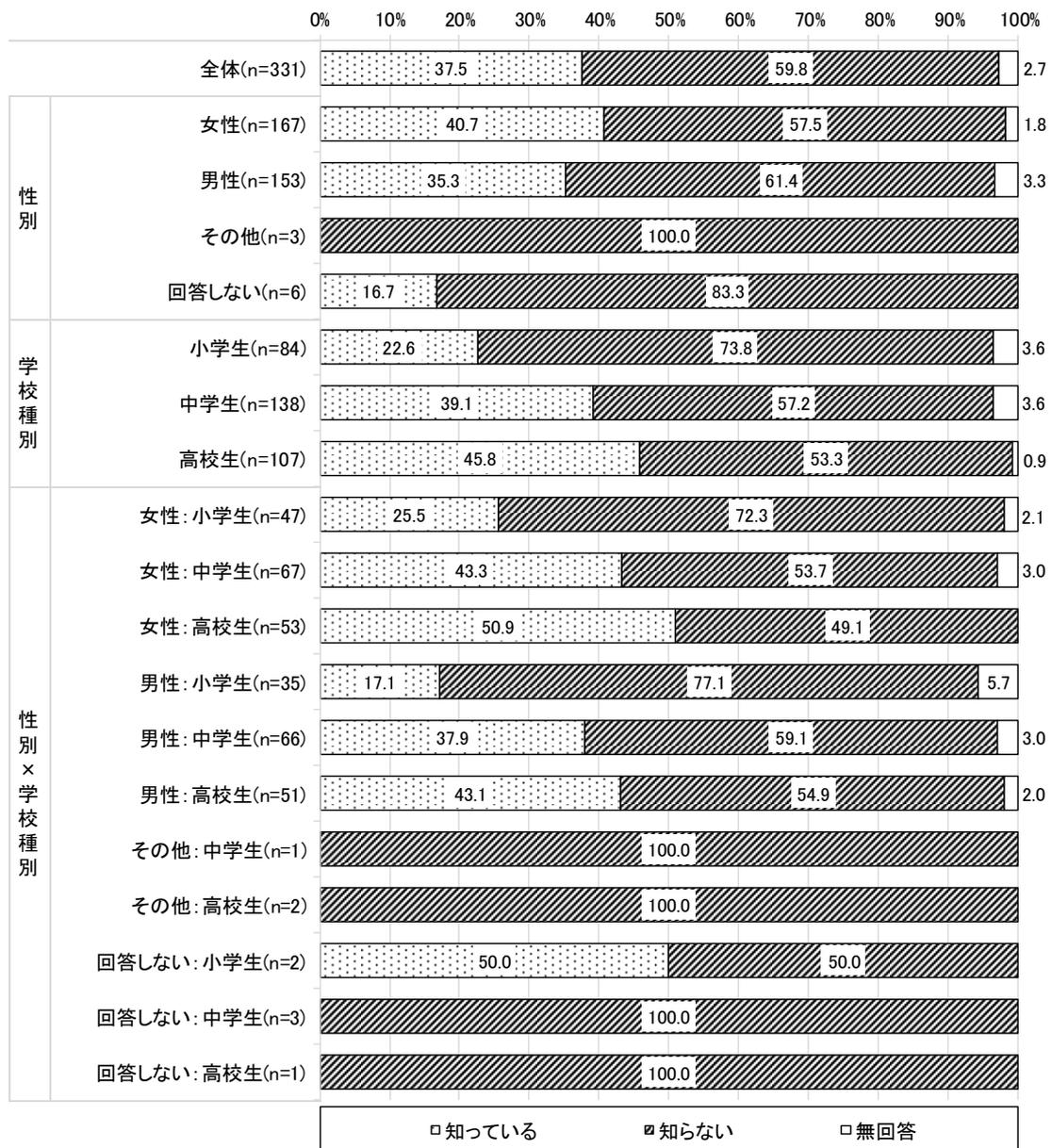
子ども:(問 21)子どもの権利に関する条例を知っているか

		合計	知っている	知らない	無回答
全体		331	124	198	9
		100.0	37.5	59.8	2.7
性別	女性	167	68	96	3
		100.0	40.7	57.5	1.8
	男性	153	54	94	5
		100.0	35.3	61.4	3.3
	その他	3	-	3	-
		100.0	-	100.0	-
	回答しない	6	1	5	-
		100.0	16.7	83.3	-
学校種別	小学生	84	19	62	3
		100.0	22.6	73.8	3.6
	中学生	138	54	79	5
		100.0	39.1	57.2	3.6
	高校生	107	49	57	1
		100.0	45.8	53.3	0.9
性別×学校種別	女性:小学生	47	12	34	1
		100.0	25.5	72.3	2.1
	女性:中学生	67	29	36	2
		100.0	43.3	53.7	3.0
	女性:高校生	53	27	26	-
		100.0	50.9	49.1	-
	男性:小学生	35	6	27	2
		100.0	17.1	77.1	5.7
	男性:中学生	66	25	39	2
		100.0	37.9	59.1	3.0
	男性:高校生	51	22	28	1
		100.0	43.1	54.9	2.0
	その他:小学生	-	-	-	-
	-	-	-	-	
その他:中学生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	
その他:高校生	2	-	2	-	
	100.0	-	100.0	-	
回答しない:小学生	2	1	1	-	
	100.0	50.0	50.0	-	
回答しない:中学生	3	-	3	-	
	100.0	-	100.0	-	
回答しない:高校生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	

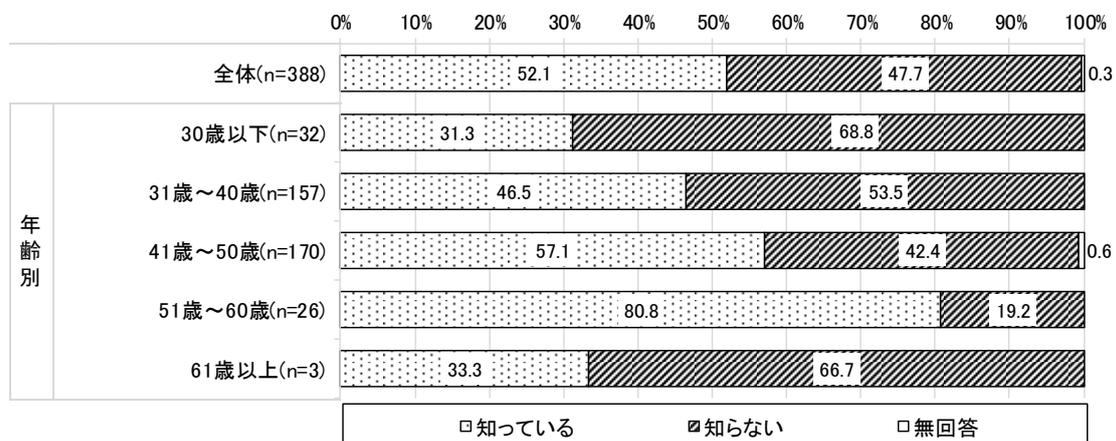
おとな:(問 22)子どもの権利に関する条例を知っているか

		合計	知っている	知らない	無回答
全体		388	202	185	1
		100.0	52.1	47.7	0.3
年齢別	30歳以下	32	10	22	-
		100.0	31.3	68.8	-
	31歳~40歳	157	73	84	-
		100.0	46.5	53.5	-
	41歳~50歳	170	97	72	1
	100.0	57.1	42.4	0.6	
	51歳~60歳	26	21	5	-
		100.0	80.8	19.2	-
	61歳以上	3	1	2	-
		100.0	33.3	66.7	-

子ども:(問 21)子どもの権利に関する条例を知っているか



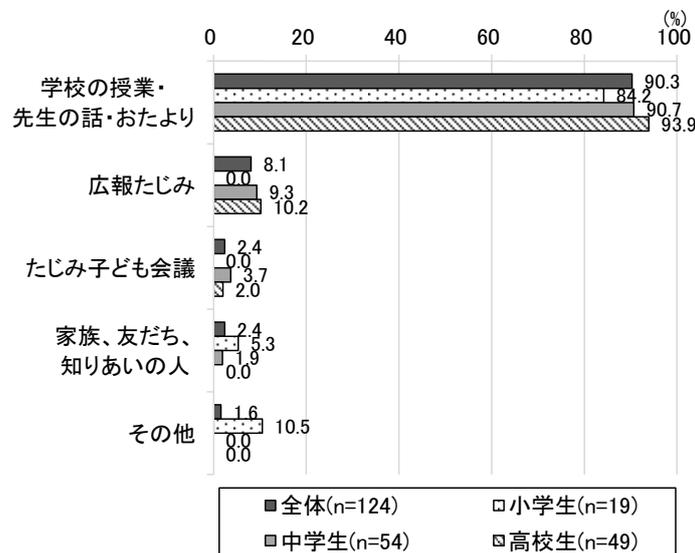
おとな:(問 22)子どもの権利に関する条例を知っているか



子ども：(問 21-1)子どもの権利に関する条例を知った媒体は何か

		合計	学校の授業・先生の話・おたより	広報たじみ	こそだていろは帖	たじみ子ども会議	FMPiPi	新聞	家族、友だち、知りあいの人	その他	無回答
全体		124	112	10	-	3	1	1	3	2	-
		100.0	90.3	8.1	-	2.4	0.8	0.8	2.4	1.6	-
性別	女性	68	61	5	-	2	-	-	-	2	-
		100.0	89.7	7.4	-	2.9	-	-	-	2.9	-
	男性	54	51	5	-	1	1	1	1	-	-
		100.0	94.4	9.3	-	1.9	1.9	1.9	1.9	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回答しない	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
学校種別	小学生	19	16	-	-	-	-	-	1	2	-
		100.0	84.2	-	-	-	-	-	5.3	10.5	-
	中学生	54	49	5	-	2	-	1	1	-	-
	100.0	90.7	9.3	-	3.7	-	1.9	1.9	-	-	
	高校生	49	46	5	-	1	1	-	-	-	-
		100.0	93.9	10.2	-	2.0	2.0	-	-	-	-
性別×学校種別	女性：小学生	12	10	-	-	-	-	-	-	2	-
		100.0	83.3	-	-	-	-	-	-	16.7	-
	女性：中学生	29	27	1	-	1	-	-	-	-	-
		100.0	93.1	3.4	-	3.4	-	-	-	-	-
	女性：高校生	27	24	4	-	1	-	-	-	-	-
		100.0	88.9	14.8	-	3.7	-	-	-	-	-
	男性：小学生	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性：中学生	25	22	4	-	1	-	1	1	-	-
		100.0	88.0	16.0	-	4.0	-	4.0	4.0	-	-
	男性：高校生	22	22	1	-	-	1	-	-	-	-
		100.0	100.0	4.5	-	-	4.5	-	-	-	-
		その他：小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他：中学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他：高校生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回答しない：小学生	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	回答しない：中学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回答しない：高校生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

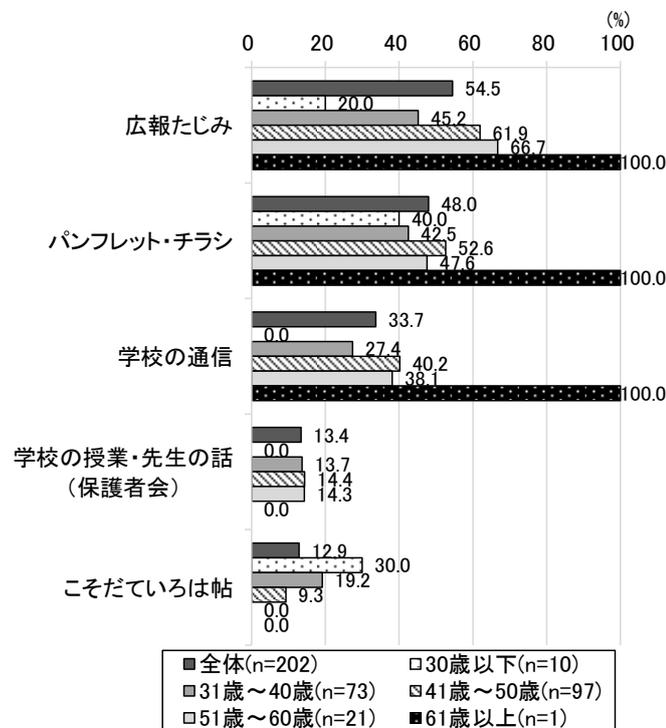
子ども：(問 21-1)子どもの権利に関する条例を知った媒体は何か(主要項目)



おとな:(問 22-1)子どもの権利に関する条例を知った媒体は何か

	合計	学校の授業・先生の話(保護者会)	学校の通信	パンフレット・チラシ	広報たじみ	こそだていろは帖	講演・セミナー	たじみ子ども会議	FMPiPi	新聞	家族、友達、知人	その他	無回答
全体	202 100.0	27 13.4	68 33.7	97 48.0	110 54.5	26 12.9	9 4.5	13 6.4	1 0.5	1 0.5	3 1.5	8 4.0	-
年齢別	30歳以下	10 100.0	-	-	4 40.0	2 20.0	3 30.0	-	-	-	1 10.0	2 20.0	-
	31歳～40歳	73 100.0	10 13.7	20 27.4	31 42.5	33 45.2	14 19.2	3 4.1	4 5.5	-	1 1.4	4 5.5	-
	41歳～50歳	97 100.0	14 14.4	39 40.2	51 52.6	60 61.9	9 9.3	5 5.2	7 7.2	1 1.0	1 1.0	2 2.1	-
	51歳～60歳	21 100.0	3 14.3	8 38.1	10 47.6	14 66.7	-	-	2 9.5	-	-	-	-
	61歳以上	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-

おとな:(問 22-1)子どもの権利に関する条例を知った媒体は何か(主要項目)



<子ども>

問 22 あなたは、多治見市が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。知っているものを選んでください。

問 23 これまで、たじみ子ども会議に参加したことがありますか。

<おとな>

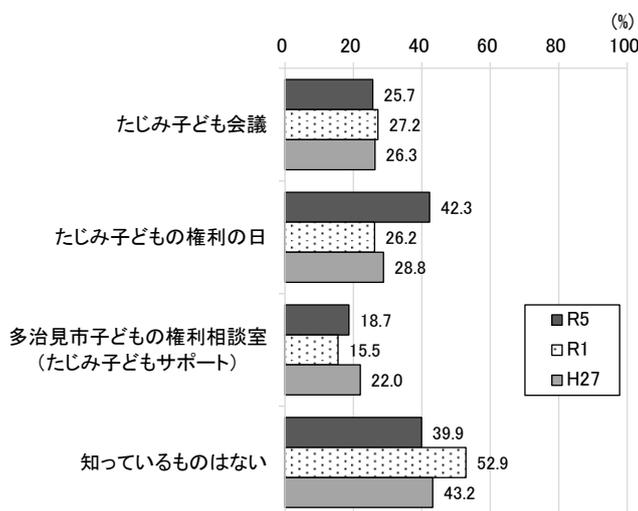
問 23 あなたは、多治見市が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。知っているものを選んでください。

◆多治見市が子どもの権利に関して行っていることについて、最も多いのは、子どもが「たじみ子どもの権利の日」で 42.3%、おとなが「たじみ子ども会議」で 42.0%

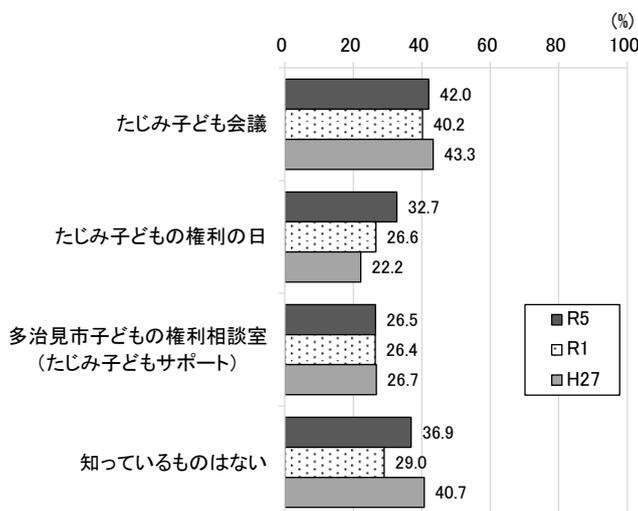
◆たじみ子ども会議に参加したことがある子どもは 3.3%

<経年比較>

子ども：(問 22)市の事業の認知度

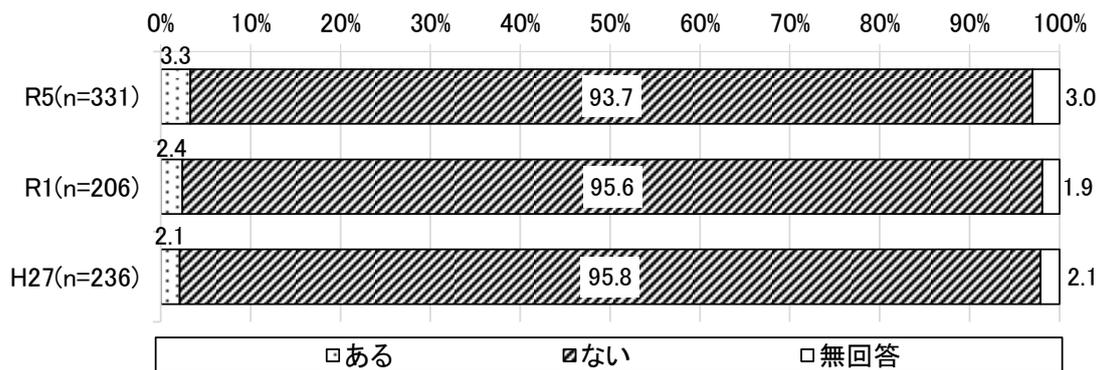


おとな：(問 23)市の事業の認知度



※令和元年度調査より 0～17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象者となっている。
(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どもをもつ保護者が対象)

子ども：(問 23)市の事業への参加状況



多治見市が子どもの権利に関して行っていることで、子どもが知っている事業で最も高いのは「たじみ子どもの権利の日」が 42.3%で、令和元年度の調査の 26.2%から上昇している。「知っているものはない」と回答した割合は 39.9%と、令和元年度の調査の 52.9%から低下している。

性別にみると、「知っているものはない」と回答した割合は女性が 32.9%、男性が 47.7%となっており、多治見市の事業の認知度は女性の方が高くなっている。また、学校種別にみると、「知っているものはない」は年齢が上がるにつれて高くなっており、特に高校生は 49.5%で最も高くなっている。さらに、条例の認知度別にみると、条例を知っている人は知らない人に比べ、各事業の認知度が高くなっている。

おとなが知っている事業では「たじみ子ども会議」が 42.0%と最も高く、ついで「たじみ子どもの権利の日」が 32.7%となっている。「知っているものはない」と回答した割合は 36.9%と、令和元年度の調査の 29.0%から上昇している。

年齢別にみると、41～50 歳は 31～40 歳に比べ、様々な事業の認知度が高くなっており、「知っているものはない」と回答した割合は 2 割に留まっている。また、条例の認知度別にみると、条例を知っている人は知らない人に比べ、各事業の認知度が高くなっている。

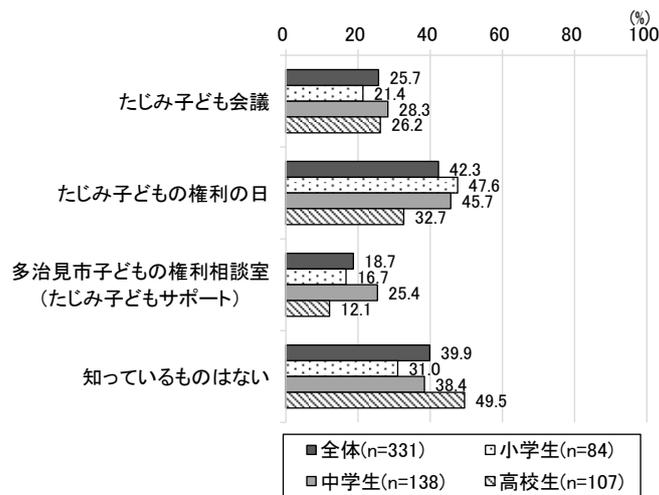
子どものたじみ子ども会議への参加状況を見ると、参加したことがある人は 3.3%となっている。

<性別・年齢別集計結果>

子ども:(問 22)市の事業の認知度

		合計	たじみ子ども会議	たじみ子どもの権利の日	多治見市子どもの権利相談室(たじみ子どもサポート)	知っているものはない	無回答
全体		331	85	140	62	132	19
		100.0	25.7	42.3	18.7	39.9	5.7
性別	女性	167	54	81	38	55	7
		100.0	32.3	48.5	22.8	32.9	4.2
	男性	153	29	54	24	73	11
		100.0	19.0	35.3	15.7	47.7	7.2
	その他	3	1	2	-	1	-
		100.0	33.3	66.7	-	33.3	-
	回答しない	6	1	2	-	3	-
		100.0	16.7	33.3	-	50.0	-
学校種別	小学生	84	18	40	14	26	7
		100.0	21.4	47.6	16.7	31.0	8.3
	中学生	138	39	63	35	53	5
		100.0	28.3	45.7	25.4	38.4	3.6
	高校生	107	28	35	13	53	7
		100.0	26.2	32.7	12.1	49.5	6.5
性別×学校種別	女性:小学生	47	13	26	13	12	3
		100.0	27.7	55.3	27.7	25.5	6.4
	女性:中学生	67	23	34	19	21	2
		100.0	34.3	50.7	28.4	31.3	3.0
	女性:高校生	53	18	21	6	22	2
		100.0	34.0	39.6	11.3	41.5	3.8
	男性:小学生	35	4	13	1	14	4
		100.0	11.4	37.1	2.9	40.0	11.4
	男性:中学生	66	16	27	16	30	2
		100.0	24.2	40.9	24.2	45.5	3.0
	男性:高校生	51	9	13	7	29	5
		100.0	17.6	25.5	13.7	56.9	9.8
		その他:小学生	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
	その他:中学生	1	-	1	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-
	その他:高校生	2	1	1	-	1	-
		100.0	50.0	50.0	-	50.0	-
	回答しない:小学生	2	1	1	-	-	-
		100.0	50.0	50.0	-	-	-
	回答しない:中学生	3	-	1	-	2	-
		100.0	-	33.3	-	66.7	-
	回答しない:高校生	1	-	-	-	1	-
		100.0	-	-	-	100.0	-

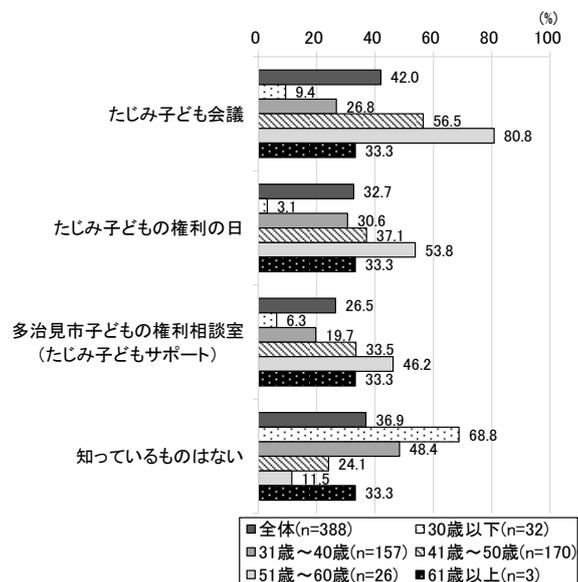
子ども:(問 22)市の事業の認知度



おとな:(問 23)市の事業の認知度

		合計	たじみ子ども会議	たじみ子どもの権利の日	多治見市子どもの権利相談室(たじみ子どもサポート)	知っているものはない	無回答
全体		388	163	127	103	143	23
		100.0	42.0	32.7	26.5	36.9	5.9
年齢別	30歳以下	32	3	1	2	22	5
		100.0	9.4	3.1	6.3	68.8	15.6
	31歳～40歳	157	42	48	31	76	7
		100.0	26.8	30.6	19.7	48.4	4.5
	41歳～50歳	170	96	63	57	41	11
		100.0	56.5	37.1	33.5	24.1	6.5
51歳～60歳	26	21	14	12	3	-	
	100.0	80.8	53.8	46.2	11.5	-	
61歳以上	3	1	1	1	1	-	
	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	-	

おとな:(問 23)市の事業の認知度



子ども:(問 23)市の事業への参加状況

		合計	ある	ない	無回答
全体		331	11	310	10
		100.0	3.3	93.7	3.0
性別	女性	167	8	158	1
		100.0	4.8	94.6	0.6
	男性	153	2	142	9
		100.0	1.3	92.8	5.9
	その他	3	-	3	-
		100.0	-	100.0	-
	回答しない	6	1	5	-
		100.0	16.7	83.3	-
学校種別	小学生	84	3	78	3
		100.0	3.6	92.9	3.6
	中学生	138	3	131	4
		100.0	2.2	94.9	2.9
	高校生	107	5	99	3
		100.0	4.7	92.5	2.8
性別×学校種別	女性:小学生	47	2	45	-
		100.0	4.3	95.7	-
	女性:中学生	67	2	64	1
		100.0	3.0	95.5	1.5
	女性:高校生	53	4	49	-
		100.0	7.5	92.5	-
	男性:小学生	35	-	32	3
		100.0	-	91.4	8.6
	男性:中学生	66	1	62	3
		100.0	1.5	93.9	4.5
	男性:高校生	51	1	47	3
		100.0	2.0	92.2	5.9
	その他:小学生	-	-	-	-
		-	-	-	-
その他:中学生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	
その他:高校生	2	-	2	-	
	100.0	-	100.0	-	
回答しない:小学生	2	1	1	-	
	100.0	50.0	50.0	-	
回答しない:中学生	3	-	3	-	
	100.0	-	100.0	-	
回答しない:高校生	1	-	1	-	
	100.0	-	100.0	-	

<条例認知度別集計結果>

子ども:(問 22)市の事業の認知度<問 21 とのクロス>

		合計	たじみ子ども会議	たじみ子どもの権利の日	多治見市子どもの権利相談室(たじみ子どもサポート)	知っているものはない	無回答
全体		331	85	140	62	132	19
		100.0	25.7	42.3	18.7	39.9	5.7
条例認知度	知っている	124	57	84	42	18	2
		100.0	46.0	67.7	33.9	14.5	1.6
	知らない	198	28	56	20	114	8
		100.0	14.1	28.3	10.1	57.6	4.0

おとな:(問 23)市の事業の認知度<問 22 とのクロス>

		合計	たじみ子ども会議	たじみ子どもの権利の日	多治見市子どもの権利相談室(たじみ子どもサポート)	知っているものはない	無回答
全体		388	163	127	103	143	23
		100.0	42.0	32.7	26.5	36.9	5.9
条例認知度	知っている	202	131	111	84	29	4
		100.0	64.9	55.0	41.6	14.4	2.0
	知らない	185	32	16	19	114	18
		100.0	17.3	8.6	10.3	61.6	9.7

<子ども>

問 24 次のような子どもの権利の中で、特に大切だと思うことはなんですか。

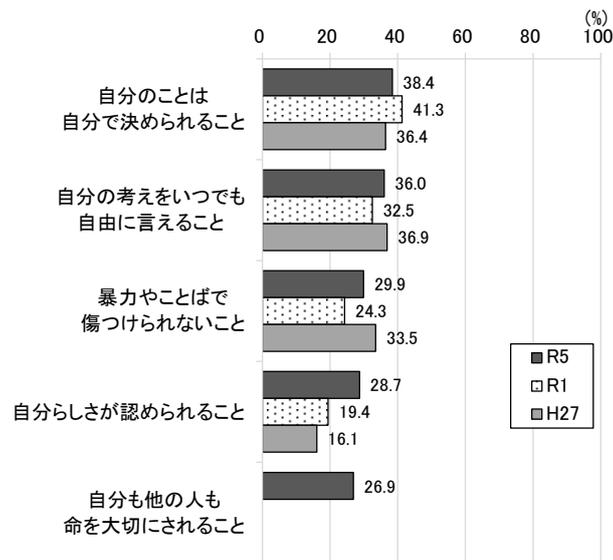
<おとな>

問 24 次のような子どもの権利の中で、特に大切だと思うことは何ですか。

◆子どもの権利の中で特に大切だと思うことは、子どもは「自分のことは自分で決められること」で 38.4%、おとなは「自分も他の人も命を大切にされること」で 52.6%

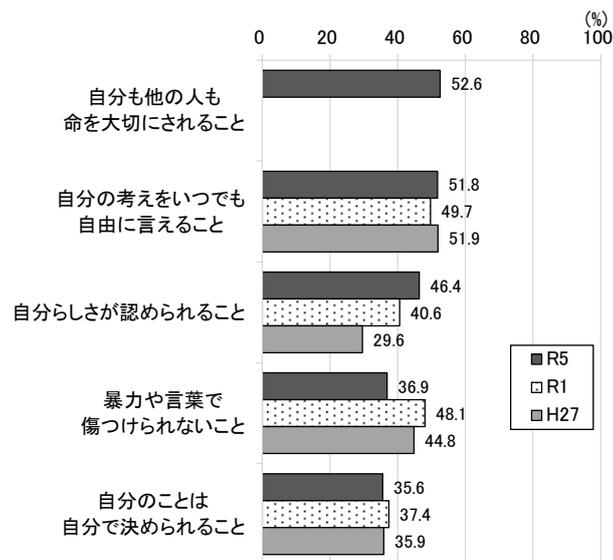
<経年比較>

子ども：(問 24)子どもの権利の中で特に大切だと思うこと(主要項目)



※今回の調査より新規で追加した選択肢がある。

おとな：(問 24)子どもの権利の中で特に大切だと思うこと(主要項目)



※1 令和元年度調査より 0～17 歳の子どもをもつ保護者が調査対象者となっている。(平成 27 年度調査以前は 10～17 歳の子どもをもつ保護者が対象)

※2 今回の調査より新規で追加した選択肢がある。

子どもが子どもの権利の中で特に大切だと思うことは、「自分のことは自分で決められること」が38.4%で最も高く、ついで「自分の考えをいつでも自由に言えること」が36.0%、「暴力やことばで傷つけられないこと」が29.9%となっている。

性別にみると、女性は男性に比べて「自分らしさが認められること」や「障がいのある子どもが差別されないで暮らせること」、「肌の色やことばや宗教などのちがいで差別されないこと」などが高く、男性は女性に比べて「自分のことは自分で決められること」や「自分の知りたいことを自由に学べること」、「自分の秘密が守られること」などが高くなっている。また、学校種別にみると、小学生と高校生では「自分のことは自分で決められること」が最も高くなっており、中学生では「自分の考えをいつでも自由に言えること」が最も高くなっている。高校生は「自分のことは自分で決められること」と「自分の考えをいつでも自由に言えること」が同率で最も高くなっている。

おとなが子どもの権利の中で特に大切だと思うことは、「自分も他の人も命を大切にされること」が52.6%で最も高く、ついで「自分の考えをいつでも自由に言えること」が51.8%、「自分らしさが認められること」が46.4%となっている。

年齢別にみると、31～40歳では「自分も他の人も命を大切にされること」が最も高く、41～50歳では「自分の考えをいつでも自由に言えること」が最も高くなっている。

<性別・年齢別集計結果>

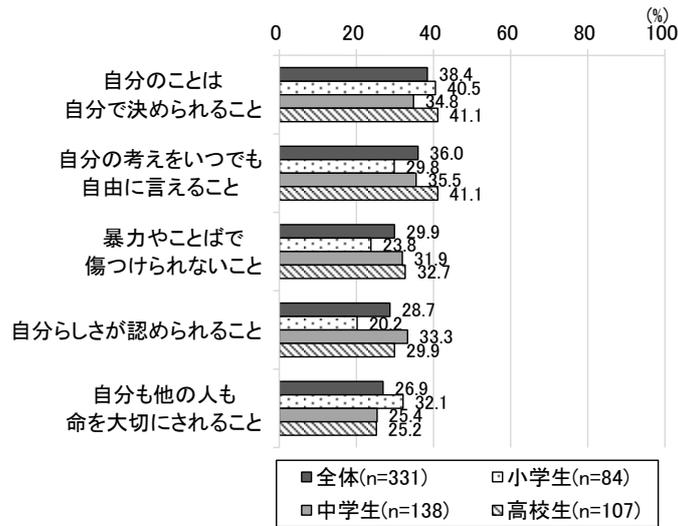
子ども:(問 24)子どもの権利の中で特に大切だと思うこと

	合計	自分のことは自分で決められること	自分の考えをいつでも自由に言えること	自分の知りたいことを自由に学べること	暴力やことばで傷つけられないこと	自分も他の人も命を大切にされること	自分の秘密が守られること	自分が知りたいと思えることが隠されないこと	疲れた心や体を休める時間・自分の自由になる時間をもつこと	自分らしさが認められること	家族がなかよく過ごすなかで育つこと	障がいのある子どもが差別されずに暮らせること	子どもからの自由な呼びかけでグループをつくり集まれること	学校での活動やまじりに自由に参加できること	肌の色や言葉や宗教などがいて差別されないこと	無回答	
全体	331 100.0	127 38.4	119 36.0	49 14.8	99 29.9	89 26.9	47 14.2	14 4.2	77 23.3	95 28.7	35 10.6	63 19.0	13 3.9	10 3.0	53 16.0	26 7.9	
性別	女性	167 100.0	57 34.1	54 32.3	19 11.4	51 30.5	50 29.9	17 10.2	5 3.0	38 22.8	18 10.8	36 21.6	4 2.4	5 3.0	32 19.2	11 6.6	
	男性	153 100.0	67 43.8	60 39.2	30 19.6	46 30.1	37 24.2	27 17.6	9 5.9	38 24.8	37 24.2	14 9.2	24 15.7	9 5.9	5 3.3	19 12.4	14 9.2
	その他	3 100.0	-	2 66.7	-	1 33.3	2 66.7	-	-	-	1 33.3	-	2 66.7	-	-	1 33.3	-
	回答しない	6 100.0	3 50.0	2 33.3	-	1 16.7	-	3 50.0	-	-	1 16.7	-	-	-	-	-	1 16.7
学校種別	小学生	84 100.0	34 40.5	25 29.8	10 11.9	20 23.8	27 32.1	10 11.9	2 2.4	21 25.0	17 20.2	14 16.7	17 20.2	2 2.4	4 4.8	13 15.5	10 11.9
	中学生	138 100.0	48 34.8	49 35.5	19 13.8	44 31.9	35 25.4	26 18.8	5 3.6	31 22.5	46 33.3	17 12.3	30 21.7	7 5.1	6 4.3	25 18.1	9 6.5
	高校生	107 100.0	44 41.1	44 41.1	19 17.8	35 32.7	27 25.2	11 10.3	7 6.5	24 22.4	32 29.9	3 2.8	16 15.0	4 3.7	-	14 13.1	7 6.5
性別×学校種別	女性:小学生	47 100.0	20 42.6	12 25.5	4 8.5	11 23.4	17 36.2	4 8.5	1 2.1	11 23.4	9 19.1	7 14.9	8 17.0	-	2 4.3	8 17.0	6 12.8
	女性:中学生	67 100.0	17 25.4	18 26.9	5 7.5	21 31.3	18 26.9	10 14.9	1 1.5	14 20.9	27 40.3	9 13.4	18 26.9	3 4.5	3 4.5	16 23.9	4 6.0
	女性:高校生	53 100.0	20 37.7	24 45.3	10 18.9	19 35.8	15 28.3	3 5.7	3 5.7	13 24.5	20 37.7	2 3.8	10 18.9	1 1.9	-	8 15.1	1 1.9
	男性:小学生	35 100.0	13 37.1	12 34.3	6 17.1	9 25.7	10 28.6	5 14.3	1 2.9	10 28.6	8 22.9	6 17.1	9 25.7	2 5.7	2 5.7	5 14.3	4 11.4
	男性:中学生	66 100.0	29 43.9	29 43.9	14 21.2	22 33.3	16 24.2	14 21.2	4 6.1	17 25.8	18 27.3	7 10.6	10 15.2	4 6.1	3 4.5	8 12.1	5 7.6
	男性:高校生	51 100.0	24 47.1	19 37.3	9 17.6	15 29.4	11 21.6	8 15.7	4 7.8	11 21.6	11 21.6	1 2.0	5 9.8	3 5.9	-	5 9.8	5 9.8
	その他:小学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他:中学生	1 100.0	-	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-
	その他:高校生	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-
	回答しない:小学生	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-
	回答しない:中学生	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	1 33.3	-	2 66.7	-	-	1 33.3	-	-	-	-	-	-
	回答しない:高校生	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0

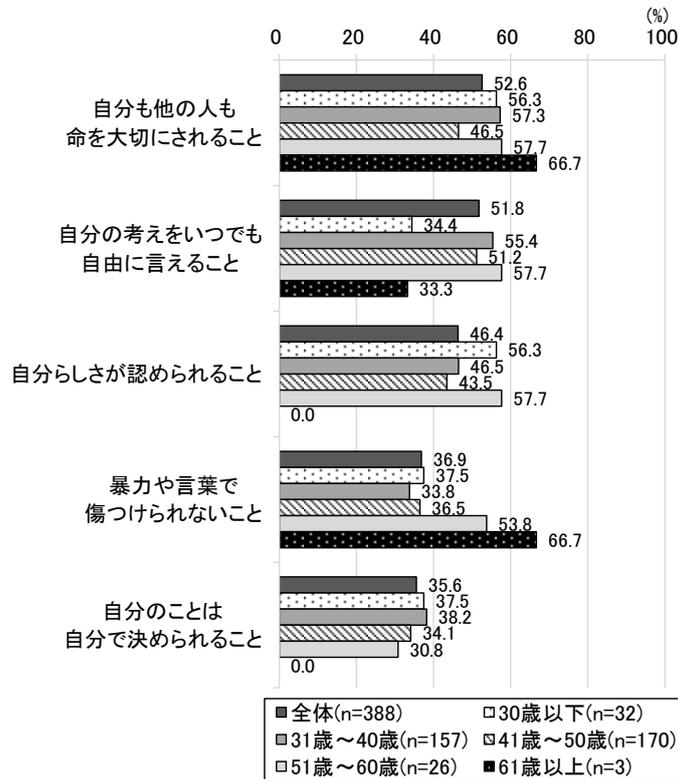
おとな:(問 24)子どもの権利の中で特に大切だと思うこと

	合計	自分のことは自分で決められること	自分の考えをいつでも自由に言えること	自分の知りたいことを自由に学べること	暴力や言葉で傷つけられないこと	自分も他の人も命を大切にされること	自分の秘密が守られること	自分が知りたいと思えることが隠されないこと	疲れた心や体を休ませる時間・自分の自由になる時間をもつこと	自分らしさが認められること	家族がなかよく過ごすなかで育つこと	障がいのある子どもが差別されずに暮らせること	子どもからの自由な呼びかけでグループをつくり集まれること	学校での活動やまじりに自由に参加できること	肌の色や言葉や宗教などがいて差別されないこと	無回答	
全体	388 100.0	138 35.6	201 51.8	94 24.2	143 36.9	204 52.6	33 8.5	12 3.1	53 13.7	180 46.4	69 17.8	46 11.9	7 1.8	14 3.6	30 7.7	5 1.3	
年齢別	30歳以下	32 100.0	12 37.5	11 34.4	9 28.1	12 37.5	18 56.3	4 12.5	1 3.1	4 12.5	18 56.3	6 18.8	3 9.4	1 3.1	1 3.1	1 3.1	
	31歳～40歳	157 100.0	60 38.2	87 55.4	41 26.1	53 33.8	90 57.3	12 7.6	4 2.5	19 12.1	73 46.5	30 19.1	18 11.5	3 1.9	6 3.8	15 9.6	1 0.6
	41歳～50歳	170 100.0	58 34.1	87 51.2	38 22.4	62 36.5	79 46.5	10 5.9	4 2.4	25 14.7	74 43.5	29 17.1	20 11.8	2 1.2	6 3.5	11 6.5	3 1.8
	51歳～60歳	26 100.0	8 30.8	15 57.7	5 19.2	14 53.8	15 57.7	7 26.9	3 11.5	3 11.5	15 57.7	3 11.5	5 19.2	1 3.8	1 3.8	3 11.5	-
	61歳以上	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	2 66.7	2 66.7	-	-	2 66.7	-	1 33.3	-	-	-	-	-

子ども:(問 24)子どもの権利の中で特に大切だと思うこと(主要項目)



おとな:(問 24)子どもの権利の中で特に大切だと思うこと(主要項目)



<子ども>

問 25 前の問いの子どもの権利のなかで、大切にされていないと思うことがありますか。あれば自由に書いてください。また、あなたの身近なおとなにこうしてほしいと思うこと、望むことがあったら自由に書いてください。

<おとな>

問 25 子どもの権利が侵害されていると思うことがありますか。ありましたら、自由にお書きください。(あなたの家庭の子どもに限らず、一般的なことでも結構です。)

以下のような分類にしたがって記述内容を列挙した。なお、明らかな誤字のみを修正し、一部、個人が特定されるものは墨消しし全ての意見を原文のまま掲載している。

子ども

1. 問 24 の子どもの権利の中で、大切にされていないと思うこと
2. 身近なおとなに望むこと
3. その他の自由意見

おとな

1. 子どもの権利が侵害されていると思うことはあるか
 - (1)家庭生活について
 - (2)学校生活について
 - (3)地域生活について
 - (4)社会問題について
2. その他の自由意見

1. 問 24 の子どもの権利の中で、大切にされていないと思うこと

- 自分は、相手に束縛されることが多いので自分の意見をきちんと言いたいです。差別はいけないので、差別されない世界になってほしい。分かりづらいかもかもしれませんがそこはすみません。
- 「学校でのことやまちづくりに自由に参加できること」についてです。もちろんですが、18 才未満の人は選挙のとき公約を知ることができても投票はできません。まちづくりに関して意見が言えるところといえば「たじみ子ども会議」ですが、とても限られていると感じます。まちづくりに関して意見を言うハードルが高いと感じています。公民館などの施設に意見箱を置いたり意見箱のQRコード版を配布したりして子どもにも大人にも、多治見市内どの地区でも平等に意見が言える場を設けてほしいです。市の中心部だけでなく中心部から離れている地区も多治見市です。多治見市全体がよりよい町へ栄えていくことを願っています。
- 自分は、「暴力やことばで傷つけられないこと」が大切にされていないかなと思う。学校でも、実際にいじめを受けているし、「傷つけられないこと」ができていないように感じるから。
- 今学校に障がいがある子がいてまわりから悪口みたいなものを言われていてやめた方がいいと思うけど、友達から言われると笑ってごまかすことしかできなくて言いかえすことができなかったから「障がいのある子どもが差別されないで暮らせること」が大切にされていないと思った。
- 「暴力やことばで傷つけられないこと」でできてないから自殺があると思うからです。
- 自分のことは自分で決めること…自分がやりたい事や職業などを大きな理由もなく大人などから否定されること。学校などで誰もが、過ごしやすい・安心出来る環境をつくっていくことが大切だと思う。そうすることで、たくさんの色々な人が自分の個性・気持ちを大切に出来ると思う。
- 身近では、比較的どの権利も大切にされているように思います。ですが、世界中で考えたら、まだまだ全ては大切にされていないと思うので、「肌の色やことばや宗教などのちがいで差別されないこと」や「自分の知りたいことを自由に学べること」などが大切にされてほしいなと思いました。
- 「自分のことは自分で決められること」、「暴力やことばで傷つけられないこと」、「疲れた心や体を休める時間・自分の自由になる時間をもつこと」、「家族がなかよく過ごすなかで育つこと」が大切にされていないと思う。
- もっと個人の意見を尊重してほしいです。
- 子どもが思っている事をもっとしっかり受けとめて、感じてほしい。集団でまとめようとせず、1 人 1 人の意見、思いを聞く体せいを作る事。
- 学校などで暴力やことばで傷つけられないことがまだできていないと思います。悪口や少し口が悪かったりして、冗談で言ったつもりが相手を傷つけてしまうことが自分もあるし、妹もあったと言っていました。なので、相手の事を考え誰もが笑顔で過ごせるようにしたいです。でも私は、過ごしやすいので多治見が好きです。
- 自分の考えをいつでも自由に言えることがあまり大切にされていないと思う。理由は、言いつらいこともあるし、何か言ったら反論されてしまったりすることがあるから。
- がっこうでよくじんしゅきべつをしてる人がいたり、しょうがいのことでばかにしたり、人のこせいを

そんなふうしていない。おとなはめいれいみたいにこどもにいたりおねがいしてるのにやれ、やりなさいといっている。

- 学校でのことなどは先生が勝手に決めてしまう部分があり、自由に参加などをするのはあまり大切にされていないと思った。
- 障がいのある子どもが差別されて暮らしています。息子は、肢体不自由(知的障害ナシ)のみなので、10才ともなるといろいろな事を理解し、ぼくは障害があるからみんなと一緒にあそべないんだと感じていてとても悲しくなります。支援学校という分けられた空間ですごしていると、地域の子とも達と接する機会がほとんどなくなります。もっと、もっと、小学校に働きかけて、交流する機会を作ってほしいです。私の方でも交流センターのイベントなどに参加してがんばっていますが、やはり、市の力が必要だと思います、よろしくお願いします(母より)。息子は、障がい者も健常者も一緒に学べる学校を作ってほしいと言っています。
- 子どもの気持ちをもうすこし知ってほしい。「学校でのことやまちづくりに自由に参加できること」を大切にできていないと感じる。
- 中学校でみんなと違うところがある子がいて、その子の個性をみんなにも大切にしてほしい。＝個性を大切にしてほしい。
- おこってばかりではなくて、もっとみんなと仲良く暮らせるようになりたい。言葉や差別などで傷ついている人がいます。人が傷つくことはやめた方がいいと思います。
- 暑い時や、雨の時など天候にさゆうされず、歩いていける範囲で、ワイワイ集まって遊べる場所がない。世の中ので、必要なマナーや知識のほとんどを学校で習わない。
- 「暴力やことばで傷つけられないこと」で死ぬなどの言葉がない。
- 私は意見を言うのがにがてでいいいたくても言えないので、言えるくかんを作ってほしいです。
- 学校での集団生活の中で、みんなと同じならOKということが多すぎる。みんなとちがえばアウト的な考えがある。
- 「肌の色やことばや宗教などのちがいで差別されないこと」や「障がいのある子どもが差別されないで暮らせること」のような差別問題だと思います。見た目で決めつけたりする人がまだ居ると思います。
- 3兄弟なので、自分の部屋がなくて自由になる時間がすくないと思います。
- ニュースで育児放棄などで、家や車などにとり残される子どもがいるという現状である。だから、育児放棄などが、なくなる世の中になるといいと思う。
- 学校の事で正直学校は楽しくありません。みんな同じ事をしているからこそ自分だけみんなと違う状況がこわくなってしまいます。口では人はみんな違うからって言うけど学校ではみんなと違う事がゆるされないようなそんな空気を感じてしまいます。だから学校は正直嫌いです。クラスに1人すごく自由な子がいて、授業をぬけだしたりしているところを見てまわりの子は「またかよー」とか不満をもらしているけど私は「いいなー」と思います。学校でみんな違ってみんないいという話を聞くと少しバカらしく思えます。
- 色々な障がいを持っていても、不登校でもその人がその人らしく暮らせるような街づくりをしてほしい。まだまだ差別があると思う。(母代筆)

- 自分らしさが認められるに関して、学校の校則特に制服の選択を自由にすべきだと思う。これは、女性のみスカートかスラックスかを選べるのではなく、男女関係なく選べるようにすべきである。
- 公共の利益だけを求めて子供の選択権が失われてしまっているように感じてしまう所が日常生活や常識、制度の中にあると感じると友達同士で話すことが最近多くなってきていると感じます。もう少し子供、その本人が自由に選択出来るようにして欲しいです。
- 自分の秘密を守れること。

2. 身近なおとなに望むこと

- 大人は子供と違って、たくさんの経験を積んでいるのは分かるけれど、子供の意見を聞かずに決め付けるのはやめてほしいし、自分たちのトラブルがあったときに、「～だからそうなったの？」というふうに確定していないことで解決しようとしなくてほしいと思った。
- 自分の理想押し付けんのやめろ。
- 先生たちと、気がるに話したいです。
- 大人や、学校の先生たちは、子供のために、色々なことをしたり、たまには、相談に乗ったりして、解決することもあります。でも、中には、否定されそうで怖い、や恥ずかしいから、言えないという理由で先生や、大人の人に相談出来ない子も、たくさんいます。だからこそ、もっと子供の事を、ちゃんと見てほしいと思ったし、子供の意見を否定するような事は、やめてほしいです。もしも、自分がやってるなって感じた人がいれば、すぐにでも、やめてほしいなと思いました。
- 校則を自分たちで決めさせてほしい。
- 男、女で区別しないでほしい(学校の先生に)。
- 部活動の顧問は退職や転勤、不祥事等の理由がない限りなるべく変更しないで欲しい。マジで。
- 中学校 がとにかくひどい。生徒の悪口を他の生徒に言っている。僕も悪口を言われていたと友達から聞いた。言葉で生徒を傷つけているので、学校が安心できる場所になっていない。子供権利の授業や、道徳の授業をやっている人間だとは到底思えない。担任を変えるか、しっかり学校が注意して改善して欲しい。また、男女やお気に入りとそうでない人の扱いが違う。女子がやってもニコニコしてるのに男子がやると怒る。本気で人として理解ができない。
- 中学の部活動やクラブ等の規定を子供にもわかるように明確化し、徹底するよう呼びかけ、いざという時、子供を守る規定等を新たに検討してほしい。
- その人の性格など内面を理解しないで偏見などで決めつけ嫌な気持ちになるような言葉を平気で放つ大人(先生)がいた。そのせいで自信を失った。そういう人が少しでも減って欲しいです。

3. その他の自由意見

- 自由に遊べる公園がほしい(野球ができる)。
- 高校生の医療費をめんじょしてほしいです。
- アニメ(やくならマグカップも)続編、アニメの聖地巡りイベントをやってほしいです。愛知県のように「ラーケーションの日」がほしいです(ラーニングとバケーション)。多治見市内に映画館がほしいです。たじみ子ども会議に参加する機会がほしいです。今よりも多治見での生活が楽しくなること

を期待しています。

- 精神の病気についての予防策などの知識を身につけて、学校などでもっと配慮する心を育ててほしいです。最近、スマホの中が居場所のような子どもが多い気がするので、プラティーなどに子どもが集まって勉強したり、話したりできる場所をつくってコミュニケーション能力が上がるようにもっと工夫してほしい。
- みんながハッピースマイルで暮らせていけたらいいな。
- 特記事項無し…といたいのが強いて言うなら、この税金の重さをどうにかしてください。赤ちゃんが必要不可欠な物や、生理用品を高くするのは、いくらなんでもやりすぎです。
- 給食を自由に残させてほしい。
- 学校の制服について。ジェンダーレスな社会になってきている今、いまだに女の子はセーラー服、男の子は学ラン、などの指定の制服にしている学校があるのは何故でしょうか。小、中、高、シューズが体操服の色を統一している学校が多くなってきている今、全ての学校で色の統一、制服の自由選択ができるようにするべきだと思います。単純に冬は寒いからズボン、夏は暑いからスカートにする子や、心も身体も女の子だけど、単にスカートが嫌いでズボンにする子もいます。私の妹は来年中学生ですが、制服がスカートだから行きたくない、とまで言っています。どんな子どもでも自由に選択できる学校がもっと増えればなと思っています。
- ポイ捨てする人多い。特にタバコ。地球に悪い。
- 子供も大人もおとなも全員が楽しめる場所を作って欲しい(映画館など)。
- 先ず、多治見市民兼、高校一年生としてここに意見を述べさせていただきます。少し子供の権利とは掛け離れる点もあるかとは思いますが、多治見市に意見を述べる場はここしかないと思ったため、失礼します。いくつかご提案したいことがあります。まず初めに中学校卒業式の際、コロナウイルス感染拡大防止の観点からかなり厳しい諸策が執り行われました。その中でも際立って異質を放っていたのが「国歌静聴」です。どう考えたっておかしいです。僕は決して右の人間ではありませんが、日本への忠誠と愛国を示す国家斉唱は大事な儀式であると考えています。後に卒業式に参加した母と姉に話を聞いたところ、母姉共にこう言いました。「歌おうとしたがそういう雰囲気ではなかった」と。母姉だけでなく他の保護者の方々もそうだったと思います。つまり何が言いたいか、国家斉唱を再開させると共にコロナ規制緩和の方向へ多治見市は舵を切ってほしいです。ここで大事なのが国家斉唱を再開させたあとです。保護者、生徒に起立させてください。大切なことです。現在、多治見市はプラティ多治見をはじめ、経営、維持の難しい公共施設が多くあるのではないのでしょうか？それらの公共施設の維持を図るためにもコロナ規制緩和の動きは大切です。経済を動かせば地域は潤います。多治見市の花火大会、綺麗でしたね。あれは多治見市の予算で打ち上げてるものなのかどうかはわかりませんが、屋台を出したお兄さんたちはすごく潤い、生活も豊かになったんじゃないんでしょうか。しかし一つ問題があります。警備などの費用は全て多治見市の負担ですよね。「多治見市」と書かれた規制線テープ、侵入禁止のサインキューブ等の設置も多治見市の負担です。これらの歳出を賄う為に多治見市が来年の花火大会にて、屋台を出店するのは如何でしょうか。今回の花火大会では屋台の値段が高くてしょうがありませんでした。何をやるにも 500 円が大半でした。そこで多治見市が公営の屋台を出店し、わたがし、ポテト、きゅうり、射的、ヨーヨー

一、金魚 etc..を 100 円均一で出店すれば花火大会の歳出も補填できませんか？やはり色々な観点から鑑みて、難しいのでしょうか。まだまだ意見はたくさんありますのでまたこのような意見を述べる機会をくださると嬉しいです。本庁舎建設などで忙しいと思いますが、多治見市さん応援しています。ご検討の程よろしく申し上げます。

- 高校生の医療費を無料にしてほしいです。大人数で遊べる施設を作ってほしいです。

1. 子どもの権利が侵害されていると思うことはあるか

(1)家庭生活について

- 子どもがわがママを言う時、その時親がつかれていたりして、イライラや心に余裕がなくなったりして、子どもがなぜ今わがママを言っているのか、子どもの考えを聞くことなく、「うるさい！！」「わがママ言うやない」と怒鳴ってしまうことがある。子どもは、不服そうな表情をし、感情ががまんしているよなと思うことがある。
- 親の考えを押しつける。
- 問 24 の「家族がなかよく過ごすなかで育つこと」について。夫婦仲だけでなく兄弟姉妹間でも家庭内での空気が悪くなってしまうと、学校や職場での人間関係や進路・進学先などにも影響してくるので、あたたかい家庭を作っていくことが大切だと思います。
- ご近所でいつも母親からしかられて泣いている女の子がいます。3人兄妹の末っ子で、たまに玄関でしめ出されて「ママー！」と泣いている時があったり、車の中で泣いている時もあります。母親のどなり声が自宅まできこえる事もよくあり、少し心配になります。人の家の事なのでよくわからない事も多いのですが…。ヒステリックにおこられるのはかわいそうだなと感じています。
- シングルではありませんが、父親の仕事が忙しくワンオペ育児です(子供3人います)。そのため子供の用事が重なるとだれかがあきらめないといけません。その点、シングルの方はいろいろ使えるサービスがあったり、入園etc優遇されたりして恵まれているなどと思います。ワンオペの家庭にも目を向けてもらえると助かります←ヤングケアラー予防にもなると思います。「発達障害」が学校では以前より理解してもらえるようになりましたが、まだまだ地域の方から正しく理解されていないように思います。以前あった関まさき先生の話etc、定期的に講演会があるといいと思います。また、グレーゾーンの子への対応もあるといいと思います。親が発達障害で、子供が辛い思いをしている家庭も多くみられます。
- 「義務」を果たしていないのに「権利」のことばかり取り上げていると、多様性の時代とはいえ、“好き勝手に行動しても良い”と子どもがかんちがいしてしまうように思い、心配です。家庭のルールを守ることは義務ではないのかもしれませんが、そこを、“守らなくてもよい権利”として主張していくと、親子ですれ違いが起こります。それがこじれて、虐待につながっていくケースもあるので、義務と権利をセットで取り上げてほしいです。進路に関して、親は子どもにアドバイスのように意見しますが、子どもがそこから親の期待を感じとってしまい、自分の意見が主張できずに親の考えに従ってしまうところはあると思います。
- 親族で離婚した人がいます。母親が子供に父親の悪口を言い、「父親はこんなにひどい事をする人なんだ」と思わせていた様です。大好きな母親に自分の父について「ダメな人なんだ」と思わされていた事がかわいそうでした。又、悪口を言われても、父親の事もやはり好きだった様です。親の都合に振りまわされているなど、私達周囲から見ても感じていました。きっと“ずっと一緒に生活する家庭”でいたかっただろうに、その意見も幼いため聞き入れてもらえず…。自分も親として子供を育てている立場として、これは子供の事を無視していると感じました。もっと子供の意見の聞け

る社会であってほしいと思ったのと、その教育が大人側がもっともっと学ばなくてはいけないと強く思いました。

- 子どもの頃父が酒を飲んで暴れたり叫んだりしていた。
- 基本的人権の範囲は別として、家族という単位の中で保護者の責任と管理のもと、また子供自身が取れる責任の範囲内で子供(未成年)の権利があるのだという事を、親子共に理解する必要がある。権利ばかりを振りかざし、好き勝手を許す社会にしてしまえば、本人どころか社会全体、ひいては国が成り立たなくなる。
- 家の家計が、厳しく塾や習い事に行かせてあげられない。また、行きたい高校や大学にお金の関係で行けないなど。

(2)学校生活について

- 侵害とまでは言えませんが…。中学生の水泳の授業において、ラッシュガードを着用する時、学校の許可が必要なのは、おかしいような気がします。中学生、高校生のカバン(通学カバン)が、とても重かった。学校の先生も、一度背負ってみると、良いと思います。我が家の子供たちは卒業しているので…。
- 権利ではないが、学校でのタブレットの使用について…。小学1年生から持たされるタブレットですが、授業で使うとのことで導入されることでおかしな点がある。まず、子どもに高価な物を持たせて、壊れたら弁償しなさい。はおかしい。扱いきれない子供に対して、する事ではない。本当に必要ですか？あと、家で必要な時以外は使用することは禁止されている(先生方が常に監視している)。それだったら学校で保管してください。学校にあがりたての子供は親の目をぬすんで、さわっていたりする。親の仕事が増える事はしないでほしい。各家庭で充電機は1個。小学生の子供が多い場合、充電に追いつかない。それで、電池がなく、先生に言われる。負の連鎖。この件は、全てストレスになります。本当にやめていただきたい。
- 昔とちがって学校で学ぶ時間が少なくなってしまっていて、限られた時間で学習をしなければならないので、そのスピードについていけない子供たちがどんどんのこされていってしまっているような気がする。
- 画一された日本の学校教育はとても根強いので、私たち大人もその教育しか受けていないため、仕方ないが、子ども権利条例は名ばかりでなかなかこれが実行されていると思えない。学校でも道徳が教化になり、おりこうさんを常に求められる。学校でも家庭でも湧きあがる感情をおさえつけて、本人もそれに気づかず、これが普通なんだと流されて生きている子が多いと感じる。思いやりと、絆をと言いきると子どもはいざ自分の事や本当の気持ちがわからない子もいると聞く。いやだ、疲れた、どうしてもこの人を好きになれないなど様々な感情があつてあたり前。思うの自由。相談できる相手に言える自由。相手(本人)にさえ言わなけりゃいい。きれいな事だけでは生きづらい。発言の自由が子どもにも大人にももっとある社会は日本にくるのだろうか。目の前の子どもにはありのままよいと言いつづけたい。子どもの権利を守るのであれば、起こりうる事象に対して責任とリスクを負う覚悟が私たち大人に。そして子どもを信用する。子どもから学ぶ力を大人が持つ努力をしていきたい。「ほめて育てよう」にも一部違和感がある。認めるならわかる。他者の評価で幸

せを感じるような生き方を子どもにさせたくない。大人が苦手な^{おとな}ほめることを克服する。大人を主語とした独りよがりが多いと思う。

- 不登校の子どもが増えていると聞きます。原因はさまざまだと思いますが、原因を子どもから聞き、解決は難しくも、つながりを持つことで、子ども自身も守られていると感じるような気がします。そうした部分にマンパワーをさくことは、子ども(の権利)を守る活動になると感じます。
- 多治見は夏暑すぎてせつかくの夏休みでも行動に制限が出る。しかたのないことではあるが、充実した夏休みを過ごすことができるよう、全国でも有数の暑いまちだからこそその対策がいるのではないかと思う。上の子(小学生)の参観に行ったときに、両親共に外国人のクラスメイトが一番後ろの席だったので見ていたところ、授業にややついて行けてなかったが、補助の先生がおらず驚いた。授業内容もわかる子はどんどん自信をつけ、わからない子は置いていかれる感じがした。
- 問いとは違いますが、問20の事について、子供は小学生なので、いろんな事(好きな事や無理な事)を言われてしまうかもしれませんので、“もっと子どもの意見を聞くように”と記入してありますが、先生にお願いするのは難しいと思います。それより、学校の校内の施設の整備(古い部分)の直しや、エアコンをせつかく付けていただいたのに、電気代がかかるなどで、あまり付けていただけていない点(温度は低くなくてもいいのですが、部屋が30℃こえているようです。子供が聞いたところ、伝えられたそうです)など、学校運営について多治見市から、何か補充されていなければ、1人親や3兄弟などの支援よりもこちらの方に何かお願い出来たらいいかなと思います。
- 中学校の校則について。①登下校時…体操服を着たうえに制服というのがこの地域の慣例なのかと思いますが、暑い時期もその服装で、子どもたち、大変暑苦しく大変な思いをしています。一定の気温条件になると、体操服下校OKの「許可」が出るのですが、暑さ寒さの感覚は一人一人ちがうので、自分で決めてよい事なのではないかと思います。熱中症も、心配です。体操服をきるかどうかを自分で決める権利を尊重して頂きたいと思います。①は一刻も早く改善していただきたいです。夏休み明けから市内の全校で。②3分前ルール…授業開始の3分前に集合し、授業が始まるとのこと。そのぶん早く授業が終わるわけではないそうです。休み時間はちゃんと心身の休息することが英気を養うために必要だと思います。休養する権利を大事にして頂きたいです(こういう一つ一つが、学校を息苦しいものにして感じます)。不登校の子たちの居場所について(公立校に合わない子どもたちの、安心して学べる権利)。さわらび学級以外にも、気軽に行ける居場所があると良いと思います。高校生以上の子の場合、不登校になった時の相談、サポートの場(公的居場所)がない。
- 性教育を正しく学ぶ機会がないこと。宿題の時、筆算は定規を使わなければならない←必要?このような、どうでもいい謎ルールが多いと感じます。学校を休んだ後、提出分の為に休み時間がつぶれたりするが、それがまた行きたくない理由になるのでは?と感じる。
- 不登校になったら学ぶ機会がなくなる。評価がなくなってオール1になるから将来困る。発達障害をみる病院が少ない。
- 不登校の大きな問題は、家庭ではなく、学校生活で全て起こっています。何でも家庭の責任にせず、学校に来れない^{ども}子供の声を、担任、主任、生活指導担当が、すぐに対応すべきです。
- 学校では子どもの権利があまりないように感じます。決まり事、先生の監視が多すぎるのではない

でしょうか。荷物が重くても、本人は置いていきたくても持って帰らなければいけない。ちょっとした忘れ物でも怒られる。気の合わない子でも一緒に登下校しなければいけない。トラブルになった時、先生に説明しようとしても言い訳ととらえられる。先生にもよるとは思いますが、一般的にこういった事が多いと感じます。子どもだからみんな仲良くや過剰なしつけ等は権利が侵害されていると思います。

- 小学1年生の担任の先生の口調が強い、きびしい、怒ってばかりでちゃんと授業をうけている子に目をむけていないなどの保護者の声をたくさん聞く(小、小)。保育園、幼稚園、家庭の中であたたかく育てられてきた子ども達の心が担任の先生によって傷つけられていると知り、とても悲しいです。懇談などで学校側にうたえている保護者の声は市役所に届いていますか？ベテランの先生には今まで培ってきた知識と経験がおありになり、そこに安心している保護者もいると思いますが、聞こえてくる小学1年生の声に恐怖と不信感が含まれている事が悲しいです。子どもの権利に関する条例とは…？
- 学校行事や地域活動などなんでもそうだが、強い意見に流されて大人主体になっていることがある。
- 支援級の教師が怒声や嫌味で指導しているのを子どもから聞いて知った。支援級の特に脳の発達達が未熟な子どもへこのような行為は人権侵害ではないかと思った。自尊心を失った子供が大人になり、人をまた傷つけるような負の連鎖を起こしてしまう前に、支援級のあり方について再考を願いたい。また自分自身についても、過労気味で精神の病気になってしまい、子どもの世話が十分にできていない。これも子どもの権利を侵害していると思う。
- 小学校が選べない(校区が決められている)。
- 私の子供の権利は公立学校で何度も侵害されていると感じます。特に私の子供が伝統的な考え方を持っている場合、子供たちの言うことを聞かずに自分が常に正しく、子供たちが間違っていると信じている厳しい教師がいます。うちの子は小学校6年間でこのタイプの先生が2人いました。毎日先生が子供たちに怒鳴ります。私の子供は学校が嫌いでストレスを感じていました。娘は先生の気に入らないことをするのはないかと心配して学校に行きたくなかった。彼女を慰める唯一の方法は、学年の残り日数をカウントダウンすることでした。親として、子供と一緒にこの2年間を過ごすのはとても大変でした。学校に相談しても何も解決しませんでした。学校を変えるか、そのまま留まって苦しみ続けるかのどちらかでした。中学校に私立を選んだのはそのためです。私の子供は公立学校に進学することを望んでいません。我が家にとってはとてもお金がかかりますが、私立学校にはもっと良い先生がいることを願っています。私の子供には公立学校に良い先生が2人いて、良くも悪くもない教師が2人いたにもかかわらず、その2人の悪い教師が私の子供に精神的な影響を与えました。多治見市が教師向けの研修をもっと充実させ、教師に対する社会的、精神的なカウンセリングを行ってほしいと思います。年配の教師は、数世代前なら問題なかった伝統的な教え方をする傾向があると思いますが、今の時代はそれは虐待とみなされると思います。
- 高校入試のありかた。公立はひとつしか受けられないとか。
- 子供の中学校の宿題の量が、「レベルの高い進学が良い」という観点で与えられていて、とても多い。子供の自主性や、中学生の間にしか出来ない勉強以外の経験を得る時間が削がれている。

(3)地域生活について

- 「権利」というと大げさかもしれないが、近頃高齢者が増えて「あとは若いもんや、子供^{ども}へ期待」と言っていて今までやってきた事を急に無関心をよそう人々が増えました。時代に合わせているという面は理解できるし、この先も高齢な人々がやりとげていける内容でなくなっているのも、わかります。地域への参加するメリットや本当に大事なイベントやコミュニティの場だよという時は高齢の人が教えてくれないと若い人(親世帯)も理解しないと思う。
- ボール遊びができない公園があること。一部の住人の声によって、公園等の施設がなくなってしまうこと。親の所得によって、子ども手当(もらえる家、もらえない家がある)や教育水準が異なること→子どもには、親の所得は、関係ないと思う。
- 公園でボールが使えない。市民プールがない。映画館がない。熱中症警戒アラートがでて、プールに入れないなんて意味がわからない。子育てに関して、力を入れていると良く聞かすが、具体的にどのような行動をとっているのか、分からないし、市民に情報がまわってこないのも、もっと市民に情報を伝えるべきだと思う。バス停とバスの便が少なく、子供^{ども}の交通手段がない。北栄校区に通っているが、北栄小まで3km、共栄小学校まで1.8kmであるが、北栄校区に通っている。歩道が整備されていないからだと聞いている。速やかに整備していただき、子供^{ども}が安心して負担が少ない校区の設定を要望する。前回は記載したが、改善が見られないため期待していないが、これからの市長に期待したい。
- 我が子は、バスケットボールを習っていて、近所の子も別の団体ではあるがバスケットボールをやっているのだから、一緒に遊んでいた(ボールをついたり、その子の家のバスケットゴールでゴール練習をさせてもらっていた。しかし、しばらくするとどこかの誰か(確実に大人^{おとな})が「バスケのボールをつく音がうるさい」など警察に言ったらしく、うるさく言う大人^{おとな}のせいで子ども達は大好きなバスケが一緒にできなくなってしまいました。確かにボールをつく音は多少響くかもしれませんが、1日中ずっとやっているわけではないし、そんなことを言い出したら犬の鳴き声や車のエンジン音だって騒音なのは同じです。子どものすることにいちいちうるさく言う人間が、消えてほしいですね。それでこそ子どもの権利が守られると思います。もちろん、子ども達にもいけない事したらその都度教えています。が、このバスケの件は本当に理不尽だと感じました。
- 地域の神社の子どもみこしの参加(子ども発信ではない行事なので)。神社や大人^{おとな}の都合の行事だと思う。
- 多治見市内があまり便利ではないので、車がないと、子供^{ども}を遊ばせに行くのも習い事させるのも行けなかったりする。旦那様が車通勤の場合、車2台所有しないと行けないので、経済的負担が大きい。児童館の老朽化も気になります。親の経済力に関係なく、子供^{ども}にいろいろな経験をさせてあげたいです。
- 多治見市に公園が少ない。小学生の子ども達が遊べるような公園はあるが(太平公園や共栄公園)、0~3歳児達が楽しく、気軽に外で遊ぶことのできる環境がないのではないかと感じる。支援センターはおもちゃがたくさんあったり、優しい先生方がいて、3歳の子どもも楽しく遊びに行けるので、感謝しています。お外でも元気に遊ぶことのできる場があるとありがたいです。

- 公園周囲の喫煙。太平公園周辺はひどいです。駐車場があるのだから、路駐も危ないので禁止して欲しい。
- 子供たちが遊べる場所が少ない。あまり必要性を感じない建物ばかりを作り子供たちが自由に無料(格安)で遊べる場所が多治見には少ない。例えばプールや室内遊技場、サッカーやバスケットがある無料グラウンド…。
- 遊び場が少ない。

(4)社会問題について

- 児童虐待のない、安定した人間関係の中で、健やかに多治見の子はもちろん、全ての子が育つことのできるようになってほしいです。我が子のことは、家庭で、大切に育てることができますが、子の社会、世界が広がると、親だけの力では難しいこともでてくると思います。だからこそ、我が子のみでなく、全ての子が幸せを感じ生きていけるよう、私の周りにいる子、目にする子の幸せのために、今後も子の幸せのために続けていきたいと思います。行政におかれましても今まで同様、子どもを大切にされた施策を続けていただきますよう心から、お願いいたします。常に、子の立場に立ち、最前線で、対応してくださる行政のみな様に感謝いたします。いつも、ありがとうございます。共に頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。
- いじめで亡くなる子どものニュースを見るたびに思うのですが、小、中、高校で新学期や区切りごとでもいいから、いじめをしたらどうなるのかを学校でもっと子どもに知らせる機会を作ってほしい。いじめた側は、いじめた子が自殺でもしたら、その子の本人だけでなく家族の生活も壊されてしまうこと…それだけ軽い気持ちでやったことが人生をかえるできごとになることを知るべきだと思う。“相手の立場にたって考える”←これができない、この気持ちが育ってないことが親自身も自分の子を知ることを知る機会をもつべきだと思う。
- 家族で、保育園に勤めている者がおりますが、最近ではバスの中に置きざり、虐待などがニュースで取り上げられたこともあってか、とにかくケガをさせないことを第一に保育に臨んでいるようです。そのせいか、友達同士でケンカしていたら、すぐ止めに入ったり、少し高い所からジャンプするのも止められたり…ということが毎日だそうです。しかし、子ども時代にぶつかったり、痛みを知る経験をさせないことの方がどうなのかとつくづく疑問に思います。今の園は、周りの目ばかりを気にして、子どもを成長させる場を取り上げてしまっている気がします。もっとのびのびと子どもが過ごせる環境を国全体で作りに上げていく必要があると思います。
- 家庭の事情(金銭面)で習い事ができず、同級生との差が生じてしまう事。子供は学びたい気持ち・欲があるのに、習わす事ができない。親にとっても、子供に対し申し訳ない気持ちがうまれる。そんな気持ちから精神的に病んでいきやすくなると思います。働きたくても、小学校での学童の学費は、保育園からのあとだととても経済的に大変。
- テレビのニュースで子どもに対する虐待が多いと感じます。地域の人たちや隣人が自分の近所や自分たちに少しでも関わる人たちに興味をもつこと、いつもと違う何かに敏感であること、子どもたちには自分の子だけでなく目を向けることが大切だと思います。私は困っている人を見かけたら躊躇なく声をかけられる人でありたい、誰に対しても優しくありたいと思います。

- 親の収入で進路ややれること出来ないことが決められてしまう。
- 「性」についての被害については、日本は世界の先進国の中では、正しい知識を学ぶ時期が遅いと思います。そのことによって幼児の頃から、「何をされているのかわからない」「被害という認識がない」という被害があると思います。子どもが明るい人生を歩んでいくためにも、幼児の頃から、自分の体が大切であり、他の人間に害されないように、正しい知識を伝えていくと良いと思います。それとは別ですが、子育てがはじまる時期の親さんに、どんな子育てにしていきたいか、情報にふりまわされるのではなく、育てる自分自身のことも大切にしながら、楽しめるワークショップ、話し合える場があるといいなと思いました。子育ては、育てる側にストレスがたまるとネガティブ連鎖がはじまってしまう気がするので…。
- ヤングケアラーはよくないと思う。
- 貧困家庭は、大学に行かせられない(国立、公立しか行かせられない)などのイメージがあり、将来、子どもが大学に行きたいといった時に行かせてあげられるよう仕事をつづけています。理由があつて、仕事ができなかったりすると子どもが受けられる教育もかわってくるかと思うので、学びたい子、みんなが学べる世の中になったらいいです。
- 金銭的な理由で子供^{ども}の行きたい進学や学校を選べないこと。

2. その他の自由意見

- 内申点制度…顔色をうかがって、空気を読んで生きようになる「密告制度」。制服…型をつくり、「型にはまらないものをより浮き彫りにして、いじめや差別の温床をつくっている。(保守の方が大好きな)「家父長制度」のすりこみ→社会としての女性蔑視、自尊心の低下、「男性の媚びる」生き方。自己責任論の蔓延→単身の親が社会的サポートを得られない→障害に対する無理解→障害者をもつ親が社会的サポートを得られない。というか子供^{ども}がこんな社会に希望をもてるはずがないと思います。
- 虐待の線引きが親としてわかりません。全く手をあげずに子どもと向き合うのはキレイごと抜きで無理ですし、子どもと話し合いをした上で又理解上やむをえずの場合は子どもも手をあげられる事はわかっている場合でも駄目なんでしょうか？(顔や頭は除いて考えています)子どもの自由＝権利ばかりではないと思います。
- 世界中の子供^{ども}が笑顔で過ごせます様に…。
- 子どもの権利は重要なことだと思うが、自分の権利だけでなく、子どもたちに、他の子の権利を侵害しないことも教えるべきだと思います。個性も大切だが、お互いを尊重することも重要だと思う。最近、個性を都合よく解しゃくする傾向はないでしょうか？子どもによって、他の子の権利が侵害されているのではないかとと思われることがあります。
- いつも見守って頂きありがとうございます。子供^{ども}に限らず、多治見市民が生活し易い環境作りをして頂ければ言う事なしです！！
- 宗教や職業など、親に押しつけられ、選ぶ事ができない事。子どもの、宗教活動への参加を禁止してほしい。貧富の差が教育(学歴)や将来の職業に影響しているという事実をみると、子どもの権利が平等に保障されているとは言い難いのかなと思ってしまいます。

- SNSの普及によって、個人の情報が流されてしまう(しまっている)かもしれない、という不安が、いつでも少なからず頭の中にあって行動しているように見えます。そのため、言いたい事も言えない場合も多いのでは？
- 他市(周辺市)と比べると、子育て世帯や子どもに対する手当や制度が少ないというような内容を聞いたことがある(権利とは関係ないが)。その分、産業等に、給付や力を入れていると聞く。
- 我が家ですが、学校から、言葉の病院をすすめられてます。少しおそいと…。しかし、多治見には、小学生が通院するところがありません(私がしらべた中で)。それで、今後もし、学校で何かおきたら少しこわいです←問 25 とは関係なかったら、すいません。
- 子どもの発達特性、障害、病気など抱えていることによって、保育園やようちえんへの入園を断られる、しぶられることがまだある現状を思い知らされました(全国的にもたくさんあるとききます)。子どもの個性を尊重して教育・保育をうけられる権利、インクルーシブ教育、子ども(だれもが)社会に受け入れられる権利がまだ不十分なのではと感じます。ぜひ多治見市でもっと進めていってほしいです。
- 私達も自分で選択して、自分でやってきました。子供たちにも、自分で選び学べる社会であってほしいです。
- 質問の答えにはなっていないかもしれませんが、思っていることを書かせていただきます。多治見市は子育てにもっと力を入れてほしいと思っています。産婦人科(クリニック)が少なすぎる。育休中だと上の子が保育園を退園(しかもまた保活をしなければならない)。公立保育園の建物の古さ。中3までの子どもの医療費無料→短すぎる。など、見直していかないと、ただでさえ若い世代が子どもを欲しがらない人が多いのに、子どもは増えていかないと思います。もちろん、いろいろな問題を抱えてお忙しいことは重々承知しておりますが、子育て世代としては本当になんとかしていただきたいと思い、ここに書かせていただきました。ぜひご検討くださいますようよろしくお願いいたします。
- 今回の件に関係のないことかもしれませんが、以前、子供の事^{ども}で市役所の方に相談に行った際、知りません、わかりませんとの回答。ただ嫌な思いをして帰って来ました。相談できる場所ではないんですか？と思いました。
- ①多治見市に、子供^{ども}が遊べる場所が少ない！！②多治見市に子育て世帯に対して全然手厚くない！！妊娠・出産した時のお金も5万円ずつだと全くたりない！③クーポンやぎふっこカードが使えるようにもっと考えてほしい！④毎年、子育て世帯に優しいクーポンを配布してほしい。⑤子供^{ども}にお金がかかることをもっと理解していることを示して行動してほしい。アンケートしてほしいなら、クオカードを配布するなど手厚くしてほしいです！！
- 子ども専用トイレが少ない。手洗い場等も。
- 子どもらしさという言葉をなくす。子どもだからといって幼いというものではない。個人として意見を尊重すべし。年齢^{おとな}が大人であっても考えが幼い人はいる。らしさ[☑]という表現はなくそう。年齢関係なく意見が大切にされる。そんな世の中が望ましい。もちろん男女も関係なく。
- 中学生の時に、クラブ活動の指導者から暴言や暴力を受けました。暴言を聞いた近所に住む方からも、市へ何回か通報していたようです。他のクラブでは、訴訟になった事案もありました。指導者

への教育的配慮の上での指導内容を市としても指導してくださっているとは思いますが、暴言や暴力がある、のが事実です。きっと、まだ、勝利主義の考え方で指導する指導者がいます。ボランティアで、子どもたちのために時間を使い、懸命に指導してくださることには、感謝します。が、一歩間違うと、子供の心が傷つき、大きな事案になりかねないと思います。色々な葛藤があり、親としても、大変、辛い、子どものクラブ活動でした。

- 時代に合わない規則やきまり。子どもの意見を一人の人の意見として聞こうとする姿勢がないとしばしば感じるため。
- 幼稚園でプールの後に濡れた水着を脱いで裸で歩かされるのが恥ずかしくて嫌だと言っているが、幼稚園側からはルールだから変えられないので我慢するように言われた。プールはその後からは全て休ませた。

第 3 章 自己肯定感別分析

「子どもの権利に関するアンケート調査」自己肯定感別分析

1. 子ども自身の思いと、おとなが考える子どもの思いについて

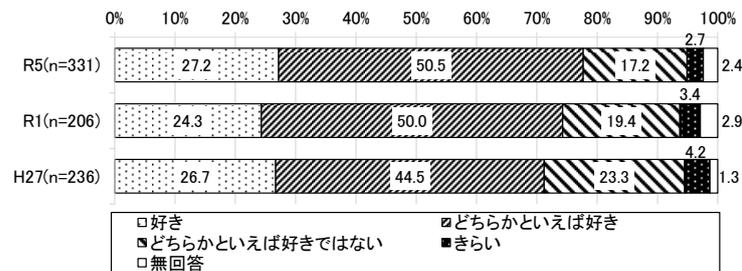
(1) 自己肯定感

「自分のことが好きか」という設問に対して、子どもは「好き」「どちらかといえば好き」(以下、『好き』)と回答した割合が 77.7%と平成 27 年度、令和元年度に比べて上昇した。

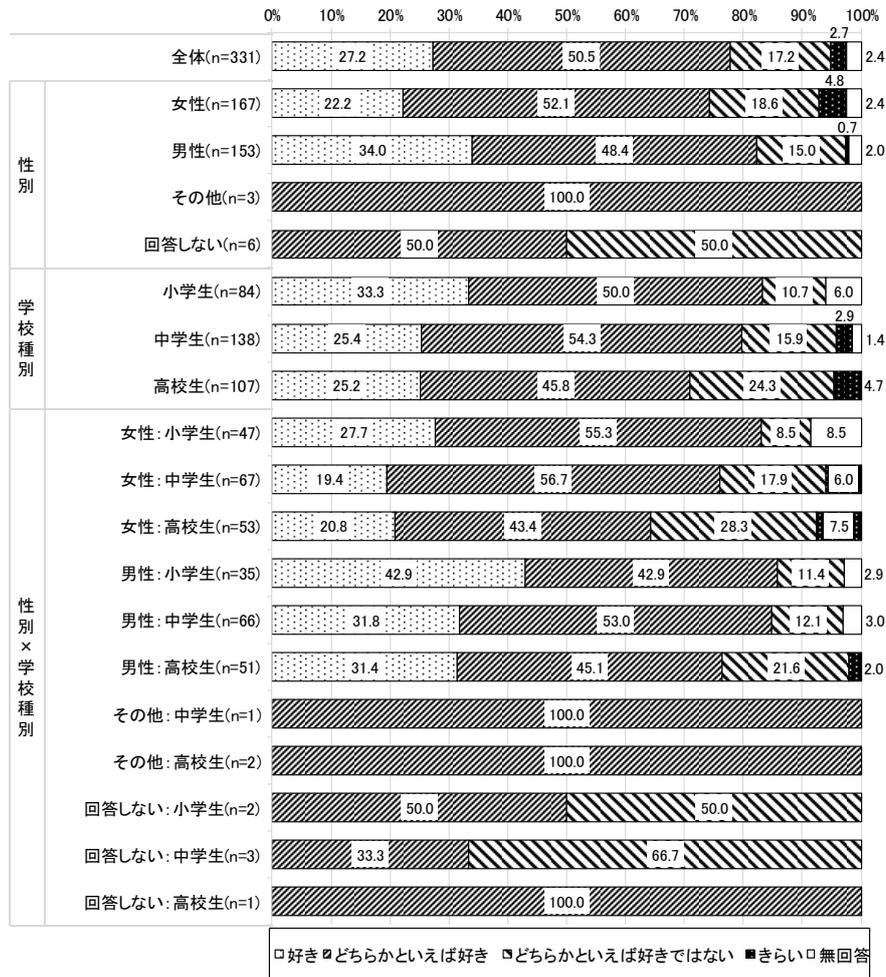
性別にみると、『好き』と回答した割合は、女性が 74.3%、男性が 82.4%と、男性のほうが高くなっている。学校種別にみると、『好き』と回答した割合は小学生で最も高く、年齢が上がるにつれてその割合が低下している。また、「どちらかといえば好きではない」「きらい」(以下、『きらい』)の割合は、年齢が上がるにつれて上昇している。

子ども:(問1)自分のことが好きか

<経年比較>



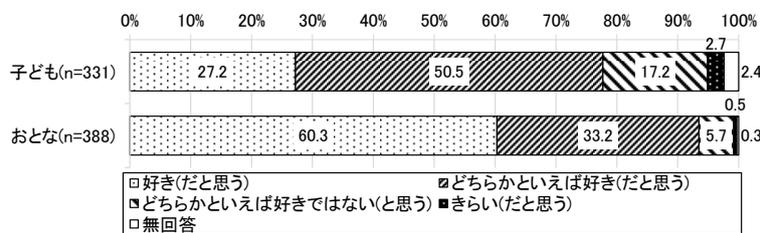
<性別・年齢別>



一方、「子どもは、子ども自身のことを好きだと思うか」という設問に対して、おとなは「好きだと思う」「どちらかといえば好きだと思う」と回答した割合は 93.5%と、子ども自身の自己肯定感と比べて差がみられる。

子ども：(問1)自分のことが好きか

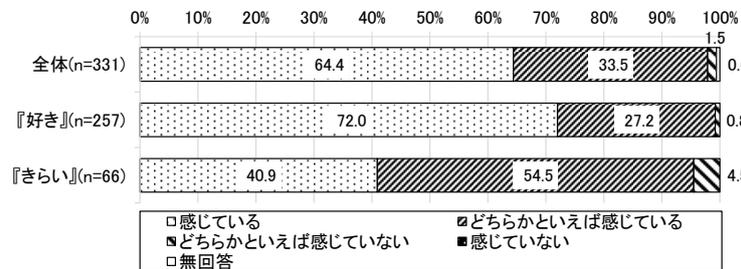
おとな：(問2)子どもは、子ども自身のことが好きだと思うか



(2) 「大切にされている」と感じている子ども

『好き』と回答した子どもは、親やまわりのおとなから大切にされていると「感じている」と回答した割合が高い傾向がみられる。

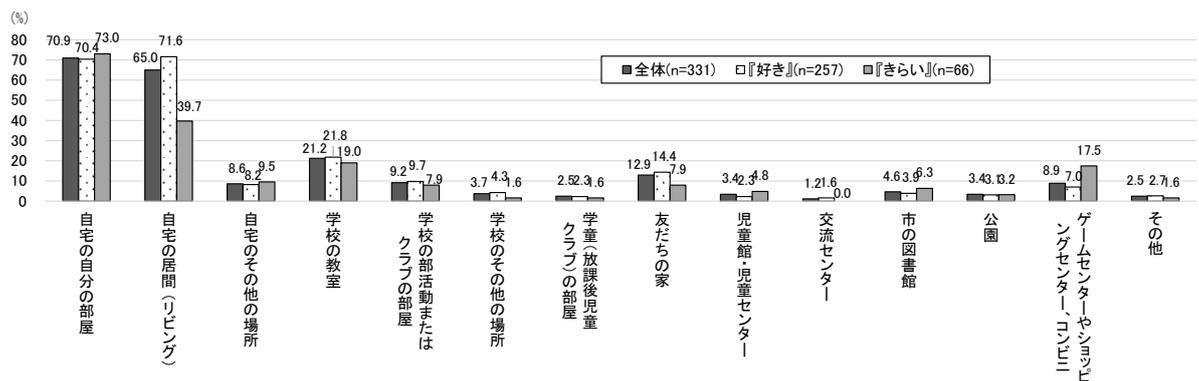
子ども：(問2)おとなから大切にされていると感じているか



(3) 安心できる場所

子どもにとって安心できる場所について、『きらい』と回答した子どもは、「自宅の居間(リビング)」と回答した割合が、『好き』と回答した子どもに比べて低くなっている。

子ども：(問5)安心できる場所はどこか

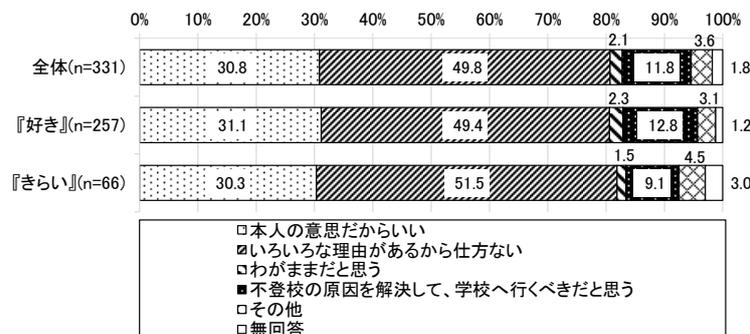


2. 学校生活やいじめ等に関することについて

(1) 不登校

不登校について、『好き』と『きらい』のいずれも「いろいろな理由があるから仕方ない」と回答した割合が最も高く、ついで「本人の意思だからいい」となっている。

子ども：(問6)不登校についてどう思うか

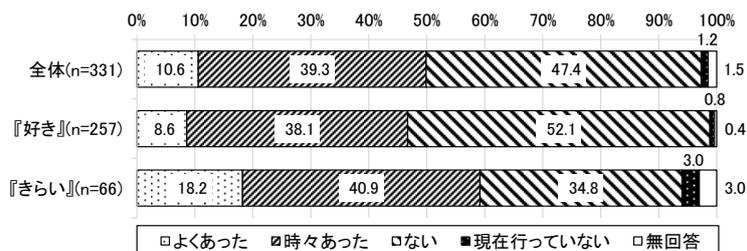


(2) 学校に行きたくないと思った経験

学校に行きたくないと思った経験について、「よくあった」「時々あった」と回答した割合は、『好き』は46.7%、『きらい』は59.1%と、『きらい』の方が高くなっている。

学校に行きたくないと思った原因については、いずれも「なんとなく行く気がしない」が最も多く、ついで「友だちとのこと」となっている。

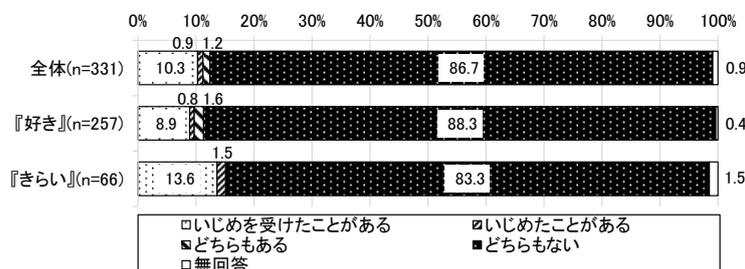
子ども:(問7)学校に行きたくないと思ったことはあるか(直近1年間)



(3) いじめ

いじめについて、「いじめを受けたことがある」と回答した割合は、『好き』は8.9%、『きらい』は13.6%となっている。

子ども:(問10)いじめを受けた/いじめたことがあるか(直近1年間)

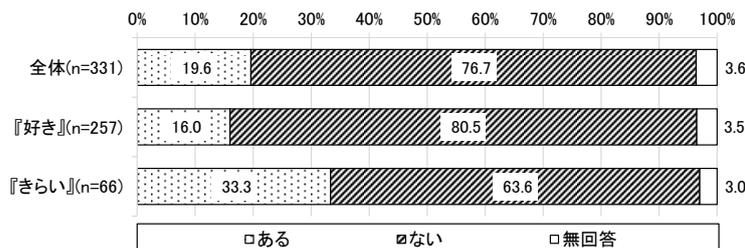


3. 体罰や児童虐待について

おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことが「ある」と回答した割合は、『好き』は16.0%、『きらい』が33.3%と、『きらい』の方が高くなっている。

具体的な内容については、いずれも「心が傷つくようなことを言われた」が最も多く、言った相手としては、「学校の先生」や「親(保護者)」が挙げられている。

子ども:(問12)おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことがあるか

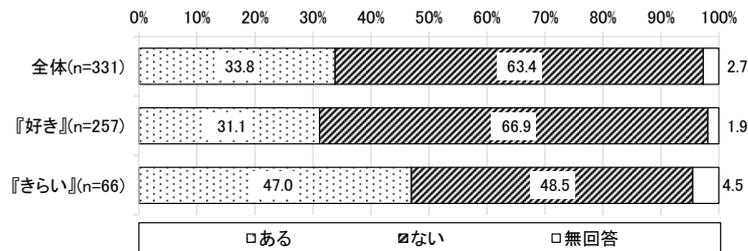


4. ヤングケアラーについて

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかについて、聞いたことが「ある」と回答した割合は、『好き』は31.1%、『きれい』は47.0%と、『きれい』の方が高くなっている。

ヤングケアラーにあてはまるかどうかについては、『好き』は87.2%、『きれい』は83.3%が、「あてはまらない」と回答した。

子ども：(問14)「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか

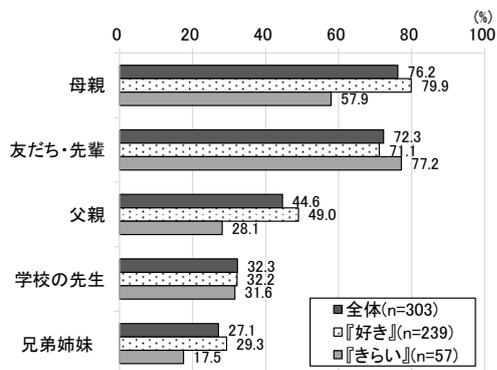


6. 子どもの相談相手について

困ったことや悩みがあるとき、相談したり話をきいてもらう人が「いる」と回答した割合は、『好き』は93.0%、『きれい』は86.4%となっている。

相談相手としては、『好き』と回答した子どもは「母親」、『きれい』と回答した子どもは「友だち・先輩」が最も高くなっている。特に『きれい』と回答した子どもは、『好き』と回答した子どもに比べて、「母親」や「父親」と回答した割合が低くなっている。

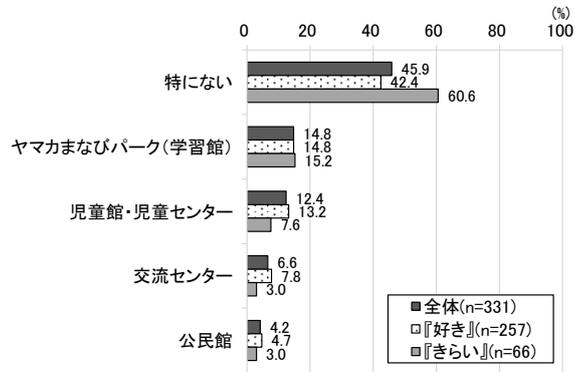
子ども：(問15-1)困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人は誰か (主要項目)



7. 子どもの意見表明・参加の機会について

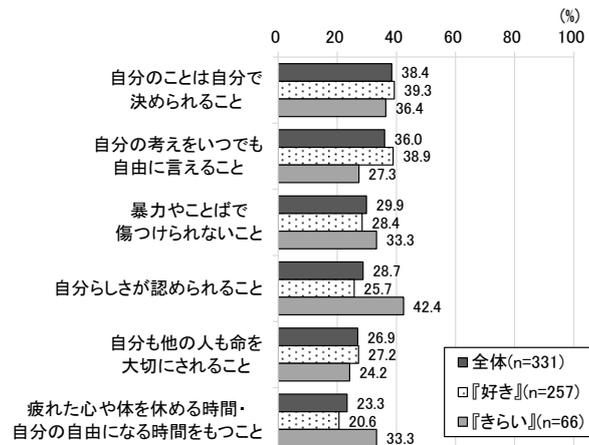
多治見市の施設のうち、一番よく利用している施設について、「特にない」と回答した割合は、『好き』が42.4%、『きらい』が60.6%と、『きらい』の方が高くなっている。

子ども：(問 20)一番よく利用している施設はどこか(主要項目)



子どもの権利の中で特に大切だと思うことについて、『きらい』と回答した子どもは「自分らしさが認められること」や「疲れた心や体を休める時間・自分の自由になる時間をもつこと」が、『好き』と回答した子どもに比べて高くなっている。

子ども：(問 24)子どもの権利の中で特に大切だと思うこと(主要項目)



<参考集計表>

子ども：(問1)自分のことが好きか<問2・問3・問4とのクロス>

		合計	好き	どちらかといえ ば好き	どちらかといえ ば好き ではない	きらい	無回答
全体		331	90	167	57	9	8
		100.0	27.2	50.5	17.2	2.7	2.4
問2・ 大切に されている	感じている	213	84	101	22	5	1
		100.0	39.4	47.4	10.3	2.3	0.5
	どちらかといえ ば 感じている	111	6	64	32	4	5
		100.0	5.4	57.7	28.8	3.6	4.5
	どちらかといえ ば 感じていない	5	-	2	3	-	-
	100.0	-	40.0	60.0	-	-	
	感じていない	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
問3・ 将来の 夢	ある	120	36	62	15	5	2
		100.0	30.0	51.7	12.5	4.2	1.7
	なんとなくある	136	34	71	26	3	2
		100.0	25.0	52.2	19.1	2.2	1.5
	ない	72	20	33	16	1	2
		100.0	27.8	45.8	22.2	1.4	2.8
問4・ 自分の 時間	ある	217	67	105	35	6	4
		100.0	30.9	48.4	16.1	2.8	1.8
	どちらかといえ ば	90	19	50	18	2	1
		100.0	21.1	55.6	20.0	2.2	1.1
	どちらかといえ ば	16	4	7	3	1	1
		100.0	25.0	43.8	18.8	6.3	6.3
	ない	6	-	5	1	-	-
		100.0	-	83.3	16.7	-	-

子ども：(問2)おとなから大切にされていると感じているか<問1・問4とのクロス>

		合計	感じて いる	どちらかといえ ば 感じて いる	どちらかといえ ば 感じて いない	感じて いない	無回答
全体		331	213	111	5	-	2
		100.0	64.4	33.5	1.5	-	0.6
問1・ 自己 肯定感	好き	90	84	6	-	-	-
		100.0	93.3	6.7	-	-	-
	どちらかといえ ば好き	167	101	64	2	-	-
		100.0	60.5	38.3	1.2	-	-
	どちらかといえ ば好きで はない	57	22	32	3	-	-
	100.0	38.6	56.1	5.3	-	-	
	きらい	9	5	4	-	-	-
		100.0	55.6	44.4	-	-	-
問4・ 自分の 時間	ある	217	151	64	2	-	-
		100.0	69.6	29.5	0.9	-	-
	どちらかといえ ば	90	54	33	3	-	-
		100.0	60.0	36.7	3.3	-	-
	どちらかといえ ば	16	6	10	-	-	-
	100.0	37.5	62.5	-	-	-	
	ない	6	2	4	-	-	-
		100.0	33.3	66.7	-	-	-

おとな:(問3)子どもは、おとなから大切にされていると感じていると思うか

<問1・問2とのクロス>

		合計	感じて いる	どちらか といえ ば感じ ている	どちらか といえ ば感じ ていな い	感じて いな い	無回答
全体		388	223	152	10	2	1
		100.0	57.5	39.2	2.6	0.5	0.3
問1・自己肯定感	好き	78	58	20	-	-	-
		100.0	74.4	25.6	-	-	-
	どちらかといえ ば好き	228	137	85	5	1	-
		100.0	60.1	37.3	2.2	0.4	-
	どちらかといえ ば好き ではない	73	24	44	4	1	-
	100.0	32.9	60.3	5.5	1.4	-	
きらい		5	2	2	-	-	1
		100.0	40.0	40.0	-	-	20.0
問2・子の自己肯定感	好きだと思 う	234	182	50	2	-	-
		100.0	77.8	21.4	0.9	-	-
	どちらかといえ ば好きだと思 う	129	34	91	3	1	-
		100.0	26.4	70.5	2.3	0.8	-
	どちらかといえ ば好きでは ないと思 う	22	7	11	4	-	-
		100.0	31.8	50.0	18.2	-	-
きらいだと思 う		2	-	-	1	1	-
		100.0	-	-	50.0	50.0	-

子ども:(問3)将来の夢やなりたい職業はあるか<問1とのクロス>

		合計	ある	なんとなく ある	ない	無回答
全体		331	120	136	72	3
		100.0	36.3	41.1	21.8	0.9
問1・自己肯定感	好き	90	36	34	20	-
		100.0	40.0	37.8	22.2	-
	どちらかといえ ば好き	167	62	71	33	1
		100.0	37.1	42.5	19.8	0.6
	どちらかといえ ば好き ではない	57	15	26	16	-
	100.0	26.3	45.6	28.1	-	
きらい		9	5	3	1	-
		100.0	55.6	33.3	11.1	-

子ども:(問4)遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にあるか

<問1・問2とのクロス>

		合計	ある	どちらかといえ ばある	どちらかといえ ばない	ない	無回答
全体		331	217	90	16	6	2
		100.0	65.6	27.2	4.8	1.8	0.6
問1・自己肯定感	好き	90	67	19	4	-	-
		100.0	74.4	21.1	4.4	-	-
	どちらかといえば好き	167	105	50	7	5	-
		100.0	62.9	29.9	4.2	3.0	-
	どちらかといえば好きではない	57	35	18	3	1	-
	100.0	61.4	31.6	5.3	1.8	-	
問2・大切にされている	感じる	9	6	2	1	-	-
		100.0	66.7	22.2	11.1	-	-
	感じている	213	151	54	6	2	-
		100.0	70.9	25.4	2.8	0.9	-
	どちらかといえば感じている	111	64	33	10	4	-
	100.0	57.7	29.7	9.0	3.6	-	
問2・大切にされている	どちらかといえば感じていない	5	2	3	-	-	-
		100.0	40.0	60.0	-	-	-
	感じていない	-	-	-	-	-	-

子ども:(問5)安心できる場所はどこか<問1・問2とのクロス>

		合計	自宅の自分の部屋	自宅の居間(リビング)	自宅のその他の場所	学校の教室	学校の活動またはクラブの部屋	学校のその他の場所	学童(放課後児童クラブ)の部屋	友だちの家	児童館・児童センター	公民館	交流センター	市の図書館	子ども情報センター	公園	ゲームセンターやショットペンダセンター、コンビニ	その他	無回答
全体		326	231	212	28	69	30	12	8	42	11	-	4	15	-	11	29	8	-
		100.0	70.9	65.0	8.6	21.2	9.2	3.7	2.5	12.9	3.4	-	1.2	4.6	-	3.4	8.9	2.5	-
問1・自己肯定感	好き	90	58	72	6	27	9	5	3	17	2	-	-	3	-	3	7	4	-
		100.0	64.4	80.0	6.7	30.0	10.0	5.6	3.3	18.9	2.2	-	-	3.3	-	3.3	7.8	4.4	-
	どちらかといえば好き	167	123	112	15	29	16	6	3	20	4	-	4	7	-	5	11	3	-
		100.0	73.7	67.1	9.0	17.4	9.6	3.6	1.8	12.0	2.4	-	2.4	4.2	-	3.0	6.6	1.8	-
	どちらかといえば好きではない	55	39	23	5	11	3	-	1	4	3	-	-	3	-	1	8	1	-
	100.0	70.9	41.8	9.1	20.0	5.5	-	1.8	7.3	5.5	-	-	5.5	-	1.8	14.5	1.8	-	
問2・大切にされている	感じる	8	7	2	1	1	2	1	-	1	-	-	-	1	-	1	3	-	-
		100.0	87.5	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	-	12.5	-	-	-	12.5	-	12.5	37.5	-	-
	感じている	212	145	162	19	49	22	10	4	31	8	-	4	9	-	8	19	8	-
		100.0	68.4	76.4	9.0	23.1	10.4	4.7	1.9	14.6	3.8	-	1.9	4.2	-	3.8	9.0	3.8	-
	どちらかといえば感じている	110	84	48	9	19	8	2	4	11	3	-	-	6	-	3	10	-	-
	100.0	76.4	43.6	8.2	17.3	7.3	1.8	3.6	10.0	2.7	-	-	5.5	-	2.7	9.1	-	-	
問2・大切にされている	どちらかといえば感じていない	4	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	50.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感じていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

子ども:(問6)不登校についてどう思うか<問1・問2とのクロス>

		合計	本人の意思だからいい	いろいろな理由があるから仕方ない	わがままだと思う	不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う	その他	無回答
全体		331	102	165	7	39	12	6
		100.0	30.8	49.8	2.1	11.8	3.6	1.8
問1・自己肯定感	好き	90	33	41	3	8	4	1
		100.0	36.7	45.6	3.3	8.9	4.4	1.1
	どちらかといえば好き	167	47	86	3	25	4	2
		100.0	28.1	51.5	1.8	15.0	2.4	1.2
	どちらかといえば好きではない	57	17	30	-	6	2	2
	100.0	29.8	52.6	-	10.5	3.5	3.5	
きらい		9	3	4	1	-	1	-
		100.0	33.3	44.4	11.1	-	11.1	-
問2・大切にされている	感じている	213	68	106	6	25	7	1
		100.0	31.9	49.8	2.8	11.7	3.3	0.5
	どちらかといえば感じている	111	32	59	1	12	4	3
		100.0	28.8	53.2	0.9	10.8	3.6	2.7
	どちらかといえば感じていない	5	2	-	-	2	-	1
	100.0	40.0	-	-	40.0	-	20.0	
感じていない		-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-

おとな:(問7)不登校についてどう思うか<問1・問2とのクロス>

		合計	本人の意思だから良い	いろいろな理由があるから仕方ない	わがままだと思う	不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う	その他	無回答
全体		388	23	292	1	40	25	7
		100.0	5.9	75.3	0.3	10.3	6.4	1.8
問1・自己肯定感	好き	78	5	53	-	12	7	1
		100.0	6.4	67.9	-	15.4	9.0	1.3
	どちらかといえば好き	228	15	178	-	22	9	4
		100.0	6.6	78.1	-	9.6	3.9	1.8
	どちらかといえば好きではない	73	3	53	1	5	9	2
	100.0	4.1	72.6	1.4	6.8	12.3	2.7	
きらい		5	-	5	-	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-	-
問2・子の自己肯定感	好きだと思う	234	16	175	1	21	16	5
		100.0	6.8	74.8	0.4	9.0	6.8	2.1
	どちらかといえば好きだと思う	129	4	100	-	17	6	2
		100.0	3.1	77.5	-	13.2	4.7	1.6
	どちらかといえば好きではないと思う	22	2	15	-	2	3	-
	100.0	9.1	68.2	-	9.1	13.6	-	
きらいだと思う		2	1	1	-	-	-	-
		100.0	50.0	50.0	-	-	-	-

子ども:(問7)学校に行きたくないと思ったことはあるか(直近1年間)

<問1・問2とのクロス>

		合計	よくあった	時々あった	ない	現在行っていない	無回答
全体		331	35	130	157	4	5
		100.0	10.6	39.3	47.4	1.2	1.5
問1・自己肯定感	好き	90	4	24	62	-	-
		100.0	4.4	26.7	68.9	-	-
	どちらかといえば好き	167	18	74	72	2	1
		100.0	10.8	44.3	43.1	1.2	0.6
	どちらかといえば好きではない	57	9	25	19	2	2
100.0		15.8	43.9	33.3	3.5	3.5	
きらい	9	3	2	4	-	-	
	100.0	33.3	22.2	44.4	-	-	
問2・大切にされている	感じている	213	19	76	116	2	-
		100.0	8.9	35.7	54.5	0.9	-
	どちらかといえば感じている	111	15	51	40	2	3
		100.0	13.5	45.9	36.0	1.8	2.7
	どちらかといえば感じていない	5	1	2	1	-	1
100.0		20.0	40.0	20.0	-	20.0	
感じていない	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	

おとな:(問8)子どもが学校に行きたくないと言ったことはあるか(直近1年間)

<問1・問2とのクロス>

		合計	よくあった	時々あった	ない	現在行っていない	無回答
全体		289	29	106	142	3	9
		100.0	10.0	36.7	49.1	1.0	3.1
問1・自己肯定感	好き	53	5	24	23	-	1
		100.0	9.4	45.3	43.4	-	1.9
	どちらかといえば好き	172	15	61	86	3	7
		100.0	8.7	35.5	50.0	1.7	4.1
	どちらかといえば好きではない	57	8	18	30	-	1
100.0		14.0	31.6	52.6	-	1.8	
きらい	5	-	3	2	-	-	
	100.0	-	60.0	40.0	-	-	
問2・子の自己肯定感	好きだと思う	154	9	57	78	2	8
		100.0	5.8	37.0	50.6	1.3	5.2
	どちらかといえば好きだと思う	110	14	40	55	-	1
		100.0	12.7	36.4	50.0	-	0.9
	どちらかといえば好きではないと思う	22	5	8	8	1	-
100.0		22.7	36.4	36.4	4.5	-	
きらいだと思う	2	1	-	1	-	-	
	100.0	50.0	-	50.0	-	-	

子ども:(問10)いじめを受けた/いじめたことがあるか(直近1年間)

<問1・問2とのクロス>

		合計	いじめを受けたことがある	いじめたことがある	どちらもある	どちらもない	無回答
全体		331	34	3	4	287	3
		100.0	10.3	0.9	1.2	86.7	0.9
問1・自己肯定感	好き	90	6	2	1	81	-
		100.0	6.7	2.2	1.1	90.0	-
	どちらかといえば好き	167	17	-	3	146	1
		100.0	10.2	-	1.8	87.4	0.6
	どちらかといえば好きではない	57	8	1	-	47	1
	100.0	14.0	1.8	-	82.5	1.8	
きらい		9	1	-	-	8	-
		100.0	11.1	-	-	88.9	-
問2・大切にされている	感じている	213	18	2	4	189	-
		100.0	8.5	0.9	1.9	88.7	-
	どちらかといえば感じている	111	16	1	-	92	2
		100.0	14.4	0.9	-	82.9	1.8
	どちらかといえば感じていない	5	-	-	-	5	-
	100.0	-	-	-	100.0	-	
感じていない		-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-

子ども:(問11)いじめを受けている人を見てどうしたか<問1・問2とのクロス>

		合計	いじめている人に、いじめをやるように言った	いじめられていた人の話をきいたり、相談にのったりした	いじめていた人をしかえしとして逆にいじめた	人に相談した	何もなかった	無回答
全体		71	8	26	1	21	26	-
		100.0	11.3	36.6	1.4	29.6	36.6	-
問1・自己肯定感	好き	14	4	6	1	4	4	-
		100.0	28.6	42.9	7.1	28.6	28.6	-
	どちらかといえば好き	35	2	13	-	13	13	-
		100.0	5.7	37.1	-	37.1	37.1	-
	どちらかといえば好きではない	15	2	5	-	3	5	-
	100.0	13.3	33.3	-	20.0	33.3	-	
きらい		2	-	-	-	-	2	-
		100.0	-	-	-	-	100.0	-
問2・大切にされている	感じている	40	4	17	1	10	14	-
		100.0	10.0	42.5	2.5	25.0	35.0	-
	どちらかといえば感じている	30	4	9	-	11	11	-
		100.0	13.3	30.0	-	36.7	36.7	-
	どちらかといえば感じていない	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	
感じていない		-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-

子ども:(問 12)おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことがあるか
 <問 1・問 2 とのクロス>

		合計	ある	ない	無回答
全体		331	65	254	12
		100.0	19.6	76.7	3.6
問 1・自己肯定感	好き	90	8	80	2
		100.0	8.9	88.9	2.2
	どちらかといえば好き	167	33	127	7
		100.0	19.8	76.0	4.2
	どちらかといえば好きではない	57	20	36	1
	100.0	35.1	63.2	1.8	
	きらい	9	2	6	1
		100.0	22.2	66.7	11.1
問 2・大切にされている	感じている	213	27	176	10
		100.0	12.7	82.6	4.7
	どちらかといえば感じている	111	36	74	1
		100.0	32.4	66.7	0.9
	どちらかといえば感じていない	5	2	3	-
	100.0	40.0	60.0	-	
		-	-	-	-
		-	-	-	-

おとな:(問 10)おとなから子どもに、大変いやな思いをさせたことがあると思うか
 <問 1・問 2 とのクロス>

		合計	ある	ない	無回答
全体		388	92	280	16
		100.0	23.7	72.2	4.1
問 1・自己肯定感	好き	78	16	58	4
		100.0	20.5	74.4	5.1
	どちらかといえば好き	228	61	159	8
		100.0	26.8	69.7	3.5
	どちらかといえば好きではない	73	12	57	4
	100.0	16.4	78.1	5.5	
	きらい	5	1	4	-
		100.0	20.0	80.0	-
問 2・子の自己肯定感	好きだと思う	234	52	173	9
		100.0	22.2	73.9	3.8
	どちらかといえば好きだと思う	129	30	92	7
		100.0	23.3	71.3	5.4
	どちらかといえば好きではないと思う	22	9	13	-
	100.0	40.9	59.1	-	
		2	1	1	-
		100.0	50.0	50.0	-

子ども:(問 14)「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか<問 1・問 2 とのクロス>

		合計	ある	ない	無回答
全体		331	112	210	9
		100.0	33.8	63.4	2.7
問 1 ・ 自己 肯定 感	好き	90	25	63	2
		100.0	27.8	70.0	2.2
	どちらかといえば好き	167	55	109	3
		100.0	32.9	65.3	1.8
	どちらかといえば好きではない	57	27	27	3
	100.0	47.4	47.4	5.3	
	きれい	9	4	5	-
		100.0	44.4	55.6	-
問 2 ・ 大切に されて いる	感じている	213	68	139	6
		100.0	31.9	65.3	2.8
	どちらかといえば感じている	111	42	67	2
		100.0	37.8	60.4	1.8
	どちらかといえば感じていない	5	1	4	-
	100.0	20.0	80.0	-	
	感じていない	-	-	-	-
		-	-	-	-

おとな:(問 15)「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか<問 1・問 2 とのクロス>

		合計	ある	ない	無回答
全体		388	301	69	18
		100.0	77.6	17.8	4.6
問 1 ・ 自己 肯定 感	好き	78	57	20	1
		100.0	73.1	25.6	1.3
	どちらかといえば好き	228	183	35	10
		100.0	80.3	15.4	4.4
	どちらかといえば好きではない	73	52	14	7
	100.0	71.2	19.2	9.6	
	きれい	5	5	-	-
		100.0	100.0	-	-
問 2 ・ 子の 自己 肯定 感	好きだと思う	234	182	43	9
		100.0	77.8	18.4	3.8
	どちらかといえば好きだと思う	129	96	25	8
		100.0	74.4	19.4	6.2
	どちらかといえば好きではないと思う	22	20	1	1
	100.0	90.9	4.5	4.5	
	きれいだと思う	2	2	-	-
		100.0	100.0	-	-

おとな:(問 16)日ごろ疲れることや不安に思うことはあるか<問 1・問 2 とのクロス>

		合計	ある	ない	無回答
全体		388	322	64	2
		100.0	83.0	16.5	0.5
問 1 ・ 自己肯定感	好き	78	55	23	-
		100.0	70.5	29.5	-
	どちらかといえば好き	228	194	34	-
		100.0	85.1	14.9	-
	どちらかといえば好きではない	73	66	5	2
	100.0	90.4	6.8	2.7	
	きれい	5	4	1	-
		100.0	80.0	20.0	-
問 2 ・ 子の自己肯定感	好きだと思う	234	189	44	1
		100.0	80.8	18.8	0.4
	どちらかといえば好きだと思う	129	111	18	-
		100.0	86.0	14.0	-
	どちらかといえば好きではないと思う	22	19	2	1
	100.0	86.4	9.1	4.5	
	きれいだと思う	2	2	-	-
		100.0	100.0	-	-

子ども:(問 15)困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人がいるか
<問 1・問 2 とのクロス>

		合計	いる	いない	無回答
全体		331	303	21	7
		100.0	91.5	6.3	2.1
問 1 ・ 自己肯定感	好き	90	85	4	1
		100.0	94.4	4.4	1.1
	どちらかといえば好き	167	154	11	2
		100.0	92.2	6.6	1.2
	どちらかといえば好きではない	57	51	4	2
	100.0	89.5	7.0	3.5	
	きれい	9	6	2	1
		100.0	66.7	22.2	11.1
問 2 ・ 大切にされている	感じている	213	204	5	4
		100.0	95.8	2.3	1.9
	どちらかといえば感じている	111	94	16	1
		100.0	84.7	14.4	0.9
	どちらかといえば感じていない	5	4	-	1
	100.0	80.0	-	20.0	
	感じていない	-	-	-	-
		-	-	-	-

子ども:(問 15-1) 困ったことや悩みがあるとき、相談したり、話をきいてもらう人は誰か

<問 1・問 2 とのクロス>

		合計	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	友だち・先輩	知りあいの人	学校の先生	学校の相談員	学童(放課後児童クラブ)の先生	多治見市子どもの権利相談室(たじみ子どもサポート)	クラブのコーチ	塾や習いごとの先生	人権擁護委員(子どもの人権SOSミニレター)	インターネット上の人	その他	無回答	
全体		303 100.0	231 76.2	135 44.6	82 27.1	62 20.5	219 72.3	18 5.9	98 32.3	33 10.9	1 0.3	5 1.7	5 1.7	15 5.0	2 0.7	17 5.6	4 1.3	2 0.7	
問 1・自己肯定感	好き	85 100.0	73 85.9	52 61.2	29 34.1	24 28.2	56 65.9	4 4.7	29 34.1	8 9.4	-	2 2.4	-	1 1.2	1 1.2	2 2.4	1 1.2	-	
	どちらかといえば好き	154 100.0	118 76.6	65 42.2	41 26.6	27 17.5	114 74.0	5 3.2	48 31.2	16 10.4	-	2 1.3	3 1.9	11 7.1	1 0.6	9 5.8	2 1.3	1 0.6	
	どちらかといえば好きではない	51 100.0	30 58.8	13 25.5	7 13.7	5 9.8	39 76.5	5 9.8	14 27.5	6 11.8	-	1 2.0	1 2.0	3 5.9	-	6 11.8	1 2.0	1 2.0	
	きらい	6 100.0	3 50.0	3 50.0	3 50.0	3 50.0	5 83.3	2 33.3	4 66.7	3 50.0	-	-	-	1 16.7	-	-	-	-	-
	感じている	204 100.0	166 81.4	115 56.4	65 31.9	52 25.5	146 71.6	12 5.9	74 36.3	24 11.8	-	4 2.0	2 1.0	13 6.4	2 1.0	9 4.4	3 1.5	2 1.0	
問 2・大切にされている	どちらかといえば感じている	94 100.0	62 66.0	19 20.2	16 17.0	9 9.6	68 72.3	4 4.3	23 24.5	8 8.5	1 1.1	1 1.1	3 3.2	2 2.1	-	7 7.4	1 1.1	-	
	どちらかといえば感じていない	4 100.0	2 50.0	-	-	-	4 100.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-	-	-	1 25.0	-	-	
	感じていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	感じていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

子ども:(問 17) 家庭生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことはあるか

<問 1・問 2 とのクロス>

		合計	ある	ない	無回答
全体		331 100.0	78 23.6	244 73.7	9 2.7
問 1・自己肯定感	好き	90 100.0	19 21.1	69 76.7	2 2.2
	どちらかといえば好き	167 100.0	41 24.6	122 73.1	4 2.4
	どちらかといえば好きではない	57 100.0	14 24.6	41 71.9	2 3.5
	きらい	9 100.0	3 33.3	6 66.7	-
	感じている	213 100.0	40 18.8	169 79.3	4 1.9
問 2・大切にされている	どちらかといえば感じている	111 100.0	36 32.4	71 64.0	4 3.6
	どちらかといえば感じていない	5 100.0	2 40.0	3 60.0	-
	感じていない	-	-	-	-
	感じていない	-	-	-	-

子ども:(問 18)学校生活の中でもっと意見をきいてほしいと思うことはあるか
 <問 1・問 2 とのクロス>

		合計	ある	ない	無回答
全体		331	109	201	21
		100.0	32.9	60.7	6.3
問 1 ・ 自己 肯定 感	好き	90	26	60	4
		100.0	28.9	66.7	4.4
	どちらかといえば好き	167	55	104	8
		100.0	32.9	62.3	4.8
	どちらかといえば 好きではない	57	21	29	7
	100.0	36.8	50.9	12.3	
	きらい	9	6	2	1
		100.0	66.7	22.2	11.1
問 2 ・ 大切 に され て い る	感じている	213	69	134	10
		100.0	32.4	62.9	4.7
	どちらかといえば 感じている	111	39	63	9
		100.0	35.1	56.8	8.1
	どちらかといえば 感じていない	5	1	3	1
	100.0	20.0	60.0	20.0	
	感じていない	-	-	-	-
		-	-	-	-

子ども:(問 19)まちづくりに関することでもっと意見をきいてほしいと思うことはあるか
 <問 1・問 2 とのクロス>

		合計	ある	ない	無回答
全体		331	59	260	12
		100.0	17.8	78.5	3.6
問 1 ・ 自己 肯定 感	好き	90	17	69	4
		100.0	18.9	76.7	4.4
	どちらかといえば好き	167	27	136	4
		100.0	16.2	81.4	2.4
	どちらかといえば 好きではない	57	12	43	2
	100.0	21.1	75.4	3.5	
	きらい	9	2	6	1
		100.0	22.2	66.7	11.1
問 2 ・ 大切 に され て い る	感じている	213	36	170	7
		100.0	16.9	79.8	3.3
	どちらかといえば 感じている	111	23	84	4
		100.0	20.7	75.7	3.6
	どちらかといえば 感じていない	5	-	5	-
	100.0	-	100.0	-	
	感じていない	-	-	-	-
		-	-	-	-

子ども:(問 20)一番よく利用している施設はどこか<問 1・問 2 とのクロス>

		合計	児童館・児童センター	公民館	交流センター	ヤマカまなびパーク(学習館)	子ども情報センター	パロー文化ホール(多治見市文化会館)	産業文化センター	土岐川観察館	三の倉市民の里「地球村」	その他	特にない	無回答
全体		331	41	14	22	49	3	11	-	1	4	7	152	27
		100.0	12.4	4.2	6.6	14.8	0.9	3.3	-	0.3	1.2	2.1	45.9	8.2
問1・自己肯定感	好き	90	12	3	7	12	1	3	-	1	2	3	37	9
		100.0	13.3	3.3	7.8	13.3	1.1	3.3	-	1.1	2.2	3.3	41.1	10.0
	どちらかといえば好き	167	22	9	13	26	2	6	-	-	1	4	72	12
		100.0	13.2	5.4	7.8	15.6	1.2	3.6	-	-	0.6	2.4	43.1	7.2
	どちらかといえば好きではない	57	5	2	2	9	-	2	-	-	1	-	-	32
	100.0	8.8	3.5	3.5	15.8	-	3.5	-	-	1.8	-	-	56.1	7.0
	きらい	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	8	-
		100.0	-	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	88.9	-
問2・大切にされている	感じている	213	30	9	20	28	3	8	-	1	4	5	88	17
		100.0	14.1	4.2	9.4	13.1	1.4	3.8	-	0.5	1.9	2.3	41.3	8.0
	どちらかといえば感じている	111	10	3	2	21	-	3	-	-	-	2	61	9
		100.0	9.0	2.7	1.8	18.9	-	2.7	-	-	-	1.8	55.0	8.1
	どちらかといえば感じていない	5	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
		100.0	20.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-
	感じていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

子ども:(問 21)子どもの権利に関する条例を知っているか<問 1・問 2 とのクロス>

		合計	知っている	知らない	無回答
全体		331	124	198	9
		100.0	37.5	59.8	2.7
問1・自己肯定感	好き	90	33	54	3
		100.0	36.7	60.0	3.3
	どちらかといえば好き	167	59	105	3
		100.0	35.3	62.9	1.8
	どちらかといえば好きではない	57	25	30	2
	100.0	43.9	52.6	3.5	
	きらい	9	4	5	-
		100.0	44.4	55.6	-
問2・大切にされている	感じている	213	78	131	4
		100.0	36.6	61.5	1.9
	どちらかといえば感じている	111	43	64	4
		100.0	38.7	57.7	3.6
	どちらかといえば感じていない	5	2	3	-
		100.0	40.0	60.0	-
	感じていない	-	-	-	-
		-	-	-	-

子ども:(問 24)子どもの権利の中で特に大切だと思うこと<問 1・問 2 とのクロス>

		合計	自分のことは自分で決めること	自分の考えをいつでも自由に言えること	自分の知りたいことを自由に学べること	暴力やことばで傷つけないこと	自分も他の人も命を大切にされること	自分の秘密が守られること	自分が知りたいと思ふことが隠されないこと	疲れた心や体を休める時間・自分の自由になる時間をもつこと	自分らしさが認められること	家族がなにかよく過すなかで育つこと	障がいのある子どもが差別されずに暮らせること	子どもからの自由な呼びかけでグループをつくり集まれること	学校でのことやまじりに自由に参加できること	肌の色やことばや宗教などのちがいで差別されないこと	無回答	
全体		331 100.0	127 38.4	119 36.0	49 14.8	99 29.9	89 26.9	47 14.2	14 4.2	77 23.3	95 28.7	35 10.6	63 19.0	13 3.9	10 3.0	53 16.0	26 7.9	
問 1・自己肯定感	好き	90 100.0	34 37.8	29 32.2	17 18.9	23 25.6	20 22.2	11 12.2	3 3.3	18 20.0	26 28.9	13 14.4	15 16.7	4 4.4	3 3.3	18 20.0	8 8.9	
	どちらかといえば好き	167 100.0	67 40.1	71 42.5	23 13.8	50 29.9	50 29.9	24 14.4	8 4.8	35 21.0	40 24.0	14 8.4	31 18.6	6 3.6	6 3.6	22 13.2	14 8.4	
	どちらかといえば好きではない	57 100.0	21 36.8	17 29.8	9 15.8	19 33.3	14 24.6	9 15.8	2 3.5	19 33.3	23 40.4	4 7.0	11 19.3	-	-	-	7 12.3	3 5.3
	嫌い	9 100.0	3 33.3	1 11.1	-	3 33.3	2 22.2	1 11.1	1 11.1	3 33.3	5 55.6	1 11.1	6 66.7	2 22.2	1 11.1	6 66.7	-	-
問 2・大切にされている	感じている	213 100.0	85 39.9	73 34.3	32 15.0	63 29.6	65 30.5	32 15.0	11 5.2	48 22.5	58 27.2	24 11.3	49 23.0	10 4.7	10 4.7	38 17.8	15 7.0	
	どちらかといえば感じている	111 100.0	40 36.0	44 39.6	17 15.3	35 31.5	24 21.6	12 10.8	3 2.7	25 22.5	35 31.5	10 9.0	14 12.6	3 2.7	-	15 13.5	10 9.0	
	どちらかといえば感じていない	5 100.0	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0	-	3 60.0	-	3 60.0	2 40.0	-	-	-	-	-	-	
	感じていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第 4 章 參考資料

「子どもの権利に関するアンケート」へのご協力のお願い

みなさんいかがお過ごしでしょうか。

さて、多治見市からみなさんへ、「子どもの権利に関するアンケート」についてお願いがあります。

多治見市では、子どものみなさんが安心して自分らしく暮らせる家庭、学校やまちにしていけるために、平成15年に「多治見市子どもの権利に関する条例」（条例とは、多治見市の子どもたちの権利を守るための約束の事です。）を作りました。また、この条例に基づく様々な事業が計画的に進んでいこう、「第3次多治見市子どもの権利に関する推進計画」を立て、取り組んでいます。

このアンケートは、「第3次多治見市子どもの権利に関する推進計画」の目標がどれだけ達成できたか調べるためと次の計画を立てる参考にするために、みなさんがふだんどのようなことを感じているのか、どういう思いで家庭や学校あるいはまちで暮らしているのか教えていただきたくて、行うものです。

今回、アンケートへのご協力をお願いした方は、多治見市内の10歳から17歳までの750人の子どもと、0歳から17歳の子どもをもつ保護者750人の人たちで、コンピューターで自動的に選ばせていただきました。みなさんの住所や名前は、この調査でのみ使用させていただきます。よろしくお願い致します。

調査票には、お名前を書いていただく必要はありませんし、アンケートに答えることであなたに迷惑がかかることは絶対にありませんので、思ったことを気軽に教えてください。質問の中には、あなたが「答えたくない。」と思うものがあるかもしれませんが、答えられる範囲でかまいません。ご協力をよろしくお願い致します。

2023（令和5）年8月

多治見市長 高木 貴行
多治見市子どもの権利委員会 会長 加納 誠司

回答いただいたアンケートは、多治見市の子ども権利が保障されたまちをめざした子どもの権利推進の取り組みにいかされます！

多治見市のめざす子どもの権利が保障されたまちとは…

- ★ 子ども一人ひとりの違いを大切に個性として尊重するまち
- ★ 子どもが安心して自分らしく生きることができるまち
- ★ お互いを尊重し、共に支えあうまち
- ★ 子どもが多治見の今と未来をつくっていくことのできるまち
- ★ 平和と環境を大切に、世界とつながっていくまち



- た のしくくらす権利
- じ ぶんをたいせつにする権利
- み なんとなかよくする権利

＜意見表明・参加＞

たじみ子ども会議

- ◆ 子どもが、多治見のまちづくりに意見表明や参加をする場です。
- ◆ 子どもたちが普段思っていることを自由に話し合うことができます。
- ◆ 会議での意見をまとめて、市に提出することもできます。



たじみ子ども会議キャラクター「タジニャン」

たじみ子ども会議の企画や準備、運営をおこなうたじみ子どもスタッフを募集しています。たじみ子どもスタッフは、毎月第4日曜日にヤマカまなびパークで子どもスタッフ会議を行い、準備を進めています。また、「夏休み！こどもパーク」や他の市の子ども会議への参加や、ラジオなど、さまざまな活動を行っています。たじみ子どもスタッフ会議のようすは、市ホームページにてご覧いただけます。



子どもの権利に関するアンケート調査について

アンケートのお願い

このアンケートは、みなさんが生活の中でどのようなことを感じているのか、どういう思いで暮らしているのかを知るために行うものです。この結果をもとに、みなさんに関係のある多治見市が「たのしくくらす権利」「じぶんをたいせつにする権利」「みんなとなかよくする権利」が守られたまちにするためにみなさんの考えを教えてください。

回答の方法

- ★それぞれの質問について、あなたの思う番号に○印をつけてください。(鉛筆かペンで書いてください。)
- ★質問の中には、「いくつでも」「3つまで」というように、○印の数を決めさせていただいているものがありますので、それにしたがってお答えください。それ以外は、1つだけ選んでください。
- ★無理して全ての質問に答えていただく必要はありません。答えられる範囲で答えてください。
- ★質問には、封筒のあて名のご本人さんがお答えください。
- ★回答は、一緒に入っている返信封筒に入れて令和5年8月22日(火)までにポストに入れてください。 ※切手を貼る必要はありません。

下のURLまたはQRコードからWebで回答することもできます。

URL : <https://forms.gle/9DYPTvQP4NpCipQN6>

ID

QRコード



※「ID」はWebで同じ人が何度も回答するのを避けるためのものです。個人を特定するためのものではありません。

このアンケートは、多治見市と多治見市子どもの権利委員会が行っています。
なお、アンケートの回収は、多治見市が株式会社 OKB総研 にお願ひしています。

※みなさんの住所や名前は、今回の調査票を送るための目的以外には使用しません。



【問い合わせ先】

多治見市環境文化部くらし人権課 人権グループ

担当：今井、中上

電話 0572 (22) 1128 (直通)

FAX 0572 (25) 7233

メール kurashi-jinken@city.tajimi.lg.jp

このアンケートをご覧になった保護者の方へ

- お子様がおっしゃっていることや考えていることを自由に書くようにお伝えください。

★それぞれの質問について、あなたの思う番号に○印をつけてください。

こ けんり かん ちょうさひょう 子どもの権利に関するアンケート調査票

あなたのことについておたずねします

1. あなたの性別は次のうち、どれですか。

① 女性	② 男性	③ その他	④ 回答しない
------	------	-------	---------

2. あなたの年齢（令和5（2023）年4月1日現在）は次のうちどれですか。

① 10歳	② 11歳	③ 12歳	④ 13歳
⑤ 14歳	⑥ 15歳	⑦ 16歳	⑧ 17歳

【問1】あなたは自分のことが好きですか。

① 好き	② どちらかといえば好き
③ どちらかといえば好きではない	④ きらい

【問2】あなたは、親やまわりのおとなから「自分は大切にされている」と感じていますか。

① 感じている	② どちらかといえば感じている
③ どちらかといえば感じていない	④ 感じていない

【問3】将来の夢やなりたい職業はありますか。

① ある	② なんとなくある	③ ない
------	-----------	------

【問4】遊んだり、休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にありますか。

① ある	② どちらかといえばある
③ どちらかといえばない	④ ない

【問5】自分にとって、安心できる場所だと思うところがありますか。ある場合はあてはまる場所を3つまで選んでください。

① ある (ある場合： ○は3つ まで)	① 自宅の自分の部屋	② 自宅の居間（リビング）
	③ 自宅のその他の場所（具体的に	④ 学校の教室
② ない	⑤ 学校の部活動またはクラブの部屋	
	⑥ 学校のその他の場所（具体的に	
	⑦ 学童（放課後児童クラブ）の部屋	⑧ 友だちの家
	⑨ 児童館・児童センター	⑩ 公民館
	⑪ 児童センター	
	⑫ 市の図書館	⑬ 子ども情報センター
	⑭ 公園	
	⑮ ゲームセンターやショッピングセンター、コンビニ	
	⑯ その他（	

【問10-2】【問10-1】で「⑤人に相談した」と答えた人におたずねします。
誰に相談しましたか。

○は いくつでも	① 母親	② 父親	③ 兄弟姉妹	④ 祖父母	⑤ 友だち・先輩
	⑥ 知りあいの人	⑦ 学校の先生	⑧ 学校の相談員		
	⑨ 学童（放課後児童クラブ）の先生				
	⑩ 多治見市子どもの権利相談室（たじみ子どもサポート）	⑪ クラブのコーチ			
	⑫ 塾や習いごとの先生	⑬ 人権擁護委員（子どもの人権SOSミニレター）			
	⑭ インターネット上の人	⑮ その他（			）

【問10-3】【問10】で「①いじめを受けたことがある」と答えた人におたずねします。
そのいじめの苦しさは、次のどれに最も近いですか。

① 生きているのがイヤになるくらいの苦しさ
② 学校や仕事に行くのがイヤになるくらいの苦しさ
③ 「①」「②」ほどではないが、苦しさはある
④ 苦しいというほどではないが、「イヤだなあ」という気持ち

【問11】いじめを受けている人を見たことがある人におたずねします。
いじめを受けている人を見て、あなたはどうしましたか。

① ある (ある場合： ○はいくつ でも)	① いじめている人に、いじめをやめるように言った
	② いじめられていた人の話をきいたり、相談にのったりした
	③ いじめていた人をしかえしとして逆にいじめた
	④ 人に相談した
⑤ 何もしなかった	
② ない	

【問11-1】【問11】で「④人に相談した」と答えた人におたずねします。
誰に相談しましたか。

○は いくつでも	① 母親	② 父親	③ 兄弟姉妹	④ 祖父母	⑤ 友だち・先輩
	⑥ 知りあいの人	⑦ 学校の先生	⑧ 学校の相談員		
	⑨ 学童（放課後児童クラブ）の先生				
	⑩ 多治見市子どもの権利相談室（たじみ子どもサポート）	⑪ クラブのコーチ	⑫ 塾や習いごとの先生		
	⑬ 人権擁護委員（子どもの人権SOSミニレター）	⑭ インターネット上の人	⑮ その他（		）

【問11-2】【問11】で「⑤何もしなかった」と答えた人におたずねします。
それはなぜですか。

① 自分がいじめられるのがこわかったから	② どうしていいのかわからなかったから
③ 自分には関係のないことだから	④ その他（
	）



え：ひがしうら えみ

【問21】あなたは「多治見市子どもの権利に関する条例」があることを知っていますか。

- ① 知っている ② 知らない

【問21-1】【問21】で「①知っている」と答えた人におたずねします。

どのようにして知りましたか。

○は いくつでも	① 学校の授業・先生の話・おたより	② 広報たじみ
	③ こそだていろは帖	④ たじみ子ども会議
	⑤ FMPIPI	⑥ 新聞
	⑦ 家族、友だち、知りあいの人	⑧ その他 ()

「多治見市子どもの権利に関する条例」とは…？

子どもの権利条約（子どもの最善の利益を大切にしていくために、国際連合が1989年につくったものです。）をもとに、多治見市で子どもの権利を守るためにつくった約束（条例）です。

どんな時にもその子どもにとって一番良いことを大切に、子どもが自分らしくいきいきと成長するために、おとなは力を合わせていきます。そして、たじみを次のようなまちにしていこうとめざしています。

- ★ 子ども一人ひとりの違いを大切に、個性として尊重するまち
- ★ 子どもが安心して自分らしく生きることができるまち
- ★ お互いを尊重し、共に支えあうまち
- ★ 子どもが多治見の今と未来をつくっていくことのできるまち
- ★ 平和と環境を大切に、世界とつながっていくまち



今年（令和5年）は「多治見市子どもの権利に関する条例」制定20周年です

【問22】あなたは、多治見市が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。知っているものを選んでください。

○は いくつでも	① たじみ子ども会議	② たじみ子どもの権利の日
	③ 多治見市子どもの権利相談室（たじみ子どもサポート）	
	④ 知っているものはない	

★たじみ子ども会議とは

子どもの意見表明や参加をすすめ、市政に子どもの意見をとり入れるため、子ども自身の企画や運営によって開かれている会議です。

★たじみ子どもの権利の日とは

子どもの権利についての関心や理解を深め、取り組みを進めるための日です。

たじみ子どもの権利の日は、11月20日です。

★多治見市子どもの権利相談室（たじみ子どもサポート）とは

子どもに関する悩みごとなどを相談できる場所です。ヤマカまなびパーク 4階にあります。

（火～金曜日／ひる1時～よる7時 土曜日／ひる12時～よる6時）

（電話番号 0120-967-866）

「子どもの権利に関するアンケート」へのご協力をお願い

皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、多治見市から皆様へ、「子どもの権利に関するアンケート」についてお願いがあります。

多治見市では、子どもたちが安心して自分らしく暮らせる家庭、学校、まちにしてい くために、平成 15 年に「多治見市子どもの権利に関する条例」を制定しました。また、この条例に基づく様々な事業が確実に、計画的に進んでいくよう、「第 3 次多治見市子どもの権利に関する推進計画」を策定し、取り組んでいます。

このアンケートは「第 3 次多治見市子どもの権利に関する推進計画」の検証や皆様が子どもとの生活の中で、普段どのように感じ、どういう思いで暮らしているのか教えて いただきたく行うものです。アンケート結果をもとに、子どもたちが家庭、学校、地 域でより安全で快適な生活ができるまちづくりを皆様とともに進めていきたいと思 います。

今回、アンケートへのご協力をお願いした方は、多治見市内の 10 歳から 17 歳ま での 750 人の子どもと、0 歳から 17 歳までの子どもをもつ 750 人の保護者の方々 で、住民基本台帳からコンピューターで無作為抽出させていただきました。今回のア ンケートの実施にあたり、抽出した個人情報についてはこの調査でのみ使用させてい ただきますのでご理解、ご協力をお願いします。

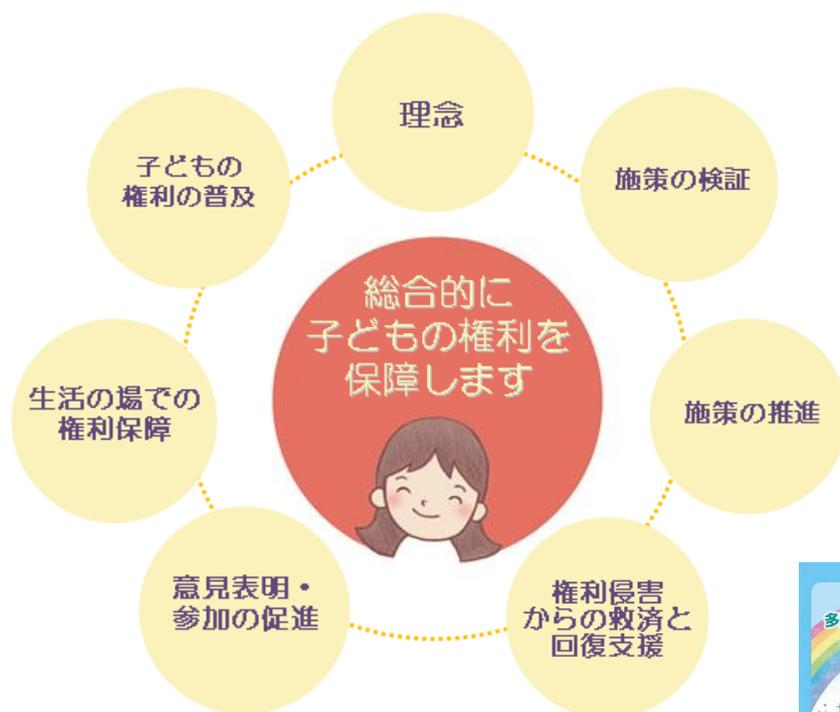
回答については、お名前を書いていただく必要はありませんし、アンケート調査の 集計は数値化して統計的に処理を行いますので、個人が特定されることはありません。 アンケートに答えることでご迷惑をおかけするようなことはございませんので、 思ったことを気軽にお答えください。また、質問の中には、答えたくないと思うもの があるかもしれませんが、答えられる範囲で構いません。

大変お忙しいところ恐縮に存じますが、アンケートにお答えくださいますよう重ね てお願い申し上げます。

2023（令和 5）年 8 月

多治見市長 高木 貴行
多治見市子どもの権利委員会会長 加納 誠司

このアンケートは、多治見市のすべての子どもが、心身ともに健康に自分らしく育つことができる「子どもの権利」が保障されたまちづくりを目指すために、「多治見市子どもの権利に関する推進計画」の検証や今後の子どもの権利の施策に役立てられます！



現在の子どもの権利に関する推進計画については、多治見市ホームページをご参照ください。
<https://www.city.tajimi.lg.jp/kosodate/kosodate/kenri/suishinkeikaku.html>



多治見市には「多治見市子どもの権利に関する条例」があります。

子どもの権利条約（子どもの最善の利益を大切にいくために、国際連合が1989年につくったものです。）に基づいて、子どもの権利の普及、子どもの権利を守り、成長を支援するしくみなどを定めている条例です。『子どもの最善の利益』を第一に考えながら子どもの権利の保障を図ることを目的として、平成15年9月に制定され、令和5年に制定20周年を迎えます。

子どもの権利に関するアンケート調査について

アンケートのお願い

このアンケートは、みなさんが生活の中でどのようなことを感じているのか、どういう思いで暮らしているのかを知るために行うものです。この結果をもとに、みなさんに関係のある多治見市が「たのしくくらす権利」「じぶんをたいせつにする権利」「みんなとなかよくする権利」が守られたまちにするためにみなさんの考えを教えてください。

回答の方法

- ★それぞれの質問について、あなたの思う番号に○印をつけてください。(鉛筆かペンで書いてください。)
- ★質問の中には、「いくつでも」「3つまで」というように、○印の数を決めさせていただいているものがありますので、それにしたがってお答えください。それ以外は、1つだけ選んでください。
- ★無理して全ての質問に答えていただく必要はありません。答えられる範囲で答えてください。
- ★質問には、封筒のあて名のご本人さんがお答えください。
- ★回答は、一緒に入っている返信封筒に入れて令和5年8月22日(火)までにポストに入れてください。 ※切手を貼る必要はありません。

下のURLまたはQRコードからWebで回答することもできます。

URL : <https://forms.gle/9DYPTvQP4NpCipQN6>

ID

QRコード



※「ID」はWebで同じ人が何度も回答するのを避けるためのものです。個人を特定するためのものではありません。

このアンケートは、多治見市と多治見市子どもの権利委員会が行っています。
なお、アンケートの回収は、多治見市が株式会社 OKB総研 にお願ひしています。

※みなさんの住所や名前は、今回の調査票を送るための目的以外には使用しません。



【問い合わせ先】

多治見市環境文化部くらし人権課 人権グループ

担当：今井、中上

電話 0572 (22) 1128 (直通)

FAX 0572 (25) 7233

メール kurashi-jinken@city.tajimi.lg.jp

このアンケートをご覧になった保護者の方へ

- お子様がおっしゃっていることや考えていることを自由に書くようにお伝えください。

それぞれの質問について、あなたの思う番号に○印をつけてください。

子どもの権利に関するアンケート調査票

あなた自身についておたずねします

(1) 宛名のお子さんからみてあなたの続柄は次のうち、どれですか。

- ① 母親 ② 父親 ③ 祖母 ④ 祖父 ⑤ その他 ()

(2) あなたの年齢（令和5（2023）年4月1日現在）は次のうちどれですか。

- ① 30歳以下 ② 31歳～40歳 ③ 41歳～50歳
④ 51歳～60歳 ⑤ 61歳以上

(3) あなたの家庭には、18歳未満（令和5（2023）年4月1日現在）の子どもが何人いますか。
年齢別に人数を記入してください。

- ① 0歳～ 2歳 (人) ② 3歳～ 5歳 (人) ③ 6歳～ 8歳
(人)

あなたの気持ちについておたずねします

【問1】あなたは自分のことが好きですか。

- ① 好き ② どちらかといえば好き
③ どちらかといえば好きではない ④ きらい

宛名のお子さんについておたずねします

【問2】子どもは自分自身のことを好きだと思いますか。

- ① 好きだと思う ② どちらかといえば好きだと思う
③ どちらかといえば好きではないと思う ④ きらいだと思う

【問3】子どもは、親やまわりのおとなから「自分は大切にされている」と感じていると思いますか。

- ① 感じている ② どちらかといえば感じている
③ どちらかといえば感じていない ④ 感じていない

【問4】あなたには、子どもの話をきいたり、子どもと一緒に遊んだり、子どもとかわる時間が十分に
ありますか。

- ① 十分ある ② 多少ある ③ あまりない ④ まったくない

【問5】子どもには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分にあると思いますか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① あると思う | ② どちらかといえばあると思う |
| ③ どちらかといえばないと思う | ④ ないと思う |

【問6】子どもにとって、安心できる場所だと思うところがありますか。

- | | |
|------|------|
| ① ある | ② ない |
|------|------|

【問6-1】【問6】で「①ある」と答えた人におたずねします。

それは、どこですか。(〇は3つまで)

- | | | |
|---------------------------|-------------------|----------|
| ① 自宅の子ども自身の部屋 | ② 自宅の居間(リビング) | |
| ③ 自宅のその他の場所(具体的に) | | |
| ④ 学校の教室 | ⑤ 学校の部活動またはクラブの部屋 | |
| ⑥ 学校のその他の場所(具体的に) | | |
| ⑦ 学童(放課後児童クラブ)の部屋 | ⑧ 友だちの家 | |
| ⑨ 児童館・児童センター | ⑩ 公民館 | ⑪ 交流センター |
| ⑫ 市の図書館 | ⑬ 子ども情報センター | ⑭ 公園 |
| ⑮ ゲームセンターやショッピングセンター、コンビニ | | |
| ⑯ その他() | | |

【問7】不登校についてどう思いますか。

- | | |
|--------------|---------------------------|
| ① 本人の意思だから良い | ② いろいろな理由があるから仕方ない |
| ③ わがままだと思う | ④ 不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う |
| ⑤ その他() | |

【問8】小学生、中学生、高校生の子どもがいる家庭の人におたずねします。

あなたの家庭の子どもは、前の学年の4月から今までの1年余りの間に、学校に行きたくないと言ったことがありますか。

- | | | | |
|---------|---------|------|------------|
| ① よくあった | ② 時々あった | ③ ない | ④ 現在行っていない |
|---------|---------|------|------------|

【問8-1】【問8】で「①よくあった」、「②時々あった」、「④現在行っていない」と答えた人におたずねします。

それは、どんなことが原因だと思いますか。(〇は2つまで)

- | | | | |
|------------|----------------|----------|---------|
| ① いじめ | ② 友だちとのこと | ③ 先生とのこと | ④ 家庭のこと |
| ⑤ 勉強がわからない | ⑥ なんとなく行く気がしない | | |
| ⑦ その他() | | | |

【問9】小学生、中学生、高校生の子どもがいる家庭の人におたずねします。

あなたの家庭の子どもは、前の学年の4月から今までの1年余りの間に、いじめを受けたことがありますか。または、いじめたことがありますか。

- | | | |
|----------------|-------------|----------|
| ① いじめを受けたことがある | ② いじめたことがある | ③ どちらもある |
| ④ どちらもない | ⑤ わからない | |

★「いじめ」とは何か？

仲間はずれにされたり、無視されたり、悪口を言われたりなど、心や体に苦しみや痛みを感じることです。インターネットやメールなどで誹謗中傷を受けることも同様にいじめです。相手は“いじり”や“ふざけ”と捉えているような行為であっても、対象の子どもが苦痛を感じてやめてほしいと感じるなら、それはいじめです。

【問 9-1】【問 9】で「①いじめを受けたことがある」または「③どちらもある」と答えた人におたずねします。
子どもがいじめを受けたとき、あなたはどうしましたか。(〇はいくつでも)

① 子どもと話し合った	② 家族と相談した	③ 友達・知人に相談した
④ 学校の先生に相談した	⑤ 学童（放課後児童クラブ）の支援員に相談した	
⑥ 塾や習いごとの先生に相談した		
⑦ 相談機関を利用した（具体的に		）
⑧ 特に何もしなかった		
↳（それはなぜですか：		）

【問 9-2】【問 9】で「②いじめたことがある」または「③どちらもある」と答えた人におたずねします。
子どもがいじめたことがわかったとき、あなたはどうしましたか。(〇はいくつでも)

① 子どもと話し合った	② 家族と相談した	③ 友達・知人に相談した
④ 学校の先生に相談した	⑤ 学童（放課後児童クラブ）の支援員に相談した	
⑥ 塾や習いごとの先生に相談した		
⑦ 相談機関を利用した（具体的に		）
⑧ 特に何もしなかった		
↳（それはなぜですか：		）

体罰や児童虐待などについてあなたの考えをおたずねします

【問 10】あなたの家庭の子どもはおとなから、【問 10-1】に挙げられているようなことをされて「いやな思い」をしたことがあると思いますか。

① ある	② ない
------	------

【問 10-1】【問 10】で「①ある」と答えた人におたずねします。
それは、どんなことですか。(あてはまるものすべてに〇)

① たたかれたり、なぐられたり、蹴られたりした	
② 心を傷つけられる言葉を言われた	
③ 体をさわられたり、性的なことをされたりした	
④ 無視されたり、ほったらかしにされたりした	
⑤ 知らないおとなに声をかけられたり、追いかけられたりした	
⑥ 家族の世話をするために、自分がやりたいことを我慢しなければならなかった	
⑦ 家族がたたかれたり、ひどいことを言われたりしているのを見た	
⑧ その他（	）

【問 11】あなたが児童虐待と感じるものをすべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- ① 言葉で脅す
- ② 体をさわったり、性的なことをしたりをする
- ③ 子どもの見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力(身体的・精神的)をふるう
- ④ 必要な病気の治療を受けさせない
- ⑤ きちんとした食事を与えない
- ⑥ 子どもの将来のことを考え、体罰でしつける
- ⑦ 買い物に行く等の短い時間だけ、乳幼児を家に残し、外出する
- ⑧ その他()

【問 12】あなたは、なぜ児童虐待が起こると思いますか。あなたの考えに近いものを選んでください。
(○は3つまで)

- ① 保護者の子育てに対する経験や知識の不足
- ② 子育て・育児によるストレス
- ③ 家庭の貧困等に伴う生活への不満やストレス
- ④ 虐待の世代間連鎖(親が子どものころに虐待を受けていた等)
- ⑤ 子ども側の要因(病気、障がい、落ち着きがない等)
- ⑥ 児童虐待を「しつけ」と考える風潮(社会の理解・認識不足)
- ⑦ 保護者の病気、けが、障がい、精神疾患等
- ⑧ 望まない妊娠や出産
- ⑨ 保護者の地域からの孤立
- ⑩ 親族からの手助けの不足
- ⑪ 不安定な夫婦関係
- ⑫ その他()

【問 13】児童虐待の疑いがある子どもを見たり、きいたりしたとき、あなたはどうしますか。

- ① 行動する
- ② 何もしない
- ③ わからない

【問 13-1】【問 13】で「①行動する」と答えた人におたずねします。

具体的にどのような行動をしますか。(あてはまるものすべてに○)

- ① 児童相談所全国共通ダイヤル(189)^{いちほちやく}・東濃子ども相談センターに連絡する
- ② 市(子ども支援課)に連絡する
- ③ 警察に連絡する
- ④ 保育所、幼稚園、学校に連絡する
- ⑤ 多治見市子どもの権利相談室(たじみ子どもサポート)に連絡する
- ⑥ その他()

【問 14】児童虐待を防止するため、どのようなことが特に必要だと考えますか。(○は3つまで)

- ① 子ども相談センター〈児童相談所〉など行政がもっと積極的に介入・指導する
- ② 地域全体で子どもを育てる環境をつくる(地域コミュニティの活性化)
- ③ 子育て支援施策を充実する(保育所、養育支援等)
- ④ 電話相談など、子ども自身が利用しやすい相談体制を充実する
- ⑤ 妊娠期における支援施策(子育て講座や検診での相談窓口等)を充実する
- ⑥ 児童虐待防止についての啓発活動をもっとする
- ⑦ 虐待を行った人への罰をもっと厳しくする
- ⑧ その他(具体的に)

多治見市の子どもの権利施策についておたずねします

【問 22】あなたは多治見市に、「子どもの権利に関する条例」があることを知っていますか。

- ① 知っている ② 知らない

【問 22-1】【問 22】で「①知っている」と答えた人におたずねします。

どのようにして知りましたか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|--------------------|-------------|-------------------------------|
| ① 学校の授業・先生の話(保護者会) | ② 学校の通信 | |
| ③ パンフレット・チラシ | ④ 広報たじみ | ⑤ こそだていろは帖 |
| ⑥ 講演・セミナー | ⑦ たじみ子ども会議 | ⑧ FMPIPi |
| ⑨ 新聞 | ⑩ 家族、友だち、知人 | ⑪ その他() |

「多治見市子どもの権利に関する条例」とは…?

子どもの権利条約(子どもの最善の利益を大切にしていけるために、国際連合が1989年につくったものです。)に基づいて、子どもの権利の普及、子どもの権利を守り、成長を支援するしくみなどを定めている条例です。『子どもの最善の利益』を第一に考えながら子どもの権利の保障を図ることを目的として、平成15年9月に制定され、令和5年に制定20周年を迎えます。

- ★ 子ども一人ひとりの違いを大切に、個性として尊重するまち
- ★ 子どもが安心して自分らしく生きることができるまち
- ★ お互いを尊重し、共に支えあうまち
- ★ 子どもが多治見の今と未来をつくっていくことのできるまち
- ★ 平和と環境を大切に、世界とつながっていくまち



【問 23】あなたは、多治見市が子どもの権利に関して行っている次のことを知っていますか。知っているものを選んでください。(〇はいくつでも)

- ① たじみ子ども会議 ② たじみ子どもの権利の日
 ③ 多治見市子どもの権利相談室(愛称「たじみ子どもサポート」)
 ④ 知っているものはない

★たじみ子ども会議とは

子どもの意見表明や参加をすすめ、市政に子どもの意見をとり入れるため、子ども自身の企画や運営によって開かれている会議です。

★たじみ子どもの権利の日とは

子どもの権利についての関心や理解を深め、取り組みを進めるための日です。
 たじみ子どもの権利の日は、11月20日です。

★多治見市子どもの権利相談室(愛称「たじみ子どもサポート」)とは

子どもに関する悩みごとなどを相談できる場所です。ヤマカまなびパーク4階にあります。
 (火~金曜日/ひる1時~よる7時 土曜日/ひる12時~よる6時)
 (TEL 0572-23-8666)

【問 24】 次のような子どもの権利の中で、特に大切だと思うことは何ですか。（〇は 3 つまで）

- ① 自分のことは自分で決められること
- ② 自分の考えをいつでも自由に言えること
- ③ 自分の知りたいことを自由に学べること
- ④ 暴力や言葉で傷つけられないこと
- ⑤ 自分も他の人も命を大切にされること
- ⑥ 自分の秘密が守られること
- ⑦ 自分が知りたいと思うことが隠されないこと
- ⑧ 疲れた心や体を休ませる時間・自分の自由になる時間をもつこと
- ⑨ 自分らしさが認められること
- ⑩ 家族がなかよく過ごすなかで育つこと
- ⑪ 障がいのある子どもが差別されないで暮らせること
- ⑫ 子どもからの自由な呼びかけでグループをつくり集まれること
- ⑬ 学校での活動やまちづくりに自由に参加できること
- ⑭ 肌の色や言葉や宗教などのちがいで差別されないこと

【問 25】 子どもの権利が侵害されていると思うことがありますか。ありましたら、自由にお書きください。
（あなたの家庭の子どもに限らず、一般的なことでも結構です。）

調査は以上です。ご協力をいただきありがとうございました。

お手数ですが、当アンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、8月22日（火）までにご投函ください。

（切手を貼る必要はありません。）

子どもの権利に関するアンケート
調査結果報告書
令和6年2月発行

調査実施機関:多治見市/多治見市子どもの権利委員会
発行:多治見市 環境文化部くらし人権課
〒507-8703 多治見市日ノ出町2-15
電話 (0572)22-1128(直通)
FAX (0572)25-7233
集計:(株)OKB 総研

この報告書及び概要版は、アンケート調査から印刷までを委託して作成しています。